

# 盛南地区遺跡群発掘調査報告書Ⅲ

－盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成5～12年度発掘調査③－

台太郎遺跡

2010.11

独立行政法人 都市再生機構  
盛岡市・盛岡市教育委員会

## 序

盛岡市は、東北地方の東部を南北に縦断する北上川と、その支流である雫石川・中津川が合流する地点に中心市街地が形成され、北に雄大な岩手山と姫神山を望む、岩手県の県庁所在地です。その骨格は、約400年前に南部氏により築城された盛岡城を中心とした城下町であり、藩政そして県政の中心として、また交通の要衝として栄えてきました。

近年の盛岡市は、平成4年4月に南に隣接する都南村と、平成18年1月に北に隣接する玉山村と合併し、人口約30万人、面積約886平方キロメートルという北東北の拠点都市となるとともに、平成20年4月には中核市へ移行しました。

この中心市街地の南西部、雫石川の南に広がる田園地帯に職住近接の新市街地を形成しようというのが「盛岡開発構想」で、全体計画の約7割にあたる313.5ヘクタールを整備するのが「盛岡南新都市開発整備事業」です。事業主体は独立行政法人都市再生機構（旧地域振興整備公団）で、平成3年12月に事業認可、土地区画整理事業の整備手法により平成7年11月より着工されています（愛称「ゆいとびあ盛南」）。

それに伴い、当該区域内に所在する埋蔵文化財包蔵地17遺跡、計約90ヘクタールのうち、整備事業によって消滅を余儀なくされる遺跡の発掘調査を、平成5年度から当市教育委員会と財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターが行っており、現在もお継続しているところであります。

本報告書は、当市教育委員会が平成5年度から12年度に実施した発掘調査のうち、台太郎遺跡の調査成果について報告するものです。区画整理事業及び発掘調査は現在も継続中ではありますが、不幸なことに平成12年12月に当市文化財調査室が火災のため全焼し、整理・収蔵中であった当該調査資料の多くが罹災しております。本書は、残存した調査資料をまとめて作成したのですが、市民の皆様をはじめ、各学校や教育機関・研究者等の方々に、当該地域の歴史を知るためにご活用いただければ幸いです。

最後になりましたが、発掘調査を実施するにあたり、多大なるご協力やご指導を賜りました都市再生機構岩手都市開発事務所ならびに岩手県教育委員会生涯学習文化課、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センターに対し深く感謝申し上げますと共に、発掘調査にご理解とご協力をいただきました地権者各位ならびに地元関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。

平成22年11月

盛岡市教育委員会

教育長 八巻 恒雄

# 例 言

1 本書は、岩手県盛岡市本宮・向中野・南佐北・飯岡新田に所在する盛南地区遺跡群において、「盛岡南前都市開発整備事業（名称：盛南開発、愛称：ゆいとびあさ南）」及び関係事業に伴い平成5年度から12年度に実施した発掘調査の報告書である。なお、「盛南地区遺跡群」の名称については、事業区域内に所在する計17遺跡を包括する総称として使用し、本書ではそのうち台太郎遺跡の調査成果を報告する。

2 本書の編集及び刊行事務は盛岡市近跡の学び館が行い、編集・校訂作業を津嶋知弘が担当した。

3 遺構平面位置は、日本測地系 平面直角座標X系を座標変換した調査座標で表示した。

・調査座標軸は、日本測地系第X系に準じる

・調査座標原点

台太郎遺跡 X -35,500.000 Y +26,500.000 → RX +0 RY = 0

4 高さは、標高値をそのまま使用した。

5 土層断面図は示線のしかたを重視し、線の太さを使い分けた。層相の観察にあたっては『新採標準土色帖』（農林水産省農林水産技術会調査事務局監修）を使用した。

層名の記号は次のとおりとした。

記号	
成層堆積土	A～I層
竪穴住居カマド崩壊土	J層
竪穴住居カマド構築土	K層
床構築土	L層
地形形成堆積土（遺物包含層含む）	I（ローマ数字）～層

6 遺構記号は次のとおりとした。

記号			
竪穴住居跡	RA	溝跡	RG
建物跡	RB	配石・集石遺構	RII
柱列跡	RC	井戸跡	RI
土坑	RD	土器埋設	RP
竪穴建物跡	RE	古墳・円形周溝ほか	RX
焼土遺構	RF	土坑墓ほか	RZ

7 遺構番号は、県歴史センター調査遺構番号との整合を区りつつ、資料整理の便宜上から以下のとおりとした。  
縄文時代～古代の木炭土器空遺構：3桁の遺跡内連続番号（基本的に県歴史センター調査遺構番号に連続）  
試掘確認調査の検出・調査遺構・中近世以降の精査遺構：上2桁が調査次数番号＋下3桁が次数内連続番号

- 8 遺構平面図の線種は次のとおりとした。

検山	実線	—————
想定	破線	-----
時期差	一点鎖点	- - - - -

- 9 古代の聖穴生忌祭のカマド方向は、カマド本体中心（狭口）から雄遺先端（連山し）を結んだ線の方向の傾きとした。
- 10 古代の土器区分は、土師器・あかやき土器・須恵器に分類した。あかやき土器の名称は、ロクロ使用の酸化焼成土器（赤銅、赤銅、鉢）に使用し、ロクロ使用の内面黒色処理の坏類は土師器に分類した。
- 11 古代の土器の実測図作成については、坏類は口縁部残存 1/4 以上かつ底部まで残存するもの、赤銅は口縁部残存 1/4 以上かつ底部まで残存するものを基本とし、必要に応じて破片実測も行った。また坯本は、須恵器時期のタケキ目等器面両面に確認できるものとした。
- 12 発掘調査に伴う出土遺物及び陪記録は、盛岡市遺跡の学び館で保管している。
- 13 平成 12 年 12 月 24 日未明に発生した盛岡市教育委員会文化財調査室火災により、平成 12 年度までの調査資料の多くが罹災・焼失した。そのため、本書に残存した資料および一部復元した資料をもって編集せざるをえなかった。なお、本件の詳細については、『盛岡市遺跡の学び館平成 16 年度年報』（2006）にて報告を行っている。
- 14 当該調査の一部については、現地説明会資料等により報告しているものもあるが、本書の記載内容をもって訂正する。

〔盛岡南都市開発整備事業〕及び関係事業に係る発掘調査報告書（平成 21 年度末現在）

<財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（本報告）>

- 1995 年 3 月 『本宮御堂 B 遺跡第 1 次発掘調査報告書 - 盛岡開発事業関連遺跡発掘調査 -』 第 226 集
- 1996 年 3 月 『小原遺跡第 2 次発掘調査報告書 - 盛岡南都市開発整備事業 -』 第 244 集
- 1996 年 3 月 『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成 7 年度）』 第 246 集〔小原遺跡 6 次〕
- 1996 年 11 月 『小幡遺跡第 2 次発掘調査報告書 - 盛岡南都市開発整備事業関連遺跡発掘調査 -』 第 265 集
- 1997 年 3 月 『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成 8 年度）』 第 266 集〔宮沢遺跡 4 次、本宮御堂 A 遺跡 7 次〕
- 1998 年 3 月 『小幡遺跡第 5 次・第 7 次発掘調査報告書 - 盛岡西バイパス建設事業関連発掘調査 -』 第 267 集
- 1998 年 3 月 『大宮北遺跡・本宮御堂 A 遺跡発掘調査報告書 - 盛岡南都市開発整備事業関連遺跡発掘調査 -』 第 266 集〔大宮北遺跡 4 次、本宮御堂 A 遺跡 6 次〕
- 1998 年 3 月 『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成 9 年度）』 第 282 集〔結南遺跡 3 次、野古 A 遺跡 9 次 - 10 次〕
- 1999 年 3 月 『浪堂 B 遺跡第 5 次・台太郎遺跡第 16 次発掘調査報告書 - 盛岡南都市開発整備事業関連遺跡発掘調査 -』 第 293 集
- 1999 年 1 月 『本宮御堂 B 遺跡第 4 次・鬼形 A 遺跡第 4 次発掘調査報告書 - 盛岡南都市開発整備事業関連遺跡発掘調査 -』 第 308 集
- 1999 年 3 月 『台太郎遺跡第 15 次発掘調査報告書 - 盛岡南都市開発整備事業関連遺跡発掘調査 -』 第 309 集
- 1999 年 3 月 『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成 10 年度）』 第 311 集〔飯沼川遺跡 2 次〕
- 2000 年 1 月 『向中野遺跡第 3 次・小幡遺跡第 10 次発掘調査報告書 - 盛岡南都市開発整備事業関連遺跡発掘調査 -』 第 388 集
- 2000 年 3 月 『向中野遺跡第 4 次・小幡遺跡第 11 次・台太郎遺跡第 19 次発掘調査報告書 - 盛岡南都市開発整備事業関連遺跡発掘調査 -』 第 321 集
- 2000 年 3 月 『岩手県埋蔵文化財発掘調査略報（平成 11 年度）』 第 340 集〔小幡遺跡 13 次 - 14 次〕



- 2001年3月『台太部遺跡第22次発掘調査報告書-盛岡市警察署警察官待機倉庫建設中区間発掘発掘調査』第365集
- 2001年3月『台太部遺跡第18次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第369集
- 2001年3月『台太部遺跡第26次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第416集
- 2002年3月『岩手県歴史文化財発掘調査地報(平成12年度)』第370集〔奥郡A遺跡7次、本宮熊堂B遺跡9次・11次、小柳遺跡15次・16次、原岡才川遺跡4次〕
- 2002年2月『熊堂B遺跡第10次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第377集
- 2002年3月『原岡才川遺跡第3次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第393集
- 2002年3月『岩手県歴史文化財発掘調査地報(平成13年度)』第397集〔台太部遺跡36次、細谷地遺跡6次〕
- 2003年3月『台太部遺跡第23次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第415集
- 2003年3月『台太部遺跡第35次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第417集
- 2003年3月『台太部遺跡第44次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第422集
- 2003年3月『細谷地遺跡発掘調査報告書-第4・5次調査-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第414集
- 2003年3月『熊岡沢田遺跡第3次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第418集
- 2003年3月『熊岡沢田遺跡第5次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第419集
- 2003年3月『野古A遺跡第12次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第420集
- 2003年3月『野古A遺跡第15次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第421集
- 2003年3月『岩手県歴史文化財発掘調査地報(平成14年度)』第423集〔矢倉遺跡4次、稲妻遺跡5次〕
- 2004年2月『矢倉遺跡第3次、熊堂B遺跡発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第451集
- 2004年3月『本宮熊堂A遺跡第17次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第453集
- 2004年3月『細谷地遺跡第8次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第454集
- 2004年3月『岩手県歴史文化財発掘調査地報(平成15年度)』第455集〔稲妻遺跡6次、本宮熊堂B遺跡19次、台太部50次・52次、野古A遺跡19次・20次、原岡才川遺跡5次・6次、細谷地遺跡7次〕
- 2004年12月『本宮熊堂B遺跡第13・15・20次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第467集
- 2005年2月『本宮熊堂B遺跡第18次発掘調査報告書-国道46号盛岡西バイパス建設中関係遺跡発掘調査』第458集
- 2005年2月『台太部遺跡第51次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第466集
- 2005年3月『岩手県歴史文化財発掘調査地報(平成16年度)』第469集〔稻荷遺跡8・9次、台太部遺跡53次、矢倉遺跡5次〕
- 2005年12月『矢倉遺跡第6次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第488集
- 2006年2月『熊岡沢田遺跡第9・10次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第489集
- 2006年2月『本宮熊堂A遺跡第24次、本宮熊堂B遺跡第25次発掘調査報告書-一般国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査』第470集
- 2006年3月『台太部遺跡第54次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第486集
- 2006年3月『本宮熊堂B遺跡第27次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第487集
- 2006年3月『平成17年度発掘調査報告書』第490集〔古沢遺跡11次、本宮熊堂B遺跡30次・31次〕
- 2007年2月『原岡才川遺跡第8・9次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第494集
- 2007年3月『細谷地遺跡第9次、第10次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第500集
- 2007年2月『野古A遺跡第23・24・29次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第501集
- 2007年3月『本宮熊堂A遺跡第26・29次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第502集
- 2007年3月『向中野館遺跡第5・6次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第503集
- 2007年2月『向中野館遺跡第7・8次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第504集
- 2008年1月『原岡才川遺跡第12次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第515集

- 2008年1月『矢盛遺跡第10-11次・向中野館遺跡第9次・白太郎遺跡第58次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第516集
- 2008年2月『飯岡才川遺跡第7-13次・細谷地遺跡第12次・矢盛遺跡第9次発掘調査報告書-一般国道46号盛岡西バイパス建設事業関連遺跡発掘調査』第508集
- 2008年2月『細谷地遺跡第13次・第14次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第513集
- 2008年2月『細谷地遺跡第15次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第514集
- 2008年3月『平成19年度発掘調査報告書』第524集〔細谷地遺跡18次, 矢盛遺跡14次〕
- 2009年2月『矢盛遺跡第12-13次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第534集
- 2009年2月『飯岡才川遺跡第16-17次発掘調査報告書-盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡発掘調査』第535集
- 2009年3月『平成20年度発掘調査報告書』第546集〔飯岡才川遺跡15次, 矢盛遺跡20次, 鹿野遺跡1-2次〕
- 2009年12月『矢盛遺跡第18-19次発掘調査報告書-盛岡市新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査』第555集
- 2010年2月『細谷地遺跡第19-20次発掘調査報告書-盛岡市新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査』第566集
- 2010年3月『細谷地遺跡第10-11次発掘調査報告書-盛岡市新都市土地区画整理事業関連遺跡発掘調査』第567集
- 2010年3月『平成21年度発掘調査報告書』第571集〔矢盛遺跡25-26次〕

#### <盛岡市教育委員会>

- 1998年3月『盛岡市埋蔵文化財調査年報-平成5-6年度』〔南仙北遺跡12-13-14次〕
- 2002年3月『盛岡市内遺跡群-平成13年度発掘調査報告』〔白太郎遺跡40・41次〕
- 2005年3月『盛岡市内遺跡群-平成15年度・16年度発掘調査報告』〔白太郎遺跡35次〕
- 2007年3月『盛岡市地区遺跡発掘調査報告書Ⅰ-盛岡市新都市開発整備事業平成5～12年度発掘調査①-大宮北遺跡・小幡遺跡・宮沢遺跡・鬼柳A遺跡』〔大宮北遺跡8・9次, 小幡遺跡8・12・17次, 宮沢遺跡5次, 鬼柳A遺跡5次〕
- 2009年3月『盛岡地区遺跡発掘調査報告書Ⅱ-盛岡市新都市開発整備事業平成5～12年度発掘調査②-稻荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・向中野館遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・南仙北遺跡』〔稻荷遺跡1-1次補足, 本宮熊堂A遺跡2-2次補足, 本宮熊堂B遺跡3-3次補足・8-11次, 飯岡沢田遺跡1・2次, 飯岡才川遺跡1次, 向中野館遺跡第1-2次, 細谷地遺跡2次, 矢盛遺跡2次, 南仙北遺跡15～17-22～24-27-28-30～32-35次〕

# 目次

第1章 経過			
第1節 調査の経過	1		
第2節 発掘調査作業の経過	2		
第3節 資料整理作業の経過	2		
第4節 調査体制	3		
第2章 遺跡群の位置と環境			
第1節 地理的環境	5		
第2節 歴史的環境	6		
第3章 調査成果			
第1節 遺跡の立地と概要	7		
第2節 調査内容	8		
(1) 第10次調査(平成7年度)	8	(8) 第27次調査(平成12年度)	29
(2) 第12次調査(平成7年度)	8	(9) 第28次調査(平成12年度)	37
(3) 第13次調査(平成8年度)	8	(10) 第29次調査(平成12年度)	40
(4) 第14次調査(平成8年度)	8	(11) 第30次調査(平成12年度)	41
(5) 第20次調査(平成10年度)	8	(12) 第31次調査(平成12年度)	41
(6) 第24次調査(平成11年度)	9	(13) 第32次調査(平成12年度)	42
(7) 第25次調査(平成11年度)	16	(14) 第33次調査(平成12年度)	45
第4章 総括			
1. 古代の遺物	47	2. 古代の遺構	48

表

図

写真図版

抄録

# 表 目 次

第 1 表	台北區運輸調查—概況 (平成 5~12 年度).....	53	第 28 表	第 24 次調查空穴住居跡土層觀察表 (5).....	70
第 2 表	第 20 次調查土坑一覽.....	54	第 29 表	第 24 次調查出土層觀察表 (1).....	71
第 3 表	第 20 次調查溝跡一覽.....	54	第 30 表	第 24 次調查出土層觀察表 (2).....	72
第 4 表	第 24 次調查土坑一覽.....	55	第 31 表	第 24 次調查出土層觀察表.....	72
第 5 表	第 24 次調查溝跡一覽 (1).....	56	第 32 表	第 25 次調查 A 區出土層觀察表 (1).....	73
第 6 表	第 24 次調查溝跡一覽 (2).....	57	第 33 表	第 25 次調查 A 區出土層觀察表 (2).....	74
第 7 表	第 25 次調查 A 區土坑一覽 (1).....	58	第 34 表	第 25 次調查 A 區出土層觀察表 (3).....	75
第 8 表	第 25 次調查 A 區土坑一覽 (2).....	59	第 35 表	第 25 次調查 A 區出土層觀察表 (4).....	76
第 9 表	第 25 次調查 A 區溝跡一覽.....	60	第 36 表	第 25 次調查 A 區出土層觀察表.....	76
第 10 表	第 25 次調查 B 區土坑一覽.....	61	第 37 表	第 25 次調查 B 區出土層觀察表.....	77
第 11 表	第 25 次調查 B 區溝跡一覽.....	61	第 38 表	第 25 次調查 B 區出土層觀察表.....	77
第 12 表	第 27 次調查 A 又土坑一覽.....	62	第 39 表	第 27 次調查 A 區出土層觀察表.....	77
第 13 表	第 27 次調查 A 區溝跡一覽.....	62	第 40 表	第 27 次調查 A、B 區、 第 32 次調查 C 區出土層觀察表.....	77
第 14 表	第 27 次調查 B 區土坑一覽.....	63	第 41 表	第 27 次調查 B 區出土層觀察表 (1).....	78
第 15 表	第 27 次調查 B 區溝跡一覽.....	63	第 42 表	第 27 次調查 B 區出土層觀察表 (2).....	79
第 16 表	第 27 次調查 C 區溝跡一覽.....	63	第 43 表	第 28 次調查出土層觀察表.....	79
第 17 表	第 28 次調查土坑一覽.....	64	第 44 表	第 32 次調查 D 區出土層觀察表.....	79
第 18 表	第 28 次調查溝跡一覽.....	64	第 45 表	第 32 次調查 C 區出土層觀察表.....	80
第 19 表	第 29 次調查土坑一覽.....	64	第 46 表	第 25 次調查 A、B 又出土 場文土器、陶土器、施文土器觀察表.....	81
第 20 表	第 31 次調查溝跡一覽.....	64	第 47 表	第 25 次調查 A 又出土 場文土器、陶土器觀察表.....	82
第 21 表	第 32 次調查 A、C 區土坑一覽.....	65	第 48 表	第 24 次調查空穴住居跡對表 (1).....	83
第 22 表	第 32 次調查 A、B、C 區溝跡一覽.....	65	第 49 表	第 24 次調查空穴住居跡對表 (2).....	83
第 23 表	第 33 次調查溝跡一覽.....	65	第 50 表	第 25 次調查 A 區空穴住居跡對表 (1).....	83
第 24 表	第 24 次調查空穴住居跡土層觀察表 (1).....	66	第 51 表	第 25 次調查 A 區空穴住居跡對表 (2).....	83
第 25 表	第 24 次調查空穴住居跡土層觀察表 (2).....	67			
第 26 表	第 24 次調查空穴住居跡土層觀察表 (3).....	68			
第 27 表	第 24 次調查空穴住居跡土層觀察表 (4).....	69			

# 目 次

第1页	台东港道路位置图	87	第34图	第25次调查A区西平部	
第2图	麻南地区鹿野新位置图	88	第30次调查区全体图		117
第3图	台东港道路全体图	89	第35图	第25次调查A区东平部全体图	121
第4图	第24次调查区全体图	93	第36图	第25次调查A区 RA322、324 型穴生层群	125
第5图	第24次调查A区全体图	97	第37图	第25次调查A区 RA323 型穴住层群	125
第6图	第24次调查A区北平部全体图	98	第38图	第25次调查A区 RA325、327、328、330 型穴住层群	126
第7图	第24次调查A区南平部全体图	99	第39图	第25次调查A区 RA325 型穴住层群	126
第8图	第24次调查B区全体图	100	第40图	第25次调查A区 RA329 型穴住层群	127
第9图	第24次调查C区北平部全体图	101	第41图	第25次调查A区 RA331、332a-b、333 型穴住层群	127
第10图	第24次调查C区南平部全体图	102	第42图	第25次调查A区 RA334 型穴住层群	128
第11图	第24次调查A区 RA304 型穴住层群	103	第43图	第25次调查A区 RA222、336 型穴住层群	128
第12图	第24次调查A区 RA305 型穴住层群	103	第44图	第25次调查A区 RA337 型穴住层群、RD046 型穴住层群	129
第13图	第24次调查A区 RA306 型穴住层群	104	第45图	第25次调查A区 RA338、340 型穴住层群、R2025 土坑墓	129
第14图	第24次调查A区 RA307 型穴住层群	104	第46图	第25次调查A区 RA335、342、343 型穴住层群	130
第15图	第24次调查A区 RA308 型穴住层群	105	第47图	第25次调查A区 RA341 型穴住层群	130
第16图	第24次调查A区 RA309 型穴住层群	106	第48图	第25次调查A区 RA344 型穴住层群、R2026 土坑墓	131
第17图	第24次调查A区 RA310 型穴住层群	106	第49图	第25次调查A区 RA345 型穴住层群	131
第18图	第24次调查A区 RA311 型穴住层群	106	第50图	第25次调查A区 RA346 型穴住层群	132
第19图	第24次调查A区 RA312 型穴住层群	106	第51图	第25次调查A区 RA347 型穴住层群	132
第20图	第24次调查A区 RA313 型穴住层群	107	第52图	第25次调查A区 RA348、353 型穴住层群	133
第21图	第24次调查A区 RA314 型穴住层群	107	第53图	第25次调查A区 RA351 型穴住层群	133
第22图	第24次调查A区 RA315 型穴住层群	108	第54图	第25次调查A区 RA352 型穴住层群	133
第23图	第24次调查A区 RA316 型穴住层群	108	第55图	第25次调查A区 RA349、350 型穴住层群	134
第24图	第24次调查A区 RA317 型穴住层群	108	第56图	第25次调查A区 RA354、359 型穴住层群	134
第25图	第24次调查A区 RA318 型穴住层群	109	第57图	第25次调查A区 RA356a-b、357、361 型穴住层群	135
第26图	第24次调查A区 RA319 型穴住层群	109	第58图	第25次调查A区 RA360 型穴住层群	135
第27图	第24次调查B区 RA320 型穴住层群	110			
第28图	第24次调查B区 RA321 型穴住层群	110			
第29图	第24次调查B区 RA322 型穴住层群	111			
第30图	第24次调查B区 RA323 型穴住层群	111			
第31图	第24次调查A区 RH24001 稻文什器物群、RC24001 柱列群	112			
第32图	第24次调查A区 RC24002 柱列群	112			
第33图	第25次调查A区-第30次调查区全体图	113			

第 59 回	第 25 次調査A区				
	RA362 型穴住居跡、RB047 型穴住居跡	135			
第 60 回	第 25 次調査A区 RA363 型穴住居跡	136			
第 61 回	第 25 次調査A区 RA364 型穴住居跡	136			
第 62 回	第 25 次調査A区 RA366a・b・368 型穴住居跡	137			
第 63 回	第 25 次調査A区 RA367 型穴住居跡	137			
第 64 回	第 25 次調査A区 RA368 型穴住居跡	138			
第 65 回	第 25 次調査A区 RA369a・b・384 型穴住居跡	138			
第 66 回	第 25 次調査A区 RA370 型穴住居跡	138			
第 67 回	第 25 次調査A区 RA371 型穴住居跡	139			
第 68 回	第 25 次調査A区 RA372・391 型穴住居跡	139			
第 69 回	第 25 次調査A区 RA373 型穴住居跡	140			
第 70 回	第 25 次調査A区 RA374 型穴住居跡	140			
第 71 回	第 25 次調査A区 RA377 型穴住居跡	140			
第 72 回	第 25 次調査A区 RA383 型穴住居跡	141			
第 73 回	第 25 次調査A区 RA379 型穴住居跡	141			
第 74 回	第 25 次調査A区 RA375 型穴住居跡	141			
第 75 回	第 25 次調査A区 RA375 型穴住居跡	142			
第 76 回	第 25 次調査A区 RA381 型穴住居跡	142			
第 77 回	第 25 次調査A区 RA382 型穴住居跡	143			
第 78 回	第 25 次調査A区 RA385 型穴住居跡	143			
第 79 回	第 25 次調査A区 RA386 型穴住居跡	143			
第 80 回	第 25 次調査A区 RA387 型穴住居跡	144			
第 81 回	第 25 次調査A区 RA389 型穴住居跡	144			
第 82 回	第 25 次調査A区 RA390 型穴住居跡	144			
第 83 回	第 25 次調査A区 RB048 型穴住居跡	144			
第 84 回	第 25 次調査B区・第 27 次調査A区全体区	145			
第 85 回	第 25 次調査B区・ 第 27 次調査A区北半部全体区	146			
第 86 回	第 25 次調査B区・ 第 27 次調査A区南半部全体区	147			
第 87 回	第 25 次調査B区 RA392 型穴住居跡	148			
第 88 回	第 25 次調査B区 RA393 型穴住居跡	148			
第 89 回	第 25 次調査B区 RA394 型穴住居跡	148			
第 90 回	第 25 次調査B区 RA396 型穴住居跡	149			
第 91 回	第 25 次調査B区 RA397 型穴住居跡	149			
第 92 回	第 25 次調査B区 RA395 型穴住居跡	150			
第 93 回	第 25 次調査B区 RA398 型穴住居跡	150			
第 94 回	第 25 次調査B区 RA399 型穴住居跡	150			
第 95 回	第 27 次調査A区 RA462 型穴住居跡	151			
第 96 回	第 27 次調査A区 RA463 型穴住居跡	151			
第 97 回	第 27 次調査A区 RA464 型穴住居跡	151			
第 98 回	第 27 次調査A区 RA465 型穴住居跡	152			
第 99 回	第 27 次調査A区 RA466 型穴住居跡	152			
第 100 回	第 27 次調査A区 RA467 型穴住居跡	152			
第 101 回	第 27 次調査B・C区・第 32 次調査A・B・C区・ 第 31 次調査区全体区	153			
第 102 回	第 27 次調査B区北半部全体区	157			
第 103 回	第 27 次調査B区西半部全体区	158			
第 104 回	第 27 次調査B区 RA482 型穴住居跡	159			
第 105 回	第 27 次調査B区 RA483 型穴住居跡	159			
第 106 回	第 27 次調査B区 RA484 型穴住居跡	159			
第 107 回	第 27 次調査B区 RA485 型穴住居跡	159			
第 108 回	第 27 次調査B区 RA486 型穴住居跡	160			
第 109 回	第 27 次調査B区 RA487 型穴住居跡	160			
第 110 回	第 27 次調査B区 RA490 型穴住居跡	160			
第 111 回	第 27 次調査B区 RA489a・b 型穴住居跡	161			
第 112 回	第 27 次調査B区 RA489 型穴住居跡	161			
第 113 回	第 27 次調査B区 RA491 型穴住居跡	162			
第 114 回	第 27 次調査B区 RA493 型穴住居跡	162			
第 115 回	第 27 次調査B区 RA494 型穴住居跡	163			
第 116 回	第 27 次調査B区 RA495 型穴住居跡	163			
第 117 回	第 27 次調査C区全体区	164			
第 118 回	第 28 次調査区全体区	165			
第 119 回	第 28 次調査区 RA471・472 型穴住居跡	166			
第 120 回	第 28 次調査区 RA473 型穴住居跡	166			
第 121 回	第 28 次調査区 RA474 型穴住居跡	167			
第 122 回	第 28 次調査区 RA475 型穴住居跡	167			
第 123 回	第 28 次調査区 RA477 型穴住居跡	167			
第 124 回	第 28 次調査区 RA478・479 型穴住居跡	168			
第 125 回	第 28 次調査区 RA480 型穴住居跡	168			
第 126 回	第 28 次調査区 RB3001 掘立地層跡	169			
第 127 回	第 29 次調査区全体区	170			
第 128 回	第 29 次調査区 RA503 型穴住居跡	170			
第 129 回	第 31 次調査区全体区	171			
第 130 回	第 31 次調査区 RA391 型穴住居跡	171			
第 131 回	第 31 次調査区 RA481 型穴住居跡	171			
第 132 回	第 32 次調査A区全体区	172			
第 133 回	第 32 次調査B区全体区	173			

第 134 图	第 32 次调查 B 区 RA193 壁穴作房跡	173
第 135 图	第 32 次调查 B 区 RA300 壁穴作房跡	173
第 136 图	第 32 次调查 C 区金依区	174
第 137 图	第 33 次调查区个体陶	175
第 138 图	第 24 次调查出土土器 (1)	176
第 139 图	第 24 次调查出土土器 (2)	177
第 140 图	第 24 次调查出土土器 (3)	178
第 141 图	第 24 次调查出土土器 (4)	179
第 142 图	第 24 次调查出土土製品、石製品	179
第 143 图	第 25 次调查 A 区出土土器 (1)	180
第 144 图	第 25 次调查 A 区出土土器 (2)	181
第 145 图	第 25 次调查 A 区出土土器 (3)	182
第 146 图	第 25 次调查 A 区出土土器 (4)	183
第 147 图	第 25 次调查 A 区出土土器 (5)	184
第 148 图	第 25 次调查 A 区出土土器 (6)	185
第 149 图	第 25 次调查 A 区出土土器 (7)	186
第 150 图	第 25 次调查 A 区出土土器 (8)	187
第 151 图	第 25 次调查 A 区出土土器 (9)	188
第 152 图	第 25 次调查 A 区出土土製品	188

第 153 图	第 25 次调查 A 区出土石製品	189
第 154 图	第 25 次调查 B 区出土土器	190
第 155 图	第 25 次调查 B 区出土土製品	190
第 156 图	第 27 次调查 A 区出土土器、土製品	191
第 157 图	第 27 次调查 B 区出土土器 (1)	192
第 158 图	第 27 次调查 B 区出土土器 (2)	193
第 159 图	第 27 次调查 B 区出土土器 (3)	194
第 160 图	第 27 次调查 B 区出土土器 (4)	195
第 161 图	第 27 次调查 B 区出土土器、土製品	196
第 162 图	第 28 次调查出土土器	196
第 163 图	第 32 次调查 B 区出土土器	196
第 164 图	第 32 次调查 C 区出土土器、土製品	197
第 165 图	第 25 次调查 A 区出土 縄文土器、弥生土器	198
第 166 图	第 25 次调查 A、B 区出土 弥生土器、縄文土器	199
第 167 图	第 27 次调查 A 区出土縄文土器	200
第 168 图	第 27 次调查 A 区出土弥生土器	200
第 169 图	第 27 次调查 A 区出土土器	200

# 写真图版目录

第1图版 第24次調査・第25次調査A区 墓穴内层出土土器 .....	203	第8图版 第25次調査A区出土土器(3) .....	210
第2图版 第25次調査A区墓穴内层出土土器(1) .....	204	第9图版 第25次調査A区出土土器(4) .....	211
第3图版 第25次調査A区墓穴内层出土土器(2) .....	205	第10图版 第25次調査B区・第27次調査A区 出土土器 .....	212
第4图版 第24次調査出土土器(1) .....	206	第11图版 第27次調査B区出土土器(1) .....	213
第5图版 第24次調査出土土器(2) .....	207	第12图版 第27次調査B区出土土器(2) .....	214
第6图版 第25次調査A区出土土器(1) .....	208	第13图版 第22次調査C区出土土器 .....	215
第7图版 第25次調査A区出土土器(2) .....	209	第14图版 印章、瓦片土器 .....	216



# 第1章 経過

## 第1節 調査の経過

「盛岡市新都市開発整備事業」は、北東北の中核都市および岩手県の県都として担うべき都市機能の充実を図るため、旧城下町から発展して形成された既存の中心市街地南西部に新市街地を開発整備し、既成市街地・盛岡駅西口地区（旧国鉄跡地）・盛岡南地区を結ぶ「軸状都心」を形成することで、都市構造をよりよく改めようと策定された土地区画整理事業である。

平成2年9月に岩手県・盛岡市・都南村（現盛岡市、平成4年4月合併）の3者が、地域振興整備公団（以下「公団」と呼ぶ、現独立行政法人都市再生機構）に対して事業申請を行い、公団は実施計画を作成、翌平成3年12月に当時の建設大臣および国土庁長官から実施許可が下り、事業が開始された。

埋蔵文化財の取り扱いについては、昭和50年の国土庁長官・建設省からの行政指導に則して、公団と岩手県・盛岡市・都南村は「覚書」およびその「確認書」において以下のように文書を取り交わしている。

「盛岡南新都市開発整備事業に関する覚書」（平成3年12月11日） 記の7（3）

県、市及び村は、環境の保全及び文化財の保護につき、協力して所要の調整を行い、事業の推進を図るものとする。

「盛岡南新都市開発整備事業に関する覚書の確認書」（平成3年12月11日） 記の5

「覚書」の記の7の（3）の文化財保護における埋蔵文化財発掘調査について、国庫補助事業及び公共施設管理者負担金の対象となる都市計画道路に係る敷地の調査については、公団が県、市及び村に委託するものとし、その他の敷地については市及び村において調査するものとする。

このため、県、市及び村は、土地区画整理事業の認可までに、公団からの委託分を含めた埋蔵文化財発掘調査計画を立案し、これを県、市、村及び公団で確認の上、他機関への委託を含めた調査の実施に必要な体制を確保することにより、事業の円滑な推進を図るものとする。

なお、事業のスケジュールが調査実施者の都合により遅延した場合には、県、市及び村は、適切な方策を講ずるものとする。

上記に基づく協議の結果、遺跡の要調査範囲を確定する試掘確認調査を市教育委員会が実施し、その結果を受けての本調査を市、村及び公団から委託を受けて財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター（以下「県埋文センター」と呼ぶ）が実施することとなった。

しかし、本調査対象面積が広大であることから、平成10年度以降は市教育委員会も本調査の実施を開始。平成11年度以降は市教育委員会も公団と受委託契約を締結し、県埋文センターと市教育委員会の両者が調整を図りながら本調査を実施することで、現在に至っている。

## 第2節 発掘調査作業の経過

盛岡市新都市開発整備事業にともなう埋蔵文化財の発掘調査は、平成4年度から継続して実施されている。上地区画整理事業の工事計画や進捗にあわせて、埋蔵文化財包蔵地の範囲確認や遺構密度を確認するための試掘確認調査を実施し、その成果を受けて効率的な本調査が実施できるよう調整を行っている。しかし、地権者との交渉や農地補償等の問題から、埋蔵文化財包蔵地範囲の全域について、試掘確認調査を実施することは現実的に不可能であり、状況に即した対応を行っている。

本書で報告の対象としている白太郎遺跡の平成5～12年度の調査成果の概要は、第1表のとおりである。

## 第3節 資料整理事業の経過

当市教育委員会が、本事業の本調査を始めたのは、平成10年度からである。また平成11年度からは公園と発掘調査の受委託契約を締結し、公園施工範囲（都市計画道路分）の本調査も実施してきた。この際は、予算措置の問題や職員体制が十分でないことを考慮して、年度ごとの発掘調査報告書の刊行は断念することとし、報告書刊行は事業の進捗を見ながら順次まとめて行うものとし、年度内はその基礎となる資料整理事業のみを行っていた。

平成12年12月21日午前0時30分頃、市立厨川小学校敷地内にある文化財調査室にて火災が発生し、昭和30年建設の老朽化した木造2階建ての旧校舎は全焼した。市教育委員会では昭和57年度から文化財調査室として埋蔵文化財の資料整理・収蔵保管の拠点として使用してきた場所である。

当然、本事業の発掘調査成果（図面・写真・出土資料の一部）も収蔵されており、震災により調査成果の完全復元はきわめて難しい状況となった。

市教育委員会は、文化庁の指導及び補助事業の採択を受け、埋蔵文化財の調査研究・収蔵管理・普及活用を目的として、新たな拠点となる埋蔵文化財センターとして、博物館施設が集積する本宮地区の（仮称）盛岡市中央公園内に「盛岡市遺跡の学び館」を建設、平成16年6月に開館した。その間も、本事業にともなう発掘調査と資料整理事業、および震災資料の復元作業を継続して行い、現在に至っている。

本事業関連遺跡発掘調査報告書を刊行するにあたり、以下の指針をもって実施することとしている。

- ①平成5～12年度の発掘調査に係る震災資料について、速やかに再整理と報告書刊行を行う。
- ②平成5～12年度発掘調査報告書は、膨大な量の資料が震災したこともあり、1冊の報告書として報告することは現実的に困難なため、数遺跡ごとに分冊刊行することで年次計画を立て優先的に報告する。
- ③平成13年度以降事業終了年度までの調査成果は、上記報告書刊行の進捗状況を見ながら、数遺跡または数年度ずつをまとめて分冊とし、報告する。

本報告書は、上記指針に基づく3分冊の報告書である。なお、報告にあたっては、震災し復元不可能な部分はその旨を明記した表現を行っている。

## 第4節 調査体制

〔委託者〕 地域振興整備公団（～平成16年6月）、独立行政法人都市再生機構（平成17年7月～）

〔調査主体〕 盛岡市教育委員会

〔事務局〕 盛岡市教育委員会事務局文化課（平成5～18年度）、歴史文化課（平成19年度～）

〔調査〕 盛岡市教育委員会事務局文化課文化財係（平成5～15年度）、

盛岡市遺跡の学び館（平成16年度～）

〔助言〕 文化庁、岩手県教育委員会、財団法人岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター

〔協力〕 発掘調査、資料整理、複製資料復元及び報告書編集にあたり、盛岡市都市整備部盛岡南整備課、地権者・地元関係者の方々、そして多くの作業員・県内外文化財関係職員の方々より多大なる協力を得た。記して感謝申し上げる。

〔発掘調査担当者（本書詳細掲載分、氏名は調査当時）〕

白太郎遺跡	第10次調査（平成7年度）	千田和文・黒須靖之
	第12次調査（平成7年度）	黒須靖之
	第13次調査（平成8年度）	津嶋知弘
	第14次調査（平成8年度）	三浦陽一
	第20次調査（平成10年度）	黒須靖之・平澤祐子
	第24次調査（平成11年度）	似内啓邦・三浦陽一・花井止香
	第25次調査（平成11年度）	似内啓邦・三浦陽一・今野公顕・平澤祐子
	第27次調査（平成12年度）	津嶋知弘・今野公顕・平澤祐子・岩城志麻
	第28次調査（平成12年度）	今野公顕
	第29次調査（平成12年度）	今野公顕
	第30次調査（平成12年度）	平澤祐子
	第31次調査（平成12年度）	平澤祐子
	第32次調査（平成12年度）	今野公顕・岩城志麻
	第33次調査（平成12年度）	似内啓邦・今野公顕・岩城志麻

盛岡市教育委員会文化財保護関係職員（平成22年度）

教 育 長 八巻 恒雄  
 教育部長 佐藤 義見  
 教育次長 高 明夫

歴史文化課（事務局）

課長	亀山助正
主幹兼課長補佐	
（運蔵文化財担当、兼務）	千田和文
課長補佐（文化財・史跡担当）	袖上 寛
文化財主査	壺野秀文
文化財主査（兼務）	菊地幸裕
文化財主査（兼務）	津嶋知弘
文化財主査（兼務）	神原雄一郎
主任（兼務）	江本敦史
文化財主任	権頭祐子
文化財主任	今野公頼
文化財主任	花井正香
文化財主任（兼務）	佐々木亮二
主事	佐々木俊
主事	寺島幸子
主事（兼務）	明地幹子
文化財調査員	小西治子
文化財調査員	渡邊久美子
文化財調査員	米沢 綾

遺跡の学び館（施設）

館長（兼務）	亀山助正
主幹兼館長補佐	千田和文
文化財主査	菊地幸裕
文化財主査	津嶋知弘
文化財主査	神原雄一郎
主任	江本敦史
文化財主任	佐々木亮二
主事	明地幹子
文化財調査員	鈴木賢治
文化財調査員	宮田里和
文化財調査員	佐々木紀子
学芸調査員	相馬容子（～6月）
学芸調査員	佐々木逸人
学芸調査員	大平佳澄（7月～）

## 第2章 遺跡群の位置と環境

### 第1節 地理的環境

盛岡市は岩手県の中央部に位置する。平成4年4月に南に隣接する都南村と、平成18年1月に北に隣接する玉山村と合併し、人口300,746人（平成17年国勢調査人口）、面積886.47km<sup>2</sup>の県庁所在地である。平成20年4月には中核市へ移行している。

現在、市街地南西部の313.5haを対象に「盛岡南新都市開発整備事業」に係る土地区画整理事業が実施されている。事業主体は独立行政法人都市再生機構（旧地域振興整備公団）で、平成3年12月に事業認可を受け、平成7年11月より着手している。これにともない、事業区域内の埋蔵文化財発掘調査を平成4年度から県埋文センターと市教育委員会が実施している。

「盛岡地区遺跡群」は、盛岡南新都市開発整備事業区域内に所在する計17遺跡、大宮北遺跡・小幡遺跡・官沢遺跡・鬼柳A遺跡・稲荷遺跡・本宮熊堂A遺跡・本宮熊堂B遺跡・野古A遺跡・飯岡沢田遺跡・飯岡才川遺跡・台太郎遺跡・向中野館遺跡・細谷地遺跡・矢盛遺跡・桃野遺跡・夕覚遺跡・南仙北遺跡が該当し、盛岡市本宮字大宮・字小幡・字官沢・字鬼柳・字熊堂・字稲荷・字野古、下鹿妻字北、向中野字千刈田・字台太郎・字向中野・字八口市場・字野原・字才川・字細谷地・字鶴子・字幡、飯岡新田1地割沢・2地割・3地割・4地割、南仙北2丁目などに所在する（第2図）。

盛岡は、岩手県から官城原を南流する北上川に中津川・雫石川・築川といった支流の合流点である北上盆地の北端にあり、本遺跡群は、北上川の西岸とその支流である雫石川の南岸に広がる沖積段丘上に立地する。雫石川は奥羽山脈から東流し、烏泊山と箱ヶ森に挟まれた北の浦付近（市内上太田）で急激に流路を狭められ、その狭窄部を抜け北上盆地に入り、北上川と合流する。雫石川の北岸には岩手山を供給源とする火山砕石堆積物と火山灰層がのる台地が発達していることにより、狭窄部以東の南岸に流路転換が顕著に見られ、沖積段丘（砂礫段丘）が発達している。

沖積段丘は、水成砂礫層を基底とし、その上に水成シルト層、そして表土が覆っている。基本層はおおむねこの3層に分類されるが、砂礫層の上面高をはじめ、それぞれの層相・層厚は地点によって大きく異なる。また、このシルト層は旧河道ばかりでなく、微高地などにも堆積している。このことは、この低位沖積段丘は、雫石川が周辺山地から供給される砂礫やシルトによって堆積され、さらに河運の定まらない雫石川の下割や堆積を繰り返されたことによるものと言える。雫石川の旧河道は幾筋も確認されており、連続する大きなものは4条、そのほかにも網目状に細かな旧河道も確認されており、複雑な河道変遷を示す。それらに面された微高地に、古代を中心とした遺跡が分布している。

## 第2節 歴史的環境

本遺跡群の立地する沖積段丘上では、縄文時代～古墳時代にかけての遺構遺物の発見は少なく、遺跡のほとんどは7世紀中葉以降の集落遺跡といえる。

縄文・弥生時代の遺構遺物は、本宮熊倉A遺跡や台太郎遺跡で縄文時代晩期を中心とする竪穴住居跡や遺物包含層が検出されている。その他の各遺跡からは遺物が散見する程度であり、主体的なものではない。また、詳細な時期を特定する要素は乏しいが、飯岡才川遺跡など多くの遺跡で縄文時代の陥し穴が確認されている。

古墳時代末、7世紀中葉の遺構遺物は、数は多くはないが台太郎遺跡などで確認されている。これ以降集落が継続的に営まれる。奈良時代、8世紀中葉以降竪穴住居跡を主体とした集落跡が増加する。この時期の集落は、大型竪穴住居を中心としてその周囲に中～小型の竪穴住居が数棟ずつまとまりをもって分布する傾向がある。

9世紀、平安時代初頭の延暦22年(803)には、本遺跡群の西方に「志波城」(下太田方八丁他)が造営される。志波城は東北経営のために朝廷が造営した古代城郭であり、当時「蝦夷(エミシ)」と呼ばれていた人々の社会に大きな影響を与えたと考えられる。征夷大将軍であった坂上田村麻呂が朝廷の命を受け造営した志波城は、北側を流れる平石川の度重なる洪水の被害を受け、およそ10年で文室綿麻呂の建議により徳丹城(矢巾町西徳田)に移転したことが記録に見られる。その後、徳丹城は9世紀中葉までにはその機能を停止し、本地域も含む北上盆地一帯は、鎮守府肥後(奥州市水沢区九蔵田)による一城統治の体制となる。

以降、9世紀中葉から本地域では竪穴住居を主体とした集落数が増加の一途をたどる。それにとまぬ竪穴住居の規模の大小差は縮小するようになり、重複が著しく見られるようになる傾向がある。その中でも、向中野館遺跡の低湿地から古代の祭祀に関係すると考えられる遺物の出土や、飯岡沢田遺跡・飯岡才川の円形周溝墓群や火葬骨壱器など、本地域内の集落機能の分化もみられる。

また、9世紀後半から10世紀中葉にかけては、地区の拠点的な集落も姿を現すようになる。料谷地遺跡では、微高地の南斜面に沿うように2×2間の総柱の掘立柱建物跡が東西に並立し、倉庫群が存在したと考えられる。また大宮北遺跡や、本地域の北西、志波城跡の北東に隣接する林崎遺跡で、規模の大きな官衙的な掘立柱建物を計画的に配置した集落も発見されており、在地有力者の拠点と考えられる。

11～12世紀にかけての、様相ははっきりしないが、12世紀末～13世紀初頭頃のものと考えられるかわらけが、大宮遺跡の大溝跡から多量に出土している。13世紀後半には、台太郎遺跡で不整五角形の平面形となる居館が営まれ、地域を支配した豪族の存在が想定される。さらに同遺跡では、土坑墓群や宗教施設と考えられる遺構も検出されており、出土遺物から15世紀頃までの存続が考えられる。また向中野館遺跡や矢盛遺跡でも、堀跡が検出されており、出土遺物やその平面形から16世紀代を中心とする居館と考えられている。

江戸時代に入ると、平石川は現在の流路となり、旧河道の東側には奥州道中(街道)や仙北組町が開かれ、本地域は水田地帯に農家が点在する農村地帯となる。各遺跡からは曲風などの掘立柱建物跡や土坑墓、南仙北遺跡では道路跡などの近世の遺構が発見されており、この姿は盛南開発が行われる直前の本地域の様子と大きく違いが無いものと考えられる。

## 第3章 調査成果

### 第1節 遺跡の立地と概要

台太郎遺跡は、803年に造営された古代城柵である志波城跡の東方約25kmに位置し（第1図）、西方に飯岡沢川・飯岡才川遺跡、南方に向中野館遺跡が位置している（第2図）。志波城跡からのびる低伏沖積段丘が南に曲がる屈曲点にあたり、幅20～50m、比高差1m程度の細かな旧河道によって分断された微高地上に立地している。遺跡範囲は東西約800m、南北約500mをはかる（第3図）。

これまでの県埋文センター・市教委の発掘調査により、7世紀～10世紀の古代集落、中世の居館を中心とした集落跡や墓域、近世の村落跡などが確認されている。

古代（奈良・平安時代）の堅穴住居跡は600棟以上を数え、そのほかに掘立柱建物跡（2×2間総柱）や大溝などが確認されており、当時の「志波（斯波）」地域最大の集落といえる。遺構の分布をみると、7世紀末～8世紀の堅穴住居跡は、いくつかの群をつくりながら南西部を除く遺跡の全域に分布し、重複はみられない。それに対し、9世紀～10世紀の堅穴住居跡は、遺跡の西部と中央～北部の段丘縁辺部に分布が集中し、多くの重複がみられる。個別の堅穴住居跡の特徴をみると、7世紀末～8世紀は北西カマドが円筒的で北東～南カマドもわずかにあり、カマドの作り替えは少ない。9世紀～10世紀は北西～北カマド、南東カマドなどさまざま、大型住居にカマドの作り替えが多い。

中世（鎌倉～戦国時代）になると、12世紀後半の深美の灰釉小形甕が遺跡北東端より単独出土している。13世紀後半には、遺跡中央部に不整五角形プランの在地領主の居館が営まれ、周辺域にはこれに関連する区画溝や道路跡、掘立柱建物跡、堅穴建物等が分布している。また、遺跡南部には中世の「坑墓群」、掘立柱建物跡、堅穴建物跡、さらに現在の「諏訪神社」の周囲を囲むような堀跡や、社殿または仏堂らしい掘立柱建物跡も確認されている。これらは出土した陶磁器の年代から15世紀頃まで存続したと考えられる。居館北東側には幅6m内外で並行する道路側溝状の溝跡があり、この溝の東側には並行して区画整理工事前の道路も存在していた。この道は、遺跡北東部の段丘岸や居館の堀、館周辺の区画溝とも並行しており、居館や周辺村落と並存していた道路跡と考えられる。また、本遺跡の南方には、向中野館遺跡（北館・南館）が存在しているが、館跡を構成する曲輪（くるわ）が方形を基調としたプランであることや、北館付近では堀や土橋、小さな曲輪などの複雑な配置であることから、およそ16世紀を中心とした年代が考えられる。

近世（江戸時代）には学石川は現在の流れとなり、旧河道の東側には奥州道中（街道）が通じ、城下の玄関口にあたる仙北組町が開かれる。これにより向中野はこの町の郊外となった。この時代の遺構としては、掘立柱建物の曲屋（まがりや）跡や直屋（すこや）跡などが遺跡内に点在するようになり、水田地帯の中に農家が点在する近世の「向中野村」の一部と考えられる。

## 第2節 調査内容

### (1) 第10次調査（平成7年度）

今次調査区は、遺跡の南部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積 5,050㎡について、重機により試掘トレンチ 14 本を設定し（調査面積 1,200㎡）、遺構検出面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、全域で古代及び近世と推定される遺構・遺物が検出されたため、全範囲を要本調査地区とした（第3図）。

### (2) 第12次調査（平成7年度）

今次調査区は、遺跡の中央東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積 33,390㎡について、重機により幅約 2 m の試掘トレンチ 86 本を設定し（調査面積 5,174㎡）、黄褐色シルト及び砂礫面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、全域で古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、全範囲を要本調査地区とした（第3図）。

### (3) 第13次調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の北部及び西部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積 28,667㎡について、重機により幅約 15 m の試掘トレンチ 124 本を設定し（調査面積 4,064㎡）、砂質シルト及びシルト漸移面まで掘り下げ、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、北部及び西部の一部で古代と推定される遺構・遺物が検出されたため、その範囲を要本調査地区とし、その他の範囲は調査終了地区とした（第3図）。

### (4) 第14次調査（平成8年度）

今次調査区は、遺跡の東部に位置し、下水道引込工事に伴う本調査として実施した。調査面積は 25㎡。人力により表土を除去し、遺構検出を行った。

#### a. 遺構と遺物

検出された遺構は、本調査区に隣接する昭和 60 年に実施した第 4 次調査区から続く平安時代の影穴住居跡 1 棟（RA 016）と溝跡 1 条（RG 005）の一部である。溝跡については工事により掘削が行われる地表下約 1.2 m までを精査し、それ以下については保存措置とした。現地調査の図面・写真資料のすべてが無失・焼失していること、また調査区が狭小であることから、各遺構の詳細な事実記載は省略する（第3図）。

### (5) 第20次調査（平成10年度）

今次調査区は、遺跡の南端部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査完了面積は 1,400㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。なお、本調査区の東側も一部表土を除去



し遺構検出を試みたが、天候不順のため精査は断念し、埋め戻しを行っている。また、現地調査の図面・写真資料の大部分が罹災・焼失していることから、遺構図の提示と事実記載は可能な範囲までとした。

#### a. 遺構と遺物

調査の結果、古代以降と考えられる土坑9基（RD20001～20009）・溝跡19条（RG20001～20019）、ピット多数を検出した。また、調査区南部は低湿地となっており、遺跡の南限を示すものと考えられる（第4図）。

#### ・土坑

##### RD20001～20009（第4図）

調査区内で9基の土坑が検出されており、各土坑の詳細は第2表のとおりである。一部の埋土より縄文晩期土器破片や中世14～15世紀頃の中国青磁破片が出土しているが、非常に少数である。

#### ・溝跡

##### RG20001～20019（第4図）

調査区内で19条の溝跡が検出されており、各溝跡の詳細は第3表のとおりである。出土遺物はほとんどなく、RG20008より江戸時代17世紀の瀬戸・穴濃灰釉土の破片が出土している。

#### ・ピット

調査区内からは多数のピット（柱穴跡）が検出されている（第4図）。平面形は不整形から不整楕円形であり、土坑や溝跡との重複もある。これらの一部が掘立柱建物跡や柱列跡を構成するとの調査時の所見はあるものの、現時点で詳細な検討を行うことができる資料が罹災・焼失しているため、それらに関する事実記載は省略する。遺物は、ピット埋土より平安時代のあかやき土器坏・須恵器坏の破片少数と、江戸時代18世紀頃の肥前染付碗の破片1点が出土している。

#### ・遺物

遺構検出面及び表土より、縄文時代の石器（剥片）、古代の土師器坏・甕、あかやき土器坏、須恵器坏・甕が少数、近世18～19世紀の肥前染付皿の破片1点が出土している。

### (6) 第24次調査（平成11年度）

今次調査区は、遺跡の西端部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した（第5図）。調査面積は3,425㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。調査区については、道路により分断されていることから、東調査区をA区、北西調査区をB区、南西調査区をC区とした（第5～10図）。

#### a. 遺構と遺物

調査の結果、奈良・平安時代の聖穴住居跡20棟（RA301～323）、古代以降の土坑15基（RD836・837・839～851）・溝跡51条（RG282～332）・道路状遺構1本（RX24001）・ピット多数、中世以降の掘立柱建物跡1棟（RB24001）・柱列（坂扉）跡2基（RC24001・24002）を検出した。

・竪穴住居跡

RA304 (第11図)

位置 A区北西部 重複関係 RA305 (新, 調査時はRA304を先に調査)  
平面形 隅丸方形 規模 東西47m以上(調査区外), 南北約6.3m, 深さ0.2~0.25m  
カマド方向 西または南カマド?(調査区外) 埋土 第24表  
貯蔵穴 1基 (Pi2) 柱穴 1口 床の状態 床面構築土, 硬化面あり  
出土遺物 (第138・142図, 第29・31表) 土師器杯・甕・球胴甕, あかやき土器杯・甕破片, 須恵器杯破片,  
土製品(紡錘車) 時期 奈良時代(8世紀)

RA305a・b (第12図)

位置 A区北西部 重複関係 RA304 (古, 調査時はRA304を先に調査)  
平面形 隅丸方形 規模 北東-南西4.3~4.5m, 北西-南東約4.5m, 深さ約4.0m  
カマド方向 a期(新) - N34.0° E, 北東カマド, 長い煙道(トンネル状, 1.05m)  
b期(古) - W35.5° N, 北西カマド, 長い煙道(トンネル状, 1.67m)  
埋土 第24・25表 貯蔵穴 a期カマド右隣に1基 (Pi8) 柱穴 11口  
カマド a期河袖残存, b期袖残存せず, 両期とも焚き口の焼け面あり  
床の状態 床面構築土, 硬化面あり  
出土遺物 (第139図, 第29表) 土師器杯・高台付杯・甕, あかやき土器杯・甕, 須恵器杯・長頸瓶, 鉄製品(刀  
了?) 1点 時期 平安時代(9世紀)

RA306 (第13図)

位置 A区北部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形?(調査区外)  
規模 東西約2.7m, 南北1.2m以上(調査区外), 深さ0.05~0.25m  
カマド方向 E21.0° S, 東カマド, 長い煙道(1.65m) 埋土 第25表  
カマド 両袖なし 出土遺物 鉄製品(鎌?) 1点 時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

RA307 (第14図)

位置 A区北部 重複関係 RG283 (新) 平面形 隅丸方形  
規模 南北3.8~4.0m, 東西4.1~4.2m, 深さ約0.2m  
カマド方向 N12.5° E, 北カマド, 長い煙道(1.6m) 埋土 第25表  
カマド 両袖残存, 焚き口の焼け面あり 柱穴 2口 床の状態 床面構築土, 硬化面あり  
出土遺物 (第138図, 第29表) 土師器杯・甕, あかやき土器杯・甕, 須恵器杯・甕, 石製品(砥石?) 1点  
時期 平安時代(9世紀)

RA308 (第15図)

位置 A区北部 重複関係 RA309 (古) 平面形 隅丸方形  
規模 東西約3.6m, 南北4.0~4.3m, 深さ0.1~0.15m  
カマド方向 E8.0° S, 東カマド, 長い煙道(1.2m) 埋土 第25表

カマド 両袖残存、焚き口の焼け面あり 床の状態 床面構築土、硬化面あり

出土遺物(第138-142図,第29-31表)土師器環・高台付環・甕,あかやき土器環・甕,須恵器環・甕,土製品(土  
鏝)2点,鉄滓1点 時期 平安時代(9世紀)

#### RA309 (第16図)

位置 A区北部 重複関係 RA308(新) 平面形 不整隅丸方形

規模 東西23m以上,南北25~31m,深さ約0.1m

カマド方向 東カマド?(RA308に重複) 埋土 第25表 床の状態 床面構築土あり

出土遺物 土師器環・甕,あかやき土器環・高台付環・甕破片 時期 平安時代(9世紀?)

#### RA310 (第17図)

位置 A区中央部 重複関係 RD24001(新),RG289・303(古) 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東32~35m,北東-南西32~35m,深さ0.15~0.2m

カマド方向 E24.5°S,南東カマド,長い煙道(0.85m) 埋土 第26表

カマド 両袖残存,焚き口の焼け面あり 床の状態 床面構築土・硬化面あり,中央に焼け面あり

出土遺物 土師器環・甕,あかやき土器環・甕,須恵器環・甕破片,軽石(砥石?)1点

時期 平安時代(9世紀?)

#### RA311 (第18図)

位置 A区南部 重複関係 RG301(新),RD839(古) 平面形 不整隅丸方形

規模 北東-南西24~26m,北西-南東24~26m,深さ0.05~0.15m

カマド方向 E1.5°N,東カマド,長い無煙道(0.7m) 埋土 第26表

カマド 袖残存せず,焚き口の焼け面あり 床の状態 南側に焼け面あり

出土遺物 土師器環・甕,あかやき土器環・甕,須恵器環・甕破片 時期 平安時代(9世紀?)

#### RA312 (第19図)

位置 A区南部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 東西25~26m,南北24~25m,深さ約0.3m

カマド方向 E21.5°S,東カマド,長い煙道(トンネル状,1.1m) 埋土 第26表

カマド 両袖残存,焚き口の焼け面あり 柱穴 1口 床の状態 床面構築土あり

出土遺物(第138図,第29表)土師器環・高台付環・甕,あかやき土器環・甕,須恵器環

時期 平安時代(9世紀)

#### RA313 (第20図)

位置 A区南東部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東32~36m,北東-南西32~35m,深さ約0.15m

カマド方向 S37.5°E,南東カマド,長い煙道(1.25m) 埋土 第26表

カマド 両袖残存(謙使用),焚き口の焼け面あり 床の状態 東側2ヶ所に焼け面あり

**出土遺物** (第140図, 第29表) 土師器環・甕, あかやき土器環・甕, 須恵器環・甕, 刻畫土器「×」  
**時期** 平安時代(9世紀?)

**RA314** (第21図)

**位置** A区南東部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形

**規模** 東西約3.3m, 南北3.3m, 深さ約0.2m

**カマド方向** W22°N, 西カマド, 長い煙道(1.5m) **埋土** 第26表

**カマド** 右袖のみ残存, 焚き口より離れて焼け面あり **床の状態** 床構築土・硬化面あり **柱穴** 4口

**出土遺物** (第138図, 第29表) 土師器環・高台付杯・甕破片, あかやき土器環・甕破片, 須恵器環・甕・長頸瓶破片, 石製品(砥石?)1点 **時期** 平安時代(9世紀)

**RA315** (第22図)

**位置** A区南東部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形

**規模** 東西約2.5m, 南北2.4m以上(調査区外), 深さ約0.05m

**カマド方向** 北または東カマド(調査区外) **埋土** 第27表 **柱穴** 1口

**出土遺物** (第138図, 第29表) 土師器甕破片, あかやき土器環・甕破片, 須恵器環・甕破片

**時期** 平安時代(9世紀)

**RA316** (第23図)

**位置** A区南東部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形?(調査区外)

**規模** 南北約2.9m, 東西1.6m以上(調査区外), 深さ約0.15m

**カマド方向** 東カマド?(調査区外) **埋土** 第27表

**出土遺物** (第138図, 第29表) 須恵器環 **時期** 平安時代(9世紀)

**RA317** (第24図)

**位置** B区北西部 **重複関係** RG307(新) **平面形** 隅丸方形?(調査区外)

**規模** 南北約4.3m, 東西3.0m以上(調査区外), 深さ約0.2m

**カマド方向** 北または西カマド(調査区外) **埋土** 第27表 **床の状態** 床構築土あり

**柱穴** 2口 **出土遺物** (第140図, 第30表) 土師器環・甕・球罎甕, あかやき土器環・甕破片

**時期** 奈良時代(8世紀)

**RA318** (第25図)

**位置** B区北部 **重複関係** RA319(古), RG307(新) **平面形** 隅丸方形

**規模** 北東-南西28~29m, 北西-南東31~3.3m, 深さ0.1~0.15m

**カマド方向** W34°S, 南西カマド, 長い煙道(1.4m) **埋土** 第27表

**カマド** 両袖残存, 焚き口に焼け面あり **床の状態** 床構築土・硬化面あり

**出土遺物** 土師器環・甕破片, あかやき土器環・甕破片, 須恵器環・甕・長頸瓶破片,

**時期** 平安時代(9世紀)

RA319 (第26図)

位置 B区北部 重複関係 RA318 (新) 平面形 隅丸方形  
規模 北西-南東 39~40 m, 北東-南西 40~42 m, 深さ約 0.15 m  
カマド方向 N45° W, 北西カマド, 長い煙道 (1.5 m) 埋土 第27表  
カマド 両袖残存, 焚き口に焼け面あり 床の状態 床構築土・硬化面あり 貯蔵穴 1基(カマド右隣)  
出土遺物 (第140図, 第30表) 土師器坏・壺・球胴壺, あかやき土器坏破片, 刻書土器「×」, 鉄製品 (不明)  
時期 奈良時代 (8世紀)

RA320 (第27図)

位置 B区北東部 重複関係 RG316 (新) 平面形 隅丸方形? (調査区外)  
規模 北東-南西 4.4 m以上 (調査区外), 北西-南東 48~49 m, 深さ約 0.2 m  
カマド方向 北東カマド? (調査区外) 埋土 第27表 床の状態 床構築土・硬化面あり  
出土遺物 (第140図, 第30表) 土師器坏・壺破片, あかやき土器坏・壺破片, 須恵器坏・壺破片  
時期 平安時代 (9世紀)

RA321 (第28図)

位置 B区南西部 重複関係 RG310 (新) 平面形 隅丸方形? (調査区外)  
規模 南北 4.4 m以上, 東西 20 m以上 (調査区外), 深さ約 0.15 m  
カマド方向 南または西カマド (調査区外) 埋土 第28表 床の状態 床構築土あり  
出土遺物 (第141図, 第30表) 土師器坏・壺・球胴壺, あかやき土器坏・壺破片 [検出面のみ]  
時期 奈良時代 (8世紀)

RA322 (第29図)

位置 B区南東部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形? (調査区外)  
規模 東西 27 m以上, 南北 4.7 m以上 (調査区外), 深さ約 0.2 m  
カマド方向 W0°, 西カマド, 長い煙道 (1.3 m) 埋土 第28表  
カマド 両袖残存, 焚き口に焼け面あり 床の状態 床構築土・硬化面あり  
出土遺物 (第141・142図, 第30・31表) 土師器坏・壺, あかやき土器坏・壺, 須恵器坏・壺, 石製品 (砥石)  
時期 平安時代 (9世紀)

RA323 (第30図)

位置 B区南西部 重複関係 RG308 (新) 平面形 隅丸方形  
規模 東西 28~29 m, 南北 29~31 m, 深さ約 0.1 m  
カマド方向 E25° S, 東カマド, 長い煙道 (1.7 m) 埋土 第28表 床の状態 床構築土あり  
出土遺物 なし  
時期 奈良・平安時代 (8-9世紀?)

・ 掘立柱建物跡

RB24001 (第31図)

位置 A区中央部, RC24001が西側柱筋より1.65m (5.5尺) 離れてほぼ平行に並ぶ

重複関係 RG283・285・288・289・290・299 (新), RA310 (古)

構造 南北桁行4間・東西梁行3間の身舎に、北側2間の南または下屋が付く(妻入建物か?)

棟方向 南北棟, 西側柱筋N0°・東側柱筋N25°E

規模

身舎: 桁行西側柱筋-総長81m (27尺), 柱間北から18m (6尺) + 21m (7尺) + 24m (8尺) + 18m (6尺)

桁行東側柱筋-総長78m (26尺), 柱間北から18m (6尺) + 27m (9尺) + 15m (5尺) + 18m (6尺)

梁行南側柱筋-総長5.7m (19尺), 柱間西から24m (8尺) + 18m (6尺) + 15m (5尺)

梁行北側柱筋-総長60m (20尺), 柱間西から21m (7尺) + 21m (7尺) + 18m (6尺)

廂(下屋): 桁行-東西とも1.5m (5尺)

梁行-総長4.2m (14尺), 柱間21m (7尺) 等間

柱掘穴

	掘方1	掘方2	掘方3	掘方4	掘方5	掘方6
直径 (m)	0.35	0.35 ~ 0.4	0.3 ~ 0.35	0.3 ~ 0.85	0.4 ~ 0.45	0.3
深さ (m)	0.3	0.4	0.35	0.4	0.5	0.4
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整楕円形	不整円形	不整円形
柱痕跡	あり	あり	なし	なし	あり	あり

	掘方7	掘方8	掘方9	掘方10	掘方11	掘方12
直径 (m)	0.3	0.35 ~ 0.4	0.3 ~ 0.65	0.3	0.45	0.35 ~ 0.45
深さ (m)	0.3	0.4	-	0.25	0.35	0.3
平面形	不整円形	不整円形	不整楕円形	不整円形	不整円形	不整円形
柱痕跡	あり	あり	-	あり	あり	なし

	掘方13	掘方14	掘方15	掘方16	掘方17
直径 (m)	0.25 ~ 0.35	0.3	0.25 ~ 0.3	※削平	0.5 ~ 0.65
深さ (m)	0.1	0.1	0.15	※削平	0.3
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	※削平	不整円形
柱痕跡	なし	なし	なし	※削平	なし

時期 中世以降

・ 柱列(板塼)跡

RC24001 (第31図)

位置 A区中央部, RB24001西側柱筋より1.65m (5.5尺) 離れてほぼ平行に並ぶ

重複関係 RG282・289・290・300 (新) 構造 南北桁行4間 (推定)

規模 総長102m (34尺)、柱間北から21m (7尺) + 27m (9尺) + 推定27m (9尺) + 推定27m (9尺)

桁方向 N0°

柱掘方

	掘方1	掘方2	掘方3	掘方4	掘方5
直径 (m)	0.3～0.35	0.25～0.3	0.25	※削平	0.25
深さ (m)	0.4	0.5	0.45	※削平	0.3
平面形	不整円形	不整楕円形	不整円形	※削平	不整円形
柱痕跡	あり	なし	あり	※削平	あり

時期 中世以降

RC24002 (第32図)

位置 A区北部 重複関係 なし

構造 L字形に並ぶ板扉、北西-南東桁行2間・北東-南西桁行2間

規模 北西-南東桁行総長30m (10尺)、柱間1.5m (5尺) 等間

北東-南西桁行総長30m (10尺)、柱間1.5m (5尺) 等間

桁方向 北西-南東柱筋 W39.0° N、南東-南西柱筋 N43.0° E

柱掘方

	掘方1	掘方2	掘方3	掘方4	掘方5
直径 (m)	約0.35	約0.4	約0.35	約0.4	0.35～0.4
深さ (m)	0.15	0.35	0.1	0.15	0.3
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
柱痕跡	あり	あり	あり	あり	あり

時期 中世以降

・土坑

RD836・837・839～851 (第6～8図)

調査区内で15基の土坑を確認しており、各土坑の概要は第4表のとおりである。なお、土層観察については紙面の都合により省略した。一部の坑上より土師器、あかやき土器、須恵器の破片が出土している。

・溝跡

RG282～331 (第6～10図)

調査区内で51条の溝跡を確認しており、各溝跡の概要は第5-6表のとおりである。一部の坑上より土師器、あかやき土器、須恵器が出土しており、RG282からは中世13～14世紀の中国青磁碗、RG327溝跡からは刻書土器「キ」が出土している (第141図、第30表)。土層観察については紙面の都合により省略した。

#### ・道路状遺構

RX24001 (第6図)

位置 A区中央部

重複関係 RA310, RB24001, RC24001, RG282・283・288・299・303

規模 RG290を北側側溝, RG285を南側側溝とする北東から南西方向の道路跡と考えられる。両側溝の芯々で幅約9.0m(30尺), 路面幅約8.1m(27尺)。路面構築土等の痕跡や施設は特に確認されていない。

#### ・ピット

調査区内で75口のピット(柱穴跡)を確認している。すべてA区で検出されており、埋土より土師器の破片が出土しているものもある。個別の概要については紙面の都合により省略した。

#### (7) 第25次調査(平成11年度)

今次調査区は、遺跡の北部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は3,674㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。調査区については、東西2地点に分かれていることから、東調査区をA区、西調査区をB区とした(第33・84図)。なお、B区については平成12年度実施の第27次調査A区と連続し、検出遺構も一連のものがあることから、遺構・遺物の詳細はそ中で記述することとする。

#### a. 遺構と遺物

調査の結果、A区より弥生時代の土器埋設遺構1基(RG001)、奈良・平安時代の竪穴住居跡65棟(RA222, 322～338, 340～354, 356, 357, 359～364, 366～375, 377～387, 389～391)、古代以降の竪穴状遺構3基(RE046～048)・土坑墓2基(RX025, 026)・土坑6基(RD852～914)・溝跡28条(RG322～336・338～352・354)・ピット多数、中世以降の大溝跡1条(RG25801)を検出した。後述するB区からは、奈良・平安時代の竪穴住居跡8棟(RA392～399)、古代以降の土坑6基(RD915～918・920・921)・溝跡4条(RG348～351)・ピット多数を検出した。A区・B区合算の遺構数は、弥生時代の土器埋設遺構1基、奈良・平安時代の竪穴住居跡73棟、古代以降の土坑墓2基・土坑68基・溝跡32条・ピット多数、中世以降の大溝跡1条である。

#### ・竪穴住居跡

RA322 (第36図)

位置 A区北東部 重複関係 RA324(古), RA329(古) 平面形 隅丸方形

規模 東西4.3m以上(擾乱により削平), 南北5.4m, 深さ0.15m

カマド方向 W115°N, 西カマド, 長い煙道(1.5m) カマド 両側残存, 焚き口の焼け面あり

床の状態 床構築土あり

出土遺物(第143図, 第32表) 土師器杯・甕, あかやき土器杯・甕, 須恵器杯・甕

時期 平安時代(9世紀)



RA323 (第37図)

位置 A区北東部 重複関係 RA329 (古) 平面形 隅丸方形

規模 東西32～35m, 南北40m, 深さ0.05～0.1m

カマド方向 W175°N, 西カマド, 長い煙道(1.6m) カマド 両袖残存(芯材に土器使用)

床の状態 床構築土あり 出土遺物 (第143図, 第32表) 土師器環・甕 時期 奈良時代(8世紀)

RA324 (第36図)

位置 A区北東部 重複関係 RA322 (新), RA327 (古) 平面形 隅丸方形?

規模 東西245m以上, 南北0.7m以上 カマド方向 不明

床の状態 床構築土あり

出土遺物 (第143図, 第32表) 土師器環・甕 時期 奈良時代(8世紀)

RA325 (第38図)

位置 A区北東部 重複関係 RA330 (古), RG25801 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 北西-南東255m以上, 北東-南西20m以上, 深さ0.15m

カマド方向 不明 床の状態 床構築土あり

出土遺物 (第143図, 第32表) 土師器環(ロクロ・非ロクロ)・甕, あかやき土器環・甕, 須恵器環・甕

時期 平安時代(9世紀)

RA326 (第39図)

位置 A区北東部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 東西325m, 南北33m, 深さ0.08m カマド方向 不明(西カマド?)

床の状態 床構築土あり 出土遺物 土師器環・甕, あかやき土器環 時期 平安時代(9世紀)

RA327 (第38図)

位置 A区北東部 重複関係 RA324 (新), RA328 (古), RA330 (古), RG25801 (新)

平面形 隅丸方形 規模 東西31m, 南北31m以上, 深さ0.2m

カマド方向 E105°S, 東カマド, 長い煙道(1.4m) カマド 両袖残存, 焚き口に焼け面

床の状態 床構築土あり

出土遺物 (第143図, 第32表) 土師器環・甕, あかやき土器環・甕, 須恵器環・甕

時期 平安時代(9世紀)

RA328 (第38図)

位置 A区北東部 重複関係 RA327 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 東西26m, 南北1.8m以上, 深さ0.15m

カマド方向 W190°S, 西カマド, 長い煙道(1.18m) カマド 左袖残存 床の状態 床構築土あり

時期 平安時代(9世紀)

**RA329** (第40図)

位置 A区北東部 重複関係 RA322 (新), RA323 (新) 平面形 隅丸方形  
規模 東西38m, 南北36m, 深さ0.05m  
カマド方向 E115° S, 東カマド, 長い煙道 (1.1m) カマド 両袖残存, 焚き口に焼け面あり  
床の状態 中央北寄りに灰跡の焼け面あり, 硬化面あり, 床構築土あり  
出土遺物 (第143図, 第32表) 土師器坏・壺, あかやき土器甕, 須恵器坏  
時期 平安時代 (9世紀)

**RA330** (第38図)

位置 A区北東部 重複関係 RA325 (新), RA327 (新), RG25801 (新)  
平面形 隅丸方形? 規模 北西-南東17m以上, 北東-南西11m以上, 深さ0.1m  
カマド方向 不明 床の状態 床構築土あり 出土遺物 土師器甕  
時期 平安時代 (9世紀)

**RA331** (第41図)

位置 A区北東部 重複関係 RA333 (古) 平面形 隅丸長方形?  
規模 東西31.5m, 南北21m以上, 深さ0.05m カマド方向 不明 床の状態 床構築土あり  
時期 平安時代 (9世紀)?

**RA332a・b** (第41図)

位置 A区北東部 重複関係 なし 平面形 隅丸長方形  
規模 南北32~34m, 東西約45m, 深さ0.1~0.15m  
カマド方向 カマドa (新): S30° W, 南カマド, 長い煙道 (1.05m)  
カマドb (古): W15° N, 西カマド, 長い煙道 (約1.2m)  
カマド カマドa (新): 右袖残存, 焚き口に焼け面あり カマドb (古): 焚き口に焼け面あり  
床の状態 床構築土あり  
出土遺物 (第144図, 第32表) 土師器坏 (ロクロ・非ロクロ)・鉢・壺, あかやき土器坏・高台付坏・壺, 須恵器坏 時期 奈良時代 (8世紀)

**RA333** (第41図)

位置 A区北東部 重複関係 RA331 (新) 平面形 隅丸方形?  
規模 東西32m以上, 南北21m以上, 深さ0.05m  
カマド方向 不明 床の状態 床構築土あり 時期 平安時代 (9世紀)?

**RA334** (第42図)

位置 A区北東部 重複関係 なし 平面形 隅丸長方形  
規模 東西25~30.5m, 南北45m, 深さ0.05~0.08m カマド方向 不明 (東カマド?)  
出土遺物 土師器甕, 須恵器長頸瓶 時期 平安時代 (9世紀)?

RA335 (第46図)

位置 A区南東部 重複関係 RA342 (新), RG329 (古), ビット (新) 平面形 隅丸方形  
規模 南北35m, 東西3.65m, 深さ0.3m カマド方向 不明 床の状態 床構築土あり  
出土遺物 (第143-144図, 第32表) 土師器坏(非ロクロ)・片口鉢・甕・球膺甕, あかやき土器坏, 須恵器甕・長頸瓶, 砥石(軽石), 刀子  
時期 奈良時代(8世紀)

RA336 (第43図)

位置 A区南東部 重複関係 RA222 (古), RA327 (新), RA328 (新) 平面形 隅丸方形  
規模 北東-南西4.65m, 北西-南東4.6m以上, 深さ0.5m  
カマド方向 W25°N, 北西カマド, 長い煙道(1.6m) カマド 右袖残存 床の状態 床構築土あり  
出土遺物 (第152図, 第36表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏甕, 須恵器坏・甕, フイゴ羽口  
時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

RA337 (第41図)

位置 A区南東部 重複関係 RD853 (古), RG325 (新) 平面形 隅丸方形  
規模 北東-南西3.1m, 北西-南東3.1m, 深さ0.3m  
カマド方向 S18°W, 南カマド, 長い煙道(1.0m) カマド 両袖残存  
出土遺物 (第144図, 第32表) 土師器坏(ロクロ・非ロクロ)・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕  
時期 平安時代(9世紀)

RA338 (第45図)

位置 A区南東部 重複関係 RA340 (古), RZ025 (新) 平面形 隅丸方形  
規模 北東-南西3.5m以上, 北西-南東3.2m, 深さ0.45m  
カマド方向 不明 床の状態 硬化面あり, 床構築土あり  
出土遺物 (第143図, 第32表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕, 砂底土器  
時期 平安時代(9世紀)

RA340 (第45図)

位置 A区南東部 重複関係 RA338 (新), RD862 (新), ビット (新) 平面形 隅丸方形  
規模 北西-南東2.7m以上, 北東-南西3.75m, 深さ0.2~0.6m  
カマド方向 W21.5°N, 西カマド, 長い煙道(1.2m) カマド 両袖残存, 焚き口に焼け面あり  
床の状態 硬化面あり, 床構築土あり 出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 軽石  
時期 平安時代(9世紀)

RA341 (第47図)

位置 A区南東部 重複関係 RA336 (新), RG327 (新) 平面形 隅丸長方形  
規模 南北2.6m, 東西3.1m, 深さ0.3m カマド方向 N20.5°E, 北カマド, 長い煙道(0.9m)

出土遺物 (第144図, 第32表) 土師器坏(ロクロ・非ロクロ)・高台付坏(ロクロ)・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕, 礫石 時期 奈良時代(8世紀)

RA342 (第46図)

位置 A区南東部 重複関係 RA335 (古), RA343 (古), ビット (新) 平面形 隅丸長方形  
規模 北西-南東4.25m, 北東-南西4.7m, 深さ0.3~0.4m  
カマド方向 W23.0° N, 北西カマド, 長い煙道(1.4m) カマド 両袖残存, 焚き口に焼け面あり  
床の状態 硬化面あり, 床構築土あり 時期 平安時代(9世紀)

RA343 (第46図)

位置 A区南東部 重複関係 RA342 (新), RD866 (新) 平面形 隅丸長方形  
規模 北西-南東3.15m, 北東-南西3.5m, 深さ0.5m  
カマド方向 不明(北西カマド?) 床の状態 硬化面あり, 床構築土あり  
出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏 時期 平安時代(9世紀)

RA344 (第48図)

位置 A区南東部 重複関係 RZ026 (新), ビット (新) 平面形 隅丸方形  
規模 北西-南東3.5m, 北東-南西3.55m, 深さ0.25m  
カマド方向 W24.0° N, 北西カマド, 長い煙道(1.5m) カマド 焚き口に焼け面あり  
出土遺物 土師器坏(非ロクロ)・甕, 鉄製品(刀子) 時期 奈良時代(8世紀)

RA345 (第49図)

位置 A区中央部 重複関係 RA360 (古) 平面形 隅丸方形?  
規模 北西-南東6.85m, 北東-南西4.2m以上(調査区外), 深さ0.25m  
カマド方向 N33.0° W, 北西カマド, 長い煙道(1.65m) カマド 両袖残存, 焚き口に焼け面あり  
床の状態 硬化面あり, 床構築土あり  
出土遺物 (第145-152図, 第33-36表) 土師器坏(非ロクロ)・甕, 球胴甕, フイゴ羽目, 刻書土器「×」  
時期 奈良時代(8世紀)

RA346 (第50図)

位置 A区中央部 重複関係 RG324 (新) 平面形 隅丸方形  
規模 東西約2.5m, 南北2.26m, 深さ0.3m カマド方向 不明  
出土遺物 (第145図, 第33表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕, 礫石(軽石)  
時期 平安時代(9世紀)

RA347 (第51図)

位置 A区中央部 重複関係 RA356 (古), RA357 (古), RA361 (古), RG332 (新)  
平面形 隅丸長方形 規模 北西-南東4.9m, 北東-南西5.75m, 深さ0.1m

カマド方向 煙道方向 W60° N, 西カマド, 長い煙道 (2.1 m) 辺長方向 W350° N

カマド 両袖残存, 焚き口に焼け面あり 床の状態 硬化面あり, 床構築土あり

埋土 床面付近に炭化材が残存

出土遺物 (第146・152図, 第33・36表) 土師器杯・高台付杯・甕, あかやき土器杯・甕, 須恵器杯・甕・瓶, フイゴ羽口, 軽石, 刻背土器「×」 時期 平安時代 (9世紀)

#### RA348 (第52図)

位置 A区中央部 重複関係 RA353 (古), RA357 (古) 平面形 隅丸方形

規模 南北3.1 m, 東西3.1 m, 深さ0.1 m カマド方向 S135° W, 南カマド, 長い煙道 (1.5 m)

床の状態 硬化面あり, 床構築土あり

出土遺物 (第145図, 第33表) 土師器杯・甕, あかやき土器杯・甕, 須恵器杯・甕, 紙石 (軽石)

時期 平安時代 (9世紀)

#### RA349 (第55図)

位置 A区中央部 重複関係 RA350 (古), RG332 (新), RG333 (新) 平面形 隅丸方形

規模 北東-南西4.1 m, 北西-南東4.2 m, 深さ0.2 m

カマド方向 E240° N, 北東カマド, 長い煙道 (1.55 m)

カマド 右袖残存 床の状態 床構築土あり 貯蔵穴 カマド右脇に1基 (pit1)

出土遺物 (第146図, 第33表) 土師器杯・甕, あかやき土器杯・甕, 須恵器杯・脚付盤皿

時期 平安時代 (9世紀)

#### RA350 (第55図)

位置 A区中央部 重複関係 RA349 (新) 平面形 隅丸方形

規模 東西2.1 m以上, 南北3.4 m, 深さ0.15 m カマド方向 不明 床の状態 床構築土あり

出土遺物 (第146図, 第33表) 土師器甕・球割甕, あかやき土器高台付杯・甕, 須恵器杯, 紙石

時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

#### RA351 (第53図)

位置 A区中央部 重複関係 RG326 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 北東-南西2.9 m以上, 北西-南東2.4 m以上, 深さ0.05 m

カマド方向 不明 (北東カマド?) カマド 焚き口に焼け面あり 床の状態 床構築土あり

出土遺物 土師器杯 (非ロクロ)・甕, あかやき土器甕 時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

#### RA352 (第54図)

位置 A区中央部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 東西2.5 m, 南北約2.6 m, 深さ0.1 m カマド方向 E55° N, 東カマド, 長い煙道 (1.3 m)

出土遺物 土師器杯・甕, あかやき土器杯・甕, 須恵器杯・甕・長頸瓶, 砂底土器, 軽石

時期 平安時代 (9世紀)

RA353 (第52図)

位置 A区中央部 重複関係 RA348 (新) 平面形 隅丸長方形

規模 北西-南東29m以上, 北東-南西約21m, 深さ0.05~0.1m

カマド方向 E35° S, 南東カマド, 長い煙道 (1.0m)

出土遺物 (第147図, 第33表) 土師器杯・甕, あかやき土器杯・甕, 高台付杯・甕, 須恵器杯・甕, 鉄製品

時期 平安時代 (9世紀)

RA354 (第56図)

位置 A区中央部 重複関係 RG326 (新) 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東41m, 北東-南西34m以上, 深さ0.25m

カマド方向 E35° S, 南東カマド, 長い煙道 (1.4m) カマド 内袖残存

出土遺物 (第146図, 第33表) 土師器杯・甕・球罎甕, あかやき土器杯・甕, 須恵器杯・甕, 長頸瓶

時期 平安時代 (9世紀)

RA356a・b (第57図)

位置 A区中央部 重複関係 RA347 (新), RA357 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 北西-南東3.85m以上, 北東-南西5.75m, 深さ0.15m

カマド方向 カマドa (新): W24° N, 北西カマド, 長い煙道 (1.5m)

カマドb (古): W37° N, 北西カマド, 長い煙道 (約1.4m)

カマド カマドa (新): 両袖残存, カマド手前に焼け面あり カマドb (古): カマド手前付近に焼け面あり

貯蔵穴 カマドa右袖脇に1基 (pit1) 床の状態 床構築上あり

出土遺物 (第147-149図, 第33-34表) 土師器杯, あかやき土器杯・甕, 須恵器杯・甕, 磁石 (軽石)

時期 平安時代 (9世紀)

RA357 (第57図)

位置 A区中央部 重複関係 RA347 (新), RA348 (新), RA356 (古), RA361 (古)

平面形 隅丸長方形 規模 南北4.0m, 東西3.2m, 深さ0.1m

カマド方向 煙道方向: S15° E, 南カマド, 長い煙道 (1.2m) 辺長方向: S25° W

カマド 焚口に焼け面あり 貯蔵穴 カマド左袖脇に1基 (pit1)

床の状態 床構築上あり 柱穴 ビット1口

出土遺物 (第147図, 第33表) 土師器杯・高台付杯, あかやき土器杯・甕, 須恵器杯・甕, 長頸瓶

時期 平安時代 (9世紀)

RA359 (第56図)

位置 A区中央部 重複関係 RG326 (新) 平面形 隅丸長方形?

規模 北西-南東4.0m, 北東-南西2.6m以上, 深さ0.05m カマド方向 不明

出土遺物 土師器杯・甕, あかやき土器杯・甕, 須恵器杯・甕

時期 平安時代 (9世紀)

**RA360** (第58図)

位置 A区中央部 重複関係 RA345 (新), RG324 (新)

平面形 隅丸方形 規模 東西24m, 南北23m, 深さ0.15m

カマド方向 W34°N, 北西カマド, 長い煙道(11m)

出土遺物 (第147図, 第34表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏

時期 平安時代(9世紀)

**RA361** (第57図)

位置 A区中央部 重複関係 RA347 (新), RA348 (新), RA357 (新)

平面形 隅丸方形? 規模 東西18m以上, 南北10m以上, 深さ0.15m カマド方向 不明

出土遺物 (第147図, 第33表) 土師器坏(非ロクロ)・甕

時期 奈良時代(8世紀)

**RA362** (第59図)

位置 A区中央部 重複関係 RE047 (新), RG25801 (新)

平面形 隅丸方形? 規模 北西-南東43m以上, 北東-南西25m以上, 深さ0.1m

カマド方向 不明 出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏・高台付坏, 須恵器坏・甕

時期 平安時代(9世紀)

**RA363** (第60図)

位置 A区中央部 重複関係 なし 平面形 隅丸長方形?

規模 北西-南東30m, 北東-南西24m, 深さ0.1m カマド方向 不明

時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

**RA364** (第61図)

位置 A区中央部 重複関係 RA356 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 北東-南西19m以上, 北西-南東2.45m, 深さ0.1m カマド方向 不明

時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

**RA366a・b** (第62図)

位置 A区中央部 重複関係 RA381 (古), RG335 (新), RG337 (新), RG338 (新)

平面形 隅丸方形 規模 東西4.6m, 南北4.9m, 深さ0.1m

カマド方向 カマドa (新): E130°N, 東カマド, 長い煙道(1.6m)

カマドb (古): W260°N, 北西カマド, 長い煙道?(0.2m以上)

カマド カマドa (新): 右袖残存, 焚き口の焼け面あり カマドb (古): 焚き口の焼け面あり

床の状態 床褥茶土あり 柱穴 ビット11口

出土遺物 (第147図, 第34表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器坏・甕・瓶

時期 平安時代(9世紀)

**RA367** (第63図)

**位置** A区中央部 **重複関係** RA368 (新), RD873 (新), RG335 (新), RG336 (新)  
**平面形** 隅丸方形 **規模** 北西-南東3.1m, 北東-南西3.3m, 深さ0.15m  
**カマド方向** N26.0° W, 北西カマド, 長い煙道 (1.3m)  
**カマド** 右袖残存・焚口に焼け面あり **貯蔵穴** カマド右袖端に2基 (pit1・2)  
**床の状態** 床構築土あり **出土遺物** (第147図, 第34表) 土師器甕・球洞甕 **時期** 奈良時代 (8世紀)

**RA368** (第64図)

**位置** A区中央部 **重複関係** RA367 (古), RA382 (古), RG335 (新), RG336 (新)  
**平面形** 隅丸長方形 **規模** 東西2.7m, 南北2.2m, 深さ0.1m  
**カマド方向** E21.0° N, 東カマド, 長い煙道 (1.25m) **カマド** 右袖残存・焚口に焼け面あり  
**出土遺物** 土師器甕, 砂底土器 **時期** 平安時代 (9世紀)

**RA369 a・b** (第65図)

**位置** A区中央部 **重複関係** RD886 (新), RG335 (新), RG25801 (新), ビット (新)  
**平面形** 隅丸方形 **規模** 北西-南東3.5m, 北東-南西3.6m, 深さ0.35m  
**カマド方向** カマドa (新): W43.0° N, 北西カマド, 長い煙道 (1.5m)  
カマドb (古): E42.0° N, 北東カマド, 長い煙道 (1.0m以上)  
**カマド** カマドa (新): 両袖残存, 焚口に焼け面あり  
**床の状態** 周溝あり 床構築土あり **出土遺物** 土師器杯・甕, あかやき土器杯・甕, 須恵器杯  
**時期** 平安時代 (9世紀)

**RA370** (第66図)

**位置** A区中央部 **重複関係** ビット (新) **平面形** 隅丸方形  
**規模** 北西-南東3.1m, 北東-南西3.1m, 深さ0.25m  
**カマド方向** N25.0° W, 北西カマド, 長い煙道 (1.15m)  
**カマド** 両袖残存, 焚口に焼け面あり **貯蔵穴** カマド右袖端に1基 (pit1) **床の状態** 床構築土あり  
**出土遺物** (第148図, 第34表) 土師器杯 (非ロクロ)・甕・球洞甕, 刻書土器「×」  
**時期** 奈良時代 (8世紀)

**RA371** (第67図)

**位置** A区南西部 **重複関係** なし **平面形** 隅丸方形  
**規模** 北西-南東3.1m, 北東-南西3.25m, 深さ0.3m  
**カマド方向** N25.0° W, 北西カマド, 長い煙道 (1.4m)  
**カマド** 両袖残存, 焚口に焼け面あり **床の状態** 床構築土あり  
**出土遺物** (第148図, 第34表) 土師器杯 (非ロクロ)・甕・球洞甕, 磁石, 軽石  
**時期** 奈良時代 (8世紀)



RA372 (第68図)

位置 A区南西部 重複関係 なし 平面形 隅丸長方形

規模 東西37m, 南北42m, 深さ0.4m

カマド方向 W110°N, 西カマド, 長い煙道(1.5m)

カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり 床の状態 床構築土あり

出土遺物 (第148-152図, 第34・36表) 土師器坏(非ロクロ)・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏, 土製品(紡錘車・フイゴ羽口), 砥石(軽石) 時期 奈良時代(8世紀)

RA373 (第69図)

位置 A区南西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東40m, 北東-南西40m, 深さ0.2m

カマド方向 W34.5°N, 北西カマド, 長い煙道(1.55m) カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり

床の状態 硬化面あり, 床構築土あり, 東部に焼け面2箇所あり

出土遺物 (第148図, 第34表) 土師器坏(非ロクロ)・鉢・壺・球胴壺, あかやき土器坏, 軽石, 鉄製品(刀子) 時期 奈良時代(8世紀)

RA374 (第70図)

位置 A区市西部 重複関係 RD881(新), RG347(新) 平面形 隅丸方形?

規模 南北3.3m, 東西20m以上, 深さ0.4m カマド方向 不明 床の状態 床構築土あり

出土遺物 (第149-152図, 第34・36表) 土師器坏(非ロクロ)・壺・球胴壺・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏, 土製品(紡錘車), 軽石 時期 奈良時代(8世紀)

RA375 (第75図)

位置 A区北西部 重複関係 RG324(新), RG25801(新), ビット(新) 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東約63m, 北東-南西62m, 深さ0.1m カマド方向 不明(北西カマド?)

出土遺物 土師器坏・壺, あかやき土器坏, 軽石 時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

RA377 (第71図)

位置 A区中央部 重複関係 RA356(新), RD868(古), RG333(新), RG335(新), RG336(古), ビット(新) 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東40m, 北東-南西28m以上, 深さ0.1m

カマド方向 W37.5°N, 北西カマド, 長い煙道(1.65m) カマド 焚口に焼け面あり

床の状態 床構築土あり 出土遺物 土師器壺 時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

RA378 (第62図)

位置 A区中央部 重複関係 RA381(古), RG339(新) 平面形 不明(煙道のみ)

規模 不明(煙道のみ) カマド方向 S95°E, 南カマド, 長い煙道?(1.1m以上)

出土遺物 (第149図, 第34表) 須恵器坏 時期 平安時代(9世紀)

**RA379** (第73図)

**位置** A区中央部 **重複関係** RA380(古), RA383(新), ビット(新) **平面形** 隅丸長方形?  
**規模** 東西約20m, 南北30m, 深さ0.05m **カマド方向** E20°N, 東カマド, 長い煙道(1.3m)  
**カマド** 焚口に焼け面あり **出土遺物** (第149図, 第34表) 須恵器環・甕 **時期** 平安時代(9世紀)

**RA380** (第74図)

**位置** A区中央部 **重複関係** RA379(新), RA383(新), RG338(古)  
**平面形** 隅丸方形? **規模** 北東-南西約6.0m, 北西-南東2.6m以上, 深さ0.05m  
**カマド方向** 不明 **柱穴** 2口  
**出土遺物** (第149図, 第35表) 土師器環・埴・鉢・甕, あかやき土器環, 須恵器環  
**時期** 奈良・平安時代(8-9世紀)

**RA381** (第76図)

**位置** A区中央部 **重複関係** RA366(新), RA378(新), RG324(新), RG339(新),  
 ビット(新) **平面形** 隅丸方形?  
**規模** 北西-南東5.6m, 北東-南西4.8m以上, 深さ0.2m  
**カマド方向** W33.0°N, 北西カマド, 長い煙道(1.7m) **カマド** 阿袖残存, 焚口に焼け面あり  
**貯蔵穴** 床面南部に1基(pit4) **床の状態** 硬化面あり, 床溝築上あり  
**柱穴** 主柱穴3口, その他ビット4口

	Pit5	Pit6	Pit7
直径(m)	0.3~0.4	0.3	0.35
深さ(m)	0.35	0.45	0.1(削平)
平面形	不整形円形	不整形円形	不整形円形
柱痕跡	あり	あり	なし

**出土遺物**(第149図, 第34表) 土師器環(非ロクロ)・大形環(非ロクロ)・高台付環(非ロクロ)・甕・球胴甕,  
 須恵器甕, 軽石 **時期** 奈良時代(8世紀)

**RA382** (第77図)

**位置** A区中央部 **重複関係** RA368(新), RG335(新), RG336(新) **平面形** 隅丸方形?  
**規模** 東西2.3m, 南北1.7m以上, 深さ0.05m **カマド方向** E9.0°N, 東カマド, 長い煙道(1.35m)  
**時期** 奈良・平安時代(8-9世紀)

**RA383** (第72図)

**位置** A区中央部 **重複関係** RA379(古), RA380(古), RG338(新) **平面形** 隅丸方形  
**規模** 東西2.5m, 南北2.6m, 深さ0.15m **カマド方向** E10.0°S, 東カマド, 長い煙道(約1.5m)  
**カマド** 阿袖残存, 芯材に礎使用, 焚口に焼け面あり **床の状態** 硬化面あり, 床溝築上あり  
**出土遺物** (第149図, 第35表) 土師器環・甕, あかやき土器環, 須恵器環・甕  
**時期** 平安時代(9世紀)

RA384 (第65図)

位置 A区中央部 重複関係 RG335 (新), RG339 (新), ビット (新)  
平面形 隅丸方形 規模 北西-南東1.9 m, 北東-南西2.0 m, 深さ0.05 m  
カマド方向 W31.0° N, 北西カマド, 長い煙道 (約0.7 m以上) 床の状態 馬溝あり, 床構築土あり  
時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

RA385 (第78図)

位置 A区中央部 重複関係 RG324 (新), RG340 (新) 平面形 隅丸方形  
規模 東西3.3 m, 南北3.5 m, 深さ0.25 m  
カマド方向 辺長W19.0° N, 西カマド (煙道はRG324により削平)  
カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり 貯蔵穴 床面東部に1基 (pit1) 出土遺物 土師器甕  
時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

RA386 (第79図)

位置 A区南西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形  
規模 東西2.9 m, 南北3.2 m, 深さ0.45 m カマド方向 W16.0° N, 西カマド, 長い煙道 (約1.3 m)  
カマド 両袖残存, 志村に樫使用, 焚口に焼け面あり 床の状態 硬化面あり, 床構築土あり  
出土遺物 土師器甕・球須甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器甕, 軽石, 火打石? (メノウ剥片)  
時期 平安時代 (9世紀)

RA387 (第80図)

位置 A区南西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形?  
規模 北西-南東1.3 m以上, 北東-南西3.2 m以上, 深さ0.05 m カマド方向 不明  
床の状態 床構築土あり 出土遺物 砥石 時期 平安時代 (9世紀)

RA389 (第81図)

位置 A区南西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形  
規模 北西-南東2.1 m, 北東-南西2.2 m, 深さ0.45 m カマド方向 不明  
出土遺物 土師器甕, あかやき土器坏・甕, 砥石 時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

RA390 (第82図)

位置 A区中央部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形? (調査区外)  
規模 北西-南東3.1 m, 北東-南西1.7 m以上, 深さ0.05 m カマド方向 不明  
床の状態 床構築土あり 時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

RA391 (第68図)

位置 A区南西部

※25次調査では煙道先端のみの精査であり, 31次調査で全体を検出しているため, 詳細は後述。

RA222 (第43図)

位置 A区南東部 重複関係 RA336 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 東西1.8m以上(調査区外)、深さ0.35m

※原埋文センターによる18次調査RA222の一部

・竪穴状遺構

RE046 (第44図)

位置 A区南東部 重複関係 RG324 (新) 平面形 隅丸長方形

規模 東西2.55m、南北1.65m、深さ0.25～0.3m

出土遺物 (第150図、第35表) 土師器環・甕、あかやき土器環、須恵器環・甕 時期 古代以降

RE047 (第59図)

位置 A区北東部 重複関係 RA362 (古)、RG25801 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 東西3.7m、南北3.65m、深さ0.5m

出土遺物 (第150図、第35表) 土師器環・甕、あかやき土器環、須恵器環・甕 時期 古代以降

RE048 (第83図)

位置 A区南西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東3.0m、北東-南西2.6m、深さ0.35m 底面の状態 ビット5口 時期 古代以降

・土坑墓

RZ025 (第45図)

位置 A区南東部 重複関係 RA338 (古) 平面形 隅丸長方形

規模 南北3.15m、東西2.2m、深さ0.9～1.0m 時期 古代以降

RZ026 (第48図)

位置 A区南東部 重複関係 RA344 (古) 平面形 隅丸長方形に近い長楕円形

規模 長軸3.4m、短軸1.9m、深さ0.65～0.8m 底面の状態 北側の段差部分に焼け面あり

出土遺物 土師器環・甕、あかやき土器環・甕、須恵器環・甕 時期 古代以降

・土器埋設遺構

RP001 (第31図)

位置 A区中央部 重複関係 なし 平面形 不整形 規模 径0.42m

状態 壺形土器(第165図512)が正位に埋設され、上部は削平されたと考えられる 時期 弥生時代前期?

#### ・土坑

##### RD852～914 (第34・35図)

A区内では62基の土坑を確認しており、各土坑の概要は第7・8表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。一部の埋土より土師器、あかやき土器、須恵器、フイゴ羽目、碁石、火打石(メノウ)などが出土している(第150図・第35表)。

#### ・溝跡

##### RG322～336・338～352・354・25801 (第34・35図)

A区内では、古代以降の溝跡28条、中世以降の大溝跡1条を確認しており、各溝跡の概要は第9表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。一部の埋土より土師器、あかやき土器、須恵器、フイゴ羽目、鉄滓、鉄製品、磁石、近世陶磁器、馬歯骨などが出土している(第150・151図・第35表)。

#### ・ピット

A区では、多数のピット(柱穴跡)を確認している。個別の概要については紙面の都合により省略した。これらの中には、中世以降の遺物跡を構成するものが含まれている可能性もあるが、遺構の重複が多いことから詳細な検討は困難であった。

#### ・縄文土器・弥生土器・統細文土器

25次調査A・B区の遺構埋土及び検出面等から、縄文時代晩期土器(大洞A式期)、弥生時代前期(山王Ⅲ層式期)・後期土器(赤穴式期)、北海道系の統細文土器(後北式C2-D式期)が出土している(第165・166図、第46表)。

#### (8) 第27次調査(平成12年度)

今次調査区は、遺跡の北部に位置し、盛岡南都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は2513㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。調査区については、3地点に分かれていることから、西調査区をA区、東調査区をB区、南調査区をC区とした(第84・101図)。なお、A区については平成11年度実施の第25次調査B区と連続し、検出遺構も一連のものが多いことから、遺構・遺物の詳細をこの中で記述することとする。全地区を合わせた遺構数は、奈良・平安時代の竪穴住居21棟、古代以降の土坑23基・溝跡30条・ピット多数、近世以降の土坑墓2基である。なお、現地調査の図面・写真資料の大部分が罹災・焼失していることから、遺構図の提示と事実記載は可能な範囲までとした。

#### A区(西調査区、第25次調査B区)

##### a. 遺構と遺物

調査の結果、25次調査B区より、奈良・平安時代の竪穴住居跡8棟(RA392～399)、古代以降の土坑6基(RD915～918・920・921)・溝跡4条(RG348～351)・ピット多数、27次調査A区より、奈良・平安時代の竪穴住居跡6棟(RA462～467)、古代以降の土坑16基(RD1039～1054)・溝跡11条(RG348・349・351・359～366)・ピット多数、近世以降の土坑墓2基(RZ029・030)を検出した(第85・86図)。

・ 竪穴住居跡

RA392 (第87図)

位置 25次B区南部 重複関係 RA393 (古) 平面形 隅丸方形?

規模 東西13m以上 (調査区外), 南北34m以上 (調査区外), 深さ0.3m

カマド方向 W80° S, 西カマド, 長い煙道 (1.1m) カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり 柱穴 1口

出土遺物 (第154-155図, 第37-38表) 土師器坏 (ロクロ, 非ロクロ)・甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器甕, 土製品 (紡錘車) 時期 平安時代 (10世紀)

RA393 (第88図)

位置 25次B区南部 重複関係 RA392 (新), RA394 (古), ビット (新) 平面形 隅丸方形?

規模 北東-南西245m, 北西-南東1.5m以上 (調査区外), 深さ0.6m

カマド方向 E285° N, 北東カマド, 長い煙道 (1.35m)

カマド 両袖残存, 芯材に曝使用, 焚口に焼け面あり 床の状態 硬化面あり, 床構築土あり

出土遺物 (第154図, 第37表) 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕・小皿, 須恵器坏・甕

時期 平安時代 (10世紀)

RA394 (第89図)

位置 25次B区南部 重複関係 RA393 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 南北1.25m以上 (調査区外), 東西4.1m以上 (調査区外), 深さ0.5m カマド方向 不明

出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏・高台付坏 時期 平安時代 (9世紀)

RA395 (第92図)

位置 25次B区中央部 重複関係 RG350 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 南北2.5m以上, 東西1.1m以上 (調査区外), 深さ0.1m カマド方向 不明

時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

RA396 (第90図)

位置 25次B区北部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形?

規模 東西3.2m以上 (調査区外), 南北6.8m, 深さ0.5m

カマド方向 W185° N, 西カマド, 長い煙道 (1.7m) カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり

床の状態 硬化面あり, 床構築土あり 貯蔵穴 カマド左袖部に2基 (pit. 2)

出土遺物 (第154-155図, 第37-38表) 土師器坏 (非ロクロ)・大形坏 (非ロクロ)・甕・球割甕, あかやき土器坏・甕, 須恵器甕, 紡錘車1点, 鉄釘?1点 時期 奈良時代 (8世紀)

RA397 (第91図)

位置 25次B区中央部 重複関係 RD915 (新), ビット (新) 平面形 隅丸長方形

規模 北西-南東3.0m, 北東-南西4.0m, 深さ0.05m

カマド方向 N410° W, 北西カマド, 長い煙道 (1.35m) 時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

RA398 (第93図)

位置 25次B区南部・27次A区南東部 重複関係 RA462 (新), RG350 (新)  
平面形 隅丸方形 規模 北西-南東3.35 m, 北東-南西3.5 m, 深さ0.2 m  
カマド方向 W410° N, 北西カマド, 長い煙道(1.2 m) カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり  
床の状態 硬化面あり, 床構築土あり 貯蔵穴 カマド右袖脇に1基 (pit1) 柱穴 1口  
出土遺物 (第154図, 第37表) 土師器坏(非ロクロ)・球洞甕, あかやき土器坏・甕, 紡錘車  
時期 奈良時代(8世紀)

RA399 (第94図)

位置 25次B区北部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形?  
規模 北西-南東2.4 m以上(調査区外), 北東-南西3.0 m, 深さ0.35 m  
カマド方向 W270° N, 北西カマド, 長い煙道(1.45 m) カマド 右袖残存, 焚口に焼け面あり  
床の状態 床構築土あり 出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏・甕  
時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

RA462 (第95図)

位置 27次A区南東部 重複関係 RA398 (古), RG350 (新)  
平面形 隅丸方形 規模 北東-南西3.2 m, 北西-南東3.5 m, 深さ0.2 m  
カマド方向 W345° S, 南西カマド, 長い煙道(0.6 m) カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり  
床の状態 床構築土あり 貯蔵穴 カマド右袖脇に1基 (pit1) 出土遺物 土師器甕, あかやき土器坏  
時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

RA463 (第96図)

位置 27次A区中央部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形  
規模 東西4.2 m, 南北4.2 m, 深さ0.45 m  
カマド方向 W220° N, 西カマド, 長い煙道(トンネル状, 1.2 m) カマド 両袖残存  
床の状態 厨漣あり 貯蔵穴 床面南部に1基 (pit1) 出土遺物 土師器坏・甕, 白色粘土  
時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

RA464 (第97図)

位置 27次A区南部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形  
規模 北西-南東4.2 m, 北東-南西4.5 m, 深さ0.4 m  
カマド方向 N305° W, 北西カマド, 長い煙道(1.25 m) カマド 両袖残存  
床の状態 床構築土あり 貯蔵穴 カマド左袖脇に1基 (pit1) 出土遺物 土師器坏・甕  
時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

RA465 (第98図)

位置 27次A区南部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 南北2.6m, 東西2.6m, 深さ0.2m

カマド方向 N170° W, 北カマド, 長い煙道(1.1m) カマド 左袖残存, 焚口に焼け面あり

床の状態 床構築土あり 出土遺物 土師器甕, あかやき土器杯 時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

#### RA466 (第99図)

位置 27次A区南部 重複関係 RD1050 (新) 平面形 隅丸方形

規模 東西3.5m, 南北3.6m, 深さ0.3m カマド方向 W130° N, 西カマド, 長い煙道(約1.1m)

カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり 床の状態 床構築土あり 柱穴 2口

時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

#### RA467 (第100図)

位置 27次A区南部 重複関係 RG349 (新), ビット (新) 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東3.6m, 北東-南西3.8m, 深さ0.15m

カマド方向 N405° W, 北西カマド, 長い煙道(1.3m)

カマド 両袖残存, 芯材に土器使用, 焚口に焼け面あり 床の状態 周溝, 床構築土あり

出土遺物 (第156図, 第39-40表) 土師器杯(非ロクロ)・甕, 紡錘車 時期 奈良時代(8世紀)

#### ・土坑墓

##### RZ029 (第85図)

位置 27次A区北部 重複関係 RZ030 平面形 不整長方形

規模 長辺1.8m, 短辺1.7m 出土遺物 (第169図) 寛永通宝(新寛永, 文銭), 馬歯骨

時期 近世以降

##### RZ030 (第85図)

位置 27次A区北部 重複関係 RZ029 平面形 不整楕円形

規模 長軸1.7m, 短軸1.1m 出土遺物 なし 時期 近世以降

#### ・土坑

##### RD915~918・920・921・1039~1054 (第85-86図)

25次調査B区では6基, 27次調査A区では16基の土坑を確認しており, 各土坑の概要は第10-12表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。一部の埋土より土師器, あかやき土器, 鉄滓などが出土している。

#### ・溝跡

##### RG348~351・359~366 (第85-86図)

25次調査B区では4条, 27次調査A区では11条(うち3条は同一遺構)の溝跡を確認しており, 各溝跡の概要は第11-13表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。一部の埋土より土師器, あかやき土器, 須恵器, 埴器, 鉄滓などが出土している(第156図・第42表)。



## ・ピット

25次調査B区・27次調査A区では多数のピット（柱穴跡）を確認している。個別の概要については紙面の都合により省略した。これらの中には、中世以降の建物跡を構成するものが含まれている可能性もあるが、遺層の重複や覆災で不明な部分が多いことから詳細な検討は困難であった。

## ・縄文土器・弥生土器

27次調査A区の遺構埋土及び検出面等から、縄文時代晩期土器（大洞A式期）、弥生時代後期土器（赤穴式期）が出土している（第167・168図、第47表）。

## B区（東調査区）

### a. 遺構と遺物

調査の結果、B区より奈良・平安時代の竪穴住居跡15棟（RA482～496）、古代以降の土坑7基（RD1072～1078）・溝跡12条（RG339・344・368～377）・ピット多数を検出した（第102・103図）。

### ・竪穴住居跡

#### RA482（第104図）

位置 B区南部 重複関係 RG368 平面形 隅丸方形？

規模 東西約39m、南北20m以上（調査区外）、深さ0.1m

カマド方向 N25°W、北西カマド、長い煙道（1.3m） カマド 左袖残存 出土遺物 土師器坏・壺  
時期 奈良・平安時代（8・9世紀）

#### RA483（第105図）

位置 B区中央部 重複関係 RA484（古） 平面形 隅丸長方形？

規模 東西約30m、南北3.3m以上（調査区外）、深さ0.4m

カマド方向 東カマド、長い煙道（約1.1m） 出土遺物 土師器坏・壺、あかやき土器坏  
時期 奈良・平安時代（8・9世紀）

#### RA484（第106図）

位置 B区中央部 重複関係 RA483（新） 平面形 隅丸方形？

規模 北東-南西4.6m以上、北西-南東2.0m以上、深さ0.3m カマド方向 不明

出土遺物（第157図、第41表） 土師器壺・球形壺 時期 奈良時代（8世紀）

#### RA485（第107図）

位置 B区東部 重複関係 RG371・372 平面形 隅丸方形？

規模 北東-南西3.3m以上（調査区外）、北西-南東3.4m、深さ0.15m

カマド方向 N43°E、北東カマド、長い煙道（2.1m） カマド 左袖残存、芯材に樫使用、焚口に焼け面  
出土遺物（第157図、第41表） 土師器壺、あかやき土器高台付坏 時期 平安時代（9世紀）

RA486 (第108図)

位置 B区北東部 重複関係 RD1072 (新)・RG339 (新) 平面形 隅丸方形

規模 東西60m, 南北60m, 深さ0.35m カマド方向 不明

柱穴 主柱穴2口

	Pit1	Pit2
直径 (m)	0.55	0.45
深さ (m)	0.35	0.3
平面形	不整円形	不整円形
柱痕跡	あり	あり

出土遺物 土師器杯・甕・球刺甕, あかやき土器杯, 須恵器甕, 刀子? 1点 時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

RA487 (第109図)

位置 B区北東部 重複関係 RG339 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 北西-南東3.8m, 北東-南西3.5m以上 (調査区外), 深さ0.2m

カマド方向 W210° N, 西カマド, 長い煙道 (0.4m以上) 床の状態 硬化面あり 柱穴 1口

出土遺物 (第157図, 第41表) 土師器杯 (非ロクロ)・甕, 刀子? 1点 時期 奈良時代 (8世紀)

RA488 (第102図)

位置 B区北東部 重複関係 RA486 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 東西3.0m以上, 南北約3.0m, 床面のみ

カマド方向 不明 出土遺物 (第157図, 第41表) 土師器杯 (非ロクロ)・甕 時期 奈良時代 (8世紀)

RA489a・b (第111図)

位置 B区南東部 重複関係 RA496 (新)・RG339 (新) 平面形 隅丸方形

規模 東西約6.4m, 南北約6.5m以上, 深さ0.2m

カマド方向 カマドa (新): W60° N, 西カマド, 長い煙道 (0.8m)

カマドb (古): W50° N, 西カマド, 長い煙道 (約2.3m)

カマド カマドa (新): 左袖残存, 芯材に土器使用, 支脚に土器使用, 美口に焼け面あり カマドb (古):

美口に焼け面あり 床の状態 周溝あり

柱穴 主柱穴2口

	Pit1	Pit2
直径 (m)	0.4	0.25
深さ (m)	0.35	0.3
平面形	不整円形	不整円形
柱痕跡	あり(角柱状)	不明

出土遺物 (第157図, 第41表) 土師器杯 (非ロクロ)・甕・球刺甕, あかやき土器杯, 須恵器杯

時期 奈良時代 (8世紀)

**RA490 (第110図)**

位置 B区西部 重複関係 RA491 (新) 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東31m, 北東-南西31m以上, 深さ0.2m

カマド方向 N280° W, 北西カマド, 長い煙道 (0.8m) 床の状態 床構築土あり 柱穴 1口

出土遺物 (第158図, 第41表) 土師器坏 (非クロコ)・甕, あかやき土器坏, 墨当土器「葎」, 基石? 1点

時期 奈良時代 (8世紀)

**RA491 (第113図)**

位置 B区西部 重複関係 RA490 (古) 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東6.8m, 北東-南西6.9m, 深さ0.4m

カマド方向 W325° N, 北西カマド, 長い煙道 (0.4m以上)

カマド 左袖残存, 芯材に土器使用, 焚口に焼け面あり 床の状態 厨溝あり, 仕切り状溝あり

貯蔵穴 2基 (pit4・8)

柱穴 主柱穴2口, ビット3口

	Pit1	Pit2
直径 (m)	0.5	0.3
深さ (m)	0.8	0.8
平面形	不整形円形	不整形円形
柱痕跡	あり	不明

出土遺物 (第158-159図, 第41表) 土師器坏 (非クロコ)・甕・球胴甕・大甕・大形鉢, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕, ミニチュア土器, 砥石 (軽石), 環状鉄製品1点, 獣骨, 白色粘土

時期 奈良時代 (8世紀)

**RA492 (第112図)**

位置 B区中央部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東3.1m, 北東-南西3.1m, 深さ0.5m

カマド方向 W360° N, 北西カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.25m) カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり

柱穴 南東壁面に袋状ビット2口 (pit1・2)

出土遺物 (第159-161図, 第40-41表) 土師器坏 (非クロコ)・高台付坏 (非クロコ)・甕・鉢, あかやき土器坏, 須恵器坏・甕, ミニチュア土器2点, 鉄釘? 1点

時期 奈良時代 (8世紀)

**RA493 (第114図)**

位置 B区中央南部 重複関係 RD1075 (新), RD1077 (新) 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東3.2m, 北東-南西約3.0m, 深さ0.2m

カマド方向 N340° W, 北西カマド, 長い煙道 (トンネル状, 1.15m) カマド 両袖残存, 焚口に焼け面あり

床の状態 床構築土あり 出土遺物 (第159図, 第41表) 土師器坏・甕, 須恵器坏

時期 奈良・平安時代 (8-9世紀)

**RA494 (第115図)**

位置 B区中央南部 重複関係 RD1079 (新), RG376 (新) 平面形 隅丸方形?

規模 北西-南東3.1m以上, 北東-南西3.3m以上, 深さ0.1m

カマド方向 N335°W, 北西カマド, 長い煙道(1.7m) カマド 両袖残存, 狭口に施り面あり

床の状態 床檜土あり 貯蔵穴 カマド右袖脇に1基(pit1) 出土遺物 土師器壺

時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

**RA495 (第116図)**

位置 B区西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形?

規模 東西3.5m, 南北2.4m以上, 深さ0.2m カマド方向 不明

時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

**RA496 (第102図)**

位置 B区南東部 重複関係 RA489 (古), RD1073 平面形 隅丸方形?

規模 北西-南東3.5m以上(調査区外), 北東-南西3.5m以上(調査区外) カマド方向 不明

出土遺物(第159図, 第41表) 土師器坏・高台付坏・壺, あかやき土器坏, 須恵器坏・壺

時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

・土坑

**RD1072~1078 (第102-103図)**

27次調査B区では7基の土坑を確認しており, 各土坑の概要は第14表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。一部の埋土より土師器, あかやき土器が出土している(第161図・第42表)。

・溝跡

**RG339・344・368~377 (第102-103図)**

27次調査B区では12条の溝跡を確認しており, 各溝跡の概要は第15表のとおりである。特にRG339は幅約3.7, 深さ約1.1mを測る大溝である。土層については紙面の都合により省略した。埋土の一部より土師器, あかやき土器, 須恵器などが出土している(第160・161図・第42表)。

・ピット

27次調査B区では多数のピット(柱穴跡)を確認している。個別の概要については紙面の都合により省略した。これらの中には, 中世以降の遺物跡を構成するものが含まれている可能性もあるが, 遺構の重複や震災で不明な部分が多いことから詳細な検討は困難であった。

**C区(南調査区)**

a. 遺構と遺物

調査の結果, C区より古代以降の溝跡7条(RG378~388)を検出した(第117図)。

・溝跡

RG378～388 (第117図)

27次調査C区では7条の溝跡を確認しており、各溝跡の概要は第16表のとおりである。柱土の一部より土師器、あかやき土器、須恵器が出土している。

(9) 第28次調査(平成12年度)

今次調査区は、遺跡の中央部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は460㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。なお、現地調査の図面・写真資料の大部分が罹災・焼失していることから、遺構図の提示と事実記載は可能な範囲までとした。

a. 遺構と遺物

調査の結果、平安時代の竪穴住居跡9棟(RA471～475, 477～480)、中世以降の堀立柱建物跡1棟(RB28001)・柱列跡2基(RC28001・28002)、古代以降の土坑10基(RD1054～1065, 1058・1060・1063～1065・1067・1068)・溝跡2条(RG387・388)を検出した(第118図)。

・竪穴住居跡

RA471 (第119図)

位置 調査区北西部 重複関係 RA472(新) 平面形 隅丸方形?  
規模 北西-南東3.5m以上(調査区外)、北東-南西2.6m以上、深さ0.15m  
カマド方向 不明 床の状態 床構築土あり  
出土遺物 (第162図・第43表) 土師器甕、刀子?1点 時期 平安時代(9世紀)

RA472 (第119図)

位置 調査区北西部 重複関係 RA471(古), ピット(新) 平面形 隅丸方形?  
規模 北西-南東4.1m以上、北東-南西5.0m、深さ0.25m  
カマド方向 不明 床の状態 床構築土あり  
柱穴 主柱穴3口, ピット2口

	pit1	Pit2	pit3
直径(m)	0.45	0.35-0.45	0.35-0.4
深さ(m)	0.45	0.45	0.4
平面形	不整形	不整形円形	不整形円形
柱痕跡	不明	あり	あり

出土遺物 土師器坏・甕 時期 平安時代(9世紀)

RA473 (第120図)

位置 調査区南西部 重複関係 RA474(新), ピット(新) 平面形 隅丸方形  
規模 東西3.3m、南北3.3m以上、深さ0.05m

カマド方向 W215° N, 西カマド, 長い煙道 (1.4 m) カマド 焚口に焼け面あり  
床の状態 床構築上あり 柱穴 ビット5口 時期 平安時代 (9世紀)

RA474 (第121図)

位置 調査区南西部 重複関係 RA473 (古)・480 (古), RD1054 (新), ビット (新)  
平面形 隅丸方形 規模 東西28m, 南北26. 深さ0.1m カマド方向 不明  
床の状態 床構築上あり 柱穴 ビット2口 出土遺物 土師器坏, あかやき土器坏  
時期 平安時代 (9世紀)

RA475 (第122図)

位置 調査区南西部 重複関係 RG387 (新), ビット (新) 平面形 隅丸方形?  
規模 東西35m以上, 南北約30m, 深さ0.1m カマド方向 E220° N, 東カマド, 長い煙道 (1.3 m)  
カマド 右袖のみ残存 出土遺物 土師器坏・甕, 須恵器坏 時期 平安時代 (9世紀)

RA477 (第123図)

位置 調査区中央部 重複関係 RA479 (新)・480 (新), RD1054 (新), ビット (新)  
平面形 隅丸方形 規模 北西-南東3.5m, 北東-南西3.6m, 深さ0.15m  
カマド方向 S300° E, 南東カマド, 長い煙道 (1.0 m) カマド 右袖残存, 焚口に焼け面あり  
床の状態 床構築上あり 出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器坏, 須恵器坏, 砥石1点  
時期 平安時代 (9世紀)

RA478 (第124図)

位置 調査区中央部 重複関係 RA477 (古)・479, ビット (新) 平面形 隅丸方形?  
規模 南北4.2m, 東西0.8m以上, 深さ0.1m カマド方向 不明 出土遺物 土師器坏  
時期 平安時代 (9世紀)

RA479 (第124図)

位置 調査区中央部 重複関係 RA477 (古)・478・480 (新), ビット (新)  
平面形 隅丸長方形 規模 南北4.6m, 東西3.6m, 深さ0.2m  
カマド方向 N200° W, 北カマド, 長い煙道 (1.0 m) カマド 焚口に焼け面あり 柱穴 ビット1口  
出土遺物 (第162図・第43表) 土師器坏, あかやき土器坏, 須恵器甕 時期 平安時代 (9世紀)

RA480 (第125図)

位置 調査区中央部 重複関係 RA474 (新)・479 (古), RD1054 (新), ビット (新)  
平面形 隅丸長方形 規模 北西-南東3.0m, 北東-南西4.8m, 深さ0.15m  
カマド 焚口に焼け面あり 床の状態 中央部に焼け面, 床構築上あり 柱穴 4口  
出土遺物 (第162図・第43表) 土師器坏, あかやき土器坏, 須恵器坏, 砥石 (砂岩) 1点, 鉄釘1点, 環状鉄製品1点 時期 平安時代 (9世紀)

・掘立柱建物跡

RB28001 (第126図)

位置 調査区南東部 重複関係 RD1056 構造 桁行(南北)3間, 梁行(東西)1間

規模 桁行総長3.6m(21尺)・柱間2.1m(7尺)等間, 梁行柱間2.1m(7尺)

棟方向 南北棟, N30°E

柱掘方 7基

	掘方1	掘方2	掘方3	掘方4	掘方5	掘方6	掘方7
直径(m)	0.4	0.35	0.55	0.4	0.45	0.5	0.55
深さ(m)	0.45	0.2	0.25	0.3	0.3	0.4	0.3
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
柱痕跡	あり	なし	なし	あり	あり	あり	あり

時期 中世以降

・柱列(板敷)跡

RC28001 (第126図)

位置 調査区東部 重複関係 なし 構造 桁行(南北)2間, 板敷

規模 桁行総長4.2m(14尺)・柱間2.1m(7尺)等間 桁方向 N20°E

柱掘方 3基

	掘方1	掘方2	掘方3
直径(m)	0.35	0.45	0.4
深さ(m)	0.45	0.45	0.45
平面形	不整円形	不整円形	不整円形
柱痕跡	あり	あり	あり

時期 中世以降

RC28002 (第126図)

位置 調査区中央部 重複関係 RA478(古) 構造 桁行(南北)4間, 板敷

規模 桁行総長9.0m(30尺)・柱間2.25m(7.5尺)等間 桁方向 N70°E

掘方 5基

	掘方1	掘方2	掘方3	掘方4	掘方5
直径(m)	0.3	0.35	0.35	0.35	0.35
深さ(m)	0.3	0.4	0.4	0.35	0.4
平面形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形	不整円形
柱痕跡	あり	なし	あり	あり	あり

時期 中世以降

・土坑

RD1054~1056・1058・1060・1063~1065・1067・1068 (第118図)

調査区内では10基の土坑を確認しており、各土坑の概要は第17表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。一部の埋土より土師器、あかやき土器、須恵器、鉄滓、中世の中国青磁などが出土している。

・溝跡

RG387・388 (第118図)

調査区内では2条の溝跡を確認しており、各溝跡の概要は第18表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。一部の埋土よりあかやき土器が出土している。

・ピット

調査区内では多数のピット(柱穴跡)を確認している。個別の概要については紙面の都合により省略した。これらの中には、中世以降の建物跡を構成するものが含まれている可能性もあるが、遺構の重複や罹災で不明な部分が多いことから詳細な検討は困難であった。

(10) 第29次調査(平成12年度)

今次調査区は、遺跡の中央部に位置し、盛岡市新都市開発整備事業に伴う木調査として実施した。調査面積は125㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。なお、現地調査の図面・写真資料の大部分が罹災・焼失していることから、遺構同の提示と事実記載は可能な範囲までとした。

a. 遺構と遺物

調査の結果、奈良時代の竪穴住居跡1棟(RA503)、近世以降の土坑3基(RD1088~1090)・ピット5口を検出した(第127図)。

・竪穴住居跡

RA503 (第128図)

位置 調査区南西部 重複関係 RD1088(新) 平面形 隅丸方形?

規模 南北5.2m, 東西1.6m以上(調査区外)、深さ0.5m カマド方向 不明

床の状態 床溝築土あり 柱穴 4口 出土遺物 土師器坏(非ロクロ)・堿

時期 奈良時代(8世紀)

・土坑

RD1088~1090 (第127図)

調査区内では3基の土坑を確認しており、各土坑の概要は第19表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。一部の埋土より土師器、須恵器が出土している。



## ・ビット

調査区内では4口のビット(柱穴跡)を確認しているが、個別の概要については紙面の都合により省略した。

### (11) 第30次調査(平成12年度)

今次調査区は、遺跡の北部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は35㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。なお、現地調査の図面・写真資料の大部分が罹災・焼失していることから、遺構図の提示と事実記載は可能な範囲までとした。

#### a. 遺構と遺物

調査の結果、平安時代の竪穴状遺構1基(RE049)、古代以降のビット1口を検出した(第34図)。

#### ・竪穴状遺構

##### RE049(第34図)

位置 調査区中央 重複関係 なし 平面形 不整形形?

規模 東西28m, 南北1.7m以上(調査区外) 底面の状態 ビット2口

出土遺物 土師器坏・甕, あかやき土器甕 時期 平安時代(9世紀)

### (12) 第31次調査(平成12年度)

今次調査区は、遺跡の北部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は128㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。なお、現地調査の図面・写真資料の大部分が罹災・焼失していることから、遺構図の提示と事実記載は可能な範囲までとした。

#### a. 遺構と遺物

調査の結果、奈良・平安時代の竪穴住居跡2棟(RA391・481)、古代以降の溝跡2条(RG344・368)を検出した(第129図)。

#### ・竪穴住居跡

##### RA391(第130図)

位置 調査区北部(掘出し部分を25次調査A区で精査) 重複関係 なし

平面形 隅丸長方形 規模 東西31m, 南北約4.5m, 深さ0.25m

カマド方向 W90°N, 西カマド, 長い煙道(約1.1m) 床の状態 崩潰あり

時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

##### RA481(第131図)

位置 調査区北部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形?

規模 東西0.6m以上(調査区外), 南北2.3m, 深さ0.1m カマド方向 西カマド, 長い煙道(約1.2m)

時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

・溝跡

RG344・368(第129図)

調査区内では2条の溝跡を確認しており、その概要は第20表のとおりである。これら2条の溝跡は南に隣接する27次調査B区から続いて平行に走っている。

(13) 第32次調査(平成12年度)

今次調査区は、遺跡の北部と中央部に位置し、盛岡市南都市開発整備事業に伴う本調査として実施した。調査面積は1,030㎡。重機により表土を除去し、遺構検出を行った。調査区については、北部で東西の2地点及び南部の1地点に分かれていることから、北部西調査区をA区、北部東調査区をB区、南部調査区をC区とした(第101図)。3地区を合わせた遺構数は、奈良・平安時代の竪穴住居跡6棟(RA499・193・500・151・501・502)、古代以降の土坑7基(RD1080・1081・1083～1087)・溝跡8条(RG383・077・137・385・386・045・048・131)・ピット多数、中世以降の溝跡1条(RG042a・b)、近世以降の井戸跡2基(RI101・102)である。なお今次調査については、現地調査の図面・写真資料の大部分が罹災・焼失していることから、遺構図の提示と事実記載は可能な範囲までとした。

A区(北部西調査区)

a. 遺構と遺物

調査の結果、A区より平安時代の竪穴住居跡1棟(RA499)、古代以降の土坑6基(RD1080・1081・1083～1086)・溝跡1条(RG383)・ピット、近世以降の井戸跡1基(RI101)を検出した(第132図)。

・竪穴住居跡

RA499(第132図)

位置 A区北部 重複関係 RD1080 平面形 隅丸長方形

規模 南北3.3m、東西3.5m カマド方向 北カマド、長い側道(約1.1m)

出土遺物 土師器杯・高台付杯、あかやき土器杯、須恵器杯・甕 時期 平安時代(9世紀)

・井戸跡

RI101(第132図)

位置 A区中央部 重複関係 なし 平面形 不整形

規模 径約3.1m、深さ2.6m 埋土 最下部に木製井戸枠残存

出土遺物 土師器杯、あかやき土器杯・高台付杯、須恵器杯・甕、近世陶器湯呑1点、鉄釘1点

時期 近世以降

・土坑

**RD1080・1081・1083～1086** (第132図)

32次調査A区では6基の土坑を確認しており、各土坑の概要は第21表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。埋土の一部より土師器、あかやき土器、須恵器、瓦、近世陶器などが出土している。

・溝跡

**RG383** (第132図)

32次調査A区では1条の溝跡を確認しており、その概要は第22表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。

・ピット

32次調査A区では多数のピット(柱穴跡)を確認しているが、個別の概要については紙面の都合により省略した。これらの中には、中世以降の建物跡を構成するものが含まれている可能性もあるが、遺構の重複や罹災で不明な部分が多いことから詳細な検討は困難であった。

**B区(北部東調査区)**

a. 遺構と遺物

調査の結果、B区より奈良・平安時代の竪穴住居跡2棟(RG193・500)、古代以降の溝跡4条(RG077・137・385・386)、ピット多数を検出した(第133図)。

・竪穴住居跡

**RA193** (第134図)

位置 B区南部 重複関係 RG077(新) 平面形 隅丸方形

規模 南北4.8m、東西1.9m以上(調査区外) カマド方向 北カマド

出土遺物(第163図・第44表) 土師器坏(非クロコ)・高台付坏・甕、あかやき土器坏、須恵器坏

時期 奈良時代(8世紀)

※県歴史センターによる18次調査RA193の続き

**RA500** (第135図)

位置 B区南部 重複関係 なし 平面形 隅丸長方形

規模 南北3.2m、東西3.1m、深さ0.05m

カマド方向 北カマド、長い煙道(約1.3m) 床の状態 床溝築上あり 柱穴 1口

出土遺物(第163図・第44表) 土師器坏・甕、あかやき土器坏1、須恵器坏・甕、墨書土器「(不明)」1点、ミニチュア土器1点

時期 平安時代(9世紀)

・溝跡

RG077・137・385・386 (第133図)

32次調査B区では4条の溝跡を確認しており、各溝跡の概要は第22表のとおりである。上層については紙面の都合により省略した。一部の埴土より土師器、あかやき土器、須恵器、フイコ羽山などが出土している。

・ピット

32次調査B区では多数のピット(柱穴跡)を確認しているが、個別の概要については紙面の都合により省略した。これらの中には、中世以降の遺物跡を構成するものが含まれている可能性もあるが、遺物の重複や罹災で不明な部分が多いことから詳細な検討は困難であった。

C区(南部調査区)

a. 遺構と遺物

調査の結果、C区より奈良・平安時代の竪穴住居跡3棟(RG151・501・502)、古代以降の土坑1基(RD1080)・溝跡3条(RG045・048・131)、中世以降の堀跡1条(RG042a・b)を検出した(第136図)。

・竪穴住居跡

RA151 (第136図)

位置 C区東部 重複関係 RG045 平面形 隅丸方形

規模 北東-南西30m以上、北東-南西11m以上 カマド方向 北東カマド、長い煙道(約20m)

出土遺物 土師器甕 時期 平安時代(9世紀)

※県埋文センターによる18次調査RA151の続き

RA501 (第136図)

位置 C区西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形

規模 北西-南東約24m、北東-南西約24m

カマド方向 南東カマド、長い煙道(約13m)

出土遺物 土師器甕、あかやき土器坏・甕 時期 平安時代(9世紀)

※精査なし、検出のみ

RA502 (第136図)

位置 C区中央部 重複関係 RG042a 平面形 隅丸方形?

規模 東西約61m、南北58m以上(調査区外) カマド方向 不明

出土遺物(第164図・第45表) 土師器坏(非ロクロ)・高台付坏・甕・球胴甕、あかやき土器坏、須恵器坏・甕、砥石(軽石)1点

時期 奈良時代(8世紀)

・井戸跡

R1102 (第136図)

位置 C区東部 重複関係 なし 平面形 円形 規模 径約19m 時期 近世以降

・土坑

RD1087 (第136図)

32次調査C区では1基の土坑を確認しており、その概要は第21表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。埋土より土師器が出土している(第164図・第45表)。

・溝跡

RD042・045・048・131 (第136図)

32次調査C区では4条の溝跡を確認しており、各溝跡の概要は第22表のとおりである。土層については紙面の都合により省略した。埋土より土師器、あかやき土器、須恵器、フイゴ羽口、鉄滓、鉄製品、磁石、中世の中国青磁、近世陶器などが出土している(第164図・第45表)。RG042a・bは県立文センター第18次調査区から続く中世以降の堀跡の一部と考えられる。

(14) 第33次調査(平成12年度)

今次調査は、遺跡の東部に位置し、盛岡南新都市開発整備事業区域内の現地換地の住宅等新築に伴う試掘確認調査として実施した。調査面積は695㎡。重機により表土を全面除去し、遺構検出のみを行った。その結果、工事による予定掘削深が遺構検出面のより上であったことから、一部サブトレンチで深さ等を確認した以外の遺構精査は行わず、砂及び碎石盛土により保存措置とした。

a. 遺構と遺物

調査の結果、奈良・平安時代の竪穴住居跡3棟(RA501～506)、古代以降の溝跡3条(RG347・33001・33002)を検出した(第137図)。

・竪穴住居跡

RA504 (第137図)

位置 調査区西部 重複関係 RG347(新) 平面形 隅丸方形  
規模 北西-南東40m、北東-南西37m以上 カマド方向 北西カマド  
時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

RA505 (第137図)

位置 調査区西部 重複関係 なし 平面形 隅丸方形  
規模 南北27m、東西26m カマド方向 不明  
時期 奈良・平安時代(8-9世紀)

**RA506** (第137図)

**位置** 調査区西部 **重複関係** RG33001 (新) **平面形** 隅丸方形?

**規模** 北西-南東28m, 北東-南西15m以上 **カマド方向** 北西カマド?

**時期** 奈良・平安時代 (8-9世紀)

・溝跡

**RD347・33001・33002** (第137図)

調査区内では3条の溝跡を確認しており、各溝跡の概要は第23表のとおりである。特にRG33001は、幅が52～73mある大溝であり、中世以降の堀跡の可能性がある。

(15) 第34次調査 (平成12年度)

今次調査区は、遺跡の東部に位置し、住宅新築に伴う試掘確認調査として実施した。調査対象面積680㎡について、重機により幅約15mの試掘トレンチ4本を設定し(調査面積156㎡)、遺構・遺物の有無を確認した。その結果、建物建築予定部分で表上下0.1～0.4mの黄褐色シルト層上面より、古代の竪穴住居跡3棟・溝跡1条が検出された。これら遺構についての精査は行わず、施工者との協議により盛土による保存措置とした(第3図)。

## 第4章 総括

盛岡市教育委員会で行った平成5～12年度の台太郎遺跡の発掘調査により、第3章に記載した内容の成果を得ることができた。

以下、遺跡で主体となっている、古代の遺物と遺構について、まとめを行い、総括とする。

### 1. 古代の遺物

平成5～12年度の発掘調査で出土した遺物について、実測図化（拓本含む）を行うことのできた、計328点を掲載した。その内訳は、土器が313点、土製品が11点、石製品4点である。

#### (1) 土器

出土した古代の土器については、土師器、あかやき土器、須恵器があり、その成形において、回転台であるロクロを使用していない土器群（Ⅰ群土器）と、ロクロを使用している土器群（Ⅱ群土器）に大別することができる。

##### ・Ⅰ群土器

土師器のみで構成され、器種は、坏、大形坏、高台付坏、舟底形坏、碗、甕、球胴壺、大甕、鉢、大形鉢、甌などが出土している。特徴となる土師器坏について見ると、底部は、丸底のもの、平底丸底のもの、平底のものがある。外面体部は、有段のもの、有段風沈線のあるもの、段・沈線ともないものがあり、内面は黒色処理されている。また、口径より体部径が大きい球胴壺が組成するのが特徴である。第32次調査C区RA502堅穴住居跡出土の舟底形坏（第164図316）は、一般的な器形の坏が押しつぶされたような形であり、珍しいものである。

これらⅠ群土器がまとまって出土している堅穴住居跡資料としては、第24次調査RA304（第138図）・317（第140図）・319（第140図）・321（第141図）、第25次調査A区RA332（第144図）・335（第144図）・341（第144図）・345（第145図）・370（第148図）・371（第148図）・373（第148図）・381（第149図）、第25次調査B区RA396（第154図）・398（第154図）、第27次調査A区RA467（第156図）、第27次調査B区RA484（第157図）・489（第157図）・490（第158図）・491（第158・159図）・492（第159図）がある。

年代としては、概ね8世紀代（奈良時代）と考えられる。

##### ・Ⅱ群土器

土師器、あかやき土器、須恵器により構成され、器種はそれぞれ、土師器が坏、高台付坏、碗、甕、片口鉢、あかやき土器が坏、小皿、甕、須恵器が坏、脚付盤皿、壺、長頸瓶などが出土している。特徴となる坏について見ると、底部は平底であり、ロクロからの切り離し痕跡にヘラ切りと糸切りがある。また、切り離し後に底部の周りをヘラズリ再調整しているものと、切り離したまま再調整を行わないものがある。土

脚器坏は、内面が黒色処理されている。土脚器坏は、成形にロクロは使用されない。第25次調査A区RA349 堅穴住居跡出土の須恵器脚付盤皿(第145図118)は、盤皿によくみられる高台ではなく、三足と考えられる脚が付き、珍しいものである。

これらⅡ群土器がまとまって出土している堅穴住居跡資料としては、第24次調査RA305(第139図)・307(第138図)・308(第138図)・312(第138図)・313(第140図)・315(第138図)・322(第141図)、第25次調査A区RA322(第143図)・327(第143図)・337(第144図)・347(第146図)、349(第145図)・354(第146図)、356(第147図)・366(第147図)・378(第149図)・383(第149図)、第25次調査B区RA392(第155図)・393(第155図)がある。

年代としては概ね9・10世紀(平安時代)と考えられる。このうち、坏底部のヘラ切り、底部切り難し後のヘラケズリ再調整や、口径に比べ器高が低い坏は、9世紀代でも古い要素と考えられ、第24次調査RA313、第25次調査A区RA337・349・356・378・383にそれらが見られる。また、第25次調査B区RA392・393には、あかやき土器小皿、内外面ヘラミガキ・黒色処理の土脚器坏があり、10世紀代と考えられる。

#### ・墨書・刻書土器

出土した土器の中に、墨書または刻書の見られるものが10点ある。第24次調査で3点、第25次調査A区で4点、第27次調査B区で2点、第32次調査B区で1点出土しており、墨書は2点、刻書は8点である。

墨書は、文字として書かれており、坏の体部に「山」(281)、「(不明・文字の一部)」(313)が見られる。刻書は、記号的につけられたようであり、坏や蓋の主に底部に、「×」(039, 106, 120, 159)、「|×|」(050)、「キ」(064)、「非」(252)が見られる。

## 2. 古代の遺構

平成5～12年度の調査では、古代の堅穴住居跡133棟の精査を行っている。このうち、資料の損失・焼失が少なく、集落の一部をまとまって調査することのできた、第24次調査(遺跡北端部)と第25次調査A区(遺跡北端部)の堅穴住居跡について、検討を行った。なお、検討対象とした堅穴住居跡は、出土土器からおおよその年代が推定され、煙道がのびるカマド方向がわかるもの、または刃長と床面積から住居規模が推定できるものとした。

#### ・第24次調査

精査を行った20棟の堅穴住居跡のうち、18棟について検討を行う。このうちカマドが2時期にわたるものが1棟ある。時期別にみると、先述したⅠ群土器が出土する奈良時代のもの(Ⅰ期)が3棟、Ⅱ群土器が出土する平安時代のもの(Ⅱ期)が15棟となる。

調査区内での平面分布を見ると、Ⅰ期住居跡は、A・B区の北西部にまとまっている。Ⅱ期住居跡は、A・B区の全体に広がっている。

各住居跡のカマド方向のまとまりを見ると(第48表)、Ⅰ期住居跡は、北西カマドが1棟わかるのみである。Ⅱ期住居跡は、北カマド1棟、北東カマド1棟、東カマド5棟、南東カマド2棟、南西カマド1棟、



西カマド2棟、北西カマド1棟であり、ばらつきがあるものの、概ね東方向が多い傾向にある。

次に住居規模のまとまりを見ると（第49表）、Ⅰ期住居跡は、床面積16.2～18.49㎡・辺長4.0～4.3mの中形住居が2棟、床面積39.69㎡・辺長6.3mの大形住居が1棟ある。Ⅱ期住居跡は、床面積6.25～9.12㎡・辺長2.5～2.9mの小形住居が7棟、床面積10.89～15.8㎡・辺長3.3～4.0mの中形住居が5棟、床面積19.8～24.0㎡・辺長4.5～4.9mの大形住居が2棟ある。

上屋を支える主柱穴、及び壁の板や杭を建てた周溝は、Ⅰ期住居跡・Ⅱ期住居跡ともみられない。

#### ・第25次調査A区

精査を行った65棟の竪穴住居跡のうち、44棟について検討を行う。このうちカマドが2時期にわたるものが4棟ある。時期別にみると、Ⅰ期住居跡が12棟、Ⅱ期住居跡が32棟となる。

調査区内での平面分布を見ると、Ⅰ期住居跡は、調査区の湾側に重複することなく広がっており、Ⅱ期住居跡は、段丘縁部となる北側まで広がり重複して密集している。

各住居跡のカマド方向のまとまりを見ると（第50表）、Ⅰ期住居跡は、北カマド1棟、北西カマド7棟、西カマド2棟、南カマド1棟であり、北から西方向にまとまっている。Ⅱ期住居跡は、北東カマド2棟、東カマド7棟、南東カマド2棟、南カマド3棟、西カマド6棟、北西カマド6棟であり、ばらつきがあるものの、概ね東から南方向が多いようである。

次に住居規模のまとまりを見ると（第51表）、Ⅰ期住居跡は、床面積8.06～9.61㎡・辺長2.6～3.1mの小形住居が2棟、床面積10.8～16㎡・辺長3.1～4.5mの中形住居が8棟、床面積31.36～46.92㎡・辺長5.6～6.85mの大形住居が2棟ある。Ⅱ期住居跡は、床面積5.52～9.61㎡・辺長2.4～3.4mの小形住居が13棟、床面積10.73～17.22㎡・辺長3.1～4.5mの中形住居が12棟、床面積21.62～39.06㎡・辺長4.65～6.3mの大形住居が7棟ある。Ⅰ期と比べⅡ期になると、小形住居の割合が大きくなっている。

主柱穴はⅠ期住居跡に1棟（RA381、大型住居）、周溝はⅡ期住居跡に1棟（RA369、中型住居）あるのみである。

表

第1表 台太郎遺跡発掘調査一覧表（平成5～12年度）

遺跡名	番号	次第	区域	調査方法	所在地	面積 (㎡)	調査期間	遺跡・遺物	調査範囲	発掘主体	発行年
台太郎	001	9	H5	試探発掘	向中野字向中野 40	50	1993.5.11	なし	農作物・土器等	市教委	本書
	10	17	試掘確認	向中野字向中野境内	1,200 (対象 5,050)	1995.4.4 - 1995.4.5	古代・縄文、縄瀬、柱穴	農作物・土器等、土坑 （漆器等類）	市教委	本書	
	11	H7	試掘確認	向中野字台太郎9地 (向中野1丁目内)	320 (対象 1,274)	1995.6.19 - 1995.6.27	なし	農作物等	市教委	本書	
	12	H7	試掘確認	向中野字八日市境内	5,174 (対象 33,290)	1995.9.1 - 1995.11.30	古代縄文土器類、土坑、溝跡、柱穴	土地区画整理 (発掘調査)	市教委	本書	
	13	H6	試掘確認	向中野字向中野 1-5地	4,064 (対象 28,897)	1995.10.14 - 1995.10.25	古代縄文土器類、土坑、溝跡、柱穴	土地区画整理 (発掘調査)	市教委	本書	
	14	H6	本調査	向中野字台太郎 18-1 (向中野3丁目境内)	25	1995.11.29 - 1995.11.29	平安時代瓦片等遺跡 1	下水道引込工事	市教委	本書	
	15	H9	本調査	向中野字八日市境内 33-2地	12,506	1997.4.4 - 1997.11.28	奈良時代瓦片等遺跡 10、平安時代瓦片等遺跡 52、土坑 2、溝跡 1、溝跡 6、平安時代土器類 3、埴立瓦片等類 5、土坑 2、柱穴 1、竪穴 1、土器類 4、土坑 36、焼土遺物 5、溝跡 4、土坑 523	土地区画整理 (発掘調査)	県教委	集 309 頁	
	16	H9	本調査	向中野字向中野 36-1地	790	1997.8.1 - 1997.8.23	奈良時代瓦片等遺跡 2、平安時代瓦片等遺跡 2、平安時代瓦片等遺跡 3、柱穴 1、溝跡 1、埴立瓦片等類 16、柱穴 165	土地区画整理 (発掘調査)	県教委	C 283 頁	
	17	H9	試掘確認	向中野字向中野境内	10	1997.8.23	なし	下水道引込工事	市教委	本書	
	18	H10	本調査	向中野字向中野 25-6地	28,404	1998.4.15 - 1998.11.24	奈良時代瓦片等遺跡 42、平安時代瓦片等遺跡 14、溝跡 1、平安時代土器等類 85、平安時代瓦片等遺跡 9、土坑 45、埴立瓦片等類 2、溝跡 19、埴立瓦片等類 8、中世土器類 1、埴立瓦片等類 9、土坑 3、溝跡 3、竪穴瓦片等類 2、埴立瓦片等類 5、土坑 27、土坑遺物 12、カマド敷遺物 12、溝跡 10、埴立瓦片等類 2、土坑 16、埴立瓦片等類 2	土地区画整理 (発掘調査)	県教委	集 369 頁	
	19	H10	本調査	向中野字向中野 16-6地	4,756	1998.7.1 - 1998.8.31	縄文土器類 20、竪穴等遺跡 5、土坑 18、埴立瓦片等類 3、溝跡 35、土坑遺物 1、柱穴遺跡 2、柱穴	土地区画整理 (発掘調査)	県教委	集 321 頁	
	20	H10	本調査	向中野字向中野 16-7地 (向中野2丁目39地)	1,400	1998.9.17 - 1998.12.21	古代土器土坑等 遺跡 19、柱穴	土地区画整理 (発掘調査)	市教委	本書	
	21	H10	試掘確認	向中野字台太郎 18-7 (向中野2丁目39地)	79 (対象 324)	1998.9.28	なし	下水道引込工事	市教委	本書	
	22	H11	本調査	向中野字向中野 39-1	2,500	1999.9.1 - 1999.11.2	縄文時代土器 1、奈良時代瓦片等遺跡 1、土坑 1、平安時代瓦片等遺跡 1、埴立瓦片等類 2、土坑 1、平安時代土器類 9、柱穴 62	農作物・土器等遺跡 (発掘調査)	私委託	C. 965 頁	
	23	H11	本調査	向中野字向中野 18-15	27,500	1998.4.16 - 1999.11.18	奈良時代瓦片等遺跡 36、平安時代瓦片等遺跡 27、土坑 32、溝跡 1、埴立瓦片等類 1、埴立瓦片等類 1、土坑 5、埴立瓦片等類 1、土坑 2、土器類 330、埴立瓦片等類 12、埴立瓦片等類 3、埴立瓦片等類 7、埴立瓦片等類 25、溝跡 3、土坑 3、土坑 29、埴立瓦片等類 19、埴立瓦片等類 5、溝跡 4、土坑 36、埴立瓦片等類 3	土地区画整理 (発掘調査)	県教委	集 415 頁	
	24	H11	本調査	向中野字向中野境内	3,425	1998.5.6 - 1999.7.3	奈良時代瓦片等遺跡 20、古代土器土器 15、溝跡 1、埴立瓦片等類 1、柱穴、中世土器類等土器類 1、柱穴等 2	土地区画整理 (発掘調査)	市教委	本書	
	25	H11	本調査	向中野字八日市境内	3,674	1998.7.7 - 1998.12.19	奈良時代土器土坑等遺跡 1、奈良時代土器土坑等遺跡 73、奈良時代土器土坑等遺跡 32、平安時代土器類 1	土地区画整理 (発掘調査)	市教委	本書	
	26	H12	本調査	向中野字向中野 15-15地	13,662	2000.4.19 - 2000.10.30	奈良時代瓦片等遺跡 34、埴立瓦片等類 1、平安時代瓦片等遺跡 34、埴立瓦片等類 1、埴立瓦片等類 1、溝跡 1、土坑 3、埴立瓦片等類 1、中世土器類 25、埴立瓦片等類 4、埴立瓦片等類 5、埴立瓦片等類 1、埴立瓦片等類 9、埴立瓦片等類 2、土坑 2、埴立瓦片等類 2、土坑 5、埴立瓦片等類 1、溝跡 36	土地区画整理 (発掘調査)	私委託	集 416 頁	
	27	H12	本調査	向中野字八日市境内	2,515	2000.6.12 - 2000.11.14	奈良時代瓦片等遺跡 21、古代土器土器 11、土坑 30、埴立瓦片等類 2	土地区画整理 (発掘調査)	市教委	本書	
	28	H12	本調査	向中野字八日市境内	400	2000.6.12 - 2000.11.14	奈良時代瓦片等遺跡 5、奈良時代瓦片等遺跡 1、埴立瓦片等類 1、埴立瓦片等類 1、土坑 10、溝跡 2	土地区画整理 (発掘調査)	市教委	本書	
	29	H12	本調査	向中野字向中野 20-2	126	2000.7.19 - 2000.8.26	奈良時代瓦片等遺跡 1、埴立瓦片等類 3	土地区画整理 (発掘調査)	市教委	本書	
	30	H12	本調査	向中野字八日市境内 43-1	35	2000.7.25 - 2000.7.3	平安時代瓦片等遺跡 1、ピット	土地区画整理 (発掘調査)	市教委	本書	
	31	H12	本調査	向中野字八日市境内 45-2	128	2000.8.1 - 2000.8.8	奈良時代瓦片等遺跡 2、古代土器土器	土地区画整理 (発掘調査)	市教委	本書	
	32	H12	本調査	向中野字八日市境内 42 地	1,030	2000.9.18 - 2000.10.20	奈良時代瓦片等遺跡 6、古代土器土器 7、溝跡 6、中世土器類 1、埴立瓦片等類 2	土地区画整理 (発掘調査)	市教委	本書	
	33	H12	試掘確認	向中野字八日市境内 50	695	2000.9.22 - 2000.10.13	奈良時代瓦片等遺跡 3、古代土器土器	農作物等類 (発掘調査)	市教委	本書	
	34	H12	試掘確認	向中野2丁目 4-6 地	156 (対象 690)	2000.11.20-21	古代瓦片等遺跡、溝跡	住宅等	市教委	本書	

第2表 第20次調査土坑一覧

遺構名	位置	層位	平面形	規模	出土遺物
RD20001 土坑	調査区中央部	なし	不整形円形	長軸 1.7 m, 短軸 0.8 m	なし
RD20002 土坑	調査区中央部	なし	不整形円形	長軸 1.8 m, 短軸 0.6 m	なし
RD20003 土坑	調査区北端	RG20008	不整形円形	長軸 3.1 m, 短軸 1.7 m	なし
RD20004 土坑	調査区中央部	RG20008	不整形円形?	長軸 0.7 m以上, 短軸 1.7 m	なし
RD20005 土坑	調査区北部	RG20006・20009	不整形円形	長軸 3.0 m以上 (調査区外), 短軸 2.3 m	なし
RD20006 土坑	調査区南東部	RG20018	不整形円形	径 0.9 ~ 1.0 m	なし
RD20007 土坑	調査区南東部	RG20017	不整形円形	長軸 2.8 m, 短軸 1.1 m	中国青磁碗 (14 ~ 15 世紀) 破片
RD20008 土坑	調査区南東部	RG20012	不整形円形	長軸 1.3 m, 短軸 0.6 m	縄文晩期土器破片
RD20009 土坑	調査区北東部	RG20014	不整形円形	長軸 1.7 m, 短軸 0.5 m	なし

第3表 第20次調査溝跡一覧

遺構名	位置	層位	規模等	出土遺物
RG20001 溝跡	調査区北部	RG20002・20005・20007・20008・20009・20011	ほぼ東西に走る。幅 0.4 ~ 0.8 m, 延長 30.5 m 以上 (調査区外)	なし
RG20002 溝跡	調査区北西部	RG20001	北東から南西に走る。幅 0.3 ~ 0.5 m, 延長 9.5 m 以上 (調査区外)	なし
RG20003 溝跡	調査区北西部	RG20004	北西から南東に走る。幅約 0.3 m, 延長 8.2 m (南部低湿地に入る)	なし
RG20004 溝跡	調査区北西部	RG20003	北西~南東に走る。幅 0.5 ~ 0.9 m, 延長 10.5 m 以上 (調査区外・南部低湿地に入る)	なし
RG20005 溝跡	調査区中央部	RG20001・20006・20013	ほぼ南北に走る。幅 1.8 ~ 2.4 m, 延長 29.0 m 以上 (調査区外・南部低湿地に入る)	なし
RG20006 溝跡	調査区北部	RD20005, RG20005・20008	ほぼ東西に走る。幅 0.4 ~ 0.6 m, 延長 9.6 m	なし
RG20007 溝跡	調査区北部	RG20001	北東から南西に走る。幅 0.3 ~ 0.5 m, 延長 6.4 m	なし
RG20008 溝跡	調査区中央部	RD2003, RG20001・20006・20009・20003	ほぼ南北に走る。幅 0.5 ~ 0.8 m, 延長 25.5 m 以上 (調査区外)	瀬戸・美濃灰釉皿 (17 世紀) 破片
RG20009 溝跡	調査区中央部	RD20005, RG20001・20008・20011・20012	ほぼ南北に走る。幅 1.0 ~ 1.2 m, 延長 21.7 m	なし
RG20010 溝跡	調査区南部	RG20008	ほぼ南北に走る。幅 0.4 ~ 0.7 m, 延長 5.0 m 以上 (南部低湿地に入る)	なし
RG20011 溝跡	調査区中央部	RG20001・20009・20012	北東から南南西に走る。幅 0.6 ~ 0.9 m, 延長 22.5 m	なし
RG20012 溝跡	調査区中央部	RD20008, RG20008・20009・20011・20019	北東から南南西に走る。幅 0.5 ~ 1.1 m, 延長 27.8 m (南部低湿地に入る)	なし
RG20013 溝跡	調査区北東部	なし	北東から南南西に走る。幅 0.2 ~ 0.3 m, 延長 5.0 m	なし
RG20014 溝跡	調査区北東部	RD20009	L字状に曲がり、北東から南南西に走る。幅約 0.8 m, 延長 7.5 m 以上	なし
RG20015 溝跡	調査区北東部	RG20016	ほぼ東西方向に走る。幅 0.9 ~ 1.1 m, 延長 7.5 m	なし
RG20016 溝跡	調査区北東部	RG20015	RG20015 から分岐するようにほぼ東西方向に走る。幅 0.5 ~ 0.9 m, 延長 5.3 m	なし
RG20017 溝跡	調査区南東部	RD20007	ほぼ南北方向に走るが北端で東に曲がっている。幅 0.5 ~ 1.2 m, 延長 15.0 m 以上 (南部で低湿地に入る)	なし
RG20018 溝跡	調査区南東部	RD2006, RG20019	北東から南西に傾斜に走る。幅 0.6 ~ 0.9 m, 延長 6.2 m 以上 (南部で低湿地に入る)	なし
RG20019 溝跡	調査区南東部	RG20012・20018	ほぼ東西に走る。幅約 0.4 m 以上 (南部で低湿地に入る)。延長 1.0 m	なし

第4表 第24次調査土坑一覧

遺構名	位置	番様	平面形	規模	出土遺物
RD836 土坑	A区北部	なし	不整形円形	長軸 1.1 m, 短軸 0.6 m, 深さ 0.2 m	土師器杯・甕, あかやき土器杯, 須恵器杯破片
RD837 土坑	A区西部	RG284	不整形円形	長軸 0.9 m, 短軸 0.55 m, 深さ 0.15 m	なし
RD838 (女番)	—	—	—	—	—
RD839 土坑	A区南西部	RG301	不整形円形	径 0.9-1.1 m, 深さ 0.1-0.15 m	なし
RD840 土坑	A区南西部	RG287	不整形円形?	長軸 0.8 m以上, 短軸 1.2 m, 深さ 0.1-0.25 m	なし
RD841 土坑	A区南西部	なし	不整形円形	長軸 1.0 m, 短軸 0.7 m, 深さ 0.1-0.15 m	土師器壺破片
RD842 土坑	A区南東部	なし	不整形円形	径 0.6-0.7 m, 深さ 0.15 m	なし
RD843 土坑	A区南東部	なし	不整形円形	径 0.6-0.65 m, 深さ 0.2 m	土師器杯・甕, あかやき土器杯, 須恵器杯・壺破片
RD844 土坑	A区南東部	なし	不整形円形	長軸 1.1 m, 短軸 0.4 m, 深さ 0.15 m	なし
RD845 土坑	A区南東部	なし	不整形円形	長軸 0.8 m, 短軸 0.35 m, 深さ 0.15-0.4 m	なし
RD846 土坑	A区南東部	なし	不整形円形	径 0.6-0.7 m, 深さ 0.25 mm	なし
RD847 土坑	B区中央部	なし	不整形円形	径 0.7-0.75 m, 深さ 0.1 m	なし
RD848 土坑	B区中央部	なし	不整形円形	径 0.65-0.7 m, 深さ 0.1 m	土師器杯, あかやき土器杯破片
RD849 土坑	B区中央部	なし	不整形円形	径 1.1-1.2 m, 深さ 0.15 m	なし
RD850 土坑	B区中央部	なし	不整形円形	径 1.0-1.1 m, 深さ 0.2 m	なし
RD851 土坑	B区南部	RG310	不整形円形	径 1.5-1.6 m, 深さ 0.8 m	濠文石輪フレイク1点, 土師器壺, あかやき土器杯, 須恵器壺

第5表 第24次調査溝跡一覧(1)

溝構名	位置	座標	規模等	出土遺物
RG282 溝跡	A区北部	RC24001, RG289-290	北北西から南南東に走る。幅0.9-1.4m, 延長17.8m, 深さ0.15m	縄文晩期土器片1点, 石鈴フレイク1点, 土師器環・壺, あかやき土器環・壺, 須恵器土器破片, 中国青磁碗(13-14世紀)破片
RG283 溝跡	A区北部	RA307, RB24001, RD285-288-289-290	北北西から南南東に走る。幅0.3-0.6m, 延長17.8m, 深さ0.1-0.15m	なし
RG284 溝跡	A区西部中央	RD837, RG290	北北西から南南東に走る。幅0.5-0.6m, 延長6.5m, 深さ0.05m	なし
RG285 溝跡 (RX24001 南側溝)	A区中央部	RB24001, RG283	北東から南西に走る(RG290と平行)。幅0.7-1.4m, 延長18.4m以上(調査区外), 深さ0.25~0.35m	なし
RG286 溝跡	A区中央部	RG292	南北方向から屈曲しながら東西方向に走る。幅0.15-0.3m, 延長19.0m以上(調査区外), 深さ0.1~0.25m	土師器環, あかやき土器環・壺, 須恵器土器破片
RG287 溝跡東半	A区南部	RD840, RG292-293-295-304-306	南北西から東南東に走る。幅1.0-1.4m, 延長24.5m以上(調査区外), 深さ0.35m	土師器壺, あかやき土器環, 須恵器環・壺破片
RG287 溝跡西半	B区中央	RG307-308-322	縦行しながら東西に走る。幅1.3-1.7m, 延長27.0m以上(調査区外, 全延長72.0m以上)	なし
RG288 溝跡	A区中央部	RB24001, RG283	北北東から南南西に走る。幅0.4-0.6m, 延長2.5m, 深さ0.1m	なし
RG289 溝跡	A区中央部	RA310, RB24001, RC24001, RG282-283-299-300	北東から南西に走る。幅0.6-1.1m, 延長18.6m以上(調査区外), 深さ0.35m	なし
RG290 溝跡 (RX24001 北側溝)	A区中央部	RB24001, RC24001, RG282-283-284	北東から南西に走る(RG285と平行)。幅0.5-0.8m, 延長18.4m以上(調査区外), 深さ0.1m	なし
RG291 溝跡	A区南西部	なし	北西から南東に走る。幅0.4-0.7m, 延長4.9m以上(調査区外), 深さ0.05m	なし
RG292 溝跡	A区南部	RG286-287-283	南北に走る。幅0.4-0.8m, 延長18.5m以上, 深さ0.05-0.2m	土師器環・壺, あかやき土器環, 須恵器環・壺破片
RG293 溝跡	A区南部	RG287-292-295-304-305-306	東北東から西南西に走る。幅0.2-0.7m, 延長18.8m, 深さ0.05-0.1m	土師器環, 須恵器環破片
RG294 溝跡	A区中央部	なし	南北に走る。幅0.3-0.4m, 延長2.7m, 深さ0.05m	土師器壺破片
RG295 溝跡	A区南部	RG287-293	北東から南西に走る。幅0.4-0.6m, 延長7.7m, 深さ0.2m	なし
RG296 溝跡	A区東部中央	なし	北北西から南南東に走る。幅0.4-0.6m, 延長4.4m以上(調査区外), 深さ0.05m	なし
RG297 溝跡	A区南西部	なし	東西に走る。幅0.4-0.5m, 延長3.0m以上, 深さ0.1m	なし
RG298 溝跡	A区南東部	なし	途中1箇所途切れながら東北東から南西に走る。幅0.5-1.1m, 延長10.5m以上(調査区外), 深さ0.05m	土師器壺, 須恵器環・壺破片
RG299 溝跡	A区中央部	RB24001, RG289	北北西から南南東に走る。幅0.4m, 延長2.8m	なし
RG300 溝跡	A区西部中央	RC24001, RG289	北北西から南南東に走る。幅0.3-0.4m, 延長3.2m, 深さ0.05m	なし
RG301 溝跡	A区南西部	RA311, RD839	東北東から西南西に走る。幅0.2m, 延長3.2m, 深さ0.05-0.1m	なし
RG302 溝跡	A区南西部	なし	南北方向に走る。幅0.2m, 延長1.7m, 深さ0.05-0.15m	なし
RG303 溝跡	A区中央部	RA310	北東から南西に走る。幅0.4-1.1m, 延長3.1m以上, 深さ0.05m	なし
RG304 溝跡	A区南東部	RG287-283-306	北東から南西に走る。幅0.4-0.5m, 延長5.0m	なし
RG305 溝跡	A区南西部	RG293	南北に走る。幅0.2-0.4m, 延長2.4m	なし
RG306 溝跡	A区南東部	RG293-304	南北に走る。幅0.4-0.7m, 延長3.1m	なし

第6表 第24次調査溝跡一覧(2)

遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG307 溝跡	B区西部	RA317・318, RG287・309・311	北北西から南南東に走る。幅0.4-0.8m, 延長16.7m以上(調査区外), 深さ0.15-0.2m	須恵器壺破片
RG308 溝跡	B区西部	RA308, RG287・310	北北西から南南東に走る。幅0.4-0.5m, 延長10.4m以上(調査区外), 深さ0.1-0.2m	なし
RG309 溝跡	B区北西部	RG307	南北に弧状に走る。幅0.3-0.4m, 延長8.0m以上(調査区外), 深さ0.15m	なし
RG310 溝跡	B区南部	RG308・313	蛇行しながら東西に走る。幅0.6-1.1m, 延長26.0m(調査区外), 深さ0.1-0.15m	土師器杯・壺, あかやき土師杯, 須恵器壺破片, 甕形罐(近世)破片
RG311 溝跡	B区南東部	RG307	東西方向に走る。幅0.5-1.3m, 延長13.5m(調査区外), 深さ0.2-0.3m	なし
RG312 溝跡	B区東部中央	RG287	北東から南西方向に走る。幅0.4m, 延長3.7m, 深さ0.2m	なし
RG313 溝跡	B区南西部	RG310	東北東から西南西に走る。幅0.3m, 延長4.0m, 深さ0.05m	なし
RG314 溝跡	B区南西部	なし	ほぼ東西に走る。幅0.2-0.3m, 延長3.8m, 深さ0.1-0.2m	なし
RG315 溝跡	B区南部	なし	ほぼ東西に走る。幅0.7m以上(調査区外), 延長15.5m以上(調査区外)	なし
RG316 溝跡	B区北部	RA320	ほぼ南北に走る。幅0.6-0.8m延長4.5m以上, 深さ0.15m	土師器杯, あかやき土師壺破片, 碇石1点, 碇石2点
RG317 溝跡	C区中央部	RG327・328	北東から南西方向に走る。幅0.4-0.8m, 延長18.2m以上(調査区外), 深さ0.2-0.25m	なし
RG318 溝跡	C区中央部	RG329	北東から南西方向に走る。幅0.4m, 延長14.0m以上(調査区外), 深さ0.1-0.2m	なし
RG319 溝跡	C区南部	RG320	北東から南西方向に走る。幅0.4-1.0m, 延長12.2m, 深さ0.2m	なし
RG320 溝跡	C区南部	RG319	北東から南西方向に走る。幅0.3-0.5m, 延長8.6m以上, 深さ0.05-0.1m	なし
RG321 溝跡	C区南端	RG322・323	西北西から東南東に走る。幅0.2-0.4m, 延長21.0m以上, 深さ0.15-0.3m	なし
RG322 溝跡	C区南部	RG321	途中1箇所途切れながら北西から南東に走る。幅0.2-0.3m, 延長13.3m, 深さ0.05m	なし
RG323 溝跡	C区南部	RG321	北東から南西に走る。幅0.3m, 延長5.6m以上(調査区外), 深さ0.3m	なし
RG324 溝跡	C区東部	RG326・327・329	北西から南東に弧状に走る。幅1.6-4.0m, 延長18.0m以上(調査区外), 深さ0.25-0.3m	土師器杯・壺, 高台付杯・壺, あかやき土師杯, 須恵器壺破片, 碇石1点
RG325 溝跡	C区北部	RG327・328・331	ほぼ東西に走る。幅0.6-1.0m, 延長18.0m以上(調査区外), 深さ0.1-0.15m	土師器壺, あかやき土師杯, 須恵器杯破片
RG326 溝跡	C区東部	RG324	西北西から東南東に走る。幅0.3-0.5m, 延長7.1m, 深さ0.1m	なし
RG327 溝跡	C区北部	RG317・324・325・328・329・330	北西から南東に走る。幅2.7-4.7m, 延長34.0m以上, 深さ0.35-0.5m	土師器杯・壺, あかやき土師杯・壺, 須恵器杯・壺, 碇石1点
RG328 溝跡	C区北部	RG317・325・327	西北西から東南東に走る。幅0.6-1.1m, 延長23.0m, 深さ0.1-0.3m	なし
RG329 溝跡	C区東部	RG318・324・327	北北東から南南西に走る。幅0.3-1.4m, 延長7.2m, 深さ0.1m	なし
RG330 溝跡	C区北部	RG327	西北西から東南東に走る。幅0.4-0.7m, 延長9.8m以上(調査区外), 深さ0.1m	なし
RG331 溝跡	C区北部	RG325	北西から南東方向に弧状に走る。幅0.6-0.8m, 延長8.6m, 深さ0.1m	なし
RG331 溝跡	B区南東部	なし	北西から南東方向に走る。幅0.4-0.5m, 延長5.8m, 深さ0.2m	なし

第7表 第25次調査A区土坑一覧(1)

遺構名	位置	階層	平面形	規模	出土遺物
RD852 土坑	A区北東部	なし	不整形円形	長軸1.3m, 短軸0.4m, 深さ0.1m	なし
RD853 土坑	A区南東部	RA337	不整形円形	長軸1.8m, 短軸1.5m, 深さ0.2m	土師器環・甕, あかやき土器環・甕, 須恵器壺
RD854 土坑	A区南東部	RG829	不整形円形	径約1.1m, 深さ0.2m	土師器環, あかやき土器環
RD855 土坑	A区南東部	RD866, ビット	不整形長方形	長辺1.7m, 短辺1.4m, 深さ0.5m	なし
RD856 土坑	A区南東部	なし	不整形円形	長辺1.6m, 短辺1.2m, 深さ0.3m	なし
RD857 土坑	A区南東部	RD866	不整形円形	長軸1.2m, 短軸0.7m, 深さ0.5m	なし
RD858 土坑	A区南東部	なし	不整形円形	長軸0.9m, 短軸0.7m, 深さ0.2m	須恵器壺
RD859 土坑	A区南東部	なし	不整形円形	径約0.8m, 深さ0.4m	なし
RD860 土坑	A区南東部	なし	不整形円形	径約0.8m, 深さ0.4m	なし
RD861 土坑	A区南東部	RG324	不整形円形	長軸2.8m, 短軸1.1m以上, 深さ0.9m	なし
RD862 土坑	A区南東部	RG340	不整形長方形	一辺約2.1m, 深さ0.55m	土師器環・甕, あかやき土器環・甕, 須恵器環
RD863 土坑	A区南東部	RG829	小判形	長軸2.5m, 短軸1.3m, 深さ0.25m	土師器環・甕, あかやき土器環・甕, 須恵器環
RD864 土坑	A区南東部	RD865	不整形円形	長軸1.1m, 短軸0.8m, 深さ0.3m	なし
RD865 土坑	A区南東部	RD864	不整形円形	長軸1.0m, 短軸0.4m以上, 深さ0.3m	なし
RD866 土坑	A区南東部	RD855	不整形長方形	一辺約1.3m, 深さ0.3m	土師器環・甕, あかやき土器環・甕, 須恵器壺
RD867 土坑	A区北東部	RG336	不整形円形	径約0.8m, 深さ0.3m	なし
RD868 土坑	A区北東部	RA377, RG332・333	不整形円形	径約1.8m, 深さ0.2m	土師器環, あかやき土器環・甕, 須恵器環
RD869 土坑	A区北東部	なし	不整形円形	長軸1.2m, 短軸0.8m, 深さ0.2m	土師器環・甕, あかやき土器環・甕, 須恵器壺
RD870 土坑	A区北東部	なし	不整形円形	長軸1.4m, 短軸1.1m, 深さ0.1m	土師器環, あかやき土器環・甕, 須恵器壺
RD871 土坑	A区南東部	RA343	不整形円形	長軸1.3m, 短軸1.0m	土師器環・甕, あかやき土器環・甕, 須恵器環
RD872 土坑	A区北西部	なし	隅丸長方形	長辺1.4m, 短辺0.6m, 深さ0.1m	あかやき土器環・甕, 基石, 火打石(メノウ)
RD873 土坑	A区中央部	RA368	隅丸長方形	長辺1.5m, 短辺0.9m, 深さ0.7m	土師器環・甕・球胴甕, あかやき土器環・甕
RD874 土坑	A区南西部	なし	不整形円形	径約2.1m, 深さ0.2m	あかやき土器壺
RD875 土坑	A区南西部	なし	不整形円形	長軸2.2m, 短軸1.8m, 深さ0.15m	土師器環・甕, あかやき土器壺
RD876 土坑	A区南西部	なし	隅丸長方形	長辺0.9m, 短辺0.6m, 深さ0.1m	土師器環, あかやき土器壺
RD877 土坑	A区西部	なし	長楕円形	長軸1.9m, 短軸0.9m, 深さ0.35m	土師器壺, あかやき土器壺
RD878 土坑	A区西部	ビット	不整形円形	長軸1.2m, 短軸0.8m, 深さ0.2m	土師器壺, あかやき土器壺
RD879 土坑	A区中央部	ビット	不整形円形	径約1.1m, 深さ0.5m	あかやき土器壺
RD880 土坑	A区西部	なし	不整形円形	長軸1.2m, 短軸0.8m, 深さ0.65m	なし
RD881 土坑	A区南西部	RA374, RG344	不整形円形	長軸4.2m, 短軸3.5m, 深さ0.8m	土師器環・甕, あかやき土器壺
RD882 土坑	A区中央部	RA368, RG336, ビット	不整形円形?	長軸1.8m以上, 短軸0.7m以上, 深さ0.1m	なし
RD883 土坑	A区北東部	RA379, RG25801	不整形長方形?	長辺1.5m以上, 短辺0.5m以上, 深さ0.05m	土師器環・甕, あかやき土器環・甕, 須恵器環・甕



第8表 第25次調査A区土坑一覧(2)

通称名	位置	番機	平面形	規模	出土遺物
RD884 土坑	A区北東部	RG25801	不整形円形	径約0.7m, 深さ0.2m	あかやき土器片, 須恵器片
RD885 土坑	A区中央部	RA369-384	不整形円形	長軸1.1m以上, 短軸0.5m以上, 深さ0.2m	なし
RD886 土坑	A区中央部	RG340, ビット	不整形円形	長軸1.2m, 短軸0.9m, 深さ0.35m	土師器片
RD887 土坑	A区中央部	RG340	不整形円形	長軸1.3m, 短軸0.8m以上, 深さ0.3m	なし
RD888 土坑	A区中央部	なし	不整形円形	長軸0.9m, 短軸0.7m, 深さ0.2m	なし
RD889 土坑	A区中央部	RG324	不整形円形?	径約0.7m, 深さ0.2m	なし
RD890 土坑	A区北西部	なし	隅丸長方形	長辺2.0m, 短辺1.3m, 深さ0.2m	なし
RD891 土坑	A区西部	ビット	不整形円形	長軸1.5m, 短軸1.0m, 深さ0.4m	あかやき土器片, フイゴ刃口
RD892 土坑	A区西部	RD893	不整形円形	長軸1.4m, 短軸1.0m, 深さ0.3m	あかやき土器片
RD893 土坑	A区西部	RD892	不整形円形	長軸0.8m以上, 短軸1.0m, 深さ0.3m	なし
RD894 土坑	A区西部	なし	不整形円形	径約1.8m, 深さ0.15m	あかやき土器片
RD895 土坑	A区北西部	なし	不整形円形	長軸1.0m, 短軸0.8m, 深さ0.35m	なし
RD896 土坑	A区北西部	なし	不整形円形	長軸1.0m, 短軸0.7m, 深さ0.25m	なし
RD897 土坑	A区北西部	ビット	不整形円形	長軸1.0m, 短軸0.7m, 深さ0.25m	なし
RD898 土坑	A区北西部	なし	不整形円形	長軸1.4m, 短軸0.6m, 深さ0.15m	なし
RD899 土坑	A区北西部	なし	不整形円形	径約0.9m, 深さ0.2m	なし
RD900 土坑	A区北西部	なし	隅丸長方形	長辺1.3m, 短辺0.9m, 深さ0.2m	なし
RD901 土坑	A区西部	ビット	不整形円形	長軸2.4m, 短軸0.8m, 深さ0.2m	なし
RD902 土坑	A区北西部	なし	不整形円形	長軸1.4m, 短軸0.8m, 深さ0.1m	なし
RD903 土坑	A区北西部	なし	不整形円形	長軸1.9m, 短軸1.1m, 深さ0.15m	あかやき土器片
RD904 土坑	A区西部	なし	不整形円形	長軸0.9m, 短軸0.6m, 深さ0.2m	なし
RD905 土坑	A区中央部	RG341	不整形円形	径約0.7m, 深さ0.35m	なし
RD906 土坑	A区中央部	RG324	不整形円形	長軸1.0m, 短軸0.3m以上, 深さ0.4m	土師器片, あかやき土器片
RD907 土坑	A区北西部	ビット	不整形円形	長軸0.8m, 短軸0.4m, 深さ0.4m	なし
RD908 土坑	A区南西部	なし	不整形円形	長軸2.0m, 短軸1.1m, 深さ0.45m	土師器片・鏝, あかやき土器片
RD909 土坑	A区北西部	なし	不整形円形	径約0.8m, 深さ0.4m	あかやき土器片
RD910 土坑	A区西部	なし	不整形円形?	長軸2.0m, 短軸0.7m以上, 深さ0.3m	なし
RD911 土坑	A区中央部	RG324	不整形円形	径約0.9m, 深さ0.3m	なし
RD912 土坑	A区中央部	RG324	不整形円形	径約0.9m, 深さ0.2m	なし
RD913 土坑	A区中央部	RG339	不整形長方形?	長辺2.2m, 短辺1.3m以上, 深さ0.1m	なし
RD914 土坑	A区北西部	ビット	不整形円形	径約0.6m, 深さ0.25m	なし

第9表 第25次調査A区汚跡一覧

汚跡名	位置	座標	規模等	出土遺物
RG322 汚跡	A区南東部	なし	南北に走る、幅0.4～0.6m、延長3.9m、深さ0.1m。	なし
RG323 汚跡	A区南東部	なし	北流から南東に走る。幅0.3～0.4m、延長2.0m、深さ0.1～0.15m。	なし
RG324 汚跡	A区北西～南東部	RA360・376・385、RD861・889・906・911・912、RG325・327・339・341、RG326・327・339・341、RE025	北から南東に走る。幅0.9～1.3m、延長103.5m、深さ0.2～0.5m。区画溝?	なし
RG325 汚跡	A区北西～南東部	RA337、RG324	西北西から南東部に走る。幅0.3～0.5m、延長25.4m、深さ0.05～0.2m。	土師器外・高台付杯・鉢・甕、あかやき土器外・土師器外・壺、須賀器外・高台付壺・甕
RG326 汚跡	A区北西～南東部	RA351・354・358、RG324	北西から南東に走り、北端で屈曲。北南から南西に走る。幅0.8～1.5m、延長44.5m、深さ0.1～0.25m。区画溝?	土師器外・壺、あかやき土器外・高台付外・甕、須賀器外・甕、須賀器外(刀子?)
RG327 汚跡	A区南東部	RA212・336・341、HG324・328	北東から南西に走る。RG324に垂直に交わる。幅0.8～1.7m、延長10.5m、深さ0.6～0.65m。	土師器外、あかやき土師外・壺、須賀器外・壺
RG328 汚跡	A区南東部	RA336、RG327	北西から南東に走る。幅約0.8m、延長3.9m、深さ0.2m。	土師器外・壺、あかやき土器外・壺、須賀器外・壺
RG329 汚跡	A区南東部	RA335、RD854・863	北北東から南南西に走る。幅約0.3m、延長2.8m、深さ0.15m。	なし
RG330 汚跡	A区南東部	RA344	北北東から南南西に走る。幅約0.3m、延長3.0m、深さ0.05～0.1m。	土師器外、須賀器外
RG331 汚跡	A区南東部	RA338	東流に走る。幅0.2～0.3m、延長1.3m、深さ0.05m。	なし
RG332 汚跡	A区北東部	RA349、RD867・868	北西から南東に走る。幅約0.5m、延長7.8m、深さ0.2m。	なし
RG333a-b 汚跡	A区北東部	RA349・354・377、RD868	道切れながら北西から南東に走る(RG326・332と平行)。幅0.5～0.7m、延長18m、深さ0.08～0.15m。	あかやき土器外・壺、須賀器外
RG334 汚跡	A区中央部	RA366	道切れながら北西から南東に走る。幅0.5～0.6m、延長18.5m、深さ0.2m。	土師器外・壺、あかやき土器外・壺
RG335 汚跡	A区中央部	RA366・367・368・369・377・382・384、RG336	北西から南東に走る。幅0.4～0.5m、延長23.1m、深さ0.15～0.25m。	土師器外、あかやき土器外・壺、須賀器外・壺
RG336 汚跡	A区中央部	RA366・367・368・369・377・382、RD861、RG336	北西から南東に走る。幅0.4～0.6m、延長16.7m、深さ0.1～0.2m。	土師器外・壺、あかやき土器外・壺、須賀器外・壺
RG337 [穴溝]	-	-	-	-
RG338 汚跡	A区中央部	RA386・377・380・383、RG335・338	南東に走る。幅0.4～0.7m、延長12.3m、深さ0.05m。	なし
RG339 汚跡	A区中央部	RA378・381・384、RD913、RG324・336・341・26901	北東から南東に走る。幅3.0～3.6m、延長28.5m、深さ約1.25m。穴溝	土師器外・壺・埴師器、あかやき土器外・壺、須賀器外・壺、フイコ器口、磁石、磁石、須賀器外
RG340 汚跡	A区中央部	RD866・867、RG324	北流から南東に走る。幅0.5～0.7m、延長26.5m、深さ0.25～0.3m。	土師器外、あかやき土器外・壺
RG341 汚跡	A区中央部	RD905、RG324・339	北東から南西に走る。幅0.4～0.9m、延長4.5m、深さ0.15m。	なし
RG342 汚跡	A区西部	なし	北北東から南南西に走る。幅0.4～1.0m、延長27.5m、深さ0.05～0.6m。	土師器外
RG343 汚跡	A区西部	RG25801	西北西から南南東に走り、屈曲して北東から西南西に走る。幅0.3～0.9m、延長10.5m、深さ0.1m。	あかやき土器外
RG344a-b-c 汚跡	A区西部	RD861	道切れながら北西から南東に走る。幅0.3～0.6m、延長25.5m、深さ0.05m。	あかやき土器外
RG345 汚跡	A区西部	なし	南北に走る。幅0.2～0.3m、延長3.0m、深さ0.05m。	なし
RG346 汚跡	A区西部	なし	北北東から南南西に走る。幅約0.4m、延長3.1m、深さ0.1m。	なし
RG347 汚跡	A区西部	RA374	東流に走る。幅0.2～0.3m、延長2.3m、深さ0.05m。	なし
RG352 汚跡	A区北西部	なし	北流から南東に走る。幅0.4～0.5m、延長6.1m、深さ0.08m。	なし
RG353 [穴溝]	-	-	-	-
RG354 汚跡	A区中央部	RG25801	南西に走る。幅約0.4m、延長2.0m、深さ0.1m。	なし
RG25801W-E 汚跡	A区北東部周辺	RA325・327・330・362・369・376、RD863、RE047、RG334・336・339・343・354	深部で土粒状に途切れながら、西北西から南東部に走る。幅0.8～2.7m、延長119m、深さ0.35～0.9m。区画溝	土師器外・鉢・甕、あかやき土器外・壺、須賀器外・壺、磁石、高台付、須賀器外

第10表 第25次調査B区土坑一覧

遺構名	位置	重複	平面形	規模	出土遺物
RD915 土坑	B区中央部	RA397	不整形円形	長軸 1.5 m, 短軸 1.1 m, 深さ 0.6 m	あかやき土器壺
RD916 土坑	B区南部	なし	隅丸長方形	長辺 3.2 m, 短辺 2.0 m, 深さ 0.2 m	あかやき土器坏
RD917 土坑	B区南部	ピット	不整形円形	径約 1.1 m, 深さ 0.3 m	あかやき土器壺
RD918 土坑	B区南部	ピット	不整形円形	長軸 0.9 m, 短軸 0.6 m, 深さ 0.2 m	あかやき土器壺
RD919 (次巻)	-	-	-	-	-
RD920 土坑	B区南部	なし	不整形円形	長軸 1.5 m, 短軸 1.1 m, 深さ 0.25 m	なし
RD921 土坑	B区中央部	なし	不整形円形	径約 0.9 m, 深さ 0.2 m	なし

第11表 第25次調査B区溝跡一覧

遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG348 溝跡	B区南部	なし	※ 27 次 A 区参照	土師器壺, あかやき土器坏・壺
RG349 溝跡	B区南部	RG350・351	※ 27 次 A 区参照	土師器坏, あかやき土器坏・壺, 須恵器壺
RG350 溝跡	B区南部	RG349	北東から南西に走る。幅 1.15 m, 延長 6.0 m, 深さ 0.4 m	土師器壺, あかやき土器坏
RG351 溝跡	B区南部	RG349	※ 27 次 A 区参照	土師器坏

第12表 第27次調査A区土坑一覧

遺構名	位置	重複	平面形	規模	出土遺物
RD1039 土坑	A区南西部	なし	不整形方形	長辺2.5 m, 短辺2.1 m, 深さ0.1 m	なし
RD1040 土坑	A区南西部	なし	不整形円形	径約0.8 m, 深さ0.1 m	なし
RD1041 土坑	A区南西部	なし	不整形楕円形	長軸1.6 m, 短軸1.2 m, 深さ0.15 m	土師器甕
RD1042 土坑	A区南西部	なし	不整形方形?	長辺1.5 m以上, 短辺0.8 m以上	土師器杯・甕, あかやき土器壺
RD1043 土坑	A区南西部	なし	不整形方形?	長辺3.0 m, 短辺2.2 m以上, 深さ0.1 m	なし
RD1044 土坑	A区南西部	なし	隅丸長方形	長辺2.2 m, 短辺1.3 m, 深さ0.5 m	あかやき土器甕
RD1045 土坑	A区南西部	なし	不整形円形	長軸1.9 m, 短軸1.0 m, 深さ0.6 m	なし
RD1046 土坑	A区南西部	なし	長楕円形	長軸1.8 m, 短軸0.6 m, 深さ0.1 m	なし
RD1047 土坑	A区北東部	なし	隅丸長方形	長辺2.8 m, 短辺2.1 m, 深さ0.6 m	鉄滓
RD1048 土坑	A区北東部	なし	楕円形	長軸1.3 m, 短軸0.8 m, 深さ0.2 m	なし
RD1049 土坑	A区中央部	なし	楕円形	長軸1.5 m, 短軸1.1 m	なし
RD1050 土坑	A区南部	RA466	不整形円形	径約2.4 m	なし
RD1051 土坑	A区南西部	なし	隅丸長方形	長辺約3.3 m, 短辺約2.7 m	土師器甕
RD1052 土坑	A区南部	なし	不整形円形	径約2.8 m, 深さ0.3 m	土師器杯・甕
RD1053 土坑	A区北東部	RG362	不整形長方形	長軸0.9 m以上, 短軸1.0 m	土師器甕
RD1054 土坑	A区南部	なし	不整形円形	径約1.3 m, 深さ0.35 m	なし

第13表 第27次調査A区溝跡一覧

遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG348 溝跡	A区南部	RG365	東北東から西南西に走る。幅1.3~2.0 m, 延長16.5 m, 深さ0.5 m	土師器杯・高合付杯・鉢・甕, あかやき土器杯
RG349 溝跡	A区南部	RA396-467, RD1045, RG350-351-359-364	東北東から西南西に走る。幅1.1~2.4 m, 延長36 m, 深さ0.45 m	土師器杯・甕, あかやき土器杯・甕, 須恵器甕, 鉄滓, 壺
RG351 溝跡	A区南部	RG349	東北東から西南西に走る。幅0.7~1.0 m, 延長20 m, 深さ0.25 m。埋土に白色火山灰含む。	土師器杯・甕, あかやき土器杯・甕
RG359 溝跡	A区南西部	RG349-360	東西に走る。幅0.5~0.8 m, 延長9 m, 深さ0.2 m	なし
RG360 溝跡	A区南西部	RG359	南北に走る。幅1.0 m以上, 延長4.5 m, 深さ0.3 m	なし
RG361 溝跡	A区北部	RZ030	北東から南西に走る。幅0.9~1.6 m, 延長20.3 m	土師器甕
RG362 溝跡	A区西部	RD1053, RG363	北東から南西に走る。幅0.8~1.2 m, 延長42 m, 深さ0.3 m	なし
RG363 溝跡	A区西部	RG362	北東から南西に走る。幅0.9~1.6 m, 延長21 m, 深さ0.25 m	土師器杯・甕
RG364 溝跡	A区南部	RG349	東北東から西南西に走る。幅0.1~1.2 m, 延長12 m	土師器杯・甕・鉢, あかやき土器杯, 須恵器甕
RG365 溝跡	A区南東部	RG348-351-366	南北に走る。幅0.7~1.2 m, 延長4 m, 深さ0.3 m	土師器杯, 須恵器杯
RG366 溝跡	A区南東部	RG365	北北西から南南東に走る。幅0.5 m, 延長1.3 m, 深さ0.5 m	なし

第14表 第27次調査B区土坑一覧

遺構名	位置	番地	平面形	規模	出土遺物
RD1069〔穴垂〕	-	-	-	-	-
RD1070〔穴垂〕	-	-	-	-	-
RD1071〔穴垂〕	-	-	-	-	-
RD1072 土坑	B区東部	RA489	隅丸長方形	長辺 1.1 m, 短辺 0.6 m, 深さ 0.25 m	なし
RD1073 土坑	B区東部	RA496	不整形円形	長軸 2.0 m, 短軸 0.6 m以上	なし
RD1074 土坑	B区中央部	なし	不整形円形	径約 2.0 m	土師器壺
RD1075 土坑	B区中央部	RA493	不整形円形	長軸 1.7 m, 短軸 1.5 m, 深さ 0.5 m	土師器杯・甕, あかやき土師器杯
RD1076 土坑	B区中央部	RA494, RG376b	不整形	一辺約 1.1 m, 深さ 0.15 m	土師器壺
RD1077 土坑	B区中央部	RA493	不整形円形	径約 0.7 m, 深さ 0.1 m	土師器杯・甕, あかやき土師器杯
RD1078 土坑	B区中央部	RG375b	不整形	一辺約 1.8 m	土師器杯・甕・埴輪壺
RD1079〔穴垂〕	-	-	-	-	-

第15表 第27次調査B区溝跡一覧

遺構名	位置	番地	規模等	出土遺物
RG339 溝跡	B区東部	RA486・487・489	北西から南東に走る。幅約 3.7 m, 延長 23.5 m, 深さ 1.1 m, 大溝。	土師器杯・高台付杯・甕, あかやき土師器杯・甕, 須恵器杯・甕
RG344 溝跡	B区中央部	なし	北西から南南東に走る。幅 0.5 ~ 0.7 m, m, 延長 9.0 m, 深さ 0.1 m	なし
RG368 溝跡	B区中央部	RA482	北西から南南東に走る。幅 0.7 ~ 1.1 m, m, 延長 5.5 m, 深さ 0.1 m	なし
RG369 溝跡	B区中央部	なし	北東から南西に走る。幅 0.5 ~ 0.6 m, 延長 5.1 m, 深さ 0.2 m	なし
RG370 溝跡	B区中央部	RA483	北東から南南西に走る。幅 0.5 ~ 0.7 m, 延長 3.5 m, 深さ 0.4 m	あかやき土師器杯・甕
RG371 溝跡	B区東部	RA485	北西から南東に走る。幅 0.4 ~ 0.6 m, 延長 4.2 m, 深さ 0.2 m	土師器杯・甕, あかやき土師器杯, 須恵器杯・甕
RG372 溝跡	B区東部	RA485	南北に走る。幅 0.6 ~ 0.8 m, 延長 3.5 m, 深さ 0.25 m	土師器壺
RG373 溝跡	B区西部	RG374	円形開溝。径 3.3 ~ 3.7 m, 溝幅 0.3 ~ 0.6 m, 深さ 0.15 m	土師器杯・甕, あかやき土師器杯・甕, 須恵器壺
RG374 溝跡	B区西部	RG373	北西から南東にカーブしながら走る。幅 0.4 ~ 0.6 m, 延長 15.5 m, 深さ 0.15 m	土師器杯・甕, あかやき土師器杯, 須恵器杯・甕
RG375a-b-c 溝跡	B区中央部	RD1078-RG377	途切れながら扇状に走る。幅 0.4 ~ 0.6 m, 深さ 0.1 ~ 0.25 m	土師器杯・高台付杯・甕, あかやき土師器杯, 須恵器杯
RG376a-b 溝跡	B区南部	RA498-RD1076	分岐しながら東北東から西南西に走る。幅 0.8 ~ 1.7 m, 延長 12.5 m, 深さ 0.2 m	なし
RG377 溝跡	B区中央部	RG375	南北に走る。幅 0.4 ~ 0.6 m, 延長 9.6 m, 深さ 0.15 m	土師器壺

第16表 台太郎遺跡第27次調査C区溝跡一覧

遺構名	位置	番地	規模等	出土遺物
RG378 溝跡	C区北部	RG380-382-387	東西に走る。幅 1.0 ~ 2.0 m, 延長 23.0 m, 深さ 0.4 m	土師器杯・高台付杯・甕, あかやき土師器杯, 須恵器杯・甕
RG379 溝跡	C区西部	RG378-380	東南に走る。幅 0.7 ~ 0.9 m, 延長 9.7 m, 深さ 0.3 m, RG378 に合流。	土師器杯・甕, あかやき土師器杯, 須恵器壺
RG380 溝跡	C区西部	RG378-379-387	北西から南南東に走る。幅 0.5 ~ 0.7 m, 延長 7.1 m, 深さ 0.2 m	土師器杯
RG381 溝跡	C区南部	RG379-387	北東から西南西に走る。幅 0.5 ~ 0.8 m, 延長 3.6 m	土師器壺
RG382 溝跡	C区東部	RG378-387	南北に走る。幅 0.5 ~ 0.8 m, 延長 4.0 m	土師器杯・甕, 須恵器壺
RG387 溝跡	C区南部	RG378-380-381-382	東北東から西南西に走る。幅 0.6 ~ 0.8 m, 延長 16.0 m, 深さ 0.1 m, RG378 に合流。	なし
RG388 溝跡	C区北西部	なし	東北東から西南西に走る。幅 1.0 m, 延長 2.7 m, 深さ 0.3 m。	なし

第17表 第28次調査土坑一覧

遺構名	位置	番様	平面形	規模	出土遺物
RD1054 土坑	南西部	RA474・477・480, RG367	隅丸長方形	長辺 4.4 m, 短辺 2.2 m, 深さ 0.65 m	中世中国青磁梅瓶・皿
RD1055 土坑	南西部	RG367	不整形	径約 0.7 m	なし
RD1056 土坑	南東部	RB28001	隅丸長方形	長辺 2.8 m, 短辺 1.6 m, 深さ 0.1 m	なし
RD1057 (穴番)	—	—	—	—	—
RD1058 土坑	東部	なし	小判形	長軸 1.45 m, 短軸 0.9 m, 深さ 0.4 m	なし
RD1059 (穴番)	—	—	—	—	—
RD1060 土坑	北西部	なし	不整形円形	長軸 0.9 m, 短軸 0.3 m, 深さ 0.25 m	なし
RD1061 (穴番)	—	—	—	—	—
RD1062 (穴番)	—	—	—	—	—
RD1063 土坑	中央部	なし	楕円形	長軸 1.2 m, 短軸 1.0 m, 深さ 0.55 m	土師器杯, あかやき土師杯
RD1064 土坑	北東部	RD1065	不整形円形	長軸 3.2 m, 短軸 2.3 m	土師器杯・甕, 須恵器杯, 鉄滓
RD1065 土坑	北東部	RD1064	不整形円形	長軸 1.3 m以上, 短軸 0.7 m, 深さ 0.35 m	なし
RD1066 (穴番)	—	—	—	—	—
RD1067 土坑	北西部	なし	楕円形	長軸 0.7 m以上, 短軸 0.6 m, 深さ 0.4 m	なし
RD1068 土坑	中央部	なし	円形	径 0.3 m, 深さ 0.3 m	なし

第18表 第28次調査溝跡一覧

遺構名	位置	番様	規模等	出土遺物
RG387 溝跡	南部	RA475・RB28001・RD1054・1055	西北西から東南東に走る。幅 0.6～0.9 m, 延長 19.4 m, 深さ 0.2 m	あかやき土師杯
RG388 溝跡	北西部	なし	北東から南西に走る。幅 0.3～0.5 m, 延長 2.5 m, 深さ 0.1 m	なし

第19表 第29次調査土坑一覧

遺構名	位置	番様	平面形	規模	出土遺物
RD1088 土坑	北西部	PA503	不整形円形	長軸 3.4 m以上, 短軸 2.7 m, 深さ 0.8 m	土師器杯・甕, 須恵器杯
RD1089 土坑	西部	なし	隅丸長方形	長辺 2.9 m, 短辺 2.4 m, 深さ 0.2 m	なし
RD1090 土坑	北部	なし	隅丸長方形	長辺 3.0 m, 短辺 2.2 m, 深さ 0.35 m, 底面にビット6口。	なし

第20表 第31次調査溝跡一覧

遺構名	位置	番様	規模等	出土遺物
RG344 溝跡	南部	なし	北北西から南南西に走る。幅 0.4 m, 延長 4.7 m	なし
RG368 溝跡	北西部	なし	北北西から南南東に走る。幅 0.5～0.6 m, 延長 7.7 m	なし

第21表 第32次調査A・C区土坑一覧

遺構名	位置	重複	平面形	規模	出土遺物
RD1080 土坑	A区中央部	RA499	不整形円形	長軸 1.3 m, 短軸 0.9 m, 深さ 0.3 m	土師器釜
RD1081 土坑	A区中央部	なし	不整形円形?	径約 2.3 m, 深さ 0.65 m	土師器杯, あかやき土師杯, 須恵器罐, 近世陶器茶碗
RD1081 [欠番]	-	-	-	-	-
RD1083 土坑	A区南部	RD1084	不整形円形?	長軸 3.0 m, 短軸 2.5 m, 深さ 0.3 m	土師器杯・甕, あかやき土師杯, 須恵器杯, 磁石
RD1084 土坑	A区南部	RD1083	不整形円形?	径約 3.0 m, 深さ 0.4 m	土師器杯・甕, あかやき土師杯・甕, 須恵器杯・甕
RD1085 土坑	A区南部	RD1086	不整形円形	径約 1.2 m	なし
RD1086 土坑	A区南部	RD1085	不整形円形	径約 0.9 m	なし
遺構名	位置	重複	平面形	規模	出土遺物
RD1087 土坑	C区中央部	なし	不整形円形	径約 1.0 m	土師器杯 (溝口クロ)・甕

第22表 第32次調査A・B・C区溝跡一覧

遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG383 溝跡	A区北部	なし	北東から南西に走る。幅 0.9 ~ 1.2 m, 延長 3.5 m	なし
遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG077 溝跡	B区南部	RA193	北東から南西に走る。幅約 0.7 m, 延長 10 m, 深さ 0.25 m。※築造文 18 次調査に続く	土師器杯・甕, あかやき土師杯, 須恵器杯・甕, フイゴ裂口
RG137 溝跡	B区中央部	なし	東西に走る。幅約 1.0 m, 延長 8.5 m, 深さ 0.1 m, ※築造文 18 次調査に続く	土師器杯・甕, あかやき土師杯, 須恵器杯・甕
RG385 溝跡	B区北部	なし	東西に走る。幅約 0.9 ~ 1.3 m, 延長 6.1 m, 深さ 0.2 m	土師器罐, 須恵器杯・甕
RG386 溝跡	B区北部	なし	西北西から東南東に走る。幅 0.8 ~ 1.9 m, 延長 6.8 m, 深さ 0.1 m	なし
遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG042a・b 溝跡	C区西部・東部	RA502, RG048	a: 東北東から西南西に走る。幅 2.7 ~ 3.8 m, 延長 23 m b: 北西から南東に走る。幅 2.1 ~ 4.0 m, 延長 9 m ※築造文 18 次調査に続き、北部で閉鎖	土師器杯・高合付杯・甕, あかやき土師杯, 須恵器杯・甕, 磁石 (磁石), 鉄滓, 中世中国青磁碗, 陶片, 近世瓦磁器
RG045 溝跡	C区中央部	RA151	北西から南東に走る。幅 2.4 ~ 3.5 m, 延長 13.5 m	土師器杯・高合付杯・甕, あかやき土師杯・甕, 須恵器杯・甕, フイゴ裂口, 刀子?, 磁石 (磁石)
RG048 溝跡	C区西部	RG042	北東から南西に走る。幅 0.8 ~ 0.9 m, 延長 7.3 m	なし
RG131 溝跡	C区東部	なし	北西から南東に走る。幅 2.4 ~ 2.6 m, 延長 17.5 m	土師器釜, 須恵器甕

第23表 第33次調査溝跡一覧

遺構名	位置	重複	規模等	出土遺物
RG347 溝跡	西部	RA504, RG33002	北北西から南南西に走り、西に曲がり東北東から西南西に走る。幅 0.1 ~ 2.5 m, 延長 24.5 m	なし
RG33001 溝跡	中央部	RA506	北北西から南南東に走る。幅 5.2 ~ 7.3 m, 延長 27 m	なし
RG33002 溝跡	南西部	RG347	東西に走る。幅 0.6 ~ 0.9 m, 延長 5.0 m 以上	なし

第24表 第24次調査型穴住居跡土層観察表(1)

遺跡名	層名	主要土		含有土		観察	%	観察	概要	その他
		土色 (AS)	土性 (地味)	土色 (AS)	土性 (地味)					
RA304	A1	10YR2/3 黄褐色	SCL シルト質礫土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒状	2	中	中-中	
	B1	10YR2/3 黄褐色	SCL シルト質礫土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒状	1	中	中	
	B2	10YR2/3 黄褐色	SCL シルト質礫土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒一微状	18	中	中	
	B3	10YR3/3 ~ 3/4 黄褐色	SCL シルト質礫土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒一微状	5	中	中	
	B8	10YR2/2 ~ 2/3 黄褐色	SCL シルト質礫土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒一微状	5	中	中	
	C1	10YR4/6 褐色	SIL シルト質黄土	10YR2/1 ~ 2/2 灰一黄褐色	SCL シルト質礫土	粒一微状	40	中	中-中	
	L1	10YR2/3 黄褐色	SCL シルト質礫土	10YR4/6 ~ 5/6 灰一黄褐色	SIL シルト質黄土	粒一微状	30	中-中	中-中	非礫土
	L2	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質黄土	10YR2/2 ~ 2/3 黄褐色	SCL シルト質礫土	粒一微状	30	中	中-中	
	A1	10YR2/3 黄褐色	—	10YR2/1 黄褐色	—	—	30	中	中	
	B1	10YR2/3 黄褐色	—	10YR4/6 褐色	—	—	5	中	中	
	RA304/R2	A1	10YR2/1 ~ 2/2 灰一黄褐色	—	10YR4/6 ~ 5/6 灰一黄褐色	—	30	中	中-中	
遺跡名	層名	主要土	含有土	観察 <td>% <td>観察 <td>概要 <td>その他</td> </td></td></td>	% <td>観察 <td>概要 <td>その他</td> </td></td>	観察 <td>概要 <td>その他</td> </td>	概要 <td>その他</td>	その他		
	土色 (AS)	土性 (地味)	土色 (AS)	土性 (地味)	観察 <td>%</td> <td>観察 <td>概要 <td>その他</td> </td></td>	%	観察 <td>概要 <td>その他</td> </td>	概要 <td>その他</td>	その他	
RA305	A1	10YR2/1 灰色	SCL シルト質礫土	10YR4/6 ~ 5/6 灰一黄褐色	SIL シルト質黄土	粒一微状	5	中	中-中	
	A2	10YR2/2 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 ~ 5/6 灰一黄褐色	SIL シルト質黄土	粒一微状	2	中	中	
	A3	10YR2/2 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 ~ 5/6 灰一黄褐色	SIL シルト質黄土	粒一微状	10	中	中	
	A4	10YR2/2 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR2/1 灰色	SIL シルト質礫土	微状	30	中	中	
	A5	10YR2/2 ~ 2/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 ~ 5/6 灰一黄褐色	SIL シルト質黄土	粒状	10	—	—	
	A6	10YR2/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR2/1 灰色	SIL シルト質礫土	粒状	15	—	—	
	B1	10YR2/3 黄褐色	SCL シルト質礫土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒状	10	中	中-中	
	B2	10YR2/3 黄褐色	SCL シルト質礫土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒状	2	中	中	
	B3	10YR2/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	5YR5/6 黄褐色	—	—	2	—	—	
	B4	10YR2/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒状	20	中	中-中	
	B5	10YR2/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒状	2	中-中	中-中	
	B6	10YR2/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒状	30	中	中	
	B7	10YR2/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	5YR5/6 黄褐色	SIL シルト質黄土	粒一微状	30	—	—	
	B8	10YR2/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒一微状	2	中	中	
	B9	10YR2/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒一微状	10	中	中	
	B10	10YR2/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒一微状	10	中	中	
	B11	10YR2/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒一微状	2	中	中-中	
	C1	—	—	—	—	—	—	—	—	
	D1	10YR2/1 灰色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 ~ 5/6 灰一黄褐色	SIL シルト質黄土	粒一微状	2	中	中-中	
	D2	10YR4/6 ~ 5/6 灰一黄褐色	SIL 砂質土	10YR2/1 灰色	SIL シルト質礫土	—	—	—	—	
	D3	10YR2/1 灰色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒一微状	5	中	中	
J1	10YR2/2 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/4 褐色	SIL シルト質黄土	—	5	中	中	カマド跡土	
J2	10YR2/2 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/4 褐色	SIL シルト質黄土	—	2	中	中-中		
J3	10YR2/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒状	10	中	中-中		
J4	10YR3/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	5YR5/6 黄褐色	SIL シルト質黄土	粒状	10	—	—		
J5	10YR3/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質黄土	—	5	中	中-中		
J6	5YR4/6 黄褐色	SIL シルト質礫土	5YR5/6 黄褐色	SIL シルト質黄土	—	30	中	中		
J7	10YR2/1 灰色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒状	2	中	中		
K1	10YR2/1 灰色	SIL シルト質礫土	10YR4/4 褐色	SIL シルト質黄土	—	30	中	中	カマド跡土	
K2	5YR5/6 ~ 6/6 黄褐色一灰色	SIL シルト質礫土	10YR3/3 ~ 4/4 黄褐色一褐色	SIL シルト質黄土	粒一微状	10	中	中-中		
K3	10YR4/4 ~ 5/4 灰一C-3A1 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR2/2 黄褐色	SIL シルト質礫土	—	30	中	中		
K4	10YR2/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質黄土	—	30	中	中-中		
L1	10YR4/6 ~ 5/6 灰一黄褐色	—	10YR2/1 灰色	—	—	20	中-中	中-中	非礫土	
L2	10YR4/3 C-3A1 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 ~ 5/6 灰一黄褐色	—	—	10	中-中	中-中		
RA305 遺跡B	A1	10YR2/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR6/8 黄褐色	SIL シルト質黄土	粒状	30	中	中	広い溝
	B1	10YR2/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒状	5	中	中	
	B2	10YR2/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質黄土	粒一微状	10	中	中	
	C1	10YR4/6 褐色	SIL シルト質礫土	5YR5/6 黄褐色	—	—	30	中	中-中	
	D1	10YR3/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR2/3 黄褐色	—	—	5	中-中	中-中	
	D2	10YR2/2 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR2/3 黄褐色	—	—	10	中	中	
	D3	10YR3/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR4/6 褐色	—	—	5	中	中	
	D4	10YR3/3 黄褐色	SIL シルト質礫土	10YR2/2 黄褐色	SIL シルト質礫土	粒一微状	10	中	中	



第25表 第24次調査穴住居跡土層観察表(2)

遺跡名	層名	主要土		倉庫土				観察	特徴	その他
		土色 (JIS)	土質 (説明)	土色 (JIS)	土質 (説明)	状態	%			
RA305P11	A'	10YR2/1 黒色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/6 褐色	SL シルト質硬土	塊状	30	中	中～重	
	A2	10YR4/6 褐色	SCL シルト質硬土	10YR2/1 黒色	SCL シルト質硬土	塊状	30	中	中～重	
RA305P12	A1	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/6 褐色	SL シルト質硬土	塊状	30	軽	重	
	B1	10YR4/6 褐色	SCL シルト質硬土	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	塊状	30	軽～中	重	
RA305P13	A1	10YR2/1 黒色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/6 褐色	SL シルト質硬土	塊状	10	軽～中	重	
	A1	10YR4/6 褐色	SCL シルト質硬土	10YR2/1 黒色	SCL シルト質硬粘土	塊状	20	重	中～重	
RA305P15	A1	10YR2/1 黒色	SCL シルト質硬粘土	10YR2/3 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	—	30	軽	中～重	
	A1	10YR4/6 褐色	SCL シルト質硬粘土	5YR5/8 褐色	SL シルト質硬土	—	30	軽	重	
RA305P16	A2	10YR4/6 褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR2/1 黒色	SCL シルト質硬粘土	塊状	5	重	中～重	
	A1	10YR2/1 黒色	SCL シルト質硬粘土	10YR2/3 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	—	30	中	中	
RA305P10	A1	10YR2/3 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/6 褐色	SL シルト質硬土	—	10	中	中	
	A1	10YR4/4 褐色	SCL シルト質硬粘土	10Y2/2 黒褐色	—	—	10	中	中	
RA305P11	B1	10YR2/1 黒色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/4 褐色	—	—	10	中	中	
	注釋名	層名	主要土	倉庫土	土色 (JIS)	土質 (説明)	状態	%	観察	特徴
RA306	A1	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/6 褐色	SL シルト質硬土	塊状	5	軽～中	中	
	D1	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/6 褐色	SL シルト質硬土	—	5	軽	中	
RA306P5	B2	10YR2/3 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/6 褐色	SL シルト質硬土	—	10	軽	中	
	注釋名	層名	主要土	倉庫土	土色 (JIS)	土質 (説明)	状態	%	観察	特徴
RA307	A1	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR3/3 暗褐色	SCL シルト質硬粘土	塊状	20	中	中～重	
	A2	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/4～4/6 褐色	SCL シルト質硬粘土	塊状	2	中	中	
RA307P1	A3	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/4～4/6 褐色	SL シルト質硬土	塊状	15	中	中	
	B1	10YR3/3 暗褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/6～5/8 褐色～黄褐色	SL シルト質硬土	塊状	10	中	中	
RA307P2	B2	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	5YR5/8 褐色	塊状	40	軽～中	重		
	C1	10YR2/1 黒色	SCL シルト質硬粘土	10YR2/3 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	—	30	中	中	
RA307P3	D1	10YR3/3 暗褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	—	30	中	中	
	D2	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR3/3 暗褐色	SCL シルト質硬粘土	—	20	中	中	
RA307P4	D3	10YR3/3 暗褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR3/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	—	20	中	中	
	E1	10YR2/3 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	—	30	中～重	中～重	
RA307P5	E2	10YR3/4 暗褐色	SCL シルト質硬粘土	—	—	—	—	—	—	
	F1	10YR3/3 暗褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	塊状	30	中	中	
RA307P6	F2	10YR2/1 黒色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/6 褐色	SCL シルト質硬土	塊状	10	軽～中	重	
	F3	10YR2/1 黒色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/6 褐色	SL シルト質硬土	—	10	軽～中	重	
RA307P7	A1	10YR2/3 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/6 褐色	SL シルト質硬土	塊状	15	中	中	カマ下層粘土
	K2	10YR3/4 暗褐色	SCL シルト質硬粘土	5YR5/8 褐色	—	—	—	—	—	
RA307P8	K3	10YR4/6～5/8 褐色～黄褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR2/3～3/3 黒褐色～暗褐色	SL シルト質硬土	塊状	30	中	中	
	K4	10YR2/3 暗褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/6 褐色	SL シルト質硬土	—	5	中	中	
RA307P9	L1	10YR3/4 暗褐色	SCL シルト質硬粘土	5YR5/8 褐色	SCL シルト質硬土	—	30	軽	中	鉄屑粘土
	L2	10YR4/4 褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR2/1 黒色	—	—	—	—	—	
RA307P11	A1	10YR2/1 黒色	SCL シルト質硬粘土	10YR2/3 黒褐色	—	—	30	重	軽	
	A1	10YR2/1 黒色	SCL シルト質硬粘土	10YR2/2 黒褐色	—	—	30	軽	重	
注釋名	層名	主要土	倉庫土	土色 (JIS)	土質 (説明)	状態	%	観察	特徴	その他
	RA308	A1	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR6/6 黄褐色	SL シルト質硬土	塊状	2	中	中
A2		10YR2/2～2/3 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR6/6 黄褐色	SL シルト質硬土	—	10	中	中	
RA308P1	C1	10YR3/3～3/4 暗褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR2/3 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	—	30	中～軽	重	
	D1	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/4～4/6 褐色	SCL シルト質硬粘土	塊状	2	中	中	
RA308P2	D2	10YR2/1～2/2 黒～黄褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/4～4/6 褐色	SCL シルト質硬粘土	塊状	5	中	中	
	D3	10YR2/1 黒色	SCL シルト質硬粘土	10YR2/3 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	塊状	30	中	中	
RA308P3	E1	10YR3/4～4/4 暗褐色～褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR2/2～2/3 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	—	30	軽～中	中	
	E2	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	5YR5/8 褐色	—	—	—	—	—	
RA308P4	E3	10YR2/3 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR3/3 暗褐色	SL シルト質硬土	塊状	20	中	中	
	E4	—	—	—	—	—	—	—	—	
RA308P5	F1	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	5YR5/8 褐色	—	—	—	—	—	
	K1	10YR2/1 黒色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/6 褐色	SL シルト質硬土	—	5	重	中～重	カマ下層粘土
RA308P6	K2	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR6/6 黄褐色	SCL シルト質硬土	—	30	軽	中～重	
	K3	10YR2/3 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/6 褐色	SL シルト質硬土	—	10	中	中	
RA308P7	L1	10YR2/1 黒色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/4 褐色	SL シルト質硬土	—	40	中～重	中～重	鉄屑粘土
	注釋名	層名	主要土	倉庫土	土色 (JIS)	土質 (説明)	状態	%	観察	特徴
RA309	A1	10YR2/3 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/4～4/6 褐色	SL シルト質硬土	塊状	20	中	中	
	B1	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/6 褐色	SCL シルト質硬土	塊状	5	中	中	
RA309P1	B2	10YR2/2 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/6 褐色	SCL シルト質硬土	塊状	2	中	中	
	C1	10YR2/3 黒褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR2/2 黒褐色	SL シルト質硬土	塊状	15	中	中	
RA309P2	L1	10YR2/3～3/3 暗褐色～暗褐色	SCL シルト質硬粘土	10YR4/4 褐色	SL シルト質硬土	塊状	15	軽	重	

第 26 表 第 24 次調査壑穴住居跡土層観察表 (3)

遺構名	層名	主層土		含有土		状態	%	観察	位置	その他	
		土色 (JIS)	土質 (地層)	土色 (JIS)	土質 (地層)						
RA310	A1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質粘土	凝状	5	中	中	中	
	A2	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質粘土	凝状	10	中	中	中	
	B1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 ~ 5YR 5/6 黄褐色	SIL シルト質粘土	凝状	20	中	中	中	
	B2	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 ~ 5YR 5/6 黄褐色	SIL シルト質粘土	凝状	30	中	中	中	
	C1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 ~ 5YR 5/6 黄褐色	SIL シルト質粘土	凝状	2	中	中	中	
	C3	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 ~ 5YR 5/6 黄褐色	SIL シルト質粘土	凝状	30	中	中	中	
	O1	10YR2/2 ~ 2/3 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質粘土	凝状	2	中	中	中	
	O2	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質粘土	凝状	2	中	中	中	
	D2	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質粘土	凝状	10	中	中	中	
					5YR5/5 黄褐色	凝状	5				
	E1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 褐色	SICL シルト質粘土	凝状	30	中	中	中	
	E2	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	5YR5/5 黄褐色	凝状	2	中	中	中	中	
	E3	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	5YR4/6 黄褐色	凝状	2	中	中	中	中	
	K1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	5YR4/6 黄褐色	SICL シルト質粘土	凝状	2	中	中	中	
K2	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	5YR4/6 黄褐色	凝状	30	中	中	中	中		
K3	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 褐色	凝状	30	中	中	中	中		
L1	10YR2/3 ~ 3/4 黄褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR2/2 黒褐色	凝状	30	中	中	中	中		
遺構名	層名	主層土		含有土		状態 <td rowspan="2">% <td rowspan="2">観察 <td rowspan="2">位置 <td rowspan="2">その他</td> </td></td></td>	% <td rowspan="2">観察 <td rowspan="2">位置 <td rowspan="2">その他</td> </td></td>	観察 <td rowspan="2">位置 <td rowspan="2">その他</td> </td>	位置 <td rowspan="2">その他</td>	その他	
		土色 (JIS)	土質 (地層)	土色 (JIS)	土質 (地層)						
RA311	A1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 ~ 5YR 5/6 黄褐色	SIL シルト質粘土	凝状	30	中	中	中	
	A2	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR2/2 黒褐色	凝状	20	中	中	中	中	
遺構名	層名	主層土		含有土		状態 <td rowspan="2">% <td rowspan="2">観察 <td rowspan="2">位置 <td rowspan="2">その他</td> </td></td></td>	% <td rowspan="2">観察 <td rowspan="2">位置 <td rowspan="2">その他</td> </td></td>	観察 <td rowspan="2">位置 <td rowspan="2">その他</td> </td>	位置 <td rowspan="2">その他</td>	その他	
		土色 (JIS)	土質 (地層)	土色 (JIS)	土質 (地層)						
RA312	A1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 ~ 5YR 5/6 黄褐色	SIL シルト質粘土	凝状	30	中	中	中	
	A2	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 ~ 5YR 5/6 黄褐色	SIL シルト質粘土	凝状	30	中	中	中	
	B1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質粘土	凝状	5	中	中	中	
	B2	10YR2/2 ~ 2/3 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質粘土	凝状	2	中	中	中	
	C1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質粘土	凝状	30	中	中	中	
	D1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質粘土	凝状	20	中	中	中	
	O1	10YR2/3 ~ 3/4 黄褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質粘土	凝状	5	中	中	中	
	J1	10YR4/6 褐色	SICL シルト質砂粘土	5YR5/5 黄褐色	凝状	2	中	中	中	中	
	K2	10YR2/2 ~ 3/4 黄褐色	SICL シルト質砂粘土	5YR5/5 黄褐色	凝状	2	中	中	中	中	
	L1	10YR2/3 ~ 3/4 黄褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 ~ 5YR 5/6 黄褐色	SIL シルト質粘土	凝状	30	中	中	中	
	L2	10YR2/3 ~ 3/4 黄褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質粘土	凝状	10	中	中	中	
	遺構名	層名	主層土		含有土		状態 <td rowspan="2">% <td rowspan="2">観察 <td rowspan="2">位置 <td rowspan="2">その他</td> </td></td></td>	% <td rowspan="2">観察 <td rowspan="2">位置 <td rowspan="2">その他</td> </td></td>	観察 <td rowspan="2">位置 <td rowspan="2">その他</td> </td>	位置 <td rowspan="2">その他</td>	その他
			土色 (JIS)	土質 (地層)	土色 (JIS)	土質 (地層)					
	RA313	A1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質粘土	凝状	5	中	中	中
A2		10YR2/1 ~ 2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質粘土	凝状	2	中	中	中	
B1		10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質粘土	凝状	30	中	中	中	
B2		10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質粘土	凝状	30	中	中	中	
C1		10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質粘土	凝状	20	中	中	中	
C2		10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 褐色	SICL シルト質粘土	凝状	2	中	中	中	
F2		10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質粘土	凝状	30	中	中	中	
J1		5YR5/5 黄褐色	凝状	10YR4/6 褐色	凝状	30	中	中	中	中	
K1		5YR5/5 黄褐色	凝状	10YR4/6 褐色	凝状	2	中	中	中	中	
K2		10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質粘土	凝状	30	中	中	中	
K3		10YR2/3 黄褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質粘土	凝状	15	中	中	中	
L1		10YR2/3 黄褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質粘土	凝状	15	中	中	中	
L2		10YR2/3 黄褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質粘土	凝状	15	中	中	中	
遺構名		層名	主層土		含有土		状態 <td rowspan="2">% <td rowspan="2">観察 <td rowspan="2">位置 <td rowspan="2">その他</td> </td></td></td>	% <td rowspan="2">観察 <td rowspan="2">位置 <td rowspan="2">その他</td> </td></td>	観察 <td rowspan="2">位置 <td rowspan="2">その他</td> </td>	位置 <td rowspan="2">その他</td>	その他
		土色 (JIS)	土質 (地層)	土色 (JIS)	土質 (地層)						
RA314	A1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質粘土	凝状	5	中	中	中	
	A2	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質粘土	凝状	1	中	中	中	
	B1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質粘土	凝状	30	中	中	中	
	C1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/3 近い黄褐色	SIL シルト質粘土	凝状	30	中	中	中	
	C2	10YR2/3 ~ 3/4 黄褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/3 近い黄褐色	SIL シルト質粘土	凝状	10	中	中	中	
	O3	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SIL シルト質粘土	10YR4/6 褐色	SICL シルト質粘土	凝状	2	中	中	中	
	C4	10YR2/2 黒褐色	SIL シルト質砂粘土	10YR4/6 褐色	SICL シルト質粘土	凝状	2	中	中	中	
	C5	10YR2/2 黒褐色	SIL シルト質砂粘土	10YR2/1 黒褐色	SICL シルト質粘土	凝状	2	中	中	中	
	G1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	5YR5/5 黄褐色	凝状	2	中	中	中	中	
	K1	10YR4/6 ~ 5YR 5/6 黄褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR2/2 黒褐色	凝状	5	中	中	中	中	
K2	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 ~ 5YR 5/6 黄褐色	凝状	30	中	中	中	中		
L1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 ~ 5YR 5/6 黄褐色	凝状	30	中	中	中	中		
RA314 P1-4	A1	10YR2/1 黒褐色	SICL シルト質砂粘土	10YR4/6 褐色	凝状	5	中	中	中	中	

第27表 第24次調査型穴住居跡土層観察表(4)

遺跡名	層名	主要土			含有土			状況	%	観察	特徴	その他	
		土色 (JIS)	土色 (番号)	土色 (JIS)	土性 (番号)	土色 (JIS)	土性 (番号)						
RA315	A1	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/6 褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	10	中	中	中	中	灰層土	
	L1	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
RA315P1	A1	10YR2/2 ~ 2/3 赤褐色	---	10YR4/6 褐色	---	---	---	破砕	2	中	中	中	灰層土
遺跡名	層名	主要土			含有土			状況	%	観察	特徴	その他	
		土色 (JIS)	土性 (番号)	土色 (JIS)	土性 (番号)	土色 (JIS)	土性 (番号)						
RA316	A1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR3/3 凝結赤色	SICL シルト質凝結土	凝結	30	中	中	中	中	灰層土	
	A2	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/6 ~ 5/6 褐色	SL シルト質凝結土	凝結	10	中	中	中	中	灰層土	
	B1	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質凝結土	凝結	10	中	中	中	中	灰層土	
	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
遺跡名	層名	主要土			含有土			状況	%	観察	特徴	その他	
		土色 (JIS)	土性 (番号)	土色 (JIS)	土性 (番号)	土色 (JIS)	土性 (番号)						
RA317	A1	10YR2/1 黒色	SICL シルト質凝結土	10YR3/3 凝結赤色	SL シルト質凝結土	既一壊状	5	中	中	中	中	灰層土	
	A2	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR3/3 凝結赤色	SL シルト質凝結土	既一壊状	15	中	中	中	中	灰層土	
	A3	10YR2/1 黒色	SICL シルト質凝結土	10YR4/4 褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	5	中	中	中	中	灰層土	
	B1	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR2/1 黒色	SL シルト質凝結土	既一壊状	10	中	中	中	中	灰層土	
	B2	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR2/3 黒褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	30	中	中	中	中	灰層土	
	C1	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/6 褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	2	中	中	中	中	灰層土	
	C2	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/6 ~ 5/6 褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	15	中	中	中	中	灰層土	
	L1	10YR3/1 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR6/6 暗褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	15	中	中	中	中	灰層土	
	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
RA317P1	A1	10YR2/1 黒色	SICL シルト質凝結土	10YR3/3 凝結赤色	SL シルト質凝結土	既一壊状	10	中	中	中	中	灰層土	
RA317P2	A1	10YR2/1 黒色	SICL シルト質凝結土	10YR2/3 凝結赤色	SL シルト質凝結土	既一壊状	15	中	中	中	中	灰層土	
	B1	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/4 褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	7	中	中	中	中	灰層土	
遺跡名	層名	主要土			含有土			状況	%	観察	特徴	その他	
		土色 (JIS)	土性 (番号)	土色 (JIS)	土性 (番号)	土色 (JIS)	土性 (番号)						
RA318	A1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/4 褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	5	中	中	中	中	灰層土	
	A2	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/6 褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	10	中	中	中	中	灰層土	
	A3	10YR2/1 黒色	SICL シルト質凝結土	10YR4/6 褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	2	中	中	中	中	灰層土	
	B1	10YR2/2 ~ 2/3 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/4 褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	10	中	中	中	中	灰層土	
	D1	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR2/2 黒褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	10	中	中	中	中	灰層土	
	D2	10YR2/1 黒色	SICL シルト質凝結土	10YR3/3 凝結赤色	SL シルト質凝結土	既一壊状	10	中	中	中	中	灰層土	
	D3	10YR4/3 赤褐色	SL シルト質凝結土	10YR3/3 凝結赤色	SL シルト質凝結土	既一壊状	15	中	中	中	中	灰層土	
	J1	10YR5/4 赤褐色	SL シルト質凝結土	10YR3/4 凝結赤色	SL シルト質凝結土	既一壊状	10	中	中	中	中	灰層土	
	J2	7.5YR4/4 褐色	SL シルト質凝結土	10YR4/4 褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	10	中	中	中	中	灰層土	
	J3	7.5YR4/3 褐色	SL シルト質凝結土	10YR3/2 凝結赤色	SL シルト質凝結土	既一壊状	10	中	中	中	中	灰層土	
	K1	10YR4/3 赤褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/6 褐色	SL シルト質凝結土	凝結	10	中	中	中	中	灰層土	
	K2	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/6 褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	5	中	中	中	中	灰層土	
	L1	10YR2/1 黒色	SICL シルト質凝結土	10YR5/5 黄褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	15	中	中	中	中	灰層土	
	遺跡名	層名	主要土			含有土			状況	%	観察	特徴	その他
		土色 (JIS)	土性 (番号)	土色 (JIS)	土性 (番号)	土色 (JIS)	土性 (番号)						
RA319	A1	10YR4/4 褐色	SL シルト質凝結土	10YR2/2 黒褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	5	中	中	中	中	灰層土	
	A2	10YR3/2 凝結赤色	SL シルト質凝結土	10YR5/4 赤褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	15	中	中	中	中	灰層土	
	A3	10YR3/1 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR5/4 赤褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	20	中	中	中	中	灰層土	
	B4	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR3/3 凝結赤色	SL シルト質凝結土	既一壊状	10	中	中	中	中	灰層土	
	B7	10YR4/3 赤褐色	SL シルト質凝結土	10YR3/2 凝結赤色	SL シルト質凝結土	既一壊状	15	中	中	中	中	灰層土	
	B8	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR5/2 黄褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	10	中	中	中	中	灰層土	
	B4	10YR4/3 赤褐色	SL シルト質凝結土	10YR5/2 黄褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	20	中	中	中	中	灰層土	
	B4	10YR3/1 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/3 褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	20	中	中	中	中	灰層土	
	C1	10YR3/3 凝結赤色	SL シルト質凝結土	10YR4/4 褐色	SL シルト質凝結土	凝結	15	中	中	中	中	灰層土	
	J1	10YR7/6 暗褐色	SL シルト質凝結土	10YR5/2 黄褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	10	中	中	中	中	灰層土	
	J2	8YR6/4 赤褐色	SL シルト質凝結土	10YR6/2 凝結赤色	SL シルト質凝結土	凝結	20	中	中	中	中	灰層土	
	J4	10YR3/2 凝結赤色	SL シルト質凝結土	10YR4/3 赤褐色	SL シルト質凝結土	既一壊状	15	中	中	中	中	灰層土	
	J5	10YR5/4 赤褐色	SL シルト質凝結土	10YR3/2 凝結赤色	SL シルト質凝結土	既一壊状	10	中	中	中	中	灰層土	
	K1	10YR2/1 黒色	SICL シルト質凝結土	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---
K1	10YR5/4 ~ 6/6 黄褐色	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
K2	10YR4/3 赤褐色	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
K3	10YR2/2 黒褐色	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
L1	10YR2/2 黒褐色	SL シルト質凝結土	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
L2	10YR2/2 黒褐色	SL シルト質凝結土	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
RA319P1	A1	10YR2/1 黒色	SICL シルト質凝結土	10YR2/3 凝結赤色	SL シルト質凝結土	既一壊状	15	中	中	中	中	灰層土	
遺跡名	層名	主要土			含有土			状況	%	観察	特徴	その他	
		土色 (JIS)	土性 (番号)	土色 (JIS)	土性 (番号)	土色 (JIS)	土性 (番号)						
RA320	A1	10YR2/1 ~ 2/2 黒褐色	SICL シルト質凝結土	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
	A2	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質凝結土	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
	B1	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質凝結土	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
	B2	10YR2/1 ~ 2/2 黒褐色	SICL シルト質凝結土	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
	C1	10YR2/1 黒色	SL シルト質凝結土	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
	L1	10YR2/1 黒色	SICL シルト質凝結土	---	---	---	---	---	---	---	---	---	
L2	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質凝結土	---	---	---	---	---	---	---	---	---		

第28表 第24次調査型穴住居跡土層観察表(5)

遺構名	層名	主要土		含有土		状態	%	観察	位置	その他										
		土色 (JIS)	土性 (備考)	土色 (JIS)	土性 (備考)															
FA321	A1	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR3/3 灰褐色	SIL シルト質凝結土	粒状	5	○	中											
				10YR2/2 黒褐色	SIC2 シルト質凝結土	粒状	10													
	A2	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質凝結土	粒状	5	甲	中											
				10YR3/4 ~ 4/3 黄褐色に赤い黄褐色	SICL シルト質凝結土	10YR2/1 黒色	SICL シルト・質凝結土	片状	10	中	中～底									
	B1	10YR2/1 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR3/4 ~ 4/3 灰褐色に赤い黄褐色	SIL シルト質凝結土	粒状	15	中	中											
				10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/4 褐色	SIL シルト・質凝結土	粒状	5	中～中	中～中									
	L1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	凝結土									
												L2	-	-	-	-	-	-	-	-
												L3	-	-	-	-	-	-	-	-
	遺構名	層名	主要土		含有土		状態	%	観察	位置	その他									
土色 (JIS)			土性 (備考)	土色 (JIS)	土性 (備考)															
FA322	A1	10YR2/1 黒色	SICL シルト質凝結土	10YR4/6 褐色	SIC シルト質凝結土	母一貼状	2	甲	中											
				10YR2/1 ~ 2/2 赤～黄褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SIC シルト質凝結土	粒状	5	中～甲	中									
	B1	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/4 ~ 5/6 赤～灰褐色	SIC シルト質凝結土	粒状	20	中～甲	中											
				10YR2/1 黒色	SICL シルト質凝結土	10YR4/4 ~ 4/6 褐色	SIC シルト・質凝結土	-	2	上	底									
	D1	10YR2/1 黒色	SICL シルト質凝結土	10YR3/3 暗褐色	SIL シルト質凝結土	塊状	20	中	中											
				10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/6 ~ 5/6 赤～黄褐色	HC 凝結土	-	30	中	中～底									
	D3	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/6 褐色	SIL シルト質凝結土	粒状	10	中	中											
				10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR2/1 黒色	SIL シルト質凝結土	-	20	中	中									
	E1	10YR2/3 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR4/4 褐色	SIL シルト質凝結土	-	30	中	中											
				10YR4/4 褐色	SICL シルト質凝結土	10YR6/8 黄褐色	SIL シルト質凝結土	-	5	中	中									
	E3	10YR2/2 黒褐色	SICL シルト質凝結土	10YR6/8 黄褐色	SIL シルト質凝結土	-	5	中	中											
				10YR3/4 暗褐色	SIL シルト質凝結土	10YR6/8 黄褐色	SIL シルト質凝結土	塊一塊状	30	中	○	カマド跡部土								
	K2	10YR6/8 黄褐色	SIL シルト質凝結土	5YR5/6 暗赤褐色	-	-	10	中	○～底	少し褐色粘りつき										
				10YR6/8 暗赤褐色	SIL シルト質凝結土	10YR6/8 暗赤褐色	-	5	中	○										
L1	10YR3/1 黄褐色	SICL シルト質凝結土	10YR6/8 暗赤褐色	SIL シルト質凝結土	塊一塊状	10	中	中～底	黄褐色土											
			10YR3/1 黄褐色	SICL シルト質凝結土	10YR6/8 暗赤褐色	SIC シルト質凝結土	塊一塊状	10	中	中～底	黄褐色土									
遺構名	層名	主要土		含有土		状態	%	観察	位置	その他										
		土色 (JIS)	土性 (備考)	土色 (JIS)	土性 (備考)															
FA323	A1	10YR2/2 黒褐色	-	10YR4/6 褐色	SIL シルト質凝結土	粒状	5	○	中～底											
				10YR2/3 黒褐色	-	10YR4/6 褐色	SIL シルト質凝結土	粒状	10	○	中									
	B2	10YR2/3 黒褐色	-	10YR4/6 褐色	SIL シルト質凝結土	粒状	5	○	中											
				10YR2/1 黒色	-	10YR4/6 褐色	-	粒状	2	○	中～中	凝結土								
	C2	10YR2/2 黒褐色	-	10YR4/4 褐色	-	粒状	5	○	中											
				10YR2/4 暗褐色	-	10YR4/6 褐色	-	粒状	30	○	中～底	凝結土								



第30表 第24次調査出土土器観察表 (2)

調査 年度	発掘 区画	遺跡名	発掘 番号	次期	遺跡名	調査No.	区分	器種	形状		厚さ	寸法 口径/底径	口径/底径	容積	重量	目録 No./調査 No.	内径/底径	取付位置		調査 年度	調査 区画	内径	容量		
									口縁	底								外周	内周						
140	046	5	中央部	307	304	NA307	2A	土器類	鉢	平縁直壁	底	16.7	14.0	16.7	1.8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
140	047	—	中央部	307	304	NA307	2	土器類	鉢	平縁直壁	底	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
140	048	4	中央部	307	304	NA307	17	土器類	鉢	平縁直壁	底	6	5.5	5.2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
調査 年度	発掘 区画	遺跡名	発掘 番号	次期	遺跡名	調査No.	区分	器種	形状	口縁	底	口径	底径	容積	重量	目録 No./調査 No.	内径/底径	口縁/底径	調査 年度	調査 区画	内径	容量			
140	049	—	中央部	307	304	NA309	9	土器類	鉢	平縁直壁	底	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
調査 年度	発掘 区画	遺跡名	発掘 番号	次期	遺跡名	調査No.	区分	器種	形状	口縁	底	口径	底径	容積	重量	目録 No./調査 No.	内径/底径	口縁/底径	調査 年度	調査 区画	内径	容量			
140	050	5-14	中央部	307	304	NA310	6	土器類	鉢	平縁直壁	底	5.8	4.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
140	051	—	中央部	307	304	NA310	7	土器類	鉢	平縁直壁	底	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
140	052	—	中央部	307	304	NA310	10	土器類	鉢	平縁直壁	底	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
調査 年度	発掘 区画	遺跡名	発掘 番号	次期	遺跡名	調査No.	区分	器種	形状	口縁	底	口径	底径	容積	重量	目録 No./調査 No.	内径/底径	口縁/底径	調査 年度	調査 区画	内径	容量			
141	054	—	中央部	307	304	NA321	1	土器類	鉢	平縁直壁	底	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
141	055	5	中央部	307	304	NA321	4	土器類	鉢	平縁直壁	底	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
調査 年度	発掘 区画	遺跡名	発掘 番号	次期	遺跡名	調査No.	区分	器種	形状	口縁	底	口径	底径	容積	重量	目録 No./調査 No.	内径/底径	口縁/底径	調査 年度	調査 区画	内径	容量			
141	057	—	中央部	307	304	NA322	14	土器類	鉢	平縁直壁	底	8.0	7.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
141	058	5	中央部	307	304	NA322	35	土器類	鉢	平縁直壁	底	8.0	7.5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
141	059	5	中央部	307	304	NA322	42	土器類	鉢	平縁直壁	底	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
141	060	5	中央部	307	304	NA322	38	土器類	鉢	平縁直壁	底	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
141	061	—	中央部	307	304	NA322	17	土器類	鉢	平縁直壁	底	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
141	062	—	中央部	307	304	NA322	38	土器類	鉢	平縁直壁	底	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
141	063	—	中央部	307	304	NA322	18	土器類	鉢	平縁直壁	底	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
調査 年度	発掘 区画	遺跡名	発掘 番号	次期	遺跡名	調査No.	区分	器種	形状	口縁	底	口径	底径	容積	重量	目録 No./調査 No.	内径/底径	口縁/底径	調査 年度	調査 区画	内径	容量			
141	064	5	中央部	307	304	NA327	13	土器類	鉢	平縁直壁	底	4.7	3.6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

第31表 第24次調査出土遺物観察表

調査 年度	発掘 区画	遺跡名	発掘 番号	次期	遺跡名	調査No.	区分	器種	形状		厚さ	寸法 口径	調査 年度	調査 区画	内径	容量						
									口縁	底												
140	055	—	中央部	307	304	NA304	3	土器類	土師器	底	6.4	—	—	—	—	—						
140	056	—	中央部	307	304	NA304	2	土器類	土師器	底	5.3	—	—	—	—	—						
140	057	—	中央部	307	304	NA304	1	土器類	土師器	底	4.7	—	—	—	—	—						
調査 年度	発掘 区画	遺跡名	発掘 番号	次期	遺跡名	調査No.	区分	器種	形状	口縁	底	口径	底径	容積	重量	目録 No./調査 No.	内径/底径	口縁/底径	調査 年度	調査 区画	内径	容量
141	068	—	中央部	307	304	NA322	9	土器類	土師器	底	10.7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—







第34表 第25次調査A区出土土器観察表(3)

調査 番号	発見 場所	発掘 層位	発掘 時期	出土 品名	形状・ 寸法	土質 ・色	用途	形状							土質	年代	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																						
								口径	口径	口径	口径	口径	口径	口径				口径	口径																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				
調査 番号	発見 場所	発掘 層位	発掘 時期	出土 品名	形状・ 寸法	土質 ・色	用途	口径	口径	口径	口径	口径	口径	口径	口径	口径	口径	口径																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
141	142	143	144	145	146	147	148	149	150	151	152	153	154	155	156	157	158	159	160	161	162	163	164	165	166	167	168	169	170	171	172	173	174	175	176	177	178	179	180	181	182	183	184	185	186	187	188	189	190	191	192	193	194	195	196	197	198	199	200	201	202	203	204	205	206	207	208	209	210	211	212	213	214	215	216	217	218	219	220	221	222	223	224	225	226	227	228	229	230	231	232	233	234	235	236	237	238	239	240	241	242	243	244	245	246	247	248	249	250	251	252	253	254	255	256	257	258	259	260	261	262	263	264	265	266	267	268	269	270	271	272	273	274	275	276	277	278	279	280	281	282	283	284	285	286	287	288	289	290	291	292	293	294	295	296	297	298	299	300	301	302	303	304	305	306	307	308	309	310	311	312	313	314	315	316	317	318	319	320	321	322	323	324	325	326	327	328	329	330	331	332	333	334	335	336	337	338	339	340	341	342	343	344	345	346	347	348	349	350	351	352	353	354	355	356	357	358	359	360	361	362	363	364	365	366	367	368	369	370	371	372	373	374	375	376	377	378	379	380	381	382	383	384	385	386	387	388	389	390	391	392	393	394	395	396	397	398	399	400	401	402	403	404	405	406	407	408	409	410	411	412	413	414	415	416	417	418	419	420	421	422	423	424	425	426	427	428	429	430	431	432	433	434	435	436	437	438	439	440	441	442	443	444	445	446	447	448	449	450	451	452	453	454	455	456	457	458	459	460	461	462	463	464	465	466	467	468	469	470	471	472	473	474	475	476	477	478	479	480	481	482	483	484	485	486	487	488	489	490	491	492	493	494	495	496	497	498	499	500

第 35 表 第 25 次調査 A 区出土土器観察表 (4)

調査 番号	発掘 位置	遺跡名	検出 層位	調査 年度	遺物名	台帳 No.	区分	形制		土質		年代 (cal)		観察者	観察時期	観察場所	写真	備考		
								器種	平均口径	高さ	口径	底径	口径 / 底径						口径 / 高さ	口径 / 高さ
189	183	水	101	2004	16300	4-1 中層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	2.5	7.4	7.0	0.5	2.0	2.0	2.0	2.0	ハッタシ内、黒色粘土	黒土質、赤土
190	184	水	101	2004	16300	1 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	4.8	14.2	6.4	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
191	185	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	13.6	14.3	13.1	7.6	1.7	1.7	1.7	1.7	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
192	186	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	4.8	14.2	6.4	2.5	2.4	2.4	2.4	2.4	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
193	187	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	13.6	14.3	13.1	7.6	1.7	1.7	1.7	1.7	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
194	188	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	14.0	5.0	2.4	2.4	2.4	2.4	2.4	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
195	189	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	13.1	5.1	2.6	2.6	2.6	2.6	2.6	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
196	190	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
197	191	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
198	192	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
199	193	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
200	194	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
201	195	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
202	196	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
203	197	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
204	198	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
205	199	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
206	200	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
207	201	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
208	202	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
209	203	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
210	204	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
211	205	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
212	206	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
213	207	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
214	208	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
215	209	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
216	210	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
217	211	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
218	212	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
219	213	水	101	2004	16300	4 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土

第 36 表 台太郎遺跡第 25 次調査 A 区出土遺物観察表

調査 番号	発掘 位置	遺跡名	検出 層位	調査 年度	遺物名	台帳 No.	区分	形制		土質		年代 (cal)		観察者	観察時期	観察場所	写真	備考		
								器種	平均口径	高さ	口径	底径	口径 / 底径						口径 / 高さ	口径 / 高さ
160	214	水	101	2004	16300	1 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
161	215	水	101	2004	16300	1 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
162	216	水	101	2004	16300	1 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
163	217	水	101	2004	16300	1 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
164	218	水	101	2004	16300	1 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土
165	219	水	101	2004	16300	1 上層	赤土	平底鉢	扁底	赤土	6.0	12.0	2.0	1.8	1.8	1.8	1.8	1.8	ハッタシ内、赤土	赤土質、赤土

第37表 第25次調査B区出土土器観察表

調査	番号	発見場所	調査名	調査	調査No.	区画	層位	土器				寸法 (cm)		重量 (g)	形状・文様	図説	出所	備考	
								器種	用途	材質	胎土	口径	高さ						
134	138	-	古瓦	237	RA202	2上層	外	丸底	丸底	5.1	4.7	4.1	2.6	0.0	片割れ	2上層	古瓦	古瓦	
135	201	-	古瓦	237	RA202	2上層	外	丸底	丸底	4.5	4.2	4.2	2.2	0.0	片割れ	2上層	古瓦	古瓦	
土器																			
調査	番号	発見場所	調査名	調査	調査No.	区画	層位	器種	用途	材質	胎土	口径	高さ	重量	形状・文様	図説	出所	備考	
134	205	-	古瓦	237	RA202	2上層	外	丸底	丸底	4.9	4.5	4.5	2.7	4.0	片割れ	2上層	古瓦	古瓦	
134	204	-	古瓦	237	RA202	2上層	外	丸底	丸底	21.8	22.0	-	1.0	-	片割れ	2上層	古瓦	古瓦	
134	205	-	古瓦	237	RA202	2上層	外	丸底	丸底	18.0	20.2	9.4	1.0	3.7	片割れ	2上層	古瓦	古瓦	
土器																			
調査	番号	発見場所	調査名	調査	調査No.	区画	層位	器種	用途	材質	胎土	口径	高さ	重量	形状・文様	図説	出所	備考	
134	138	-	古瓦	237	RA202	2上層	外	丸底	丸底	7.0	7.7	-	-	3.2	片割れ	2上層	古瓦	古瓦	
134	207	-	古瓦	237	RA202	2上層	外	丸底	丸底	-	17.2	-	-	-	片割れ	2上層	古瓦	古瓦	
134	228	-	古瓦	237	RA202	2上層	外	丸底	丸底	18.2	18.2	14.8	7.8	1.1	0.0	片割れ	2上層	古瓦	古瓦
土器																			
調査	番号	発見場所	調査名	調査	調査No.	区画	層位	器種	用途	材質	胎土	口径	高さ	重量	形状・文様	図説	出所	備考	
134	208	-	古瓦	237	RA202	2上層	外	丸底	丸底	-	23.5	8.2	-	-	片割れ	2上層	古瓦	古瓦	

第38表 第25次調査B区出土土器観察表

調査	番号	発見場所	調査名	調査No.	区画	層位	土器		寸法 (cm)	重量 (g)	形状・文様	出所	備考
							器種	用途					
130	283	-	古瓦	237	RA202	2上層	丸底	丸底	6.5	1.2	片割れ	古瓦	
130	284	-	古瓦	237	RA202	2上層	丸底	丸底	4.4	3.2	片割れ	古瓦	

第39表 第27次調査A区出土土器観察表

調査	番号	発見場所	調査名	調査No.	区画	層位	土器		寸法 (cm)		重量 (g)	形状・文様	出所	備考			
							器種	用途	口径	高さ							
130	236	10	古瓦	237	RA487	2上層	外	丸底	丸底	5.2	14.4	-	0.0	片割れ	2上層	古瓦	古瓦
130	283	10	古瓦	237	RA487	2上層	外	丸底	丸底	3.4	12.8	-	2.0	片割れ	2上層	古瓦	古瓦
130	284	-	古瓦	237	RA487	2上層	外	丸底	丸底	11.0	13.4	-	1.4	片割れ	2上層	古瓦	古瓦
土器																	
調査	番号	発見場所	調査名	調査No.	区画	層位	器種	用途	材質	胎土	口径	高さ	重量	形状・文様	図説	出所	備考
130	285	-	古瓦	237	RA487	2上層	外	丸底	丸底	3.8	14.8	-	0.7	片割れ	2上層	古瓦	古瓦
130	288	10	古瓦	237	RA487	2上層	外	丸底	丸底	8.4	14.8	-	2.0	片割れ	2上層	古瓦	古瓦
130	287	-	古瓦	237	RA487	2上層	外	丸底	丸底	13.0	14.4	-	0.9	片割れ	2上層	古瓦	古瓦
130	288	-	古瓦	237	RA487	2上層	外	丸底	丸底	-	-	-	-	片割れ	2上層	古瓦	古瓦
130	289	-	古瓦	237	RA487	2上層	外	丸底	丸底	-	-	-	-	片割れ	2上層	古瓦	古瓦

第40表 第27次調査A・B区・第32次調査C区出土土器観察表

調査	番号	発見場所	調査名	調査No.	区画	層位	土器		寸法 (cm)		重量 (g)	形状・文様
							器種	用途	口径	高さ		
130	283	-	古瓦	237	RA487	2上層	丸底	丸底	4.5	2.0	片割れ	古瓦
130	284	-	古瓦	237	RA487	2上層	丸底	丸底	2.8	6.2	片割れ	古瓦
130	285	-	古瓦	237	RA487	2上層	丸底	丸底	4.5	2.0	片割れ	古瓦
130	288	-	古瓦	237	RA487	2上層	丸底	丸底	13.0	14.4	片割れ	古瓦
130	289	-	古瓦	237	RA487	2上層	丸底	丸底	4.5	2.0	片割れ	古瓦





第 45 表 第 32 次調査 C 区出土土器観察表

調査番号	出土位置	発見時期	時代	産地	形制		高さ		寸法 (mm)						重量 (g)	土質	表面処理	付属物	備考	調査者	観察者																																			
					口縁	底	口径	底径	口縁	底径	高さ	口径	底径	高さ								口径	底径	高さ	口径	底径																														
154	314	-	奈良県	井原	380	240	15	土器類	片	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-
154	315	-	奈良県	007	380	240	15	土器類	片	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-												
154	315	13	奈良県	007	380	240	15	土器類	片	IVB	B	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	B	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	B	-	18.0	-	-	-												
154	317	-	奈良県	101	380	240	15	土器類	片	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-												
154	318	5	奈良県	027	380	240	15	土器類	片	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-												
154	319	13	奈良県	011	380	240	15	土器類	片	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-												
154	320	13	奈良県	027	380	240	15	土器類	片	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-												
154	322	-	奈良県	027	380	240	15	土器類	片	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-												
154	323	-	奈良県	027	380	240	15	土器類	片	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-												
154	324	-	奈良県	027	380	240	15	土器類	片	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-												
154	325	-	奈良県	027	380	240	15	土器類	片	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-												
154	326	-	奈良県	001	380	240	15	土器類	片	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	A	-	18.0	-	-	-												
154	327	13	奈良県	021	380	240	15	土器類	片	IVB	B	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	B	-	18.0	-	-	-	-	-	300	片	300	240	15	IVB	B	-	18.0	-	-	-												



第 47 表 第 27 次調査 A 区出土縄文土器・弥生土器観察表

調査	発見	出土時期	遺跡名	遺物	遺物名	品名 No.	形状	材質	手帳記号	出土		観察
										層位	方位	
187	232	-	弥生層	307	307A	30231	2層土器	土器	-	A	2層土器 底面：2層土器底 内面：底面 外側：底面	
187	233	-	弥生層	307	307A	30249	4層土器	土器	-	A	4層土器 小口部：底面 外側：底面	
187	234	-	弥生層	307	307A	30252	1層土器	土器	-	A	1層土器 内面：底面 外側：底面	
											出土	
											方位	
188	280	-	弥生層	321	321A	30284	4層土器	土器	-	A	4層土器 2層土器底 外側：底面	
188	281	-	弥生層	321	321A	30131	12層土器	土器	-	A	12層土器 2層土器底 外側：底面	
188	282	-	弥生層	321	321A	30250	2層土器	土器	-	A	2層土器 底面：底面 外側：底面	
188	283	-	弥生層	321	321A	30280	16層土器	土器	-	A	16層土器 2層土器底 外側：底面	
188	285	-	弥生層	321	321A	279	3層土器	土器	-	A	3層土器 2層土器底 外側：底面	
188	286	-	弥生層	321	321A	30348	16層土器	土器	-	B	16層土器 2層土器底 外側：底面	
188	287	-	弥生層	321	321A	-	16層土器	土器	A原標本	-	B	16層土器 2層土器底 外側：底面
188	288	-	弥生層	321	321A	30284	2層土器	土器	-	A	2層土器 2層土器底 外側：底面	
188	289	-	弥生層	321	321A	301252	32層土器	土器	-	A	32層土器 2層土器底 外側：底面	
188	294	-	弥生層	321	321A	-	4層土器	土器	A原標本	-	B	4層土器 2層土器底 外側：底面
188	295	-	弥生層	321	321A	30248	2層土器	土器	-	B	2層土器 2層土器底 外側：底面	
188	298	-	弥生層	321	321A	30322	3層土器	土器	-	B	3層土器 2層土器底 外側：底面	
188	299	-	弥生層	321	321A	30241	2層土器	土器	-	B	2層土器 2層土器底 外側：底面	
188	300	-	弥生層	321	321A	30253	14層土器	土器	-	B	14層土器 2層土器底 外側：底面	
188	308	-	弥生層	321	321A	30253	12層土器	土器	-	B	12層土器 2層土器底 外側：底面	
188	310	-	弥生層	321	321A	30248	7層土器	土器	-	D	7層土器 2層土器底 外側：底面	
188	311	-	弥生層	321	321A	30251	14層土器	土器	-	B	14層土器 2層土器底 外側：底面	



第48表 第24次調査型穴住居跡検討表(1)

次数	遺構名	方位	長幅一辺長 (m)	床面積 (㎡)	時期
24	RA319	N 45.0° W 北西	4.00	16.20	I期
24	RA307	N 12.5° E 北	4.00	15.80	
24	HA306a	N 34.0° E 北東	4.90	19.80	II期
24	RA311	E 1.5° N 東	4.90	6.25	
24	RA323	E 2.5° S 東	2.90	8.54	中層
24	RA308	F 8.0° S 東	3.60	14.94	
24	RA309	E 21.0° S 東	2.70	7.29	小型
24	RA312	E 21.5° S 東	2.60	6.25	
24	RA310	E 24.5° S 南東	3.50	10.89	大型
24	RA313	S 37.5° E 南東	3.60	11.56	
24	HA318	W 34.0° S 南西	2.90	8.12	小型
24	RA322	W 0.0° 西	-	-	
24	RA314	W 22.0° N 西	3.90	10.89	大型
24	RA305b	W 35.5° N 北西	4.50	19.00	

第49表 第24次調査型穴住居跡検討表(2)

次数	遺構名	長幅一辺長 (m)	床面積 (㎡)	主柱穴	溝溝	階段	時期
24	RA304	6.30	39.69	X	X		I期
24	RA317	4.30	18.49	X	X		
24	RA319	4.00	16.20	X	X		大型
24	RA320	4.90	24.01	X	X		
24	HA305a-b	4.50	19.80	X	X		中層
24	RA307	4.00	15.80	X	X		
24	RA308	3.60	14.94	X	X		小型
24	RA313	3.60	11.56	X	X		
24	RA310	3.50	10.89	X	X		大型
24	RA314	3.30	10.89	X	X		
24	RA318	2.90	8.12	X	X		小型
24	RA323	2.90	8.54	X	X		
24	RA316	2.90	8.41	X	X		大型
24	RA306	2.70	7.29	X	X		
24	RA311	2.60	6.25	X	X		小型
24	RA312	2.60	6.25	X	X		
24	RA315	2.50	6.25	X	X		

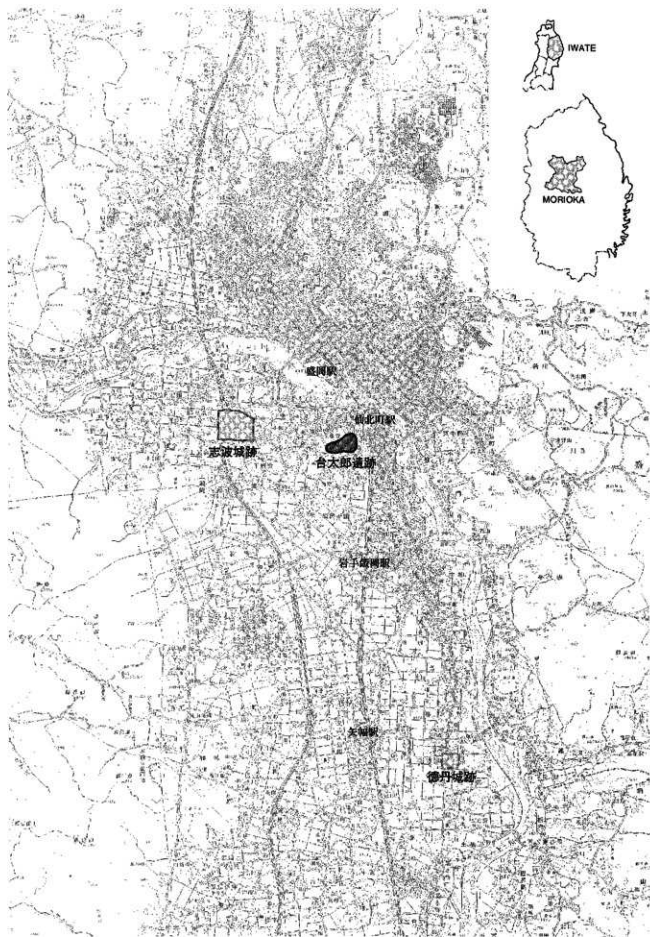
第50表 第25次調査A区型穴住居跡検討表(1)

次数	遺構名	方位	長幅一辺長 (m)	床面積 (㎡)	時期
25 A	RA341	N 20.5° E 北	2.60	6.06	I期
25 A	RA370	N 28.0° W 北西	3.10	9.61	
25 A	RA371	N 25.0° W 北西	3.10	10.08	中層
25 A	RA367	N 26.0° W 北西	3.10	10.23	
25 A	RA345	N 33.0° W 北西	6.65	46.92	大型
25 A	RA373	W 34.5° N 北西	4.00	16.00	
25 A	RA381	W 33.0° N 北西	5.60	31.36	中層
25 A	RA344	W 24.0° N 北西	3.50	12.43	
25 A	RA372	W 11.0° N 西	3.70	15.54	小型
25 A	RA332b	W 1.5° N 西	4.50	14.85	
25 A	RA332a	S 3.0° W 南	4.50	14.85	中層
25 A	RA369a	E 42.0° N 南東	3.50	12.60	
25 A	RA349	E 24.0° N 北東	4.10	17.22	大型
25 A	RA368	E 21.0° N 東	2.70	6.94	
25 A	RA368a	E 13.0° N 東	4.90	22.54	中層
25 A	RA362	E 5.5° N 東	2.50	6.50	
25 A	RA379	E 2.0° N 東	2.00	8.00	大型
25 A	RA383	E 10.0° S 東	2.50	6.50	
25 A	RA327	E 10.5° S 北	3.10	9.61	中層
25 A	RA329	E 11.5° S 東	3.80	13.88	
25 A	RA353	E 35.0° S 南東	2.90	6.09	大型
25 A	RA354	E 36.5° S 南東	4.10	14.36	
25 A	RA357	S 1.5° E 南	4.00	12.80	中層
25 A	RA348	S 13.6° W 南	3.10	9.61	
25 A	RA337	S 18.0° W 南	3.10	9.61	大型
25 A	RA328	W 16.0° S 西	2.60	6.70	
25 A	RA347	W 6.0° N 西	4.80	28.10	中層
25 A	RA322	W 11.5° N 西	5.40	29.16	
25 A	HA386	W 16.0° N 西	2.90	9.29	大型
25 A	RA321	W 17.5° N 西	3.80	13.20	
25 A	RA340	W 21.5° N 西	3.10	11.63	中層
25 A	RA356a	W 24.0° N 北西	5.75	28.76	
25 A	RA336	W 25.5° N 北西	4.68	21.62	大型
25 A	RA366b	W 26.0° N 北西	4.90	22.54	
25 A	RA360	W 34.0° N 北西	2.40	5.52	中層
25 A	RA358a	W 37.0° N 北西	5.75	28.76	
25 A	RA368a	W 43.0° N 北西	3.50	12.60	大型

第51表 第25次調査A区型穴住居跡検討表(2)

次数	遺構名	長幅一辺長 (m)	床面積 (㎡)	主柱穴	溝溝	階段	時期
25 A	RA345	6.65	46.92	X	X		大型
25 A	RA381	5.60	31.36	○	X		
25 A	RA373	4.00	16.00	X	X		中層
25 A	RA372	3.70	15.54	X	X		
25 A	RA332a-b	4.50	14.85	X	X		大型
25 A	RA335	3.50	12.76	X	X		
25 A	RA344	3.50	12.43	X	X		中層
25 A	RA374	3.30	10.89	X	X		
25 A	RA367	3.10	10.23	X	X		小型
25 A	RA371	3.10	9.61	X	X		
25 A	RA341	2.60	6.06	X	X		大型
25 A	RA375	3.50	39.06	X	X		
25 A	RA380	6.00	36.00	X	X		中層
25 A	RA322	5.40	29.16	X	X		
25 A	RA366a-b	5.75	28.76	X	X		大型
25 A	HA347	4.90	28.19	X	X		
25 A	RA366a-b	4.90	22.54	X	X		中層
25 A	RA336	4.68	21.62	X	X		
25 A	RA349	4.10	17.22	X	X		大型
25 A	RA364	4.10	14.36	X	X		
25 A	RA329	3.80	13.88	X	X		中層
25 A	RA323	3.50	13.20	X	X		
25 A	RA357	4.00	12.80	X	X		大型
25 A	RA369a-b	5.00	12.80	X	○		
25 A	RA334	4.50	12.49	X	X		中層
25 A	RA359	4.00	12.00	X	X		
25 A	RA340	3.10	11.63	X	X		大型
25 A	RA338	3.50	11.20	X	X		
25 A	RA343	3.15	11.03	X	X		中層
25 A	RA326	3.90	10.73	X	X		
25 A	RA348	3.10	9.61	X	X		小型
25 A	RA357	3.10	9.61	X	X		
25 A	RA327	3.10	9.61	X	X		大型
25 A	RA386	2.90	9.28	X	X		
25 A	RA350	3.40	7.14	X	X		中層
25 A	RA328	2.60	6.76	X	X		
25 A	RA352	2.50	6.50	X	X		大型
25 A	RA363	2.90	6.50	X	X		
25 A	RA353	2.90	6.09	X	X		中層
25 A	RA379	2.00	6.00	X	X		
25 A	RA368	2.70	5.94	X	X		大型
25 A	RA346	2.50	5.88	X	X		
25 A	RA360	2.40	5.52	X	X		





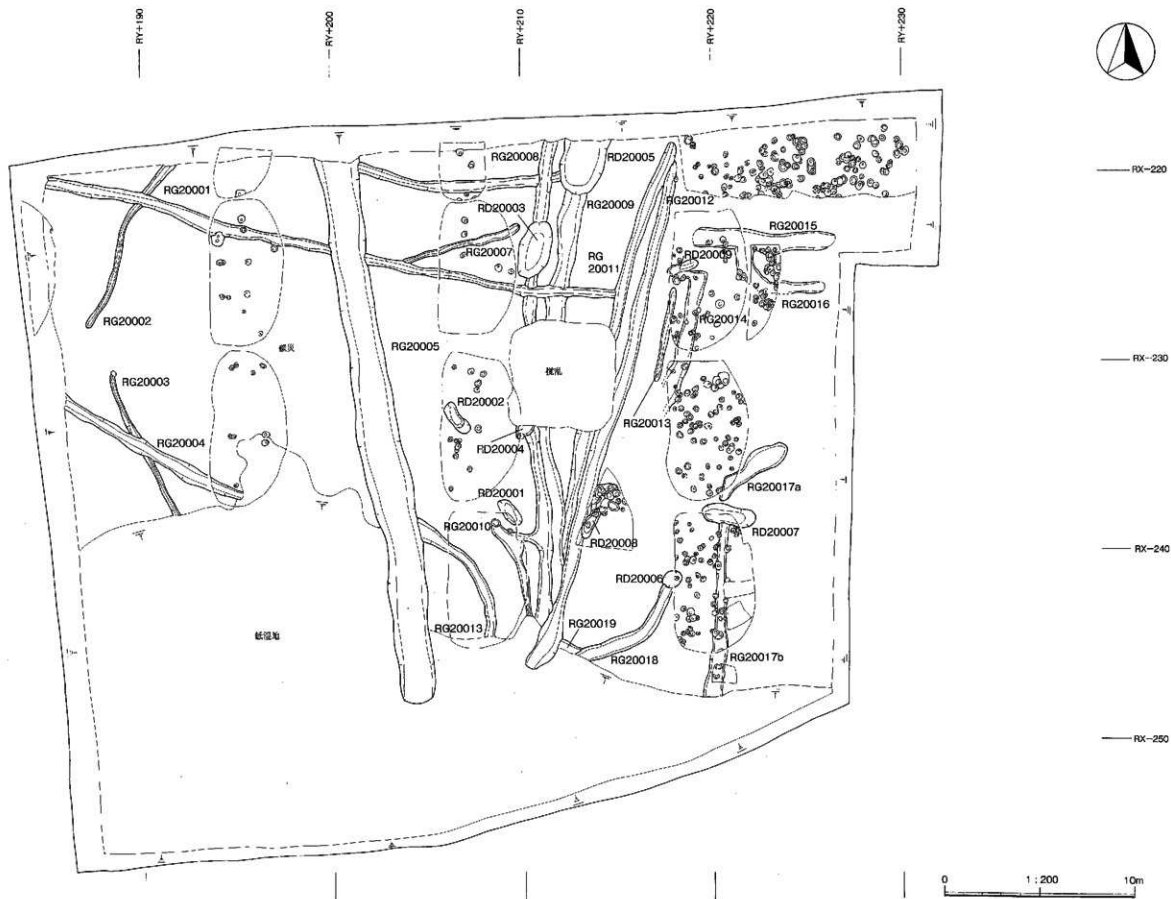
第1図 台太郎遺跡位置図 (1:100,000)



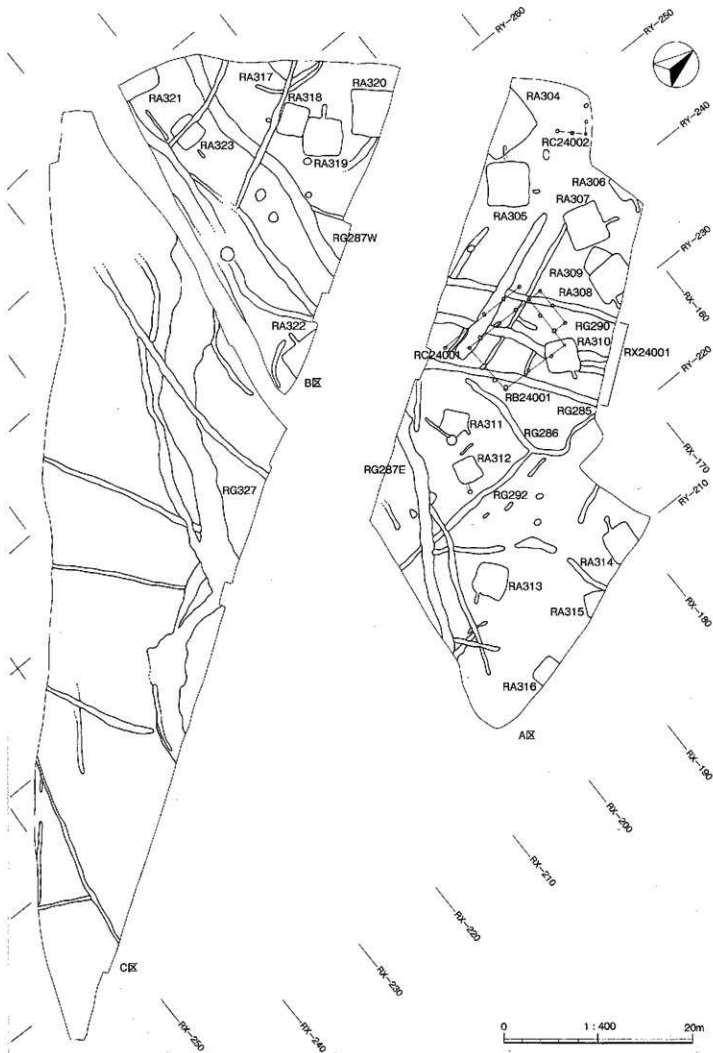
第2図 盛南地区遺跡群位置図（新街区は盛岡南新都市開発整備事業）



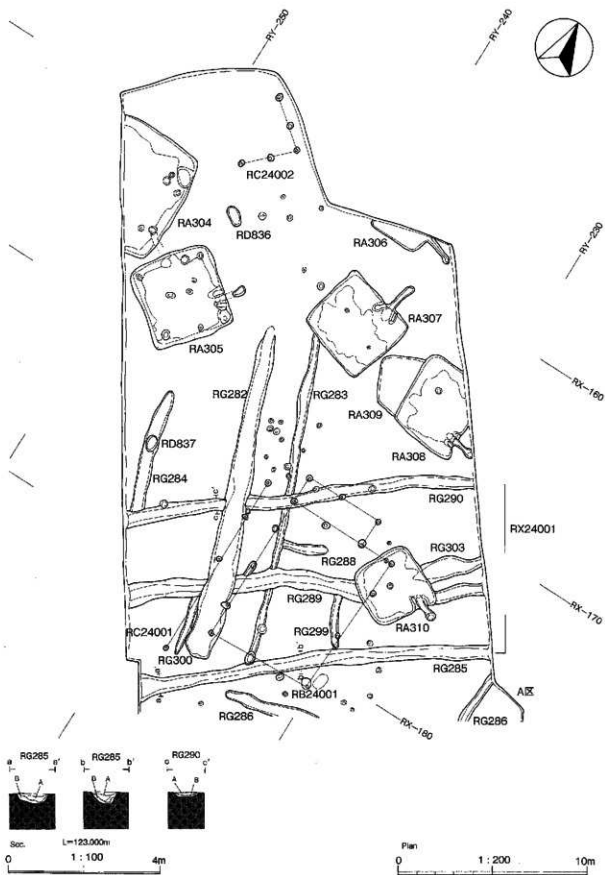
第3図 台太郎遺跡全体図



第4図 第20次調査区全体図

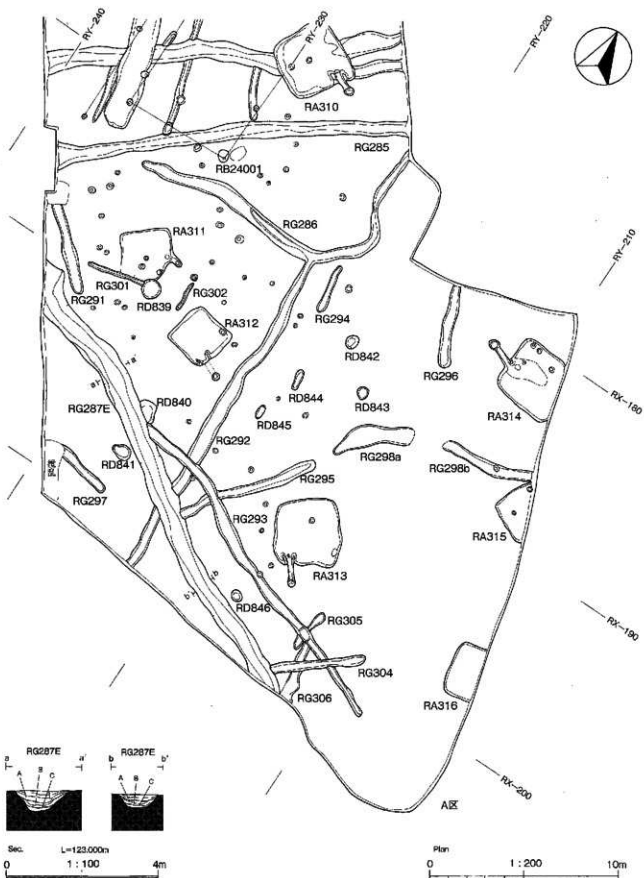


第5图 第24次調査区全体图

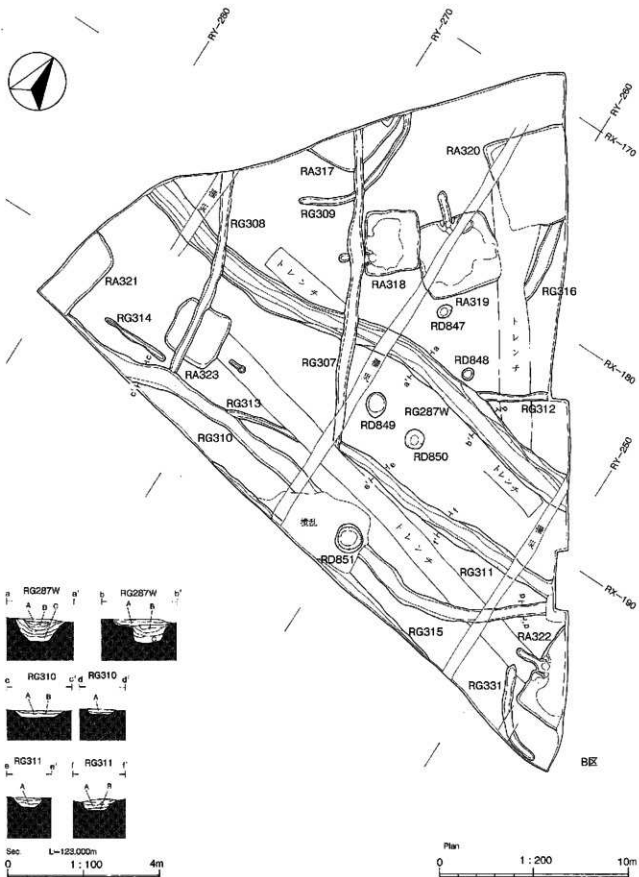


第6图 第24次調査A区北半部全体图



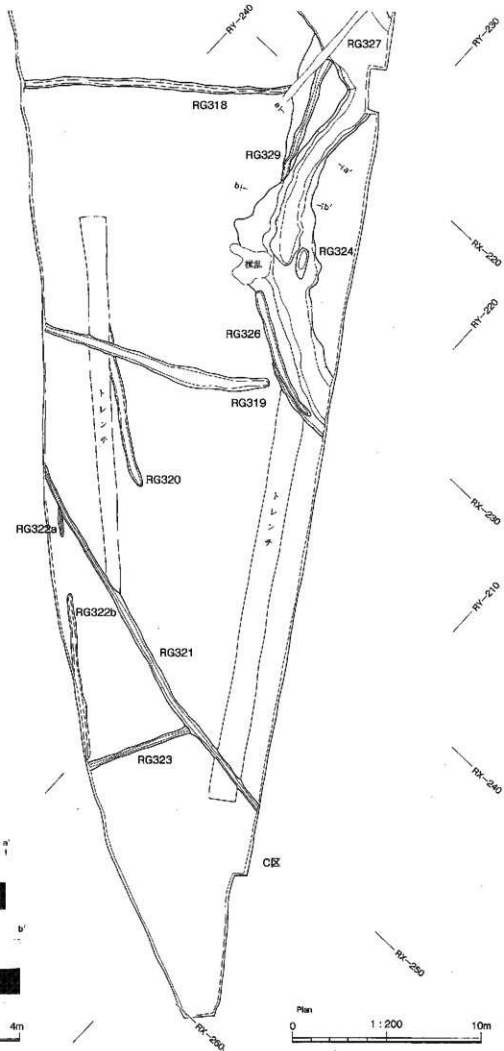


第7图 第24次調査A区南半部全体图



第8图 第24次調査B区全体图





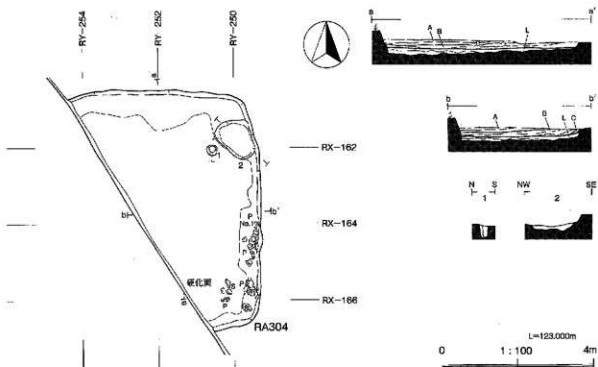
a — RG320 — RG324 — a'



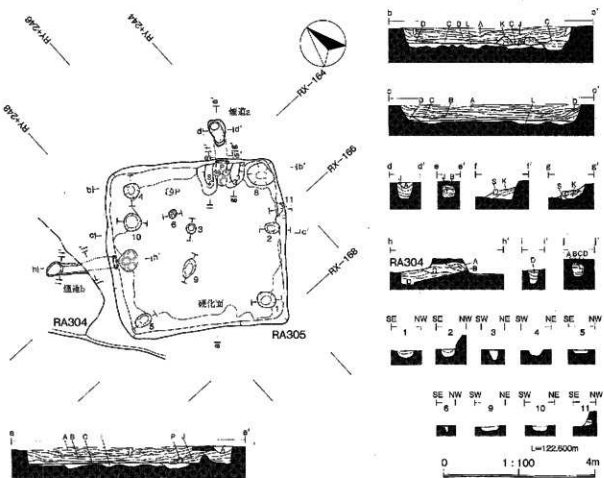
b — RG324 — b'



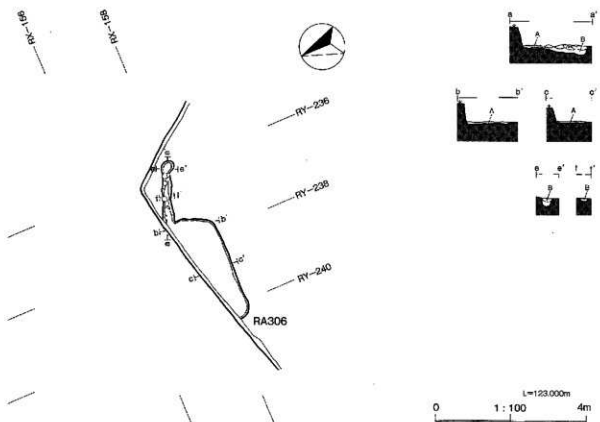
Sec. L=123.000m  
0 1:100 4m



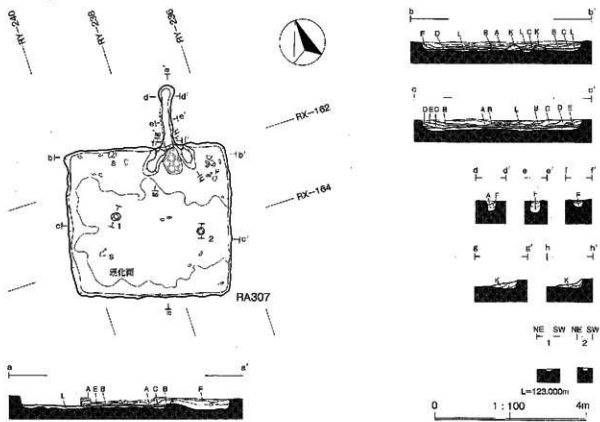
第 11 图 第 24 次調査A区 RA304 竪穴住居跡



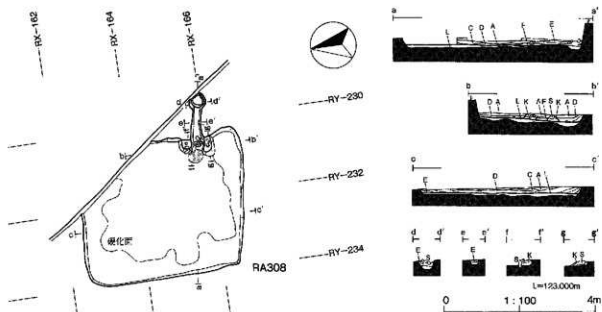
第 12 图 第 24 次調査A区 RA305 竪穴住居跡



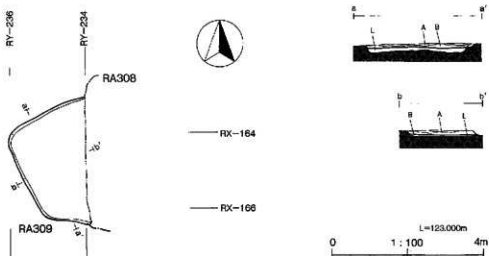
第13图 第24次調査A区 RA306 竪穴住居跡



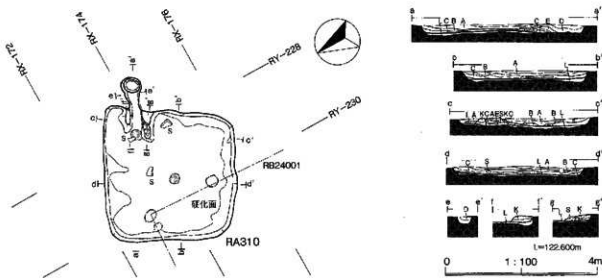
第14图 第24次調査A区 RA307 竪穴住居跡



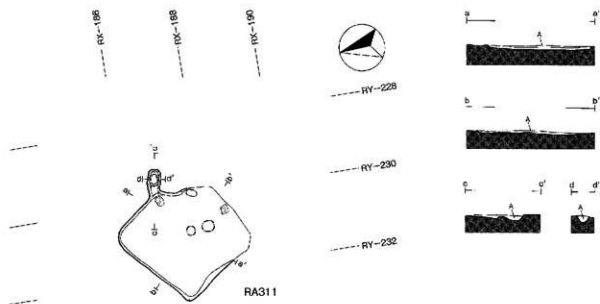
第15图 第24次調査A区 RA308 竪穴住居跡



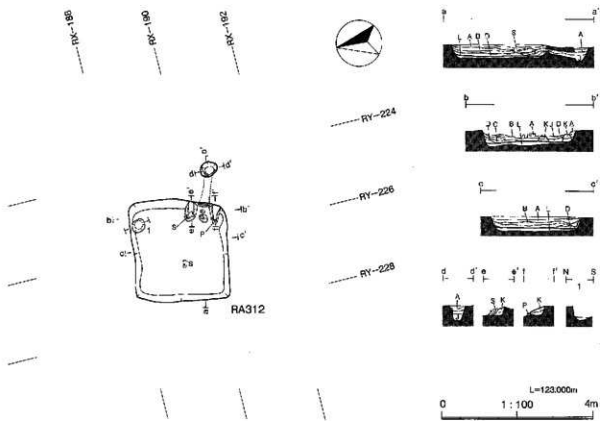
第16图 第24次調査A区 RA309 竪穴住居跡



第17图 第24次調査A区 RA310 竪穴住居跡

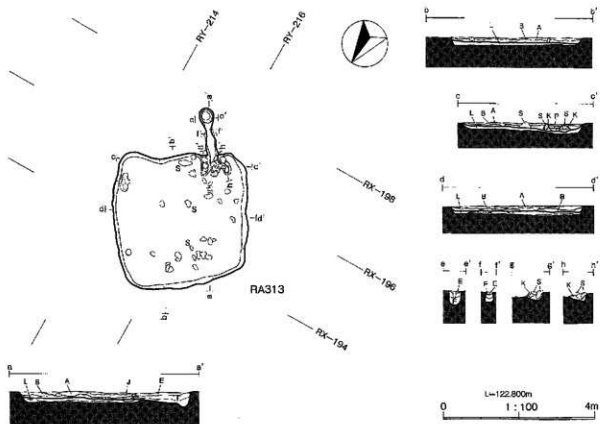


第18图 第24次調査A区 RA311 竪穴住居跡

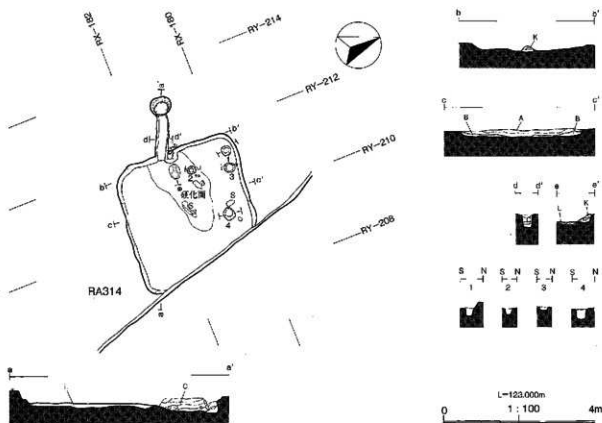


第19图 第24次調査A区 RA312 竪穴住居跡

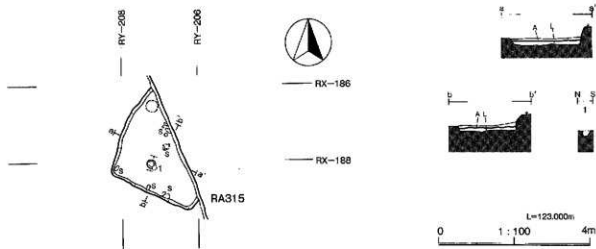




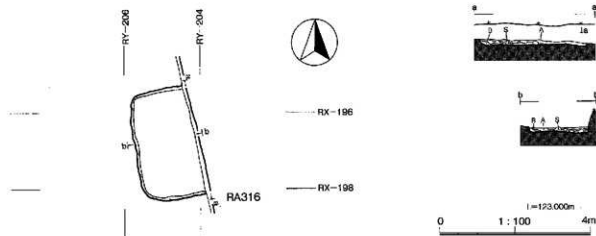
第20图 第24次調査A区 RA313 竪穴住居跡



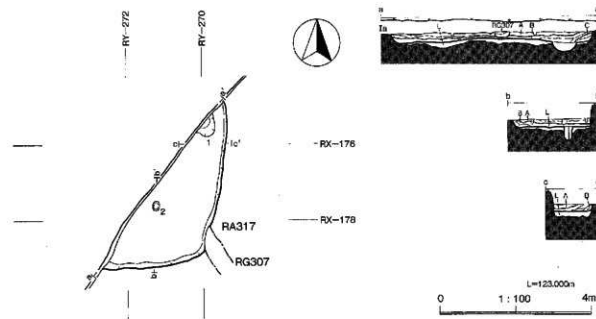
第21图 第24次調査A区 RA314 竪穴住居跡



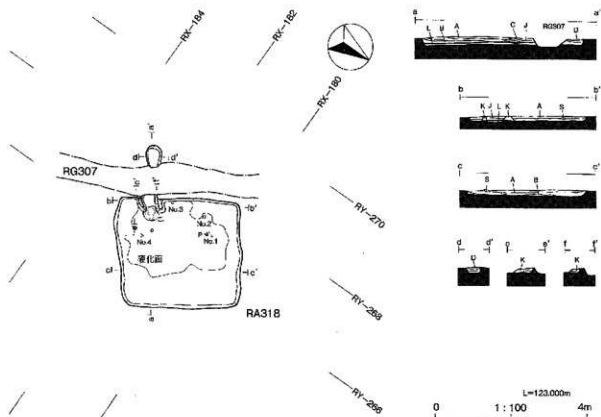
第22图 第24次调查A区 RA315 竖穴住居跡



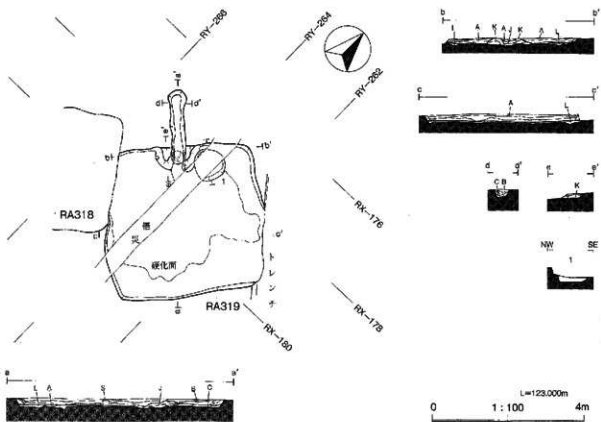
第23图 第24次调查A区 RA316 竖穴住居跡



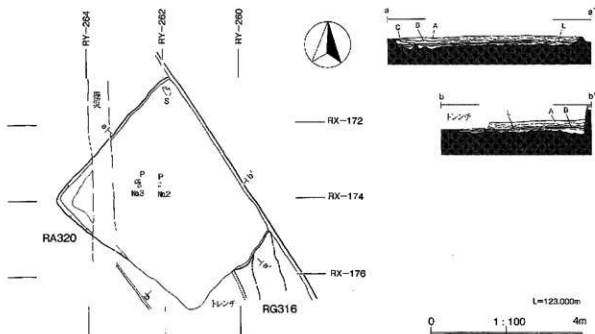
第24图 第24次调查B区 RA317 竖穴住居跡



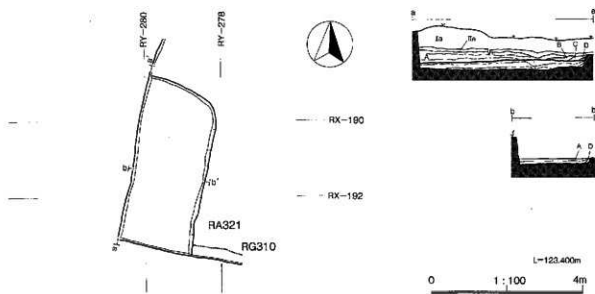
第25图 第24次調査B区 RA318 竪穴住居跡



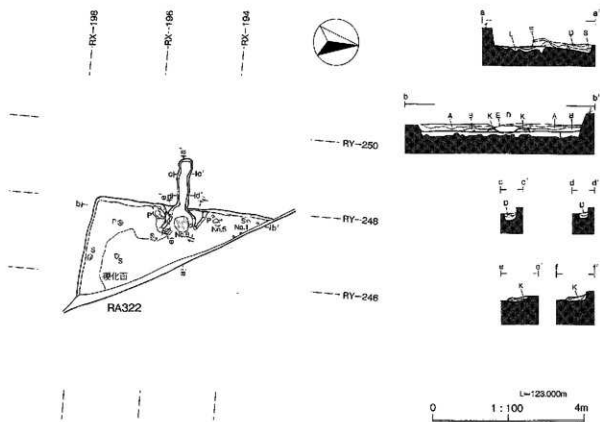
第26图 第24次調査B区 RA319 竪穴住居跡



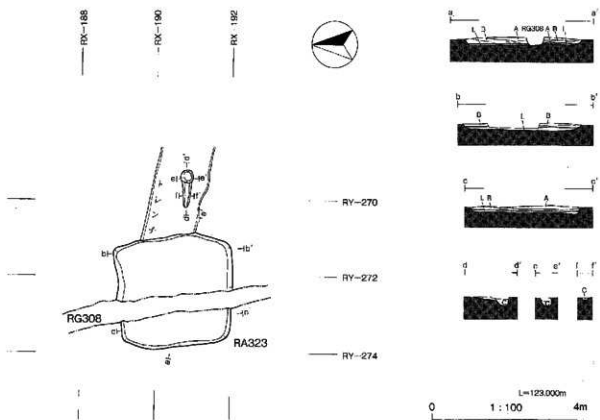
第 27 図 第 24 次調査 B 区 RA320 竪穴住居跡



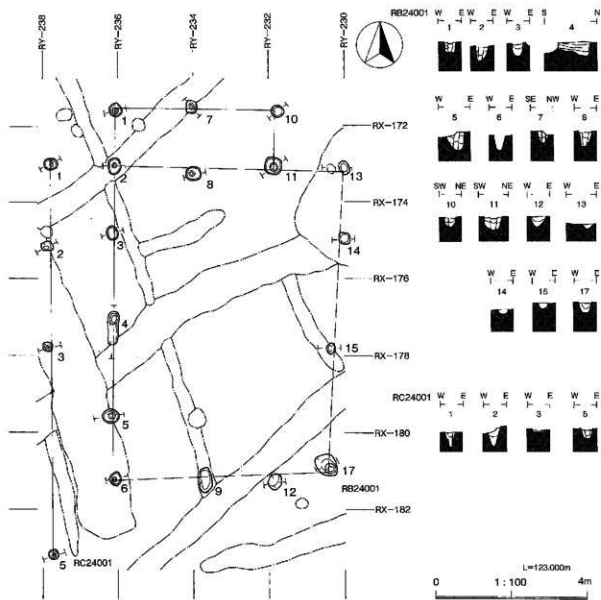
第 28 図 第 24 次調査 B 区 RA321 竪穴住居跡



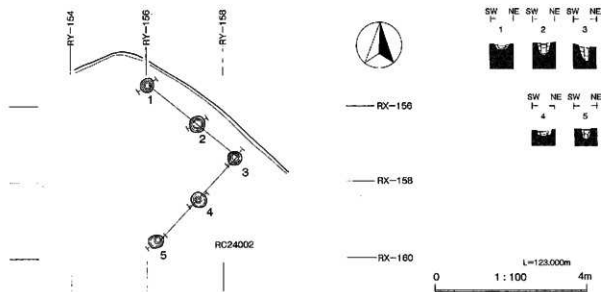
第29図 第24次調査B区 RA322 竪穴住居跡



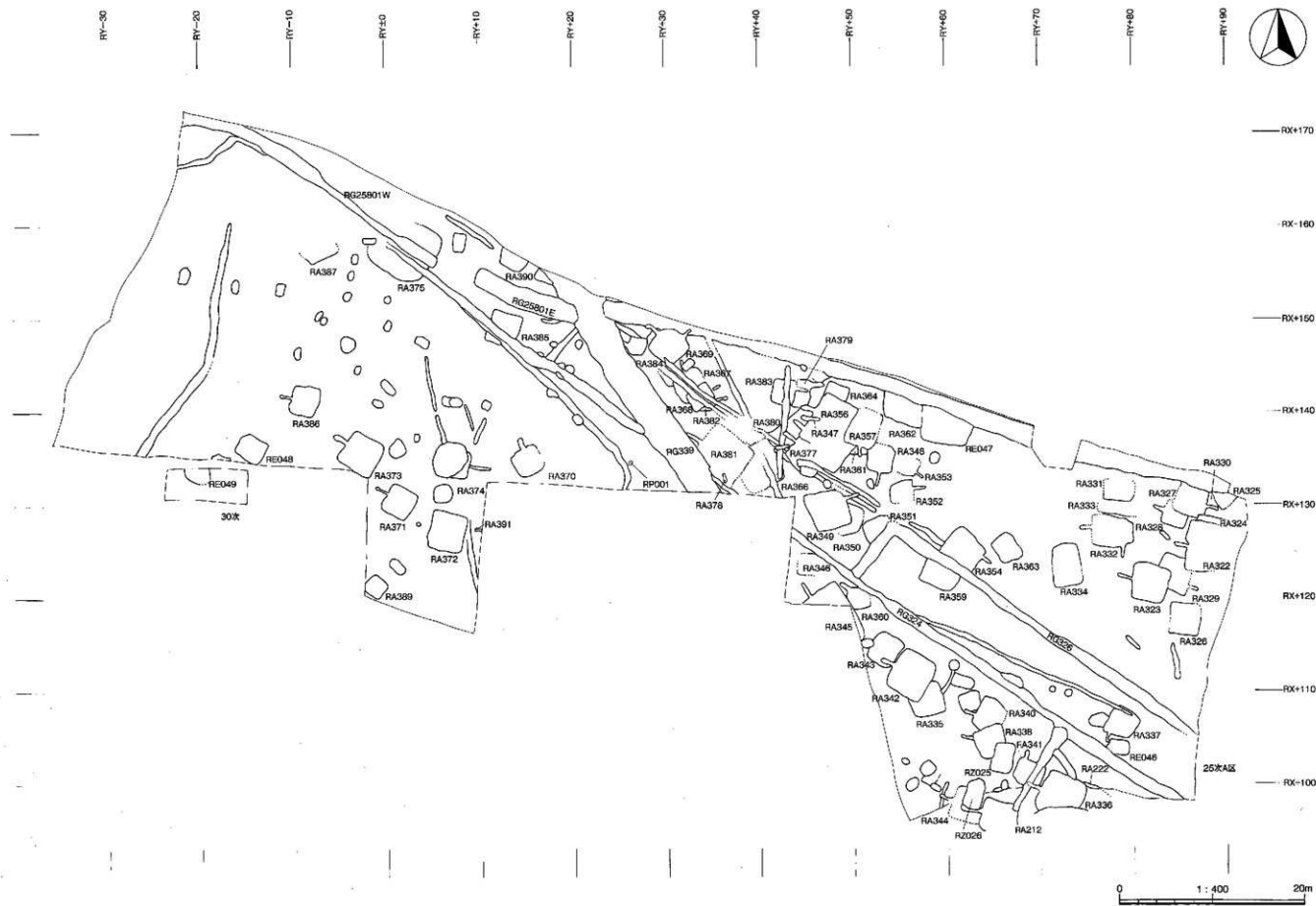
第30図 第24次調査B区 RA323 竪穴住居跡



第 31 图 第 24 次調査A区 RB24001 掘立柱建物跡, RC24001 柱列跡



第 32 图 第 24 次調査A区 RC24002 柱列跡

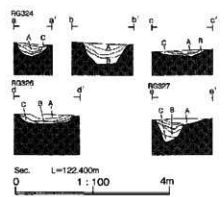


第33图 第25次调查A区·第30次调查区全体图

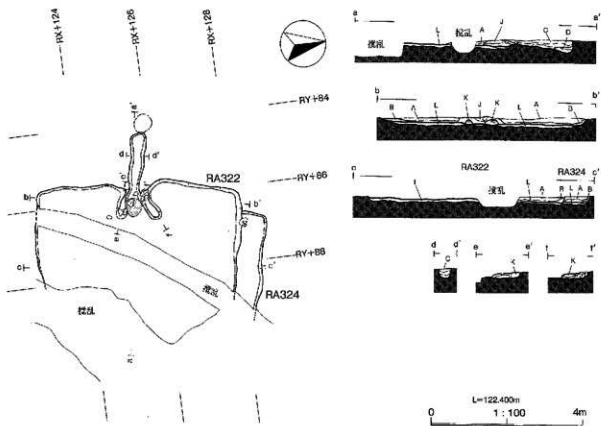


第34图 第25次調査A区西半部・第30次調査区全体図

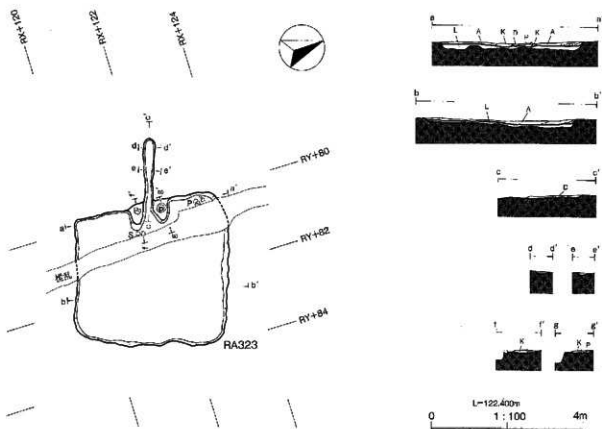




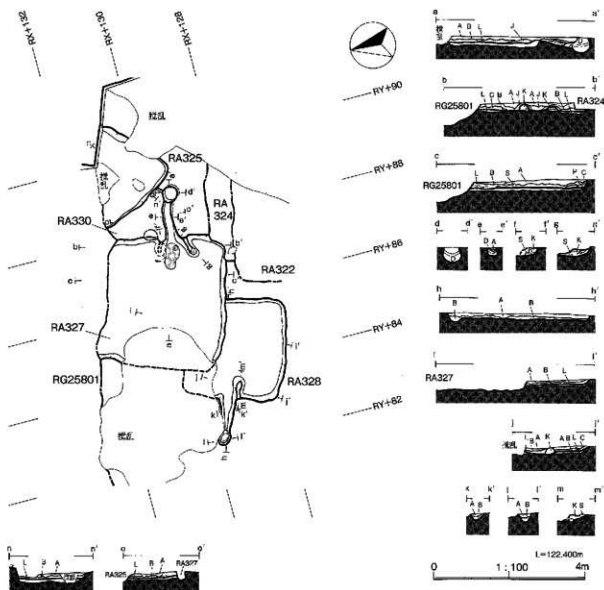
第 35 图 第 25 次调查 A 区东半部全体图



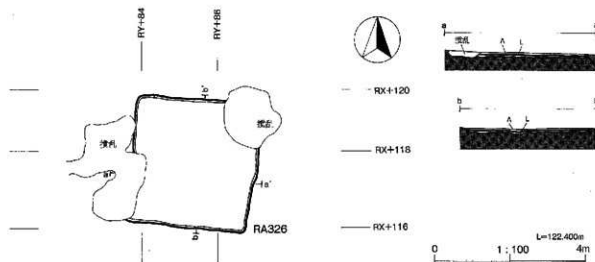
第36图 第25次調査A区 RA322・324 竪穴住居跡



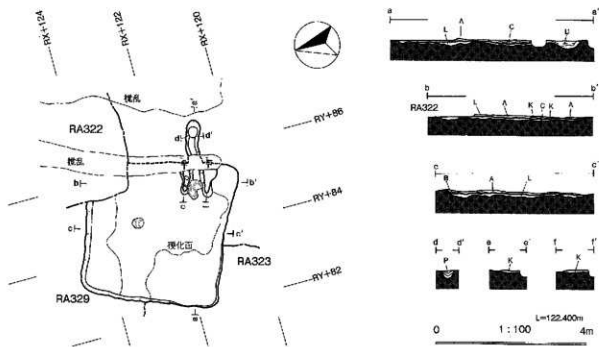
第37图 第25次調査A区 RA323 竪穴住居跡



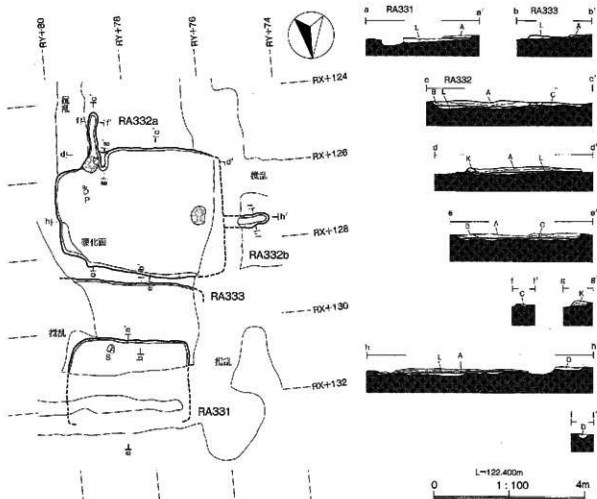
第38图 第25次調査A区 RA325・327・328・330 竖穴住居跡



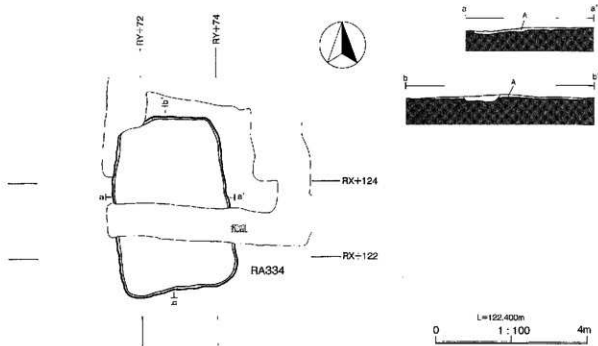
第39图 第25次調査A区 RA326 竖穴住居跡



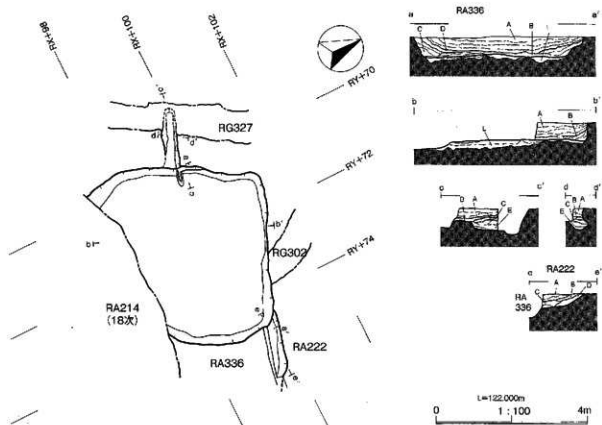
第40图 第25次調査A区RA329 竖穴住居跡



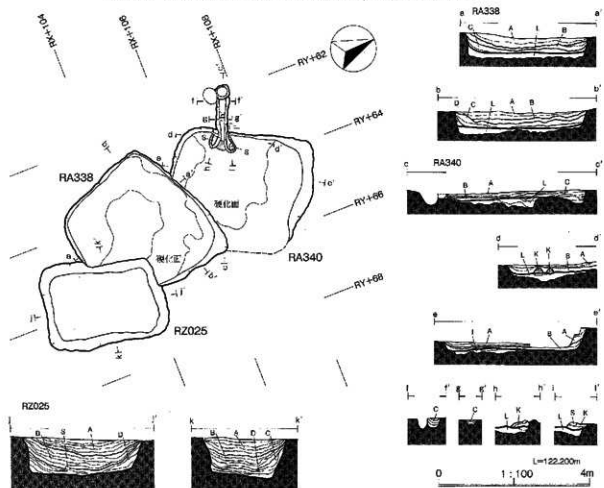
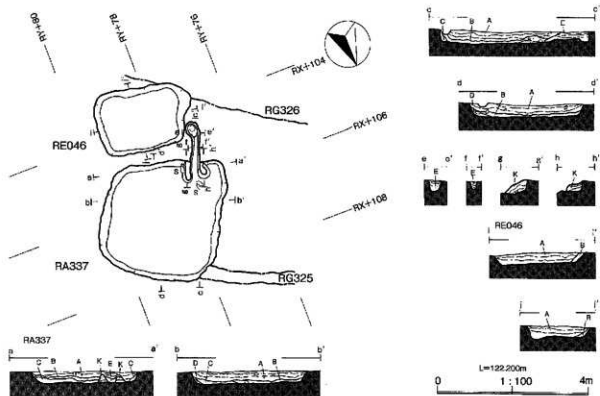
第41图 第25次調査A区RA331・332a・b・333 竖穴住居跡

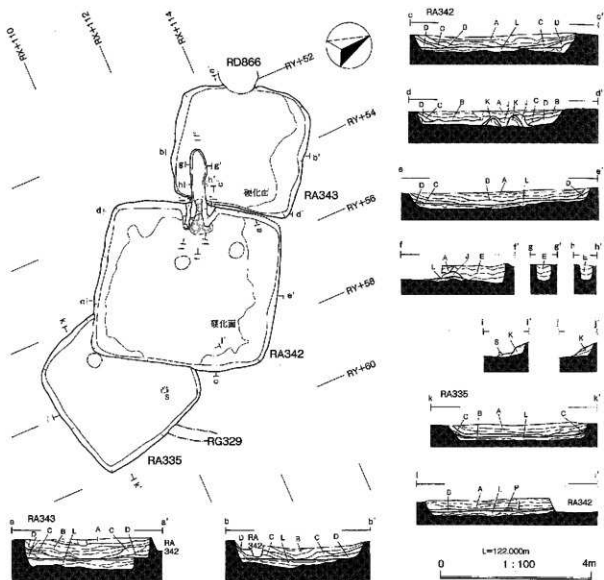


第42图 第25次調査A区 RA334 竪穴住居跡

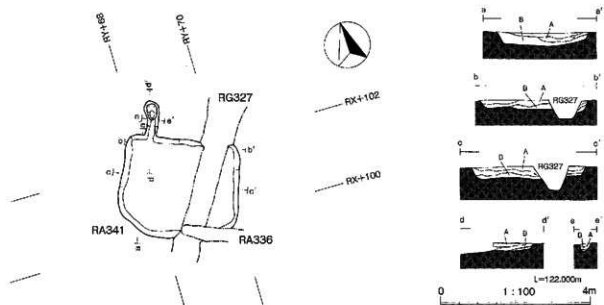


第43图 第25次調査A区 RA222・336 竪穴住居跡

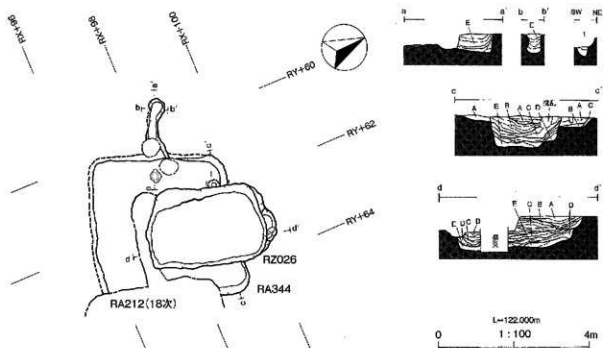




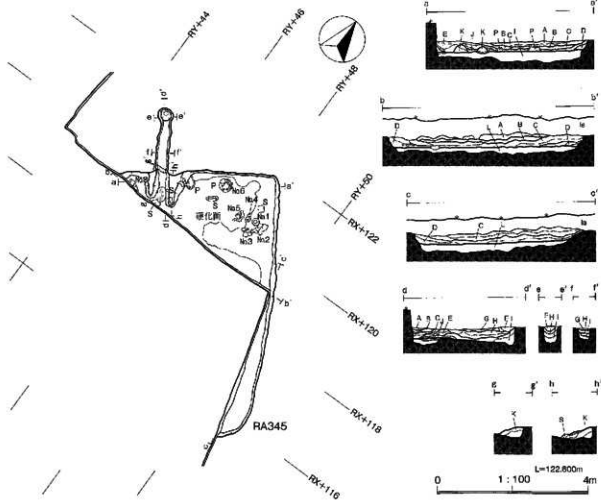
第46图 第25次調査A区 RA335・342・343 竖穴住居跡



第47图 第25次調査A区 RA341 竖穴住居跡

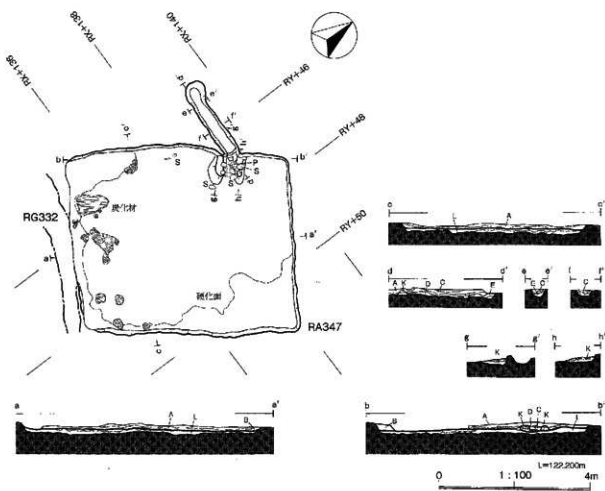
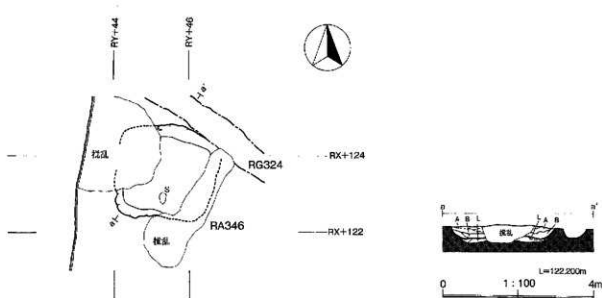


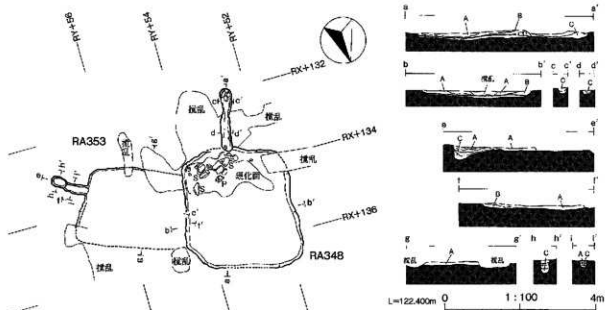
第 48 图 第 25 次調査 A 区 RA344 竪穴住居跡, RZ026 土坑墓



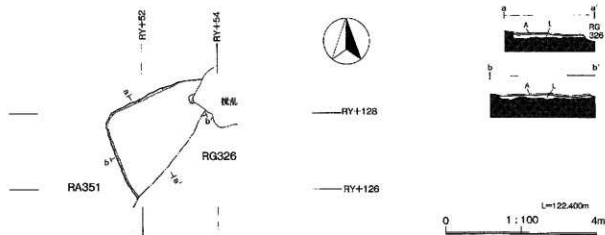
第 49 图 第 25 次調査 A 区 RA345 竪穴住居跡



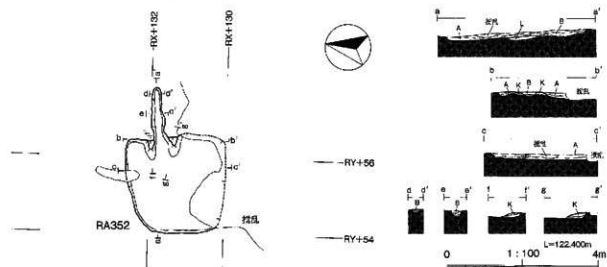




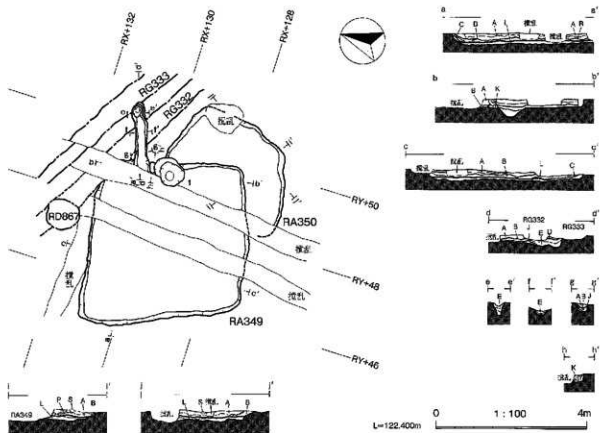
第52图 第25次調査A区 RA348・353 竪穴住居跡



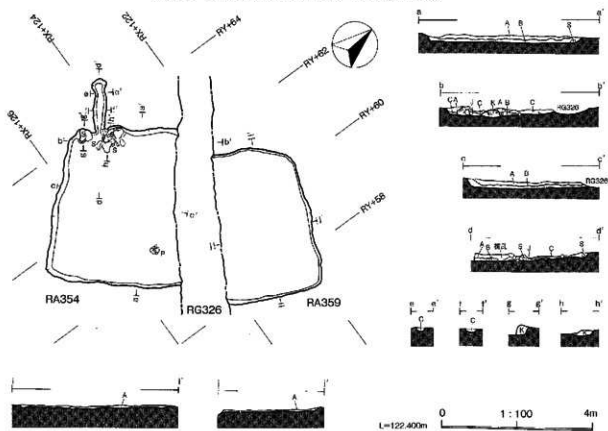
第53图 第25次調査A区 RA351 竪穴住居跡



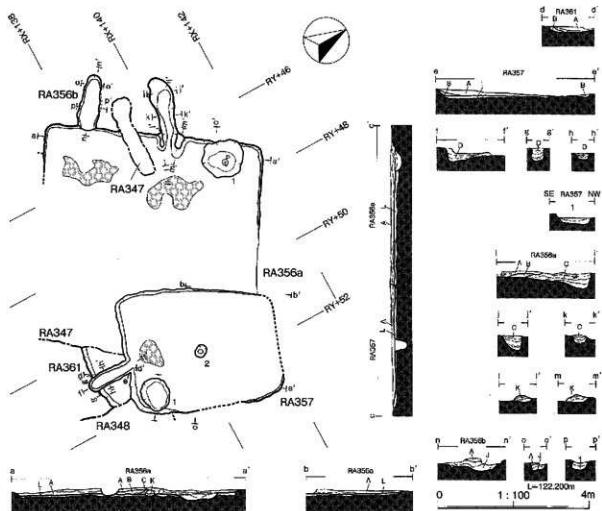
第54图 第25次調査A区 RA352 竪穴住居跡



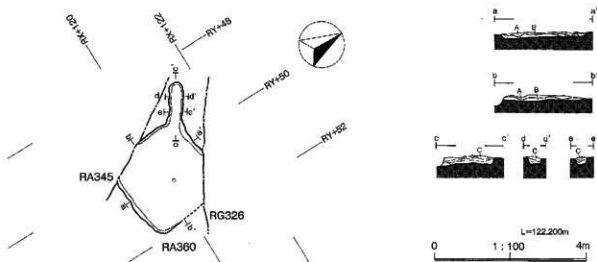
第 55 图 第 25 次調査 A 区 RA349・350 竪穴住居跡



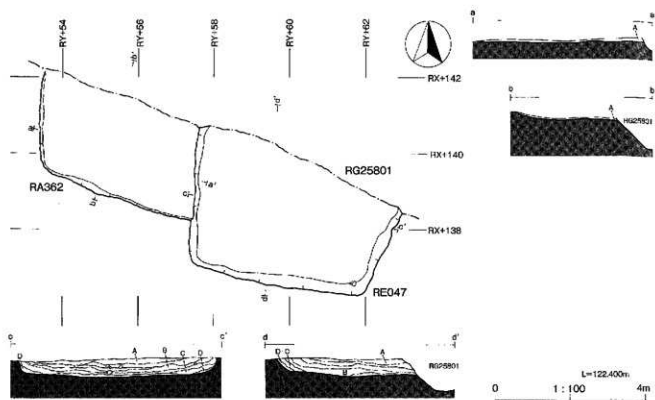
第 56 图 第 25 次調査 A 区 RA354・359 竪穴住居跡



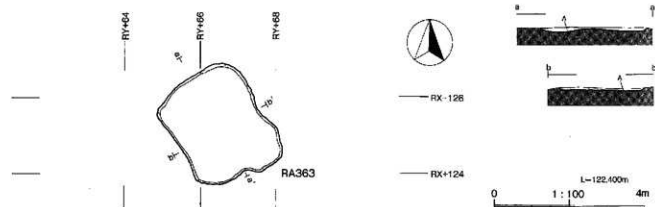
第57图 第25次調査A区 RA356a・b・357・361 竖穴住居跡



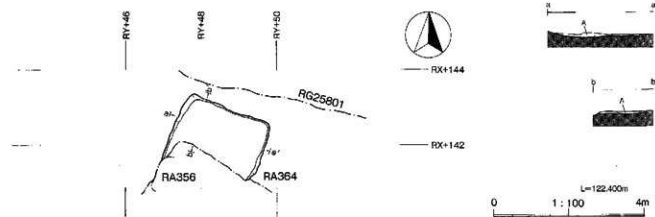
第58图 第25次調査A区 RA360 竖穴住居跡



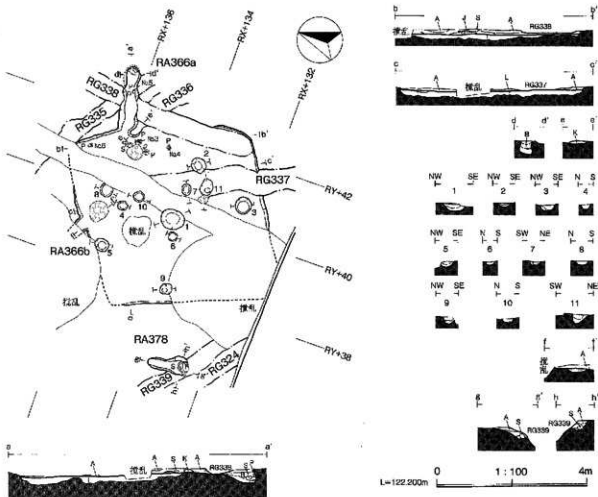
第59图 第25次調査A区 RA362 竪穴住居跡・RE047 竪穴状遺構



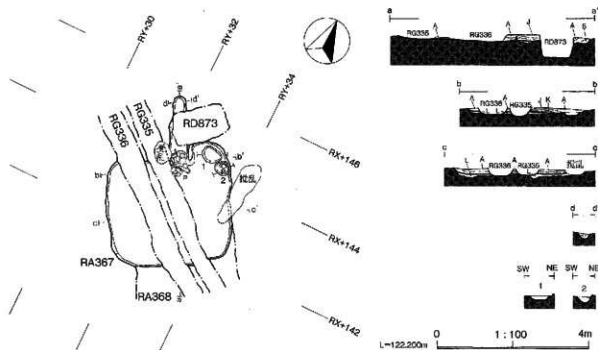
第60图 第25次調査A区 RA363 竪穴住居跡



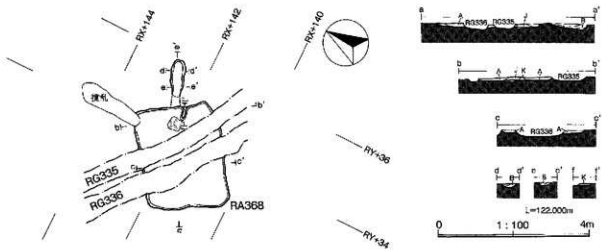
第61图 第25次調査A区 RA364 竪穴住居跡



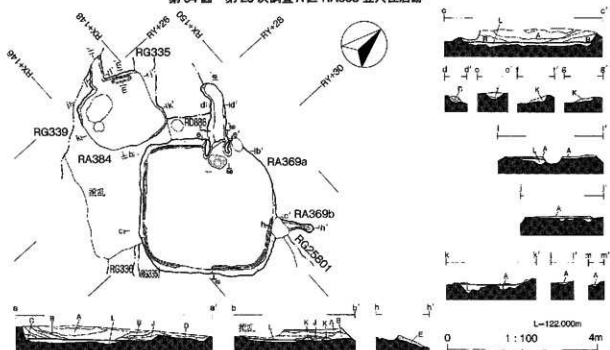
第62图 第25次調査A区RA366a・b・378 竪穴住居跡



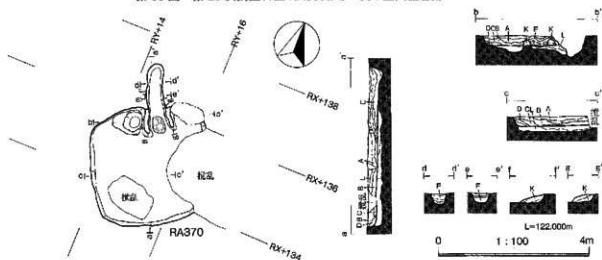
第63图 第25次調査A区RA367 竪穴住居跡



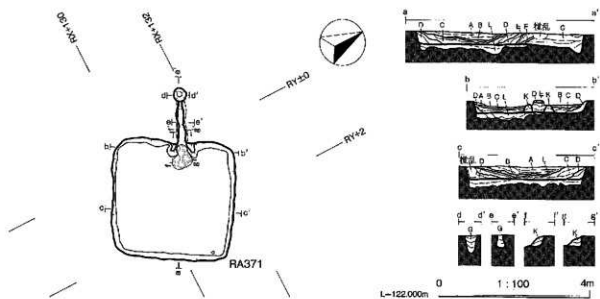
第 64 图 第 25 次調査 A 区 RA368 竖穴住居跡



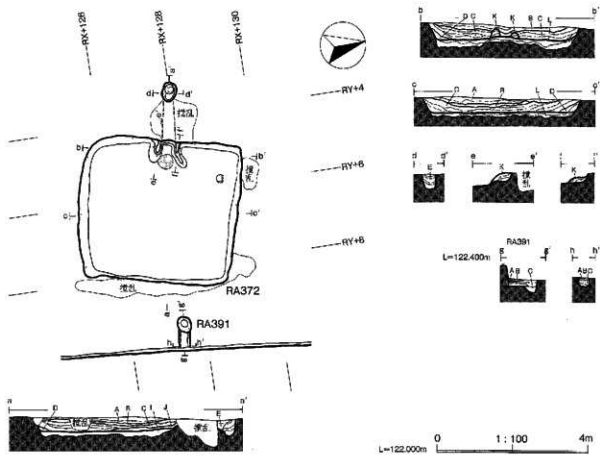
第 65 图 第 25 次調査 A 区 RA369a・b・384 竖穴住居跡



第 66 图 第 25 次調査 A 区 RA370 竖穴住居跡

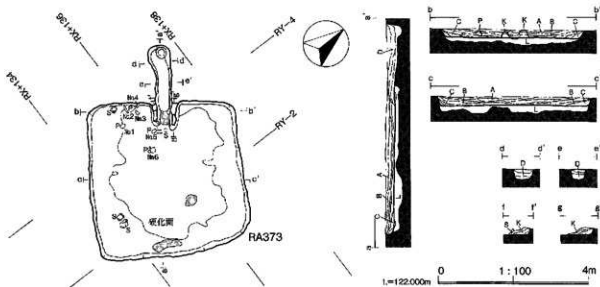


第 67 图 第 25 次调查 A 区 RA371 竖穴住居跡

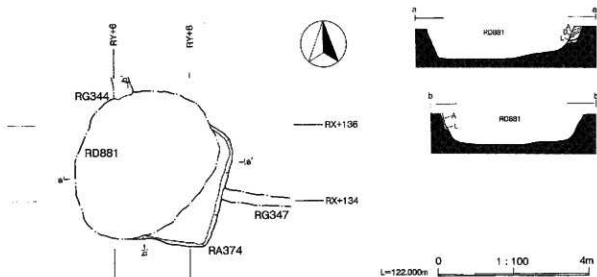


第 68 图 第 25 次调查 A 区 RA372・391 竖穴住居跡

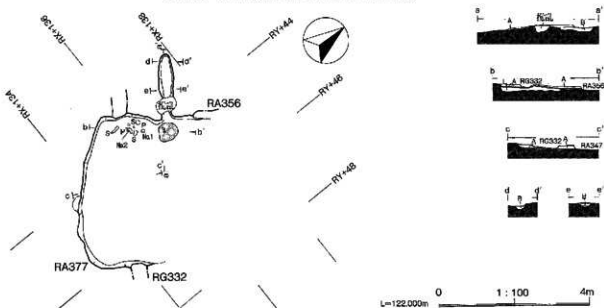




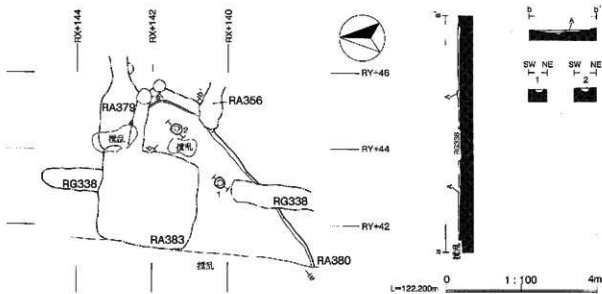
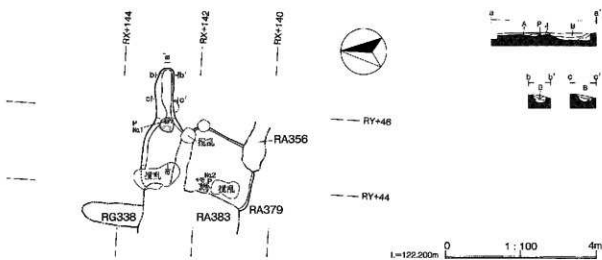
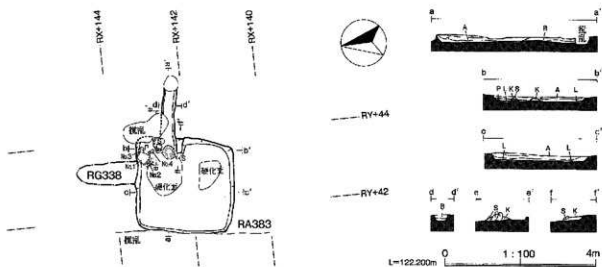
第69图 第25次调查A区RA373 竖穴住居跡

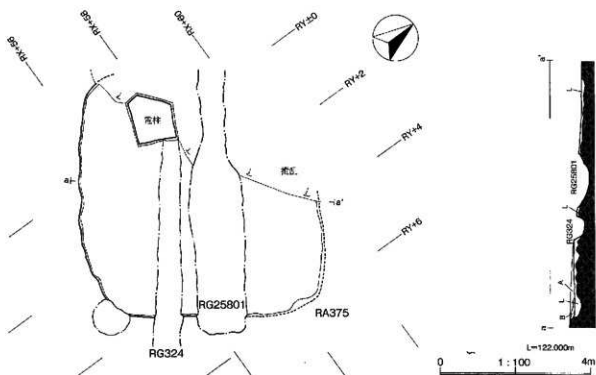


第70图 第25次调查A区RA374 竖穴住居跡

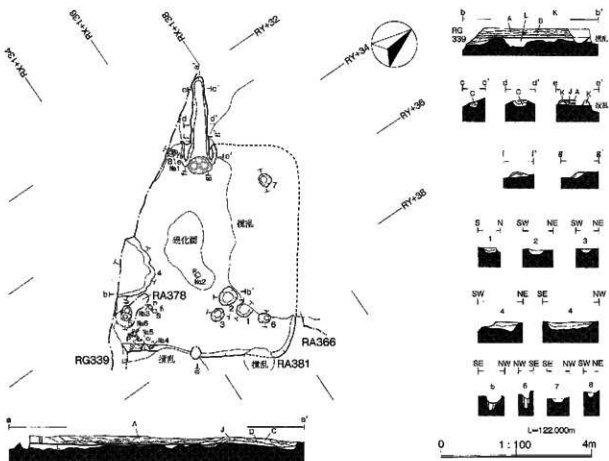


第71图 第25次调查A区RA377 竖穴住居跡

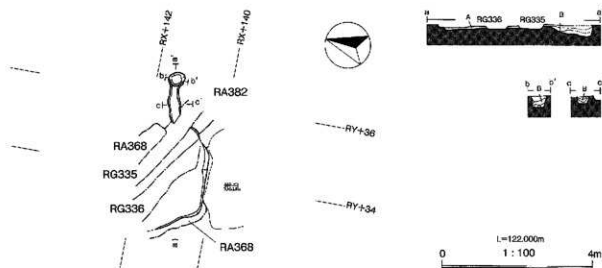




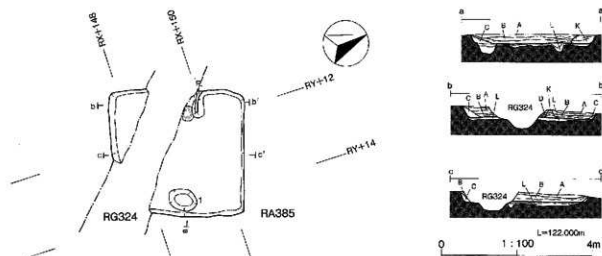
第75图 第25次調査A区 RA375 竪穴住居跡



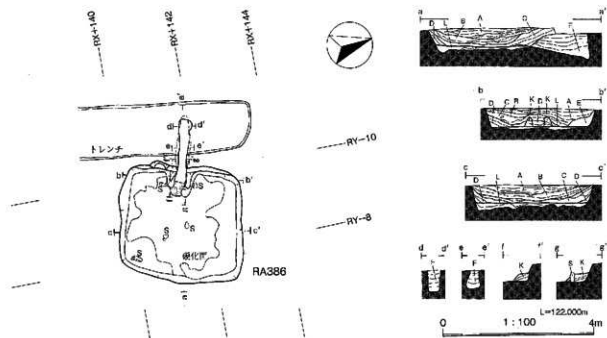
第76图 第25次調査A区 RA381 竪穴住居跡



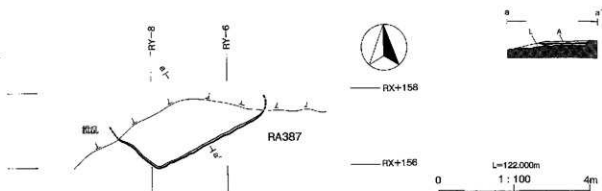
第77図 第25次調査A区 RA382 竪穴住居跡



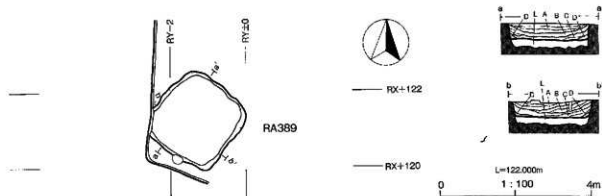
第78図 第25次調査A区 RA385 竪穴住居跡



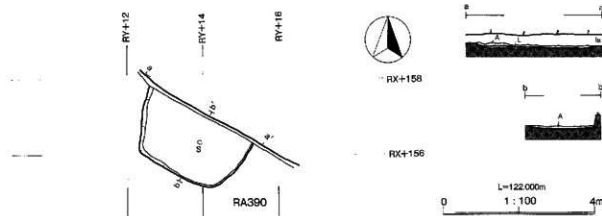
第79図 第25次調査A区 RA386 竪穴住居跡



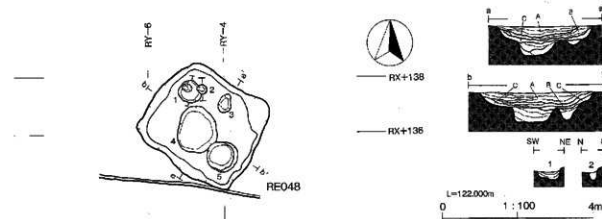
第 80 图 第 25 次调查 A 区 RA387 竖穴住居跡



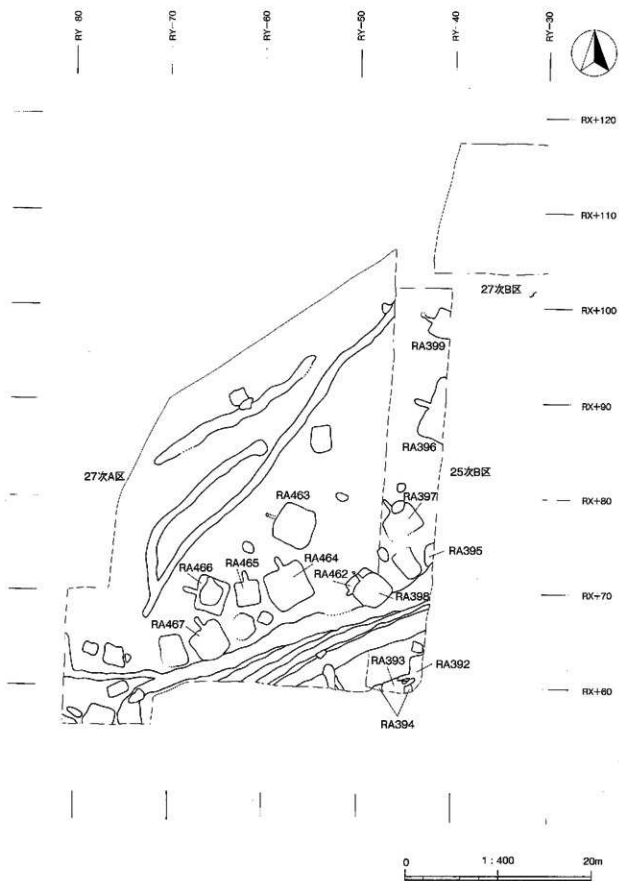
第 81 图 第 25 次调查 A 区 RA389 竖穴住居跡



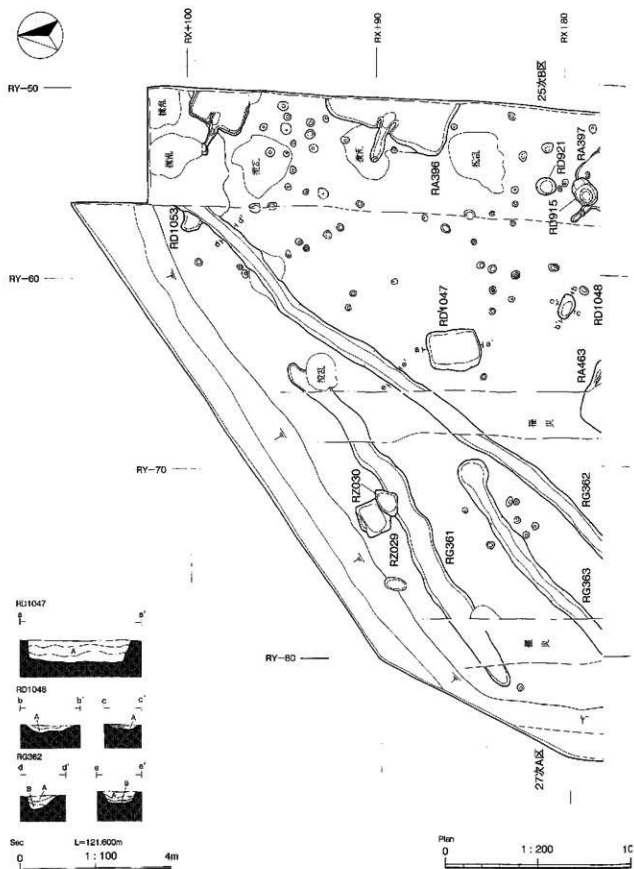
第 82 图 第 25 次调查 A 区 RA390 竖穴住居跡



第 83 图 第 25 次调查 A 区 RE048 竖穴状遺構

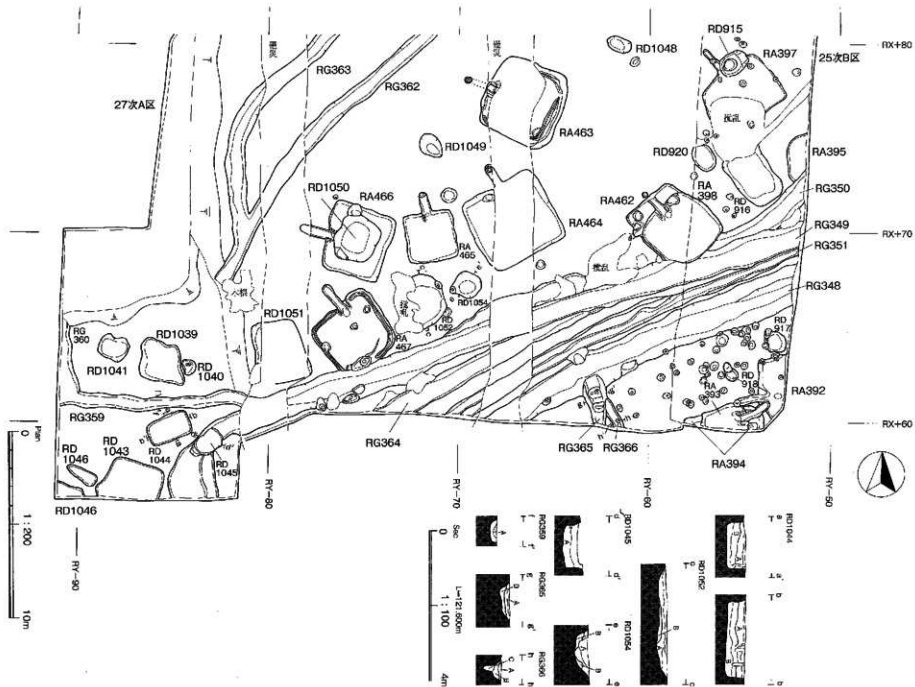


第84图 第25次調査B区・第27次調査A区全体図

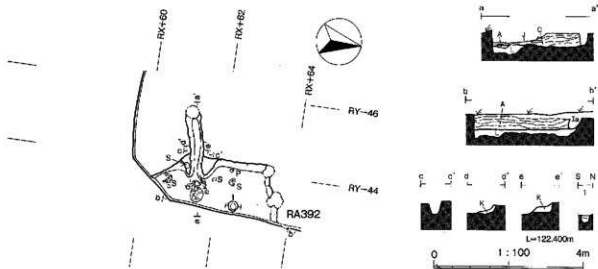


第 85 图 第 25 次調査B区・第 27 次調査A区北半部全体图

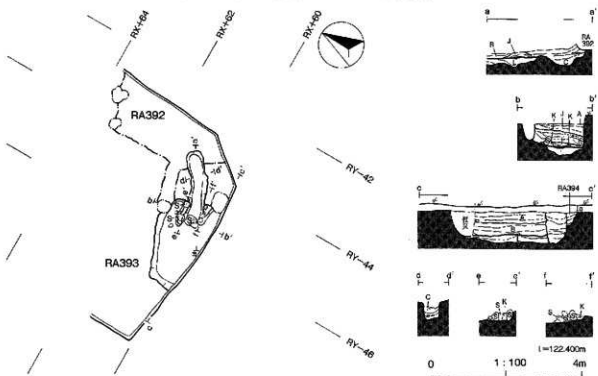
第86图 第25次調査B区・第27次調査A区南半部全体図



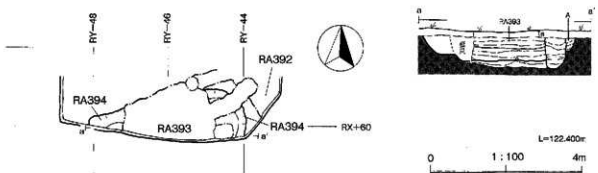




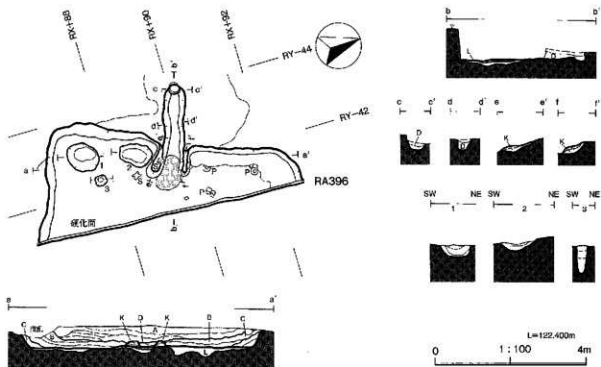
第 87 图 第 25 次調査 B 区 RA392 竖穴住居跡



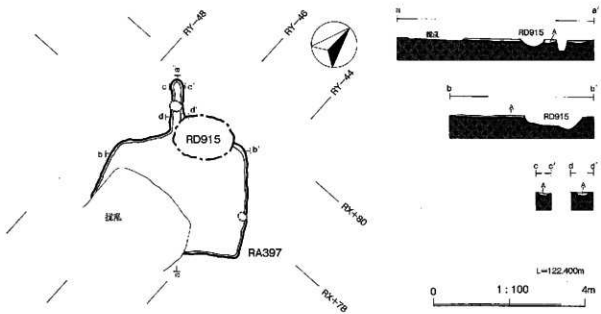
第 88 图 第 25 次調査 B 区 RA393 竖穴住居跡



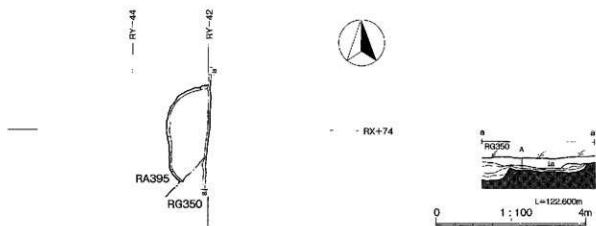
第 89 图 第 25 次調査 B 区 RA394 竖穴住居跡



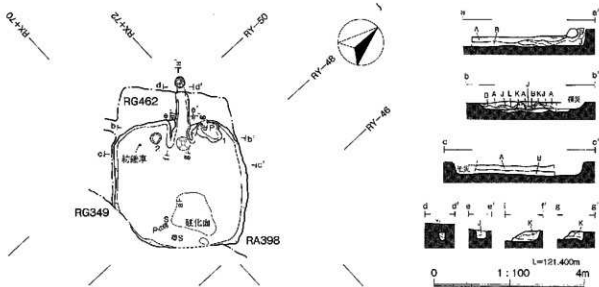
第 90 图 第 25 次调查 B 区 RA396 竖穴住居跡



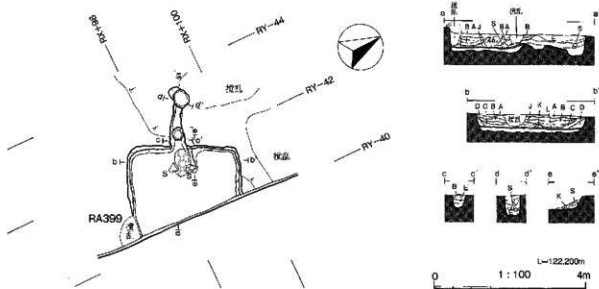
第 91 图 第 25 次调查 B 区 RA397 竖穴住居跡



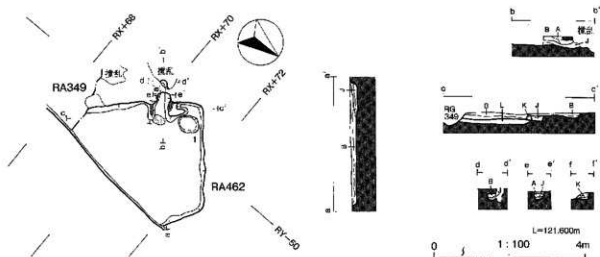
第 92 图 第 25 次調査 B 区 RA395 竖穴住居跡



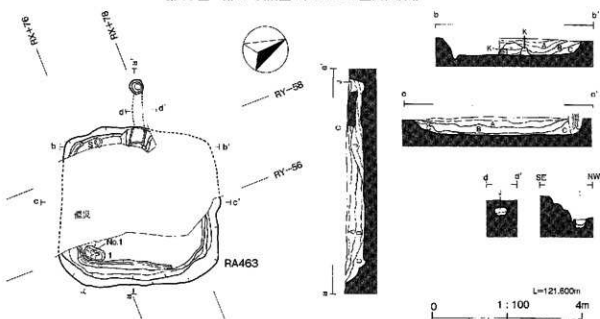
第 93 图 第 25 次調査 B 区 RA398 竖穴住居跡



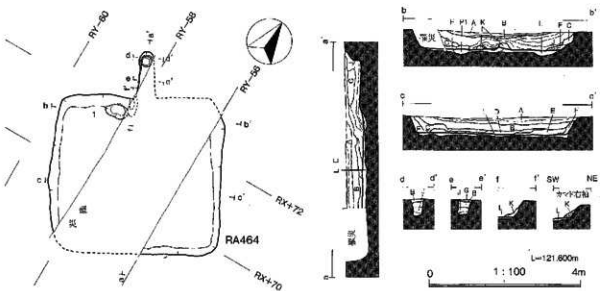
第 94 图 第 25 次調査 B 区 RA399 竖穴住居跡



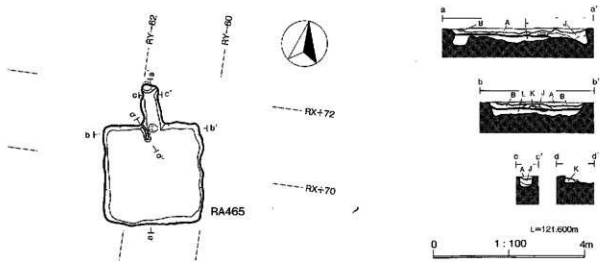
第95图 第27次調査A区RA462 竪穴住居跡



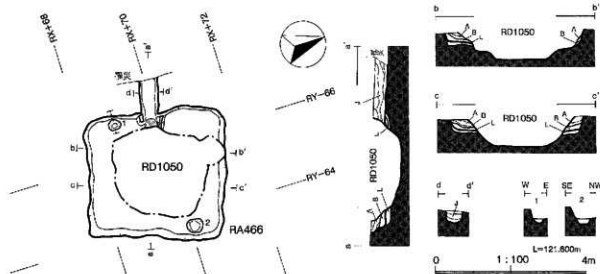
第96图 第27次調査A区RA463 竪穴住居跡



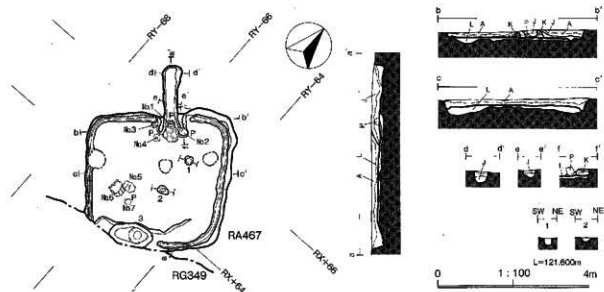
第97图 第27次調査A区RA464 竪穴住居跡



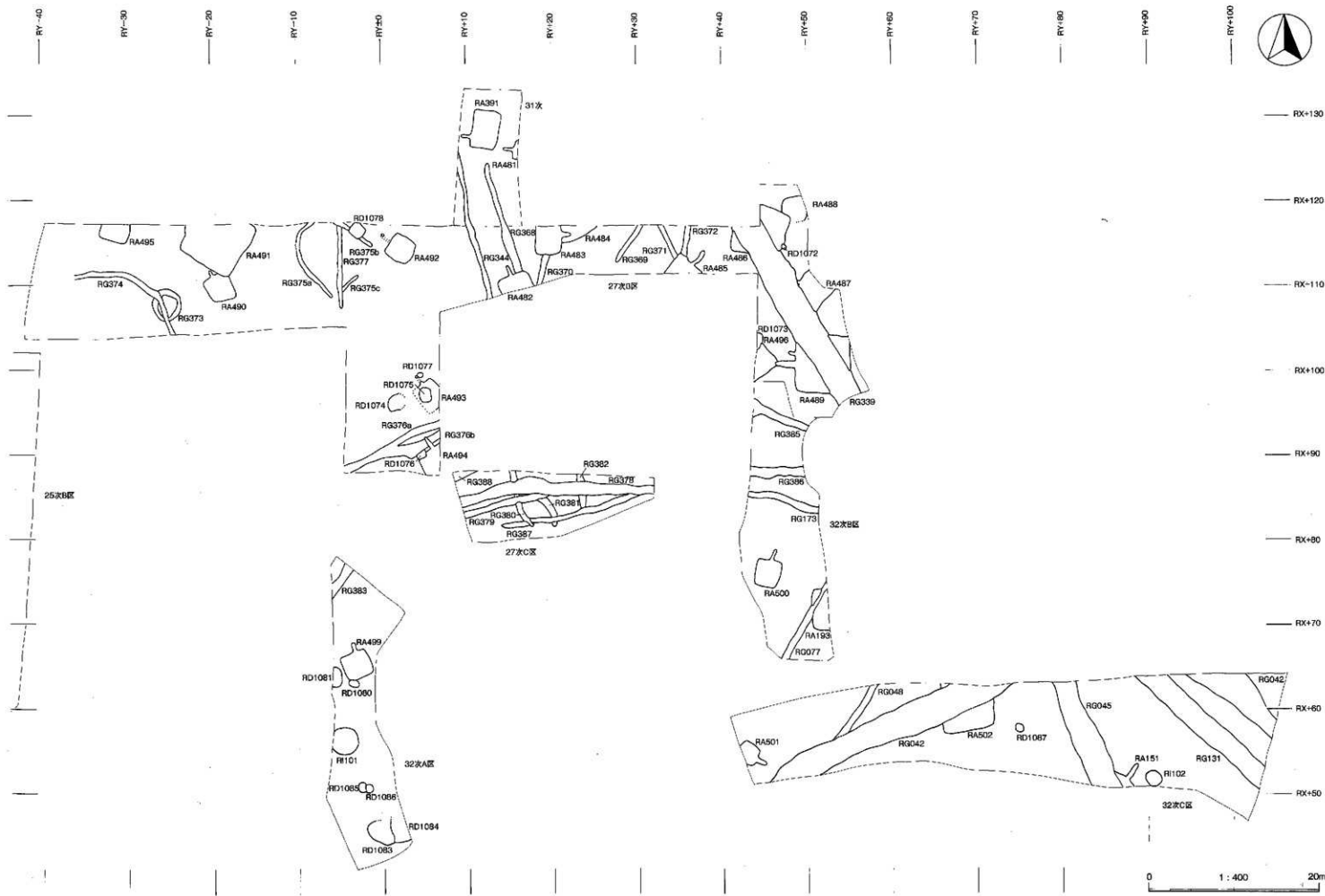
第98图 第27次調査A区 RA465 竪穴住居跡



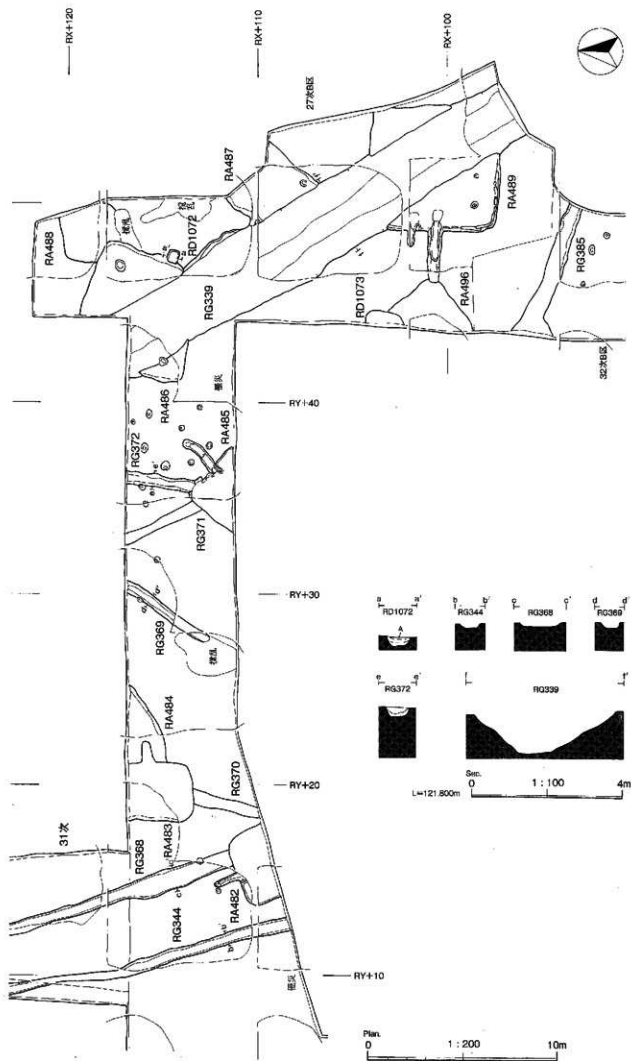
第99图 第27次調査A区 RA466 竪穴住居跡



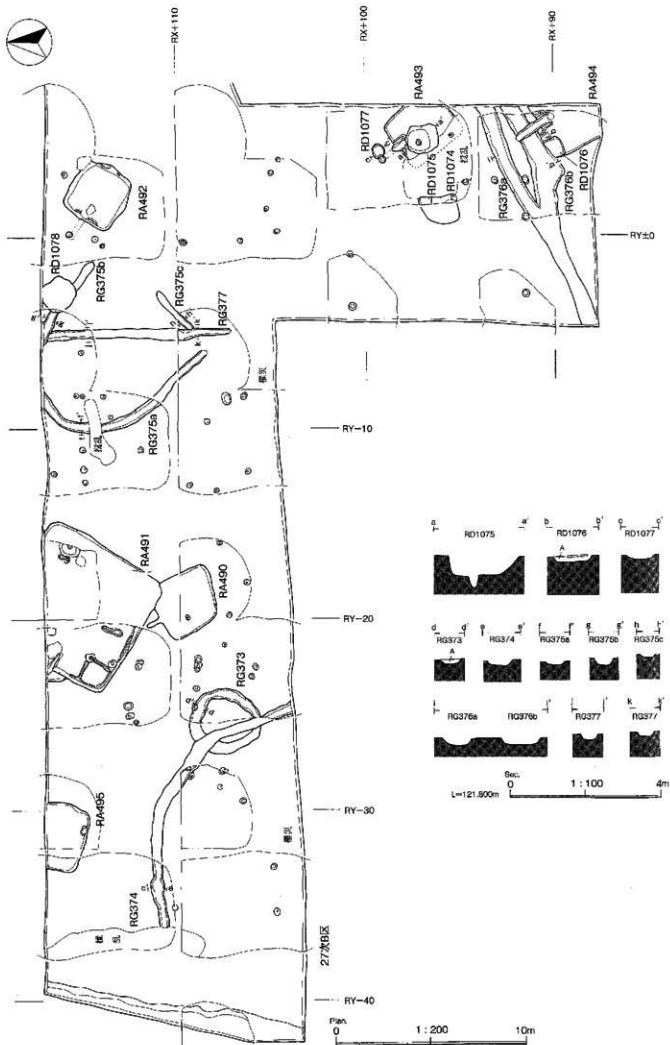
第100图 第27次調査A区 RA467 竪穴住居跡



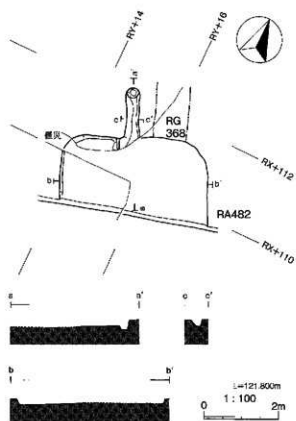
第101图 第27次调查B·C区, 第32次调查A·B·C区, 第31次调查区全体图



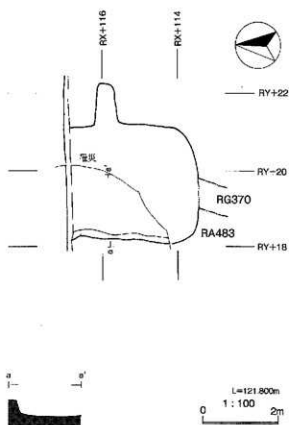
第102图 第27次調査B区東半部全体図



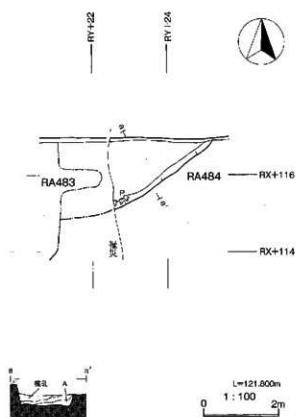




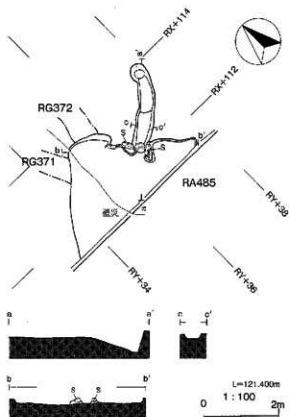
第104图 第27次调查B区 RA482 竖穴住居跡



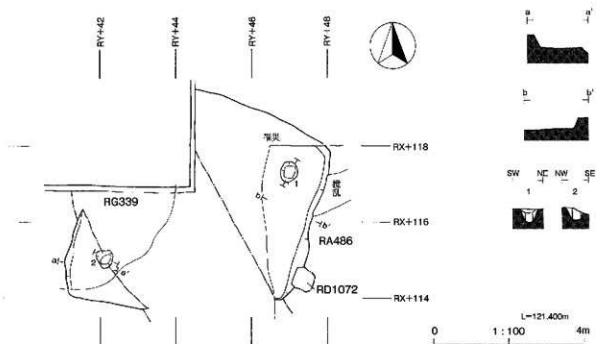
第105图 第27次调查B区 RA483 竖穴住居跡



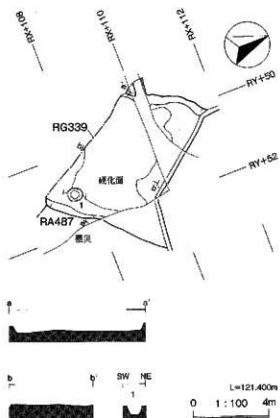
第106图 第27次调查B区 RA484 竖穴住居跡



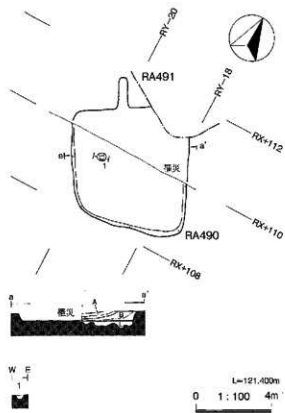
第107图 第27次调查B区 RA485 竖穴住居跡



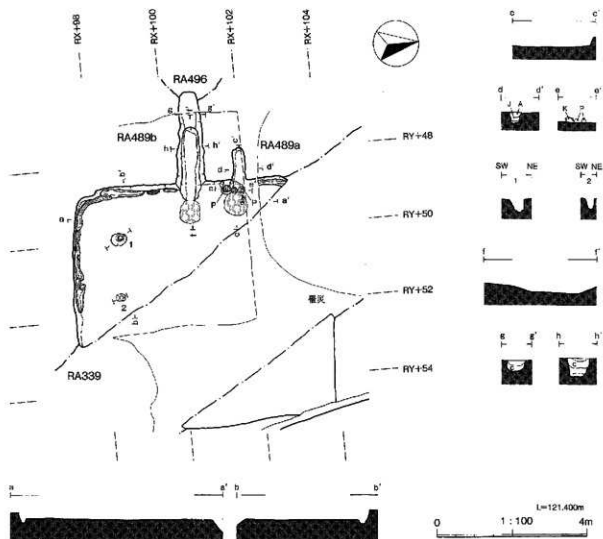
第108図 第27次調査B区 RA486 竪穴住居跡



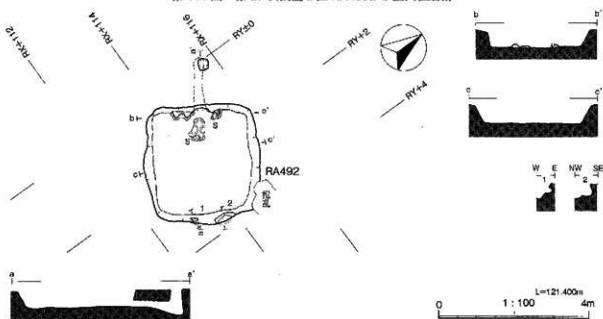
第109図 第27次調査B区 RA487 竪穴住居跡



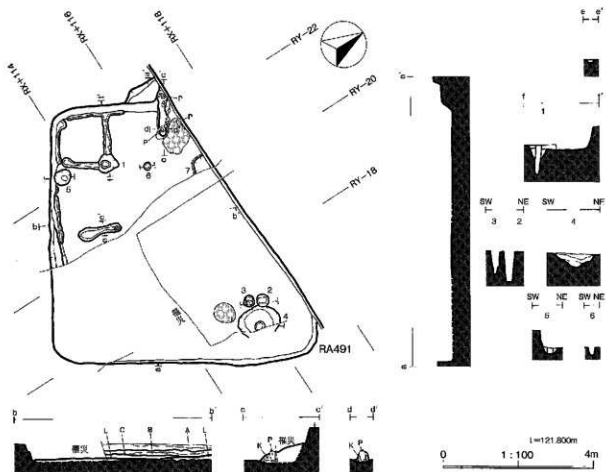
第110図 第27次調査B区 RA490 竪穴住居跡



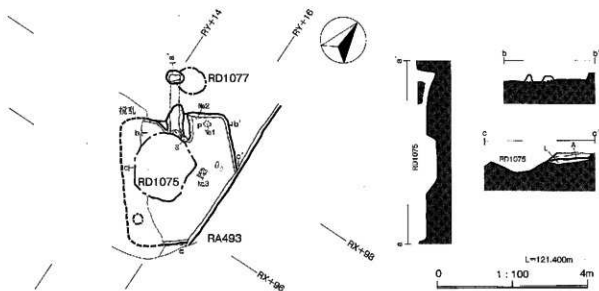
第111图 第27次調査B区 RA489a-b 竪穴住居跡



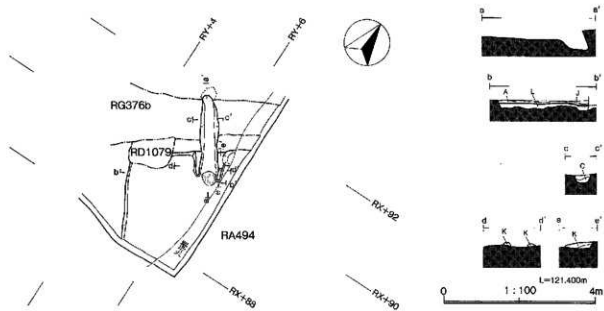
第112图 第27次調査B区 RA492 竪穴住居跡



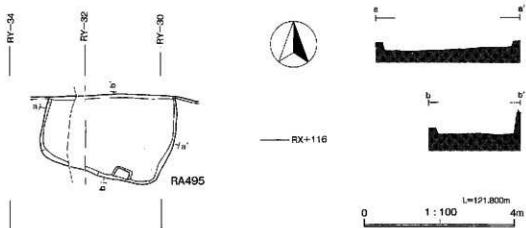
第113図 第27次調査B区 RA491 竪穴住居跡



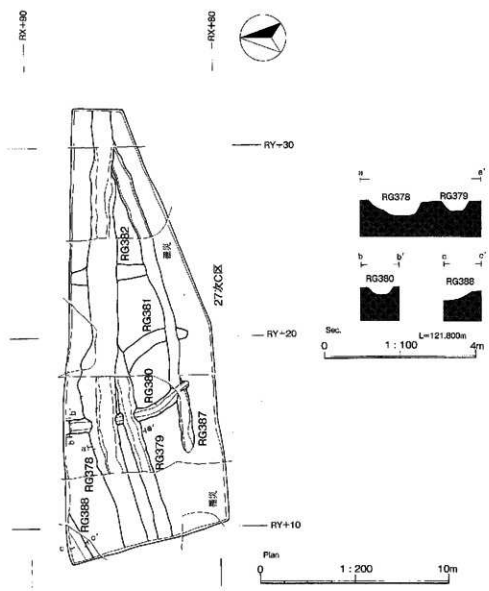
第114図 第27次調査B区 RA493 竪穴住居跡



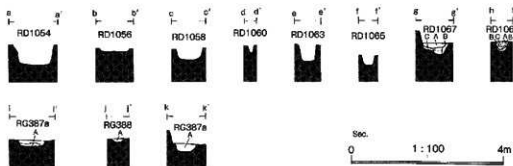
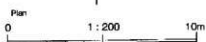
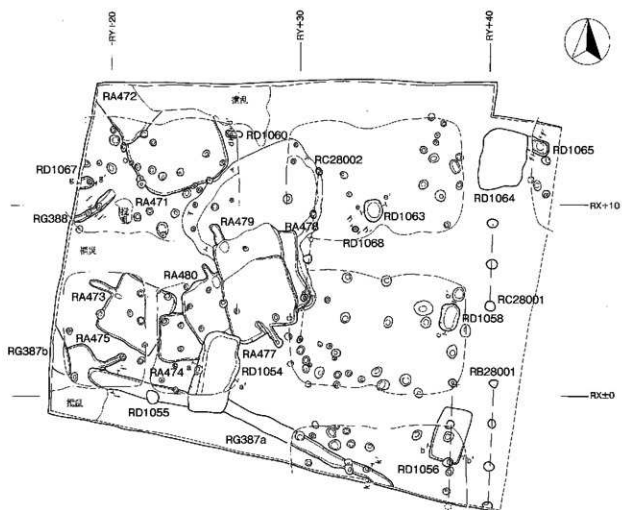
第 115 図 第 27 次調査 B 区 RA494 竪穴住居跡



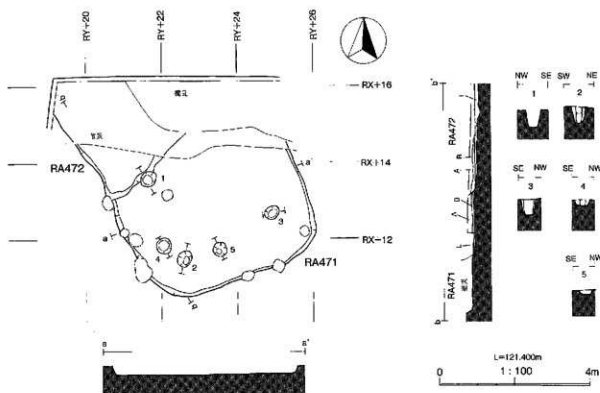
第 116 図 第 27 次調査 B 区 RA495 竪穴住居跡



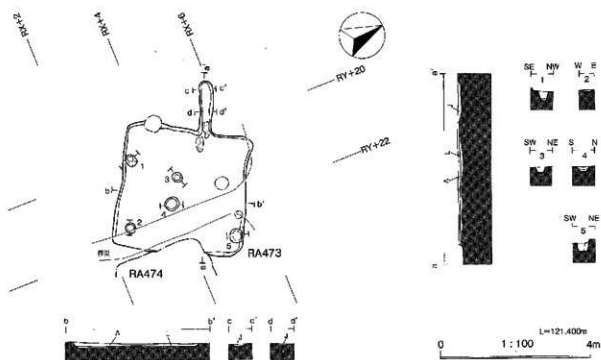
第117图 第27次調査C区全体图



第118图 第26次調査区全体図

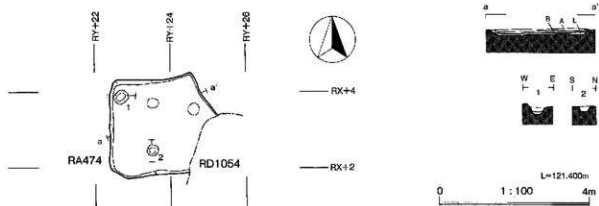


第119图 第28次調査区 RA471・472 竪穴住居跡

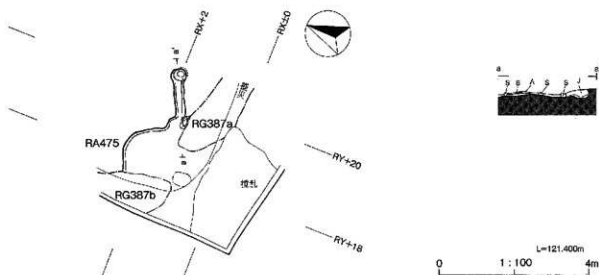


第120图 第28次調査区 RA473 竪穴住居跡

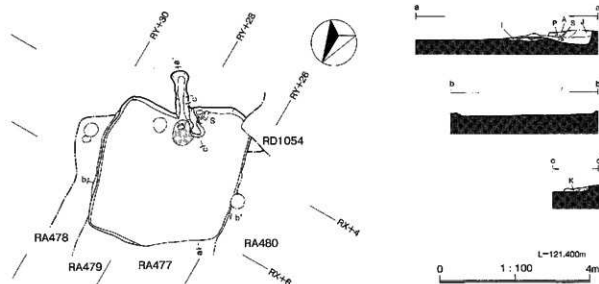




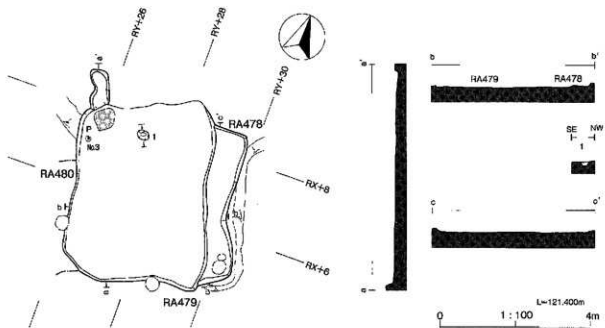
第121图 第28次調査区 RA474 竪穴住居跡



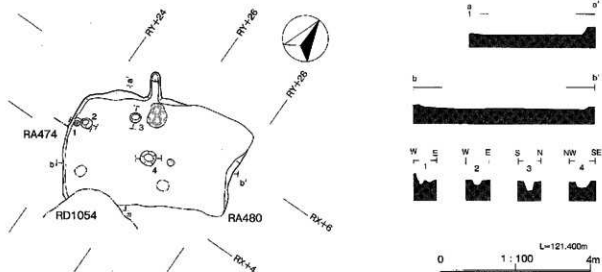
第122图 第28次調査区 RA475 竪穴住居跡



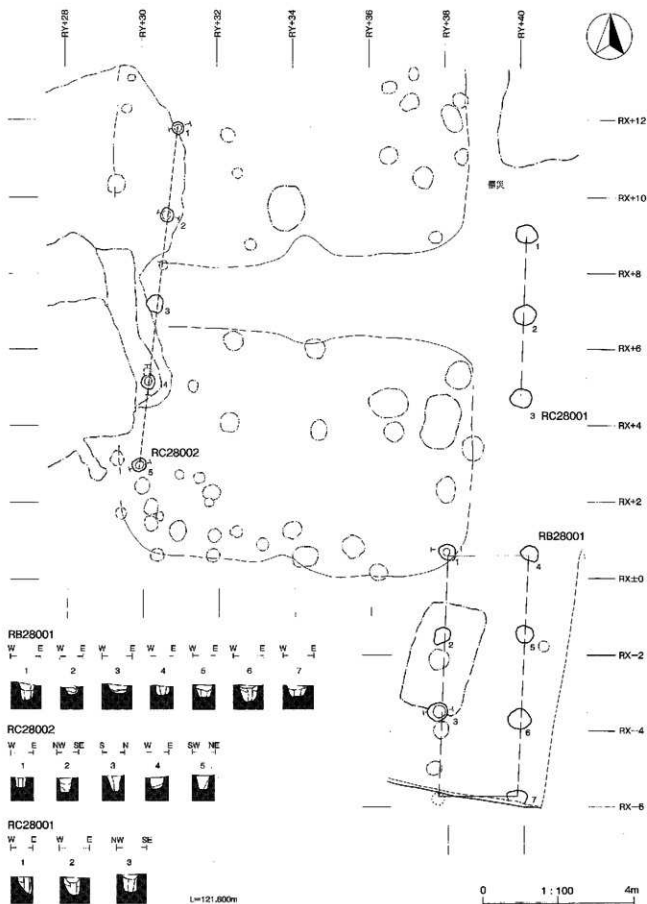
第123图 第28次調査区 RA477 竪穴住居跡



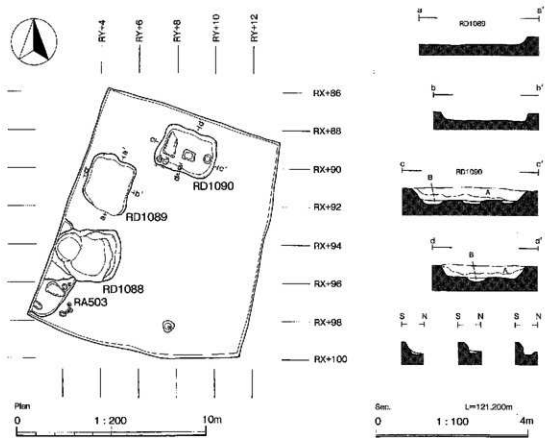
第124图 第28次調査区 RA478-479 竪穴住居跡



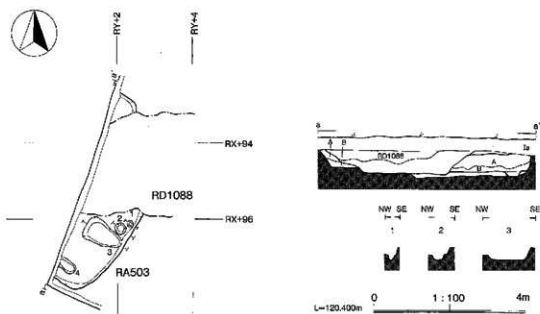
第125图 第28次調査区 RA480 竪穴住居跡



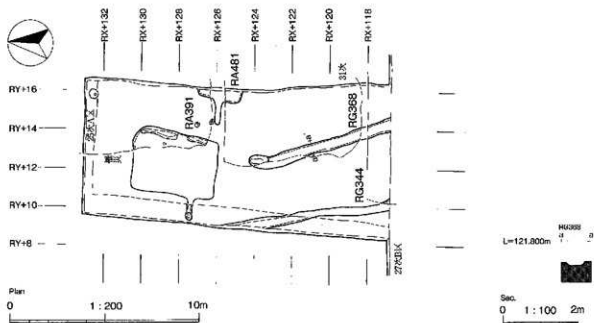
第126图 第28次調査区RB28001獨立柱建物跡, RC28001・28002柱列跡



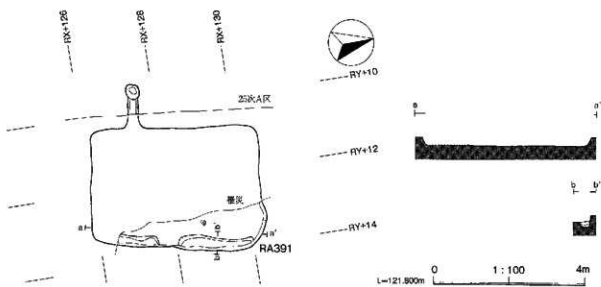
第127图 第29次調査区全体図



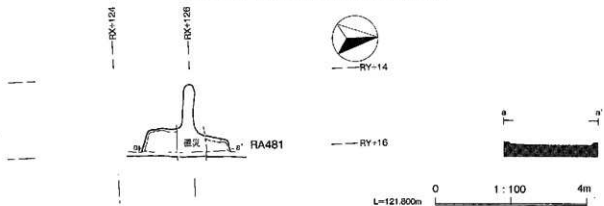
第128图 第29次調査区 RA503 竖穴住居跡



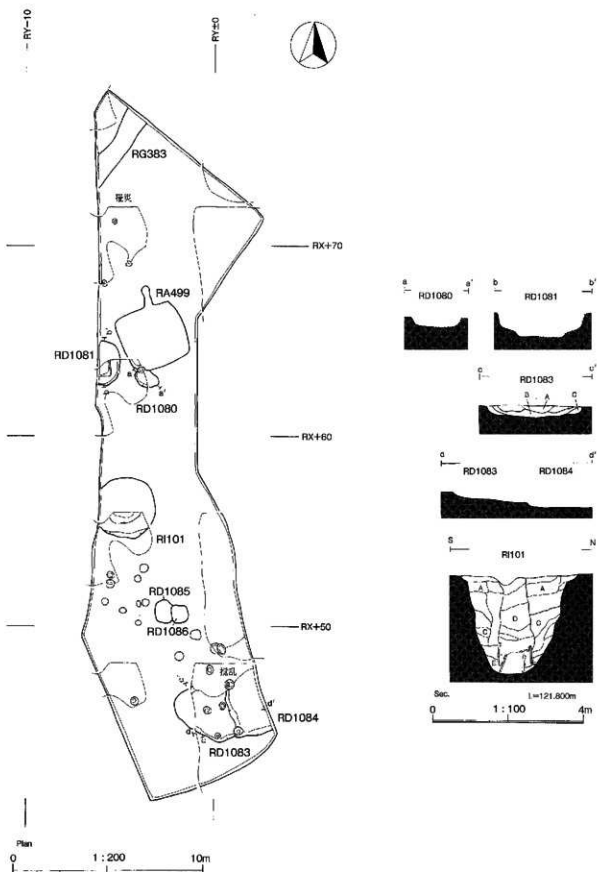
第129图 第31次調査区全体图



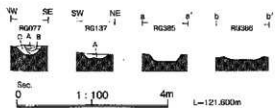
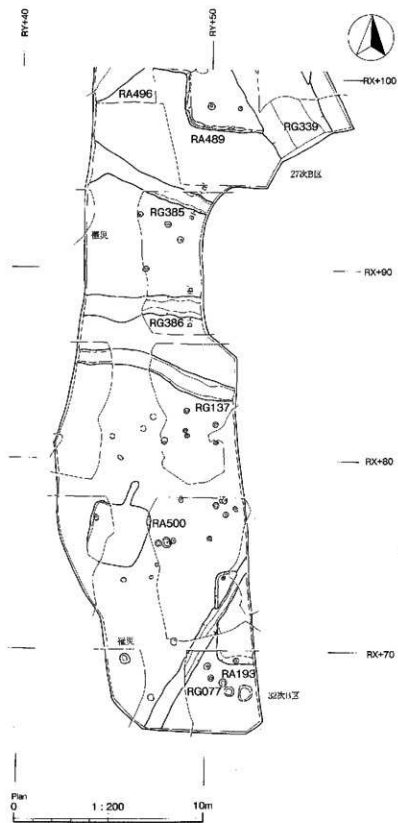
第130图 第31次調査区 RA391 竪穴住居跡



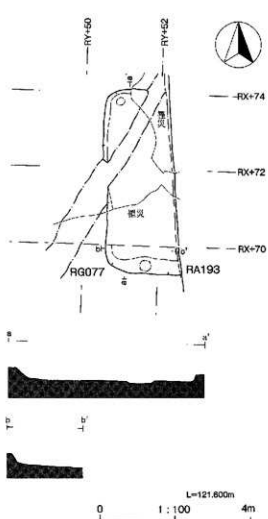
第131图 第31次調査区 RA481 竪穴住居跡



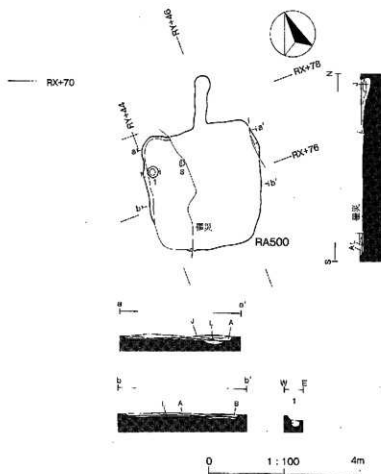
第 132 图 第 32 次調査A区全体図



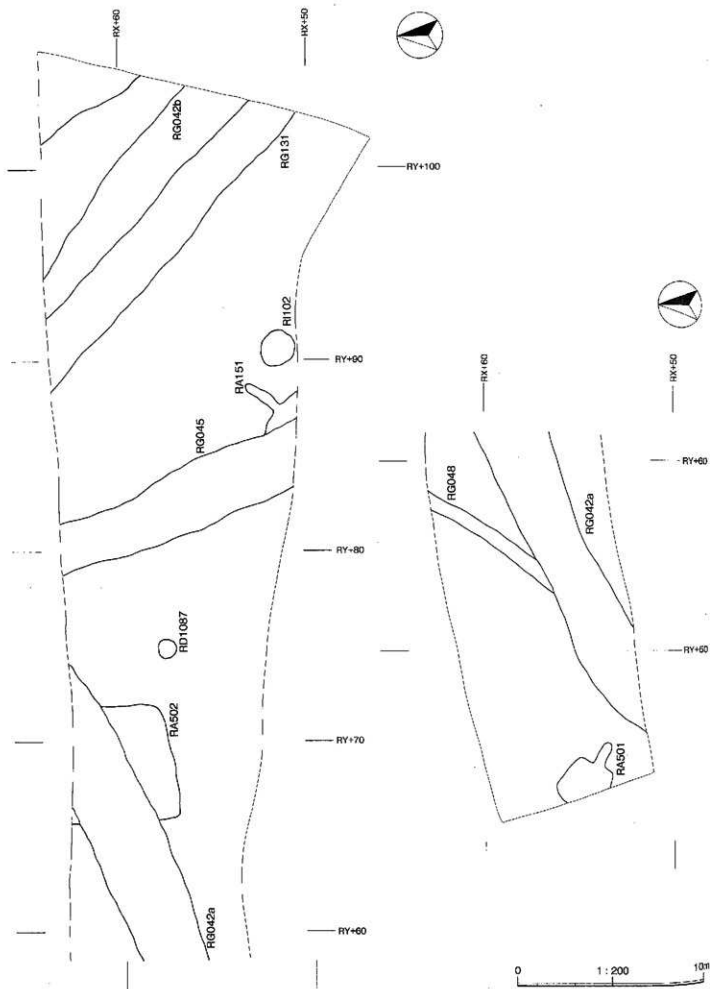
第133图 第32次调查B区全体图



第134图 第32次调查B区RA193 窑穴住居跡

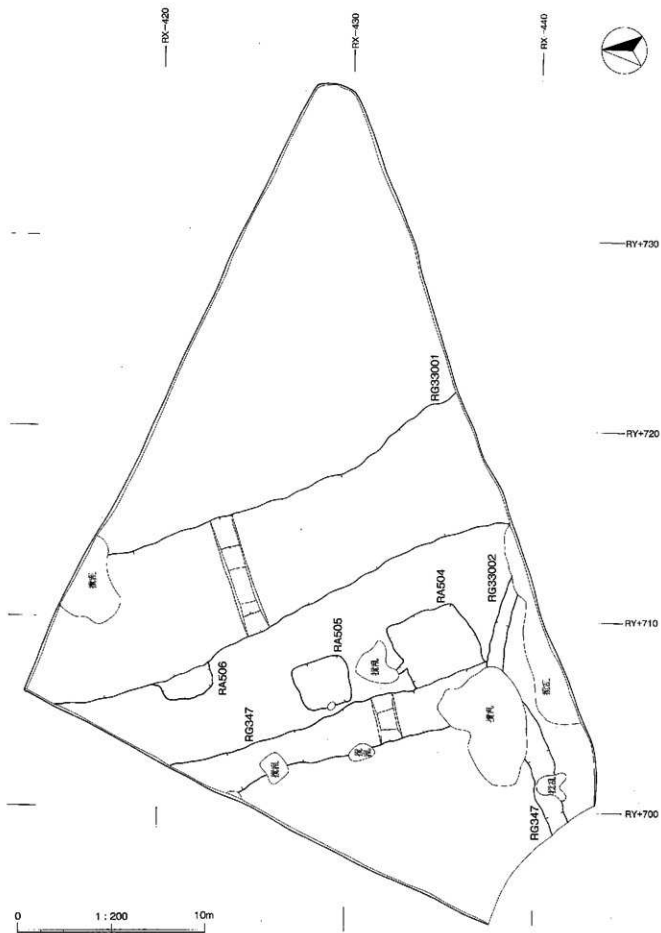


第135图 第32次调查B区RA500 窑穴住居跡

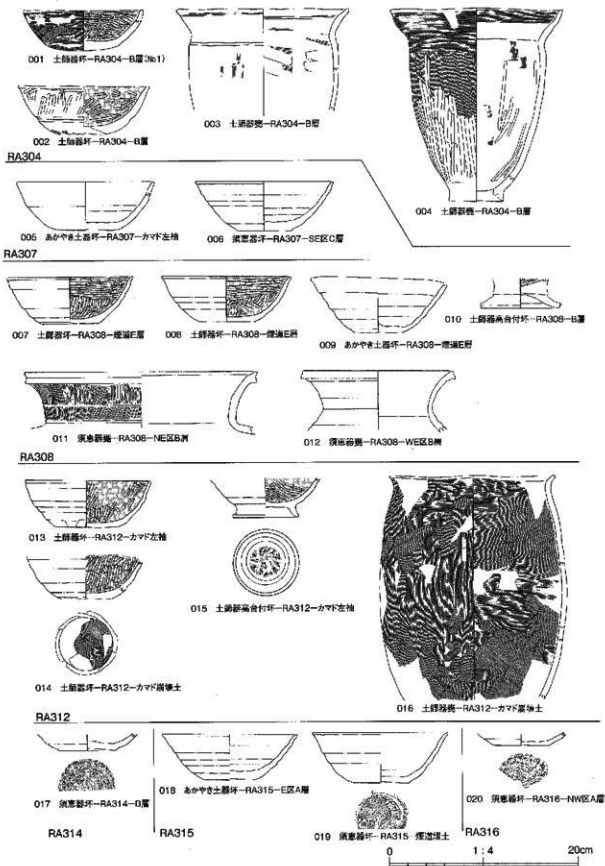


第 136 图 第 32 次調査C区全体图

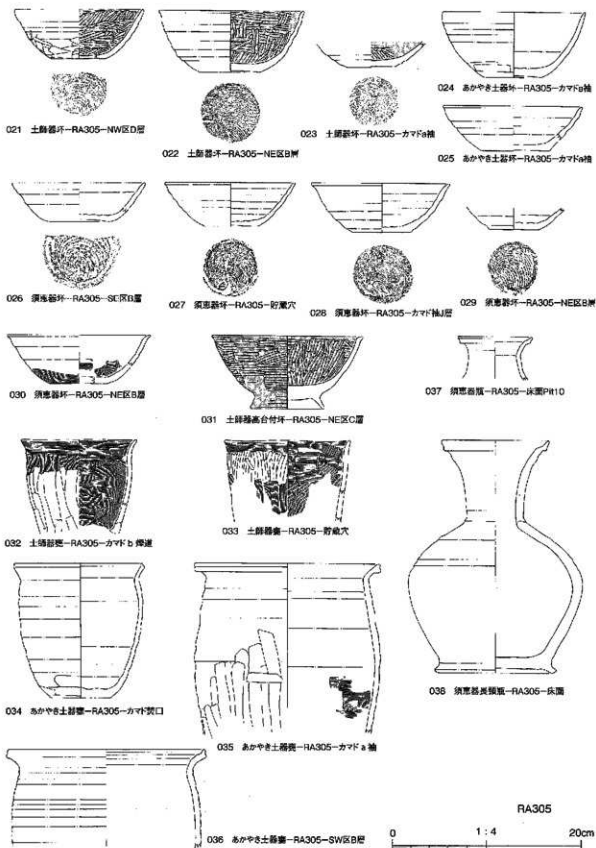




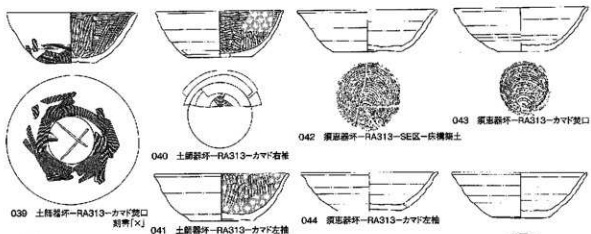
第 137 图 第 33 次調査区全体图



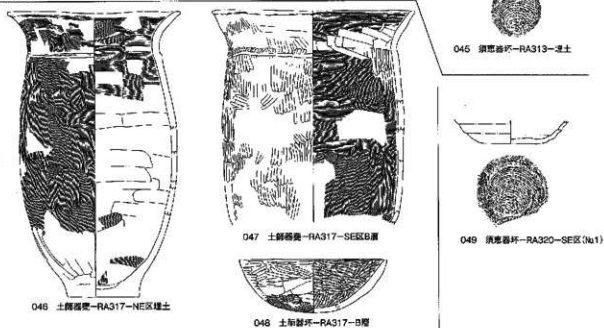
第138図 第24次調査出土土器(1)



第139図 第24次調査出土土器(2)

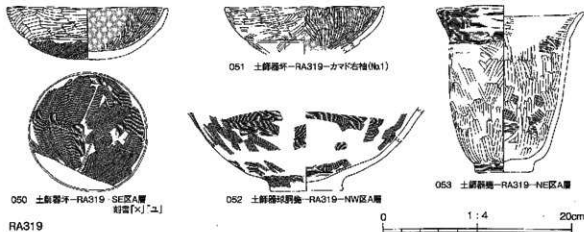


RA313



RA317

RA320

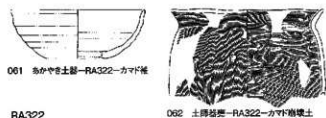
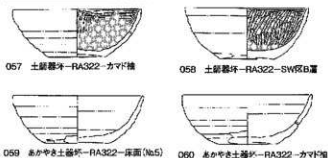


RA319

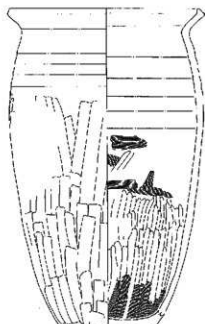
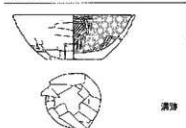
第140図 第24次調査出土土器(3)



RA321



RA322



0 1:4 20cm

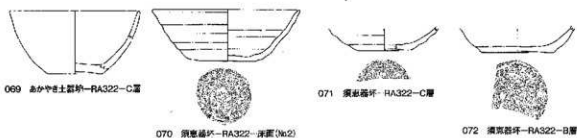
第141図 第24次調査出土土器 (4)



067 土器—RA308—SE区A層

0 1:4 20cm

第142図 第24次調査出土土製品・石製品

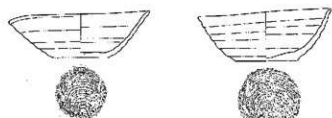


RA322

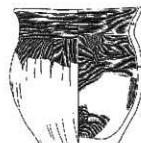


RA323

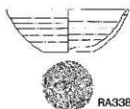
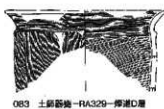
RA324



RA325

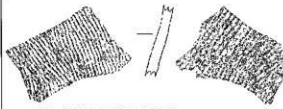


RA327



RA329

RA338

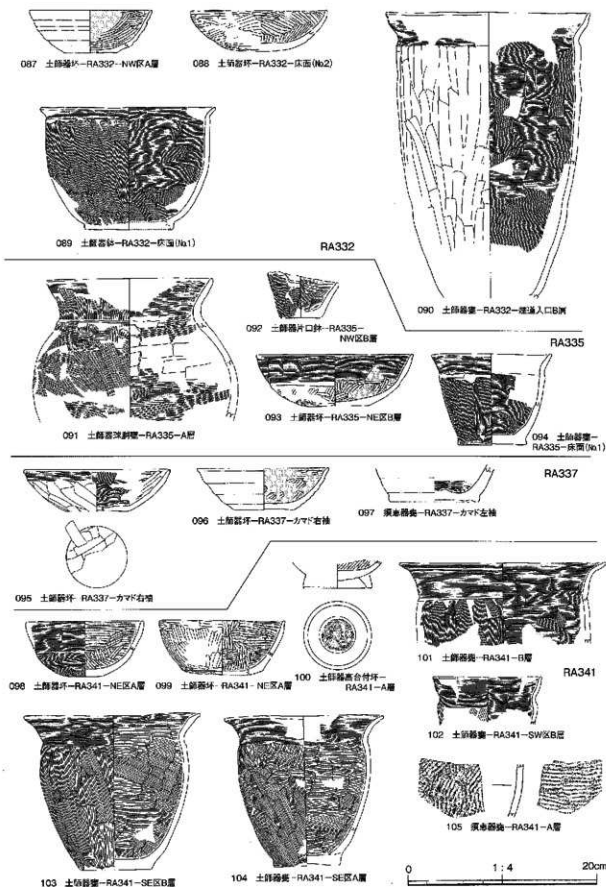


086 須恵器片-RA335-NE区A層

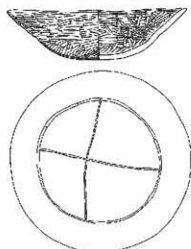
RA335

0 1:4 20cm

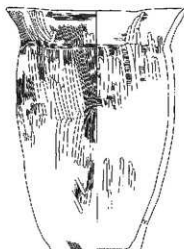
第143図 第25次調査A区出土土器(1)



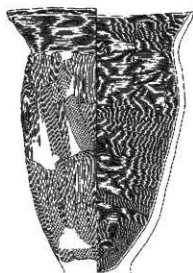
第144図 第25次調査A区出土土器(2)



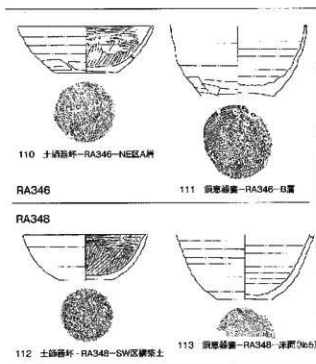
106 土師器杯—RA345—底面 (No.1)—斜面(X)



107 土師器杯—RA345—底面 (No.3)



108 土師器杯—RA345—カマツノ口 (No.8)

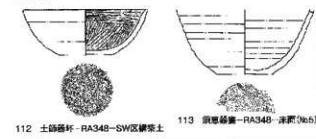


110 土師器杯—RA346—NE区A層

RA346

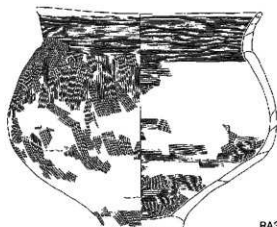
111 須恵磁器—RA346—B層

RA348



112 土師器杯—RA348—SW区硬質土

113 須恵磁器—RA348—深部 (No.6)



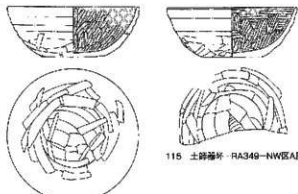
109 土師器鉢形器—RA345—底面 (No.6)

RA345



114 土師器杯—RA349—A層

117 須恵磁器—RA349—NW区A層



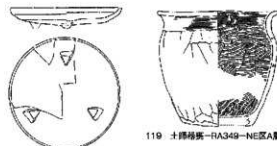
115 土師器杯—RA349—NW区A層

116 土師器杯—RA349—埋土

114 土師器杯—RA349—A層

RA349

118 須恵磁器片—RA349—SW区A層

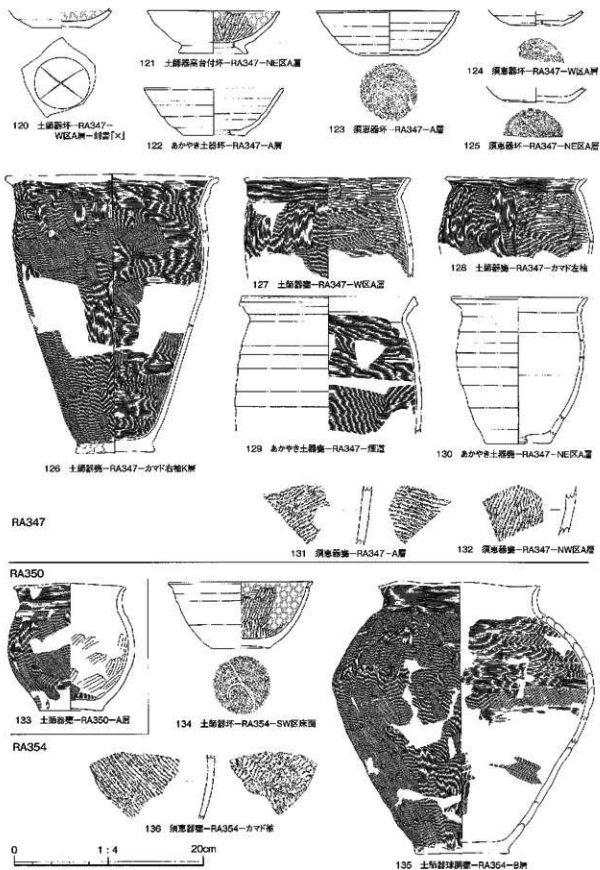


119 土師器杯—RA349—NE区A層

0 1:4 20cm

第145図 第25次調査A区出土土器 (3)





第146図 第25次調査A区出土土器(4)



137 横沟器残—RA353—连接C层

RA353



138 土质器残—RA355—NE区A层

RA355



139 土质器残—RA361—A层

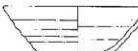
RA361



140 土质器残—RA366—埋藏层



141 土质器残—RA356—床面(Nb3)



142 高砂中土器残—RA356—床面Pn1



143 横沟器残—RA356—埋藏土



144 高砂中土器残—RA356—SW区A层



RA356



145 土质器高台付片—RA357—  
中央埋藏层土

RA357



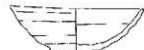
146 土质器残—RA360—SE区A层

RA360

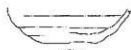
RA367



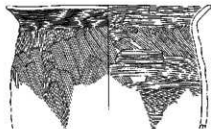
151 土质器残—RA367—床面(Nb4)



147 横沟器残—RA366—A层(Nb6)



148 横沟器残—RA366—埋藏土

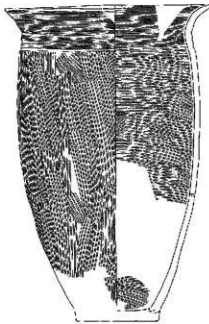


149 土质器残—RA366—埋出B层

RA366



150 横沟器残—RA366—A层(Nb4)



152 土质器残—RA367—床面(Nb2)

0 1:4 20cm

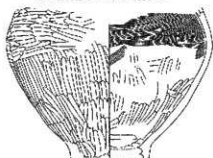
第147图 第25次调查A区出土土器(5)



153 土師器杯—RA370—A層—割裂〔×〕

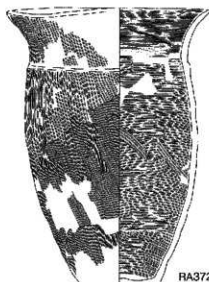


154 土師器杯—RA370—床面PI1



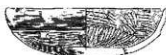
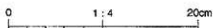
155 土師器球胴部—RA370—C層

RA370



160 土師器壺—RA372—SW区B層

RA372



156 土師器杯—RA371—SE区B層



157 土師器杯—RA371—NW区B層



158 土師器球胴部—RA371—B層



159 土師器壺—RA371—SW区B層—割裂〔×〕?

RA371



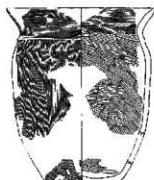
161 土師器杯—RA373—床面(Ⅱb1)



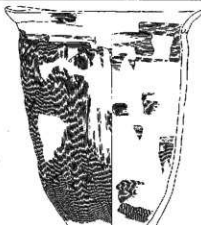
162 土師器杯—RA373—NE区A層



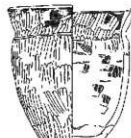
163 土師器杯—RA373—NE区A層



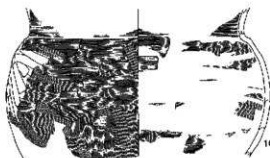
164 土師器壺—RA373—床面(Ⅱb4)



165 土師器壺—RA373—SE区A層



166 土師器壺—RA373—床面(Ⅱb4)



167 土師器球胴部—RA373—床面(Ⅱb3)

RA373

第148图 第25次調査A区出土土器(6)



168 土師器片—RA374—SE区A層

RA374



169 土師器片—RA374—NW区B層



170 須恵器片—RA356b—畑上1層

RA356b



171 須恵器片—RA379—床面(Nb1)

RA379



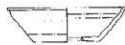
172 須恵器片—RA379—床面(Nb2)



173 須恵器片—RA379—床面(Nb2)



174 須恵器片—RA379—畑道(Nb1)



175 須恵器片—RA379—畑道(Nb1)

RA378



176 土師器片—RA381—B層(Nb2)



177 土師器片—RA381—A層



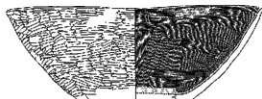
178 土師器片—RA381—B層(Nb3)



179 土師器高台付片—RA381—A層

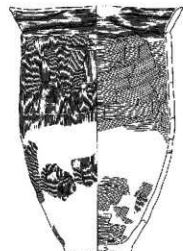


181 土師器片—RA381—B層(Nb1)



180 土師器大形片—RA381—B層(Nb5)

RA381



182 土師器片—RA381—畑道

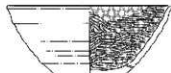
RA383



184 土師器片—RA383—カマド左側Nb3

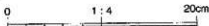


185 土師器片—RA383—カマド左側Nb3



183 土師器片—RA380—畑道

RA380



第149図 第25次調査A区出土土器(7)



186 土師器杯—RE046—A層



187 あかやき土師器杯—RE046—A層



RE047



189 あかやき土師器杯—RE047—B層 190 あかやき土師器杯—RE047—A層



188 土師器盤—RE046—A層

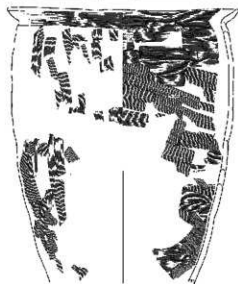
RE046



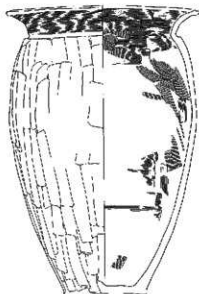
192 土師器杯—RD008—埋土№3



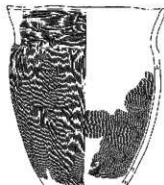
191 土師器杯—RD871—埋土



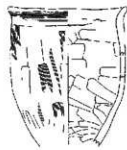
193 土師器瓶—RD868—A層



194 土師器瓶—RD875—埋土



195 土師器盤—RD875—埋土



196 土師器盤—RD875—A層



197 土師器杯—RG327—A層



198 須恵器盤—RG327—A層



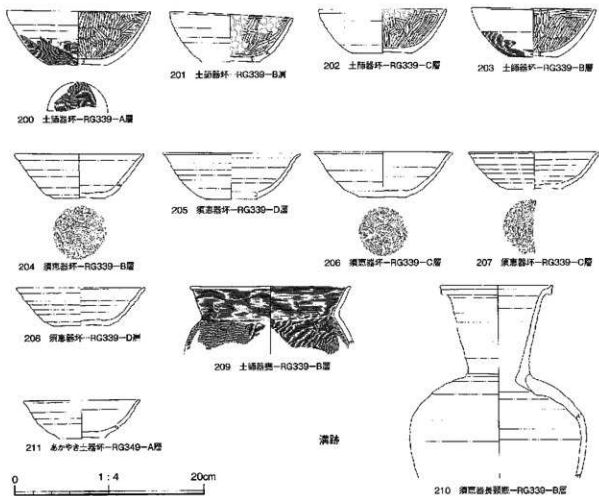
199 須恵器瓶—RG327—A層

土坑

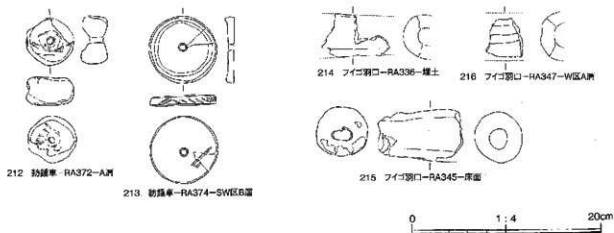
溝跡



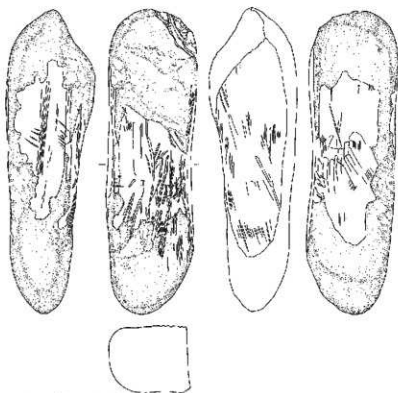
第150図 第25次調査A区出土土器(8)



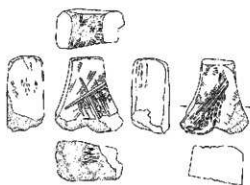
第151図 第25次調査A区出土土器 (9)



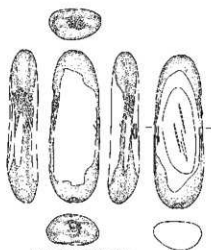
第152図 第25次調査A区出土土製品



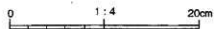
217 礮石-RA350-埋土



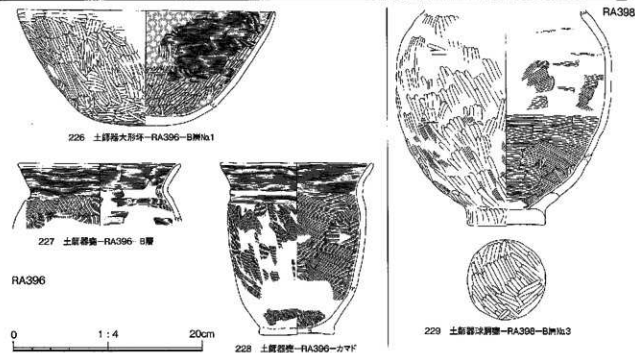
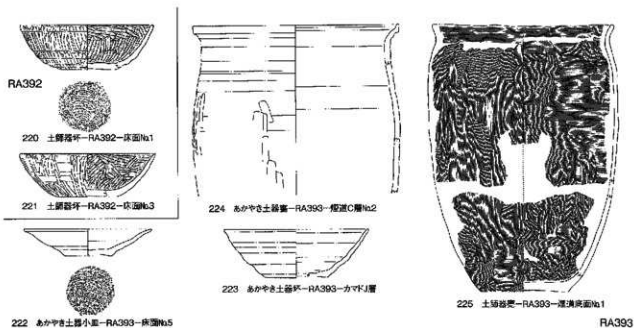
218 礮石-RA371-洋面



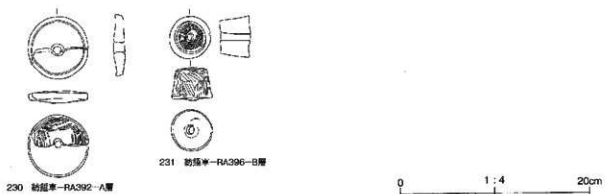
219 礮石-RA375-埋土



第153图 第25次調査A区出土石製品

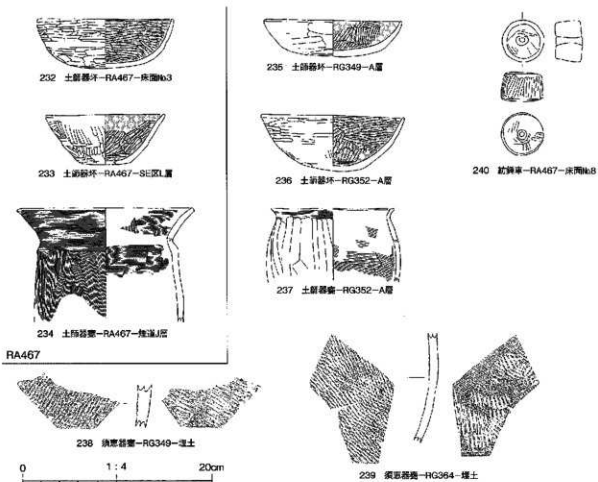


第154図 第25次調査B区出土土器



第155図 第25次調査B区出土土器



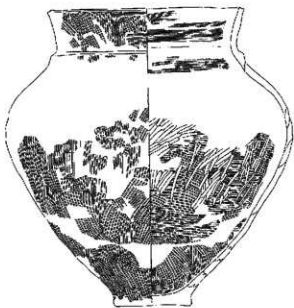


第 156 图 第 27 次調査 A 区出土土器・土製品

RA484

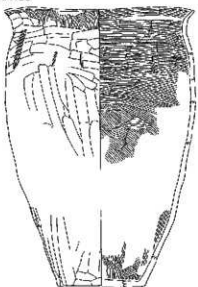


241 土製器鉢形壺—RA484—外面No.1

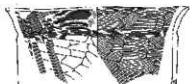


242 土製器鉢形壺—RA484—外面No.1

RA485



243 土製器壺—RA485—外面



244 土製鉢—RA485—埋土

RA488



245 土製鉢形—RA488—SE面No.1

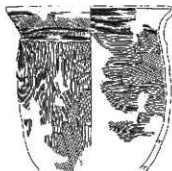
RA487



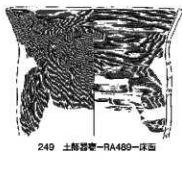
246 土製器鉢—RA487—NE面A層



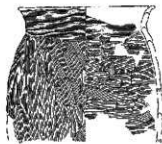
247 土製器鉢—RA487—L面



248 土製器壺—RA489—方斗J面



249 土製器壺—RA489—外面



250 土製器壺—RA489—北面No.4



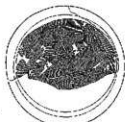
251 土製器鉢形壺—RA489—外面No.1

RA489



第157图 第27次調査B区出土土器 (1)

RA490



252 土師器片—RA490—SE区A層  
刻劃[斜]



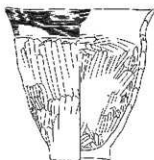
253 土師器片—RA490—NE区L層



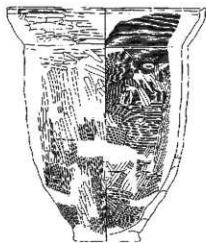
254 土師器片—RA490—カマド付近L層



255 土師器片—RA490—NW区A層

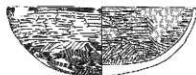


256 土師器片—RA490—カマド右袖K層



257 土師器片—RA490—カマド付近L層No.2

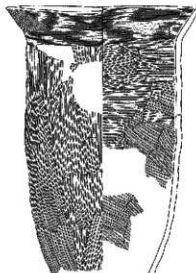
RA491①



260 土師器片—RA491—C層



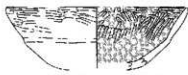
262 土師器片—RA491



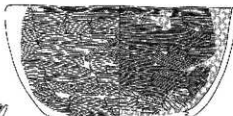
265 土師器片—RA491—カマド袖K層No.2



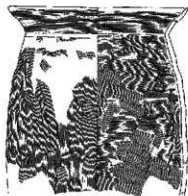
258 土師器片—RA491—B層



261 土師器片—RA491—SE区A層



263 土師器片形跡—RA491—Pi10



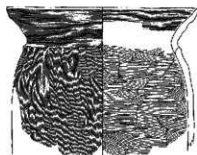
266 土師器片—RA491—床間No.8



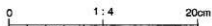
259 土師器片—RA491—洋面



264 土師器片—RA491—B層



267 土師器片—RA491—カマド袖K層

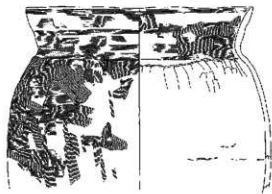


第158図 第27次調査B区出土土器(2)

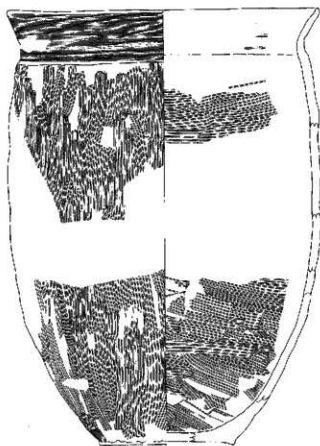
RA491②



268 土師器埴師壺—RA491—C層



269 土師器埴師壺—RA491—カマド右横No.7



270 土師器大壺—RA491—床面

RA492



271 土師器杯—RA492—SW区A層



274 土師器杯—RA492—SE区B層



272 土師器杯—RA492—SE区B層



275 土師器高台付杯—RA492—SE区B層



273 土師器杯—RA492—SE区B層



276 土師器壺—RA492—NW区A層

RA493



277 土師器壺—RA493—床面No.3

RA496



278 土師器壺—RA496—床面



279 土師器高台付杯—RA496—床面

0 1:4 20cm

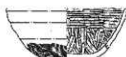
第159图 第27次調査B区出土土器(3)



280 土師器杯—RG339—C層



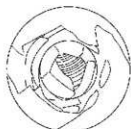
281 土師器杯—RG339—C層—最盛[山]



282 土師器杯—RG339—C層



283 土師器杯—RG339—B層



284 土師器器皿—RG339—B層



285 赤中やき土師器—RG339—C層



286 須恵器杯—RG339—C層



287 須恵器杯—RG339—B層



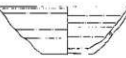
288 須恵器杯—RG339—C層



289 須恵器杯—RG339—C層



290 須恵器杯—RG339—C層



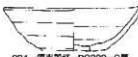
291 須恵器杯—RG339—C層



292 須恵器杯—RG339—C層



293 須恵器杯—RG339—C層



294 須恵器杯—RG339—C層



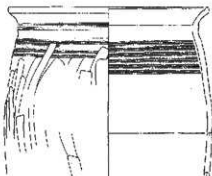
295 須恵器杯—RG339—B層



296 須恵器杯—RG339—C層

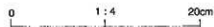


297 土師器片口鉢—RG339—C層

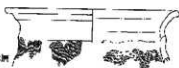


298 赤中やき土師器—RG339—C層

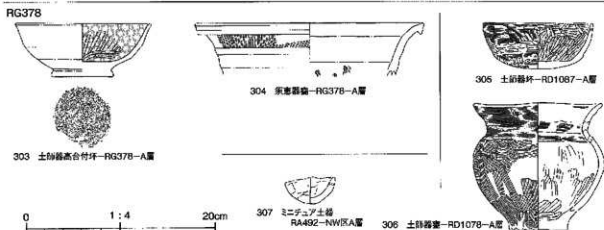
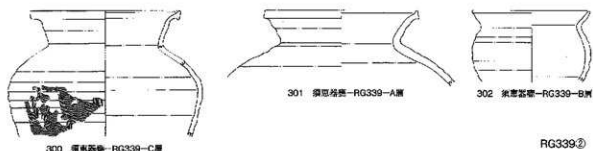
RG339①



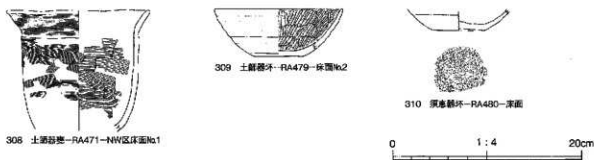
299 赤中やき土師器—RG339—C層



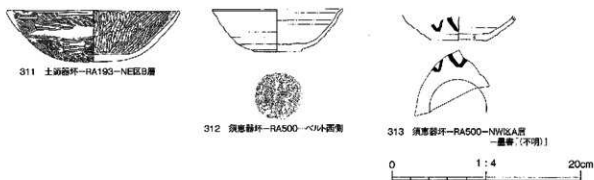
第160図 第27次調査B区出土土器(4)



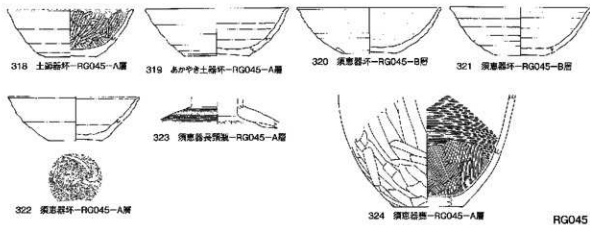
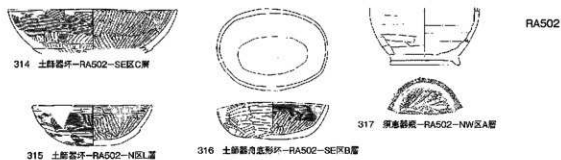
第161図 第27次調査B区出土土器・土製品



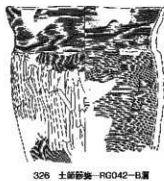
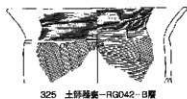
第162図 第28次調査出土土器



第163図 第32次調査B区出土土器



RG042



RD1087



第164図 第32次調査C区出土土器・土製品



501 漆鉢-A区西側-透輪紋金層



502 鉢-RA322-裡皿内



503 鉢-RA354-裡皿



504 鉢-RA332-SW区A層



505 鉢-RA355-NE区A層



506 漆鉢-RA323-A層



507 漆鉢-RA322-A層



508 漆鉢-RA325-裡皿内



509 漆鉢-RA327-SW区B層



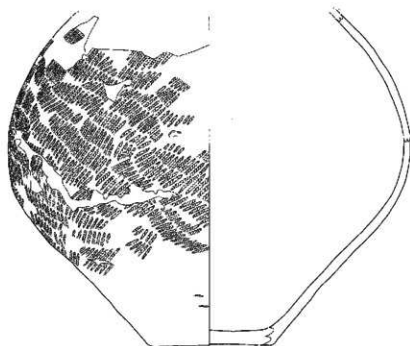
510 漆鉢-RA327-SW区D層



511 漆鉢-RA330-横穴土

縄文

弥生

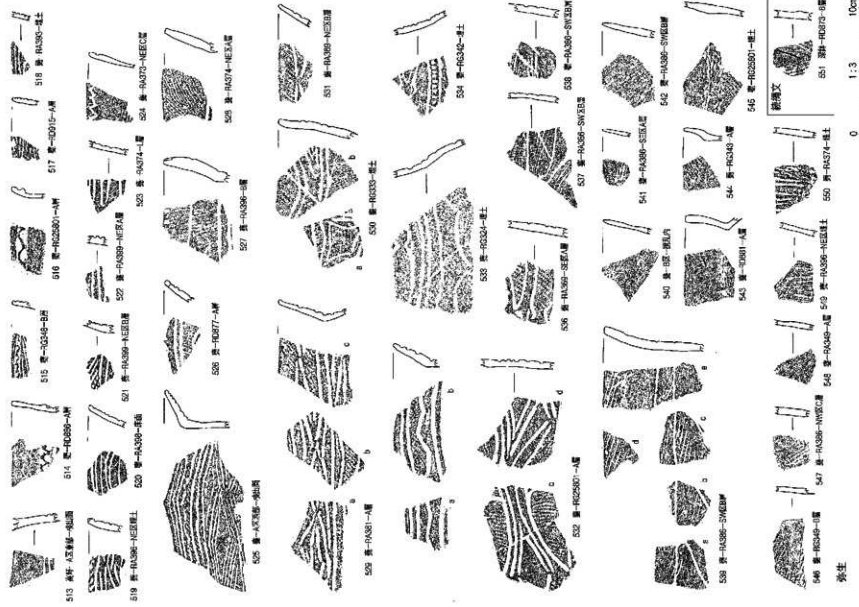


512 甑-RP001埴轮土器

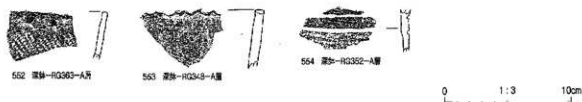
0 1:3 10cm

第 165 图 第 25 次調査 A 区出土縄文土器・弥生土器

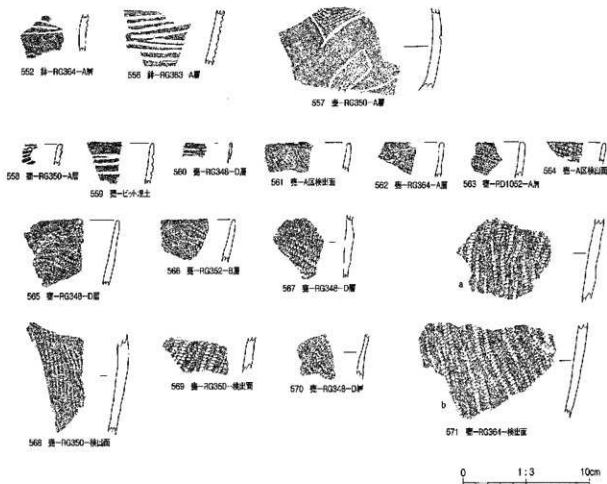




第 166 图 第 25 次调查 A · B 区出土弥生土器· 斜线纹土器



第 167 图 第 27 次调查 A 区出土绳文土器



第 168 图 第 27 次调查 A 区出土弥生土器



第 169 图 第 27 次调查 A 区出土古钱

# 写 真 图 版



第 24 次調査 RA305 出土土器



第 25 次調査 A 区 RA327 出土土器

第 1 図版 第 24 次調査・第 25 次調査 A 区竪穴住居跡出土土器



第25次調査A区RA341出土土器



第25次調査A区RA345出土土器

第2図版 第25次調査A区竪穴住居跡出土土器(1)



第 25 次調査A区RA373出土土器



第 25 次調査A区RA381出土土器

第 3 図版 第 25 次調査A区竪穴住居跡出土土器 (2)



001 土師器环 -RA304



006 須恵器环 -RA307



007 土師器环 -RA308



008 土師器环 -RA308



009 あかやき土器环 -RA308



013 土師器环 -RA312



022 土師器环 -RA305



024 あかやき土器环 -RA305



025 あかやき土器环 -RA305



027 須恵器环 -RA305



028 須恵器环 -RA305



030 須恵器环 -RA305



031 土師器高台付环 -RA305



039 土師器环 -RA313



042 須恵器环 -RA313



043 須恵器环 -RA313



045 須恵器环 -RA313



048 土師器环 -RA317

第4図版 第24次調査出土土器 (1)



050 土師器環 -RA319



055 土師器環 -RA321



058 土師器環 -RA322



059 あかやき土器環 -RA322



060 あかやき土器環 -RA322



064 土師器環 -RG327



004 土師器甕 -RA304



034 あかやき土師甕 -RA305



038 須恵器長頸瓶 -RA305



046 土師器甕 -RA317



053 土師器甕 -RA319





070 須恵器环 -RA322



077 須恵器环 -RA327



078 あかやき土器环 -RA327



085 あかやき土器环 -RA338



088 土師器环 -RA332



092 土師器片口鉢 -RA335



093 土師器环 -RA335



095 土師器环 -RA337



096 土師器环 -RA337



098 土師器环 -RA341



099 土師器环 -RA341



106 土師器环 -RA345



110 土師器环 -RA346



114 土師器环 -RA349



116 土師器环 -RA349



118 須恵器脚付盤皿 -RA349



123 須恵器环 -RA347



134 土師器环 -RA354

第6図版 第25次調査A区出土土器 (1)



138 土師器碗 -RA355



139 土師器碗 -RA361



142 あかやき土師器碗 -RA356



147 須恵器碗 -RA366



153 土師器碗 -RA370



154 土師器碗 -RA370



156 土師器碗 -RA371



161 土師器碗 -RA373



170 須恵器碗 -RA356b



171 須恵器碗 -RA379



172 須恵器碗 -RA378



173 須恵器碗 -RA378



174 須恵器碗 -RA378



176 土師器碗 -RA381



177 土師器碗 -RA381



178 土師器碗 -RA381



179 土師器高台付碗 -RA381



180 土師器大形碗 -RA381



183 土師器环 -RA380



191 土師器环 -RD871



192 土師器环 -RD908



201 土師器环 -RG339



204 須惠器环 -RG339



206 須惠器环 -RG339



080 土師器甕 -RA327



094 土師器甕 -RA335



103 土師器甕 -RA341



104 土師器甕 -RA341



107 土師器甕 -RA345



108 土師器甕 -RA345



109 土師器球胴甕 -RA345



130 あかやぎ土器甕 -RA347



133 土師器甕 -RA350



135 土師器球胴甕 -RA354



151 土師器球胴甕 -RA367



152 土師器甕 -RA367



160 土師器甕 -RA372



165 土師器甕 -RA373



166 土師器甕 -RA373

第9図版 第25次調査A区出土土器 (4)



222 あかやき土器小皿 -RA393



226 土師器大形杯 -RA396



232 土師器杯 -RA467



233 土師器杯 -RA467



236 土師器杯 -RG352



246 土師器環-RA487



247 土師器環-RA489



252 土師器環-RA490



253 土師器環-RA490



255 土師器環-RA490



259 土師器環-RA491



260 土師器環-RA491



279 土師器高台付環-RA496



280 土師器環-RG339



282 土師器環-RG339



285 あかやき土師環-RG339



287 須恵器環-RG339



290 須恵器環-RG339



291 須恵器環-RG339



294 須恵器環-RG339



297 土師器片口鉢-RG339



303 土師器高台付環-RG378



305 土師器環-RD1087



256 土師器甕 -RA490



264 土師器甕 -RA491



306 土師器甕 -RD1078



316 土師器舟底形坏 -RA502



318 土師器坏 -RG045



319 あかやき土器坏 -RG045



320 須恵器坏 -RG045



321 須恵器坏 -RG045



327 土師器甕 -RD1087





039 刻書「×」(土師器環, 第24次調査 RA313)



050 刻書「×」(土師器環, 第24次調査 RA319)



106 刻書「×」(土師器環, 第25次調査 A区 RA345)



120 刻書「×」(土師器環, 第25次調査 A区 RA347)



153 刻書「×」(土師器環, 第25次調査 A区 RA370)



252 刻書「非」(土師器環, 第27次調査 B区 RA490)



281 墨書「山」(土師器環, 第27次調査 B区 RG339)



313 墨書「(不明)」(須惠器環, 第32次調査 B区 RA500)

## 報告書抄録

ふりがな	せいなんちうくいせきぐんはくつちようさほうこうしょ3						
書名	畿南地区遺跡野発掘調査報告書Ⅲ						
副書名	盛岡市新都市開発整備事業関連遺跡平成5～12年発掘調査③ 台太郎遺跡						
報告者名	津場知弘						
編集機関	盛岡市遺跡の学び館（刊行：独立行政法人都市再生機構・盛岡市・盛岡市教育委員会）						
所在地	〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒畑13番地1 電話 019-635-6600						
発行年月日	2010年11月30日						
ふりがな	ふりがな	コード	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号	(世帯地系)		(㎡)	
だいなろういせき	いわてけんろくおかし	03201		39° 141'	9次:1993.5.11	50	土地区画整理 事業等
台太郎遺跡	岩手県盛岡市 むかいなかの 向中野 だいなろう・ようかいちば 台太郎・八日山跡ほか			40° 08' 57° 25'	10次:1995.4.4-4.5 11次:1995.6.19-6.27 12次:1995.9.1-11.30 13次:1996.10.14-10.25 14次:1996.11.25-11.28 17次:1997.8.23 20次:1998.9.17-12.21 21次:1998.9.25 24次:1999.5.6-7.16 25次:1999.7.7-12.15 27次:2000.6.12-11.14 28次:2000.6.12-11.14 29次:2000.7.19-8.25 30次:2000.7.25-7.31 31次:2000.8.1-8.8 32次:2000.9.18-10.20 33次:2000.9.22-10.13 34次:2000.11.20-21	1,200 320 5,174 4,064 25 10 1,400 28 3,425 3,674 2,513 460 125 35 128 1,030 695 156	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項		
台太郎遺跡	集落						
第9次調査		なし			試掘確認調査		
第10次調査		古代	土坑、溝跡、柱穴		試掘確認調査		
第11次調査		なし			試掘確認調査		
第12次調査		古代	竪穴住居跡、土坑、溝跡、柱穴		試掘確認調査		
第13次調査		古代	竪穴住居跡、土坑、溝跡、柱穴		試掘確認調査		
第14次調査		古代以降	竪穴住居跡、溝跡	土師器、須恵器、あかやき土器			
第20次調査		古代以降	土坑9、溝跡19、柱穴群	中世・近世陶磁器			
第24次調査		古代以降	竪穴住居跡20	土師器、須恵器、あかやき土器 紡錘車、土師、磁石			
		古代以降	土坑15、溝跡51、通溝次遺構	中世陶磁器			
		中世以降	埋没柱礎跡1、柱列跡2				
第25次調査		縄文時代 弥生時代 古代	上層埋没遺構1 竪穴住居跡73	縄文土器 弥生土器、筑前土器 土師器、須恵器、あかやき土器 紡錘車、ワイゴ羽門、磁石			
		古代以降	土坑墓2、土坑68、溝跡32				
		中世以降	大溝跡1	近世陶磁器			
第27次調査		縄文時代、弥生時代 古代	竪穴住居跡21	縄文土器、弥生土器 土師器、須恵器、あかやき土器 紡錘車、ミニチュア土器			
		古代以降	土坑23、溝跡30				
		近世以降	土坑墓2	古銭			

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
台太郎遺跡	集落	古代	竪穴住居跡 9	土師器、須恵器、あかやき土器	
第 28 次調査		古代以降 中世以降	土坑 10、溝跡 2 掘立柱建物跡 1、柱 列跡 2	中世陶磁器	
第 29 次調査		古代 近世以降	竪穴住居跡 1 土坑 3	土師器	
第 30 次調査		古代	竪穴状遺構 1	土師器、あかやき土器	
第 31 次調査		古代 古代以降	竪穴住居跡 2 溝跡 2		
第 32 次調査		古代 古代以降 中世以降 近世以降	竪穴住居跡 6 土坑 7、溝跡 8 溝跡 1 井戸跡 2	土師器、須恵器、あかやき土器 ブイコ期 I 中世・近世陶磁器 近世陶磁器	
第 33 次調査		古代 古代以降	竪穴住居跡 3 溝跡 3		試掘保存措置
第 34 次調査		古代	竪穴住居跡、溝跡		試掘保存措置
要約	<p>臺南地区遺跡群は、平安時代初期の延暦 22 年 (803) に朝廷が造営した古代城柵「志波城」の南東方に位置し、7 世紀より続く一人勢力「志波エミシ」が 10 世紀まで拠点とした古代集落群が主に確認されている。台太郎遺跡は、古代の竪穴住居跡が 600 種以上を数え、臺南地区遺跡群で最大の集落である。本書掲載の調査では奈良・平安時代の竪穴住居跡 133 棟を調査し、多数の遺物が出土しており、主に遺跡西端部と北端部の集落の様相を明らかにすることができた。</p>				

## 盛南地区遺跡群発掘調査報告Ⅲ

—盛岡南新都市開発整備事業関連遺跡平成5～12年度発掘調査③—  
台太郎遺跡

平成22年11月30日

編集 盛岡市遺跡の学び館  
〒020-0866 岩手県盛岡市本宮字荒屋 13-1  
電話 019-635-6600 ファクス 019-635-6605  
E-mail iseki@city.moriokaiwate.jp  
URL [http://www.city.moriokaiwate.jp/  
14kyoiku/iseki/manabikan/index.html](http://www.city.moriokaiwate.jp/14kyoiku/iseki/manabikan/index.html)

発行 独立行政法人都市再生機構  
盛岡市・盛岡市教育委員会

印刷 株式会社社殿印刷  
〒020-0122 岩手県盛岡市みたけ 2-22-50